

令和 4 年度障害者総合福祉推進事業
(指定課題番号15)

就労系障害福祉サービスの利用者の支 援ニーズ等の実態把握等に関する調査

株式会社インサイト

令和5年 3 月



目 次

1	事業概要.....	2
2	背景及び目的.....	3
3	実施内容.....	4
3.1	検討委員会の設置・実施	5
3.2	アンケート調査結果.....	6
3.2.1	事業所調査	6
3.2.2	利用者調査	42
3.2.3	クロス分析	107
3.3	ヒアリング調査結果.....	136
4	分析・考察	162
4.1	利用者の実態	162
4.2	事業所の考える「ニーズ」と利用者本人の「ウオンツ」	166
4.3	利用者が受けている支援と満足度の関係性.....	169
4.4	総括.....	175
5	成果の公表方法.....	176

1 事業概要

本事業は、令和2年度から実施されてきた「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」及び社会保障審議会障害者部会において議論されてきた「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて」の中で、障害者の就労支援に関して、新たな就労アセスメントの創設や障害者の就労を支えるための雇用・福祉施策の連携強化等の推進について方向性が示されたことを受け、現在の就労系障害福祉サービスの利用者について、支援ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を整理するため、事業所及び利用者へのアンケート調査、ヒアリング調査を実施した。

本事業の実施概要は以下のとおりである。

令和4年7月	第1回検討委員会
令和4年8月	第2回検討委員会
令和4年9月	事業所調査
令和4年10月	事業所調査集計及び利用者調査対象の抽出
令和4年11月	利用者調査(対象利用者に関する事業所向け調査含む)
令和4年12月	第3回検討委員会
令和5年2月	ヒアリング調査(事業所＋利用者)
	第4回検討委員会
令和5年3月	最終報告書まとめ

2 背景及び目的

<背景>

○障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて

R2 年 11 月より開催された「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」では、3 つのワーキンググループを中心に議論が進められ、R3 年 6 月 8 日には報告書が提出され、上記検討会での議論を受け、R3 年 12 月 16 日には、社会保障審議会障害者部会より「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて 中間整理」が提出された。その中で、就労支援に関しては、検討の方向性として下記が挙げられた。

- ・ 新たな「就労アセスメント」の創設
- ・ 一般就労中の企業における支援と就労系障害福祉サービスによる支援の連携
- ・ 障害者の就労を支えるための雇用・福祉施策の連携強化等

これに加えて、就労継続支援 A 型については、その在り方や役割について、利用者や支援内容の実態等を踏まえて整理を進める必要がある、と示された。

なお、本調査研究開始後に発表された「障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて 報告書(令和4年6月13日)」においても、上記内容については記載、言及されている。

○令和3年度障害者総合福祉推進事業「就労継続支援A型事業における就労継続及び一般就労への移行支援の実態把握に関する調査研究」

上記の在り方や役割を検討するにあたっての基礎研究的な位置付けとして、令和3年度「就労継続支援 A 型の実態調査」(以下、「R3A 型実態調査」という。)を、弊社が調査実施した。

この調査においては、1,221 件(回答率 29.9%)から回答を得ることができ、一定以上、A 型の現状を表す結果を得ることができた。

なお、この R3A 型実態調査の結果は、基本的にサービスを提供する事業所側の意見を集約したものとなる。しかし、この調査結果において、「事業所の支援内容と利用者ニーズは一致しているのか?」という差異を感じる部分もあったことから、「利用者に直接取材し、ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を把握すること」が今後の検討を進めるにあたって重要であり、また、これは A 型だけに留まらず、機能が重なりを見せ始めている現在の就労系障害福祉サービス全般の課題として、就労移行支援・就労継続支援 B 型も含め、関係性とあわせて把握することが重要だと考えた。

<目的>

上記のような背景から、本調査研究事業では、現在の就労系障害福祉サービスの利用者について、支援ニーズや実際に受けている支援、それによる変化等の実態を整理することを目的とする。

3 実施内容

本事業は先述の目的を果たすために、大きく次の3点を実施し取り進めた。

- ① 有識者検討委員会の設置
- ② アンケート調査(事業所＋利用者)
- ③ ヒアリング調査(事業所＋利用者)

<全体の流れ>

全体の流れは下記のとおりである。

【全体の流れ】



3.1 検討委員会の設置・実施

本研究事業を推進するにあたり、有識者等による検討委員会を設置し、検討委員会を4回実施した。

【検討委員会名簿】

【委員】 ◎は委員長

NO	所属・役職	氏名
1	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授	◎ 朝日 雅也
2	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 教授	岩崎 香
3	一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長	又村 あおい
4	一般社団法人日本メンタルヘルスピアサポート専 門員研修機構 理事	内布 智之
5	一般社団法人日本発達障害ネットワーク 副理事長	大塚 晃
6	社会福祉法人つかさ会 理事長	志賀 正幸
7	社会福祉法人 加島友愛会 専務理事	酒井 大介

【オブザーバー】

1	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐	日高 幸哉
2	厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 就労支援専門官	大工 智彦
3	厚生労働省職業安定局 障害者雇用対策課 課長補佐	富安 知翔

【事務局】

1	株式会社インサイト 代表取締役	関原 深
2	株式会社インサイト 取締役	北野 喬士
3	株式会社インサイト 客員研究員	芦川 英嗣

※順不同、敬称略

3.2 アンケート調査結果

3.2.1 事業所調査

<調査仕様>

- 調査方法:【事業所票】Web アンケート方式
【ケース票】Excel 調査票をメール提出
【ID 管理票】Excel 調査票に記入し事業所で保管
- 連絡方法:厚労省より指定権者(都道府県・政令・中核)に調査協力を依頼
→各事業所に連絡
- 調査期間:2022/9/21(水)～2022/10/12(水)
- 配布数:21,890 件(事業別内訳は下表のとおり)
- 回収数(回収率):4,256 件(19.4%)

	就労移行	就労A	就労B	合計
配布数	3,353	4,130	14,407	21,890
回収数	527	859	2,870	4,256
回収率	15.7%	20.8%	19.9%	19.4%

- 調査内容
【事業所票】【ケース票】の2種類の調査に回答、【ID管理票】については、利用者調査に協力いただく際に必要な情報を記載いただいた。
【ID管理票】は調査対象利用者をIDで紐づけ、利用者調査の際に各事業所が無作為抽出された調査対象利用者を判別するために使用。

【事業所票】

- ◇ Q1～Q8:基本属性
 - ・ 事業所番号、法人格、法人名、事業所名、実施事業、事業所指定の形態、設立年、就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)
- ◇ Q9～Q15:事業所情報
 - ・ 定員数、利用(登録)者数、1 日平均利用者数、平均利用年数、利用者の平均年齢、利用者の主な障害種別と人数、一般就労希望者数、直近 2 年間の利用終了者の移行先と人数、支援員数、賃金(工賃)向上達成指導員数、生産活動専門職員数、利用者の平均賃金(月額)、A 型スコア点数(各項目)、利用者の平均工賃(月額)、就労定着率
- ◇ Q16～Q22:支援方針、利用者の希望に対する対応等
 - ・ 支援方針として重視する事項、本人の希望の確認方法・把握するための工夫、希望の変化、希望と見立てとの差異が生じる割合、差異がある場合の対応(支援の見直し・他機関連携・既存の支援での対応状況・

対応不可の頻度・他事業所への移行)、希望に応じた支援実施における課題

【ケース票】

☆ Q1～Q5:利用者情報

- ・ 事業所番号、利用者 ID、年代、性別、障害の種類、障害支援区分、利用している就労系事業

☆ Q6～7:事業所が把握している本人の希望

- ・ 本人が「利用開始当初」・「現在」実現したいと思っていること

【ID 管理票(事業所保管)】

- ・ 事業所番号、事業所名、利用者 ID(ケース票と一致)、利用者名

◎ 使用文言の定義

本章以後使用されている、利用者の「ニーズ」と「ウォンツ」という文言については、便宜的に以下のとおり区別して使用している。

- 「ニーズ」：個別支援計画の作成時等のタイミングで事業所が利用者本人から聞き取った、利用者本人の希望を実現するために必要であると事業所側が認識していること
- 「ウォンツ」：利用者本人が希望していること

◆ 調査結果

・ 法人格

就労移行支援では、「株式会社・有限会社・合同会社」が 255 件(48.4%)と約半数となっている。次いで、「社会福祉法人」が 141 件(26.8%)であった。

就労継続支援 A 型はさらにその傾向が強く、「株式会社・有限会社・合同会社」が 549 件(63.9%)と高い割合を占めている。次いで、「社会福祉法人」120 件(14.0%)「NPO 法人」113 件(13.2%)であった。

就労継続支援 B 型は、「社会福祉法人」が 1,198 件(41.7%)と最も高く、次いで「NPO 法人」727 件(25.3%)「株式会社・有限会社・合同会社」701 件(24.4%)であった。

Q2. 法人格

- 回答事業所の割合は、就労移行と就労Aでは「株式会社・有限会社・合同会社」が最も多く特に就労Aでは6割強を占めている。一方、就労Bでは「社会福祉法人」が最も多かった。

Q2. 法人格

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
社会福祉法人	1,459	34.3%	141	26.8%	120	14.0%	1,198	41.7%
NPO法人	905	21.3%	65	12.3%	113	13.2%	727	25.3%
一般社団法人	284	6.7%	48	9.1%	74	8.6%	162	5.6%
株式会社・有限会社・合同会社	1,505	35.4%	255	48.4%	549	63.9%	701	24.4%
その他	103	2.4%	18	3.4%	3	0.3%	82	2.9%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%

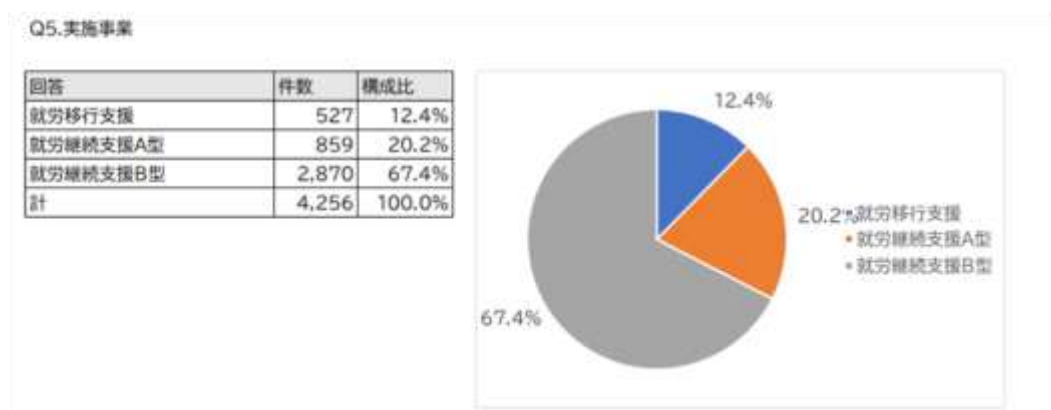


・ 実施事業

実施事業については、母数の多い就労継続支援 B 型が 2,870 件(67.4%)と多く、次いで就労継続支援 A 型が 859 件(20.2%)、就労移行支援は 527 件(12.4%)の構成となっている。

Q5. 実施事業

- 回答事業所数は、就労Bが約2,900件、就労Aが約860件、就労移行が約530件

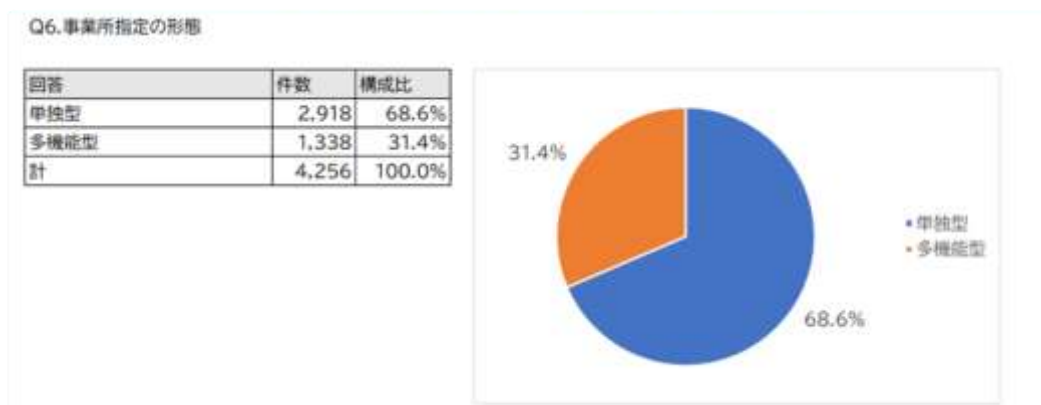


・ 事業所指定の形態

事業所指定の形態は、単独型が多く 2,918 件(68.6%)、多機能型が 1,338 件(31.4%)であった。多機能型の形態としては、就労移行支援では就労継続支援 B 型の多機能が 166 件(42.3%)と多く、就労継続支援 A 型では同じ就労継続支援 A 型との多機能、及び就労継続支援 B 型との多機能としている事業所がほぼ同じ 140 件程度で 40%強あった一方、就労継続支援 B 型では生活介護との多機能という回答が 631 件(44.1%)と最も多かった。

Q6. 事業所指定の形態

- 指定形態は、単独型：多機能型＝7：3の割合
- 多機能型の形態としては、B型、生活介護との多機能という回答が多い



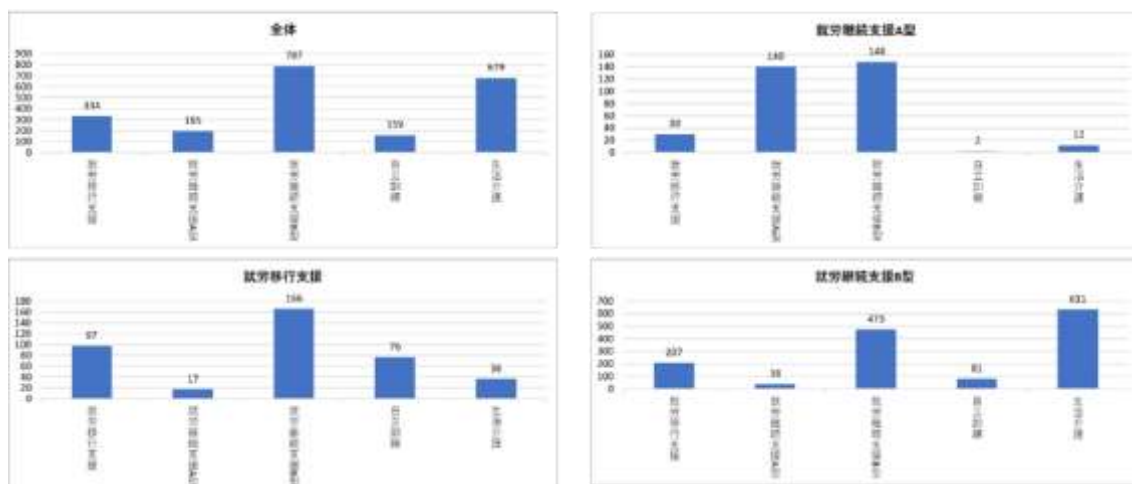
Q6. 事業所指定の形態

- 多機能型の形態としては、就労移行では就労Bとの多機能が4割強、就労Aでは就労A同士、及び就労Bとが同じく4割強であった一方、就労Bでは生活介護との多機能という回答が4割を超えている

→多機能型と選択された方のみ回答して下さい。どのサービスとの多機能型が選択して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行支援	334	15.5%	97	24.7%	30	9.0%	207	14.5%
就労継続支援A型	195	9.1%	17	4.3%	140	42.2%	38	2.7%
就労継続支援B型	787	36.5%	166	42.3%	148	44.6%	473	33.1%
自立訓練	159	7.4%	76	19.4%	2	0.6%	81	5.7%
生活介護	679	31.5%	36	9.2%	12	3.6%	631	44.1%
計	2,154	100.0%	392	100.0%	332	100.0%	1,430	100.0%

Q6. 事業所指定の形態



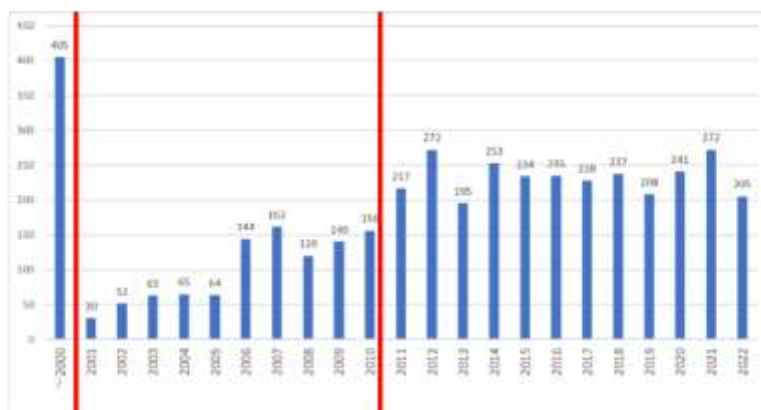
・ 設立年

全体では 2011 年(H23)以降から 200 件を超えはじめ、全体の 2,797 件(66.6%)となっているが、個別で見ると就労移行支援では、2006 年(H19)以降から増え始め 89.3%(461 件)を占めており、就労継続支援 A 型でも 2007 年(H19)以降が 95.3%(2,797 件)、就労継続支援 B 型は 2006 年(H23)以降が 79.3%(2,248 件)と、おおむね 2006 年以降設立の事業所の割合が多くなっている。

Q7.設立年(全体)

- 全体では、2011年(H23)以降が66.6%(2797件)、2001年～2010年が17.2%(722件)、2000年以前は16.2%(679件)

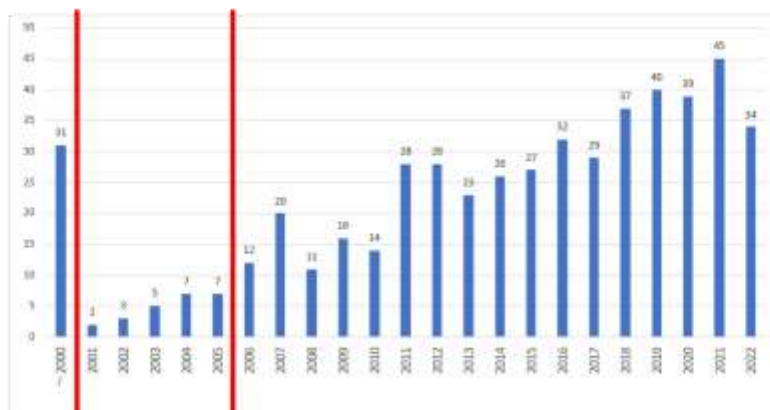
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	405	2008	120	2016	235
2001	30	2009	140	2017	228
2002	52	2010	156	2018	237
2003	63	2011	217	2019	208
2004	65	2012	272	2020	241
2005	64	2013	195	2021	272
2006	144	2014	253	2022	205
2007	162	2015	234		



Q7.設立年(就労移行支援)

- 就労移行では、2006年(H19)以降から増え始め、89.3%(461件)を占め、2001年～2005年は4.7%(24件)、2000年以前は6.0%(31件)だった

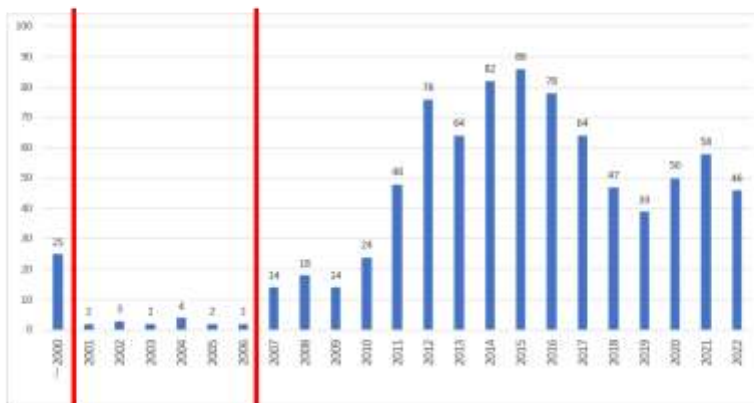
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	31	2008	11	2016	32
2001	2	2009	16	2017	29
2002	3	2010	14	2018	37
2003	5	2011	28	2019	40
2004	7	2012	28	2020	39
2005	7	2013	23	2021	45
2006	12	2014	26	2022	34
2007	20	2015	27		



Q7.設立年(就労継続支援A型)

- 就労Aでは、2007年(H19)以降から大きく増え始め、95.3%(2797件)を占めた。2001年～2006年は1.8%(6件)、2000年以前は2.9%(25件)だった

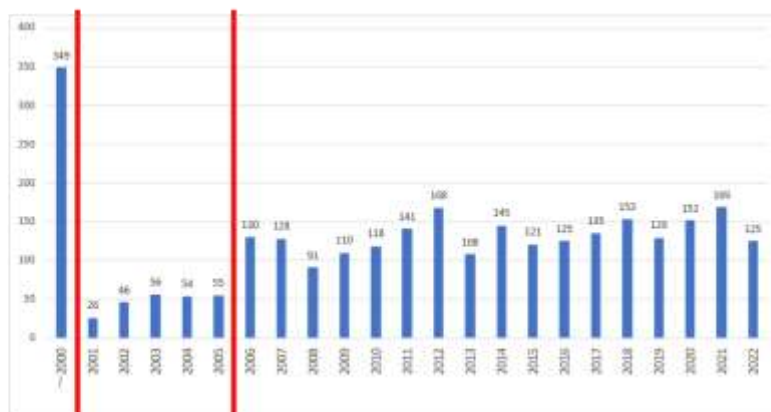
設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	25	2008	18	2016	78
2001	2	2009	14	2017	64
2002	3	2010	24	2018	47
2003	2	2011	48	2019	39
2004	4	2012	76	2020	50
2005	2	2013	64	2021	58
2006	2	2014	82	2022	46
2007	14	2015	86		



Q7.設立年(就労継続支援B型)

- 就労Bでは、2006年(H23)以降が79.3%(2,248件)を占め、2001年～2005年が8.4%(237件)、2000年以前は、12.3%(349件)だった

設立年	件数	設立年	件数	設立年	件数
～2000	349	2008	91	2016	125
2001	26	2009	110	2017	135
2002	46	2010	118	2018	153
2003	56	2011	141	2019	129
2004	54	2012	168	2020	152
2005	55	2013	108	2021	169
2006	130	2014	145	2022	125
2007	128	2015	121		



- ・ 就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)
就労定着支援事業の実施は、特に就労移行支援が多く「有」が 61.9%(326 件)あった。
就労継続支援 A 型・B 型では10%強程度だが、件数ベースで見ると、全体数が多い就労
継続支援 B 型でも 300 件あった。

Q8.就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)

- 同一法人内で就労定着支援事業を実施しているのは、全体では17.1%(729件)だが、就労移行のみ、「有」が61.9%(326件)あった。就労A・就労Bでは10%強程度だが、件数ベースでは就労Bでも300件あった。

Q8.就労定着支援事業の実施有無(同一法人内)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
有	729	17.1%	326	61.9%	103	12.0%	300	10.5%
無	3,527	82.9%	201	38.1%	756	88.0%	2,570	89.5%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



・ 利用者について

定員数については、就労継続支援 A 型では16～20名が 6 割程度と最も多く、20 名以内の事業所が就労継続支援 A 型全体の 93%程度、就労継続支援 B 型ではは16～20名が 57.2%を占めたが、それ以上の21～30 名、31 名以上の事業所も10%強あった。就労移行支援では1～10名が半数を超えており、次いで 16～20名が 4 割弱となっている。

利用登録者数では、どの事業も 30 名以内が大半となっており、就労継続支援 A 型で85%、就労継続支援 B 型で78%、就労移行支援では94%が 30 名以内の登録者数であった。

Q9.利用者について <定員数>

- 就労Aでは16～20名が6割程度と最も多く、～20名が就労A全体の93%程度
- 就労Bは16～20名が6割弱を占めたが、21～30名、31名以上の事業所も10%強あった
- 就労移行では1～10名が半数強、次いで16～20名が4割弱となっている

利用者について 定員数(人)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1～10	190	21.5%	347	11.2%	384	53.0%
11～15	93	10.5%	280	9.0%	44	6.1%
16～20	536	60.7%	1,776	57.2%	272	37.6%
21～30	29	3.3%	333	10.7%	17	2.3%
31～	35	4.0%	368	11.9%	7	1.0%
計	883	100.0%	3,104	100.0%	724	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

Q9.利用者について <利用(登録)者数>

- 就労Aでは85%、就労Bでは78%、就労移行では94%が30名以内となっている

利用者について 利用(登録)者数(人)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1～5	56	6.4%	137	4.4%	211	32.2%
6～10	142	16.3%	324	10.5%	152	23.2%
11～15	161	18.5%	489	15.9%	67	10.2%
16～20	165	18.9%	609	19.7%	84	12.8%
21～25	103	11.8%	478	15.5%	59	9.0%
26～30	113	13.0%	376	12.2%	44	6.7%
31～35	62	7.1%	243	7.9%	26	4.0%
36～40	43	4.9%	169	5.5%	8	1.2%
41～45	13	1.5%	108	3.5%	1	0.2%
46～	13	1.5%	151	4.9%	4	0.6%
計	871	100.0%	3,084	100.0%	656	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

1日当たりの平均利用者数に関しては、利用登録者数とクロス集計し利用率で分析したところ、就労継続支援A型では、利用率71%以上の合計が80.2%で3事業の中で最も高く、次いで就労移行支援が計68.1%、就労継続支援B型は計61.9%だった。一方で、就労継続支援B型は利用率0～50%の割合も10.7%で3事業の中で唯一10%を超えているという特徴があった。

Q9.利用者について <1日平均利用者数>

- 単純集計では～25名という事業所の割合が多い

利用者について 1日平均利用者数(人)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1～5	74	8.7%	223	7.4%	243	38.1%
6～10	178	21.0%	588	19.5%	150	23.5%
11～15	202	23.9%	718	23.9%	93	14.6%
16～20	166	19.6%	718	23.9%	110	17.3%
21～25	114	13.5%	315	10.5%	29	4.6%
26～30	51	6.0%	187	6.2%	7	1.1%
31～35	30	3.5%	117	3.9%	4	0.6%
36～40	23	2.7%	71	2.4%	0	0.0%
41～45	4	0.5%	30	1.0%	0	0.0%
46～	4	0.5%	41	1.4%	1	0.2%
計	846	100.0%	3,008	100.0%	637	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

○クロス集計 <利用率> = <1日平均利用者数> ÷ <利用(登録)者数>

- 就労Aでは、利用率71%以上の合計が80.2%で3事業の中で最も高く、次いで就労移行が計68.1%、就労Bは計61.9%だった。就労Bは利用率0～50%の割合も10.7%で3事業の中で唯一10%を超えている(就労A:4.3%、就労移行:7.2%)

利用率

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0%～10%	2	0.2%	5	0.2%	3	0.5%
11%～20%	2	0.2%	3	0.1%	4	0.7%
21%～30%	2	0.2%	21	0.7%	4	0.7%
31%～40%	10	1.2%	69	2.3%	7	1.2%
41%～50%	19	2.3%	220	7.4%	25	4.2%
51%～60%	45	5.5%	342	11.5%	60	10.1%
61%～70%	83	10.1%	476	16.0%	87	14.6%
71%～80%	156	19.0%	612	20.5%	147	24.7%
81%～90%	227	27.6%	689	23.1%	118	19.8%
91%～100%	276	33.6%	542	18.2%	140	23.5%
計	822	100.0%	2,979	100.0%	595	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

利用者の平均利用年数は、就労継続支援 A 型では 10 年以内が90%以上など、どの事業でも多くなっているが、就労継続支援 B 型になると平均 20 年以上という事業所も 5.5%あった。就労移行支援では、事業の制度上の枠組みによるものと思われる 2 年以内という回答が 86.7%と多くなっている。

Q9.利用者について <平均利用年数>

- 就労A・就労移行では10年以内が90%前後で大半となっている
- 就労Bでは10年以内が76%を占めるが、平均20年以上という事業所も5.5%ある

利用者について 平均利用年数(年)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1	92	11.3%	228	8.0%	258	43.5%
2	102	12.5%	255	9.0%	197	33.2%
3	119	14.6%	290	10.2%	18	3.0%
4	126	15.5%	254	8.9%	10	1.7%
5	96	11.8%	248	8.7%	8	1.3%
6	74	9.1%	214	7.5%	8	1.3%
7	35	4.3%	198	7.0%	10	1.7%
8	34	4.2%	186	6.6%	10	1.7%
9	19	2.3%	134	4.7%	11	1.9%
10	26	3.2%	158	5.6%	10	1.7%
11	11	1.4%	105	3.7%	9	1.5%
12	14	1.7%	76	2.7%	5	0.8%
13	7	0.9%	66	2.3%	10	1.7%
14	4	0.5%	55	1.9%	5	0.8%
15	6	0.7%	71	2.5%	0	0.0%
16	2	0.2%	41	1.4%	6	1.0%
17	6	0.7%	41	1.4%	3	0.5%
18	7	0.9%	30	1.1%	2	0.3%
19	7	0.9%	31	1.1%	1	0.2%
20	2	0.2%	24	0.8%	3	0.5%
21～	24	3.0%	133	4.7%	9	1.5%
計	813	100.0%	2,838	100.0%	593	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

利用者の平均年齢は、就労継続支援 A 型では25～50歳に95%弱が集中している。就労継続支援 B 型では平均 30 歳以上という回答が多く、特に 30～50 歳に80%弱が集中し、50 歳以上という回答も15%程度あった。

就労移行支援では、18～40歳という事業所が90%となっており、他 2 つよりも平均年齢が若い傾向がある。

Q9.利用者について <利用者の平均年齢>

- 就労Aでは、25～50歳が95%弱が集中している
- 就労Bでは、平均30歳以上という回答が多く、特に30～50歳に80%弱が集中し、50歳以上という回答も15%程度あった
- 就労移行では、18～40歳という事業所が90%となっており、他2つよりも平均年齢が若い傾向がある

利用者について 利用者の平均年齢(歳)(小数点第一位迄)

回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0～18	3	0.4%	10	0.3%	8	1.3%
18～25	3	0.4%	49	1.7%	141	23.2%
25～30	40	4.8%	125	4.2%	167	27.5%
30～35	96	11.5%	343	11.6%	153	25.2%
35～40	214	25.7%	577	19.6%	87	14.3%
40～45	293	35.2%	775	26.3%	34	5.6%
45～50	146	17.5%	631	21.4%	15	2.5%
50～	37	4.4%	437	14.8%	2	0.3%
計	832	100.0%	2,947	100.0%	607	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

一般就労希望者数

就労移行支援では、事業の性質からか 21 名以上という回答が16.1%あった。就労継続支援 A 型・B 型では 5 名以下が比較的多かったが、就労継続支援 A 型では 21 名以上という回答も5.1%あり、定員数の分布と比較してみても A 型から一般就労を目指す希望者が多い事業所も一定数あることがわかった。

Q10.一般就労希望者数

- 就労A・Bでは、5名以下が比較的多いが、Aでは21名以上という回答も5.1%あった
- 就労移行では、事業の性質からか21名以上という回答が16.1%あった

一般就労希望者数 一般就労希望者数						
回答	就労継続支援A型		就労継続支援B型		就労移行支援	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	106	12.1%	943	32.1%	74	10.5%
1	86	9.8%	543	18.5%	55	7.8%
2	141	16.1%	431	14.7%	51	7.3%
3	81	9.2%	282	9.6%	47	6.7%
4	63	7.2%	155	5.3%	41	5.8%
5	60	6.8%	143	4.9%	25	3.6%
6	48	5.5%	89	3.0%	44	6.3%
7	35	4.0%	71	2.4%	27	3.8%
8	30	3.4%	48	1.6%	29	4.1%
9	15	1.7%	26	0.9%	24	3.4%
10	33	3.8%	56	1.9%	20	2.8%
11	27	3.1%	23	0.8%	17	2.4%
12	20	2.3%	23	0.8%	17	2.4%
13	16	1.8%	11	0.4%	11	1.6%
14	13	1.5%	8	0.3%	13	1.9%
15	14	1.6%	13	0.4%	13	1.9%
16	13	1.5%	5	0.2%	13	1.9%
17	10	1.1%	5	0.2%	11	1.6%
18	9	1.0%	7	0.2%	22	3.1%
19	2	0.2%	3	0.1%	15	2.1%
20	11	1.3%	9	0.3%	20	2.8%
21~	45	5.1%	42	1.4%	113	16.1%
計	878	100.0%	2,936	100.0%	702	100.0%

※多機能型の場合は事業種別毎にそれぞれ回答

・ 直近 2 年間の利用終了者の移行先と人数

就労継続支援 A 型からの移行先としては、一般就労が最も多く、次いで他の就労継続支援 A 型・B 型となっており、移行した人数は、おおむね 5 名以内が多い。

就労継続支援 B 型では、他の就労継続支援 B 型へ移動するケースが最も多く、次いで一般就労、在宅となっており、就労移行支援への移動は最も少ない。

就労移行支援では、こちらも事業の性質によるところが大きいと思われるが、一般就労の件数が最も多く、次いで就労継続支援 B 型、A 型の順となっている。

Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労Aから>

- 移行先の件数としては、一般就労が最も多く、次いで他のA型、B型となっている
- 移行した人数は、おおむね5名以内が多い

直近2年間の利用終了者の移行先と人数

就労Aから	一般就労	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	180	68	158	168	16	103	109	74	105
2	129	10	68	81	2	38	69	56	29
3	82	3	33	38	1	11	35	40	19
4	41	2	22	23	1	1	23	26	12
5	44	2	18	13	0	0	28	24	8
6~10	43	0	17	14	0	0	35	39	16
11~20	7	0	1	1	0	0	6	21	10
21~	1	0	0	0	0	0	0	5	3
計	527	85	317	338	20	153	305	285	202

Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労Bから>

- 移行先の件数としては、他のB型が最も多く、次いで一般就労、在宅となっており、就労移行へは最も少ない
- 移行した人数は、おおむね4名以内が多い

直近2年間の利用終了者の移行先と人数 (就労Bから)

就労Bから	一般就労	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	490	201	365	622	432	423	437	254	493
2	245	68	135	346	147	148	269	110	196
3	83	24	39	191	44	42	142	76	100
4	41	12	18	118	28	20	88	37	54
5	26	8	9	71	12	10	54	20	26
6~10	28	7	4	100	16	8	74	46	47
11~20	6	2	1	28	5	1	16	16	10
21~	0	0	0	9	2	0	3	5	1
計	919	322	571	1,485	686	652	1,083	564	927

Q11.直近2年間の利用終了者の移行先と人数 <就労移行から>

- 移行先の件数としては、一般就労が最も多く、次いで就労B、就労Aの順となっている
- 移行した人数は、一般就労では広く分布しており、就労B・Aでは4～5名以内が多い

就労移行から	一般就労	就労移行 支援	就労継続 支援A型	就労継続 支援B型	生活介護	入院	在宅	不明	その他
1	56	75	113	121	19	60	68	49	78
2	62	21	57	85	4	13	38	17	31
3	40	5	23	52	1	1	31	10	21
4	43	5	14	39	0	3	8	10	11
5	34	2	4	23	1	2	18	12	6
6～10	118	3	7	42	0	0	24	15	17
11～20	124	1	0	9	0	0	12	9	14
21～	88	3	0	1	0	0	2	2	4
計	565	115	218	372	25	79	201	124	182

職員数について

各事業所の職員数に関しては、どの事業でも10名以下の事業所が大半となっており、賃金(工賃)向上達成指導員数については1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はどの事業でもほぼない。生産活動専門職員数に関しては、就労継続支援A型と就労移行支援では1名配置がほとんどで、就労継続支援B型のみ5名程度のところまであり若干多い傾向があった。

Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労A>

- 支援員数は、3～7名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数、生産活動専門職員数は1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はほぼない

就労A	支援員数(職業指導員、生活 支援員、就労支援員、サービス 管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理 員、農業指導員等)
1	12	476	83
2	41	36	21
3	136	3	6
4	181	2	5
5	156	1	4
6	110	1	1
7	102	0	1
8	48	0	0
9	35	0	3
10	23	0	0
11	14	0	0
12	9	0	0
13	5	0	0
14	6	0	0
15	2	0	0
16	2	0	0
17	3	0	0
18	0	0	0
19	1	0	0
20	0	0	0
21～	3	0	0
計	889	519	124

Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労B>

- 支援員数は、2～9名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数は1名配置の事業所がほとんどで、3名以上はほぼない
- 生産活動専門職員数は1～2名配置の事業所が多く、ほぼ5名以内となっている

就労B	支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)
1	30	1,847	457
2	190	187	117
3	587	19	51
4	659	10	22
5	507	5	10
6	341	1	6
7	278	1	2
8	195	1	1
9	115	1	1
10	65	1	3
11	26	1	0
12	28	0	0
13	25	0	1
14	14	0	0
15	11	0	1
16	11	0	0
17	7	0	0
18	1	0	2
19	2	0	0
20	0	0	0
21～	8	1	0
計	3,100	2,075	674

Q12.職員数について(常勤換算人数) <就労移行>

- 支援員数は、3～6名の事業所がそれぞれ100件を超え集中している
- 賃金(工賃)向上達成指導員数は1名配置が5件、全体でも7件と少ない
- 生産活動専門職員数は1名配置の事業所がほとんどで、5名以上は0となっている

就労移行	支援員数(職業指導員、生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者等)	賃金(工賃)向上達成指導員数	生産活動専門職員数(調理員、農業指導員等)
1	9	5	48
2	51	0	5
3	112	1	3
4	173	0	1
5	115	1	0
6	112	0	0
7	59	0	0
8	36	0	0
9	19	0	0
10	2	0	0
11	3	0	0
12	10	0	0
13	1	0	0
14	3	0	0
15	2	0	0
16	0	0	0
17	0	0	0
18	0	0	0
19	0	0	0
20	0	0	0
21～	0	0	0
計	707	7	57

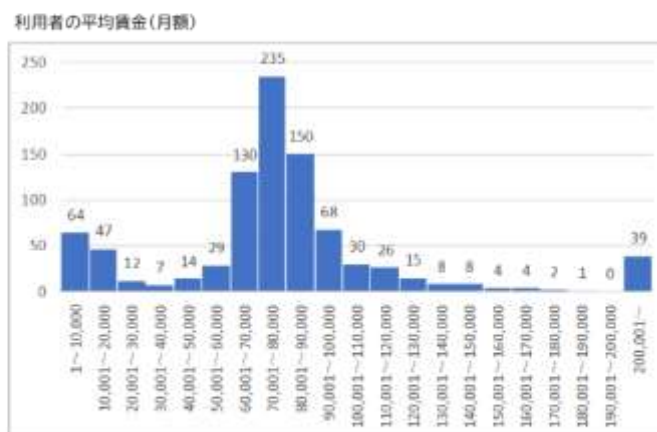
- ・ 利用者の平均賃金(月額) (就労継続支援 A 型のみ回答)

70,001円～80,000 円が 25.7%と最も多く、6～8 万円の間に全体の 65%弱が集中しているが、20 万/月を超える事業所も 4.3%(39 件)ある。一方、1～10,000 円という事業所が 7.0%(64 件)、1～30,000 円で合計すると、123 件(13.4%)あった。なお、0 以下という回答は、0という回答及び無回答を含んでいる。

Q13.利用者の平均賃金(月額)(就労継続支援A型のみ回答) R3年度実績

- 70,001円～80,000円が25.7%と最も多く、6～8万円の間に全体の65%弱が集中している
- 20万/月を超える事業所も4.3%(39件)ある一方、1万/月以下も7.0%(64件)あった

回答	件数	構成比
0以下	21	2.3%
1～10,000	64	7.0%
10,001～20,000	47	5.1%
20,001～30,000	12	1.3%
30,001～40,000	7	0.8%
40,001～50,000	14	1.5%
50,001～60,000	29	3.2%
60,001～70,000	130	14.2%
70,001～80,000	235	25.7%
80,001～90,000	150	16.4%
90,001～100,000	68	7.4%
100,001～110,000	30	3.3%
110,001～120,000	26	2.8%
120,001～130,000	15	1.6%
130,001～140,000	8	0.9%
140,001～150,000	8	0.9%
150,001～160,000	4	0.4%
160,001～170,000	4	0.4%
170,001～180,000	2	0.2%
180,001～190,000	1	0.1%
190,001～200,000	0	0.0%
200,001～	39	4.3%
計	914	100.0%



・ A 型スコア

A 型スコア点数の回答から、就労継続支援 A 型での平均労働時間は、4h～4.5h/日が約半数の 51.4%、4h～6h/日に全体の 85%弱が集中していた。生産活動の収支状況については、過去 2 年度連続赤字(収支<賃金総額)という事業所が最も多く 41.3%だったことは注目すべき点で、次いで過去 2 年度連続黒字(収支>賃金総額)が 39.9%となっており、年次的に一定程度コロナ禍の影響もあるかもしれないが、赤字・黒字が二極化している状況が見て取れた。

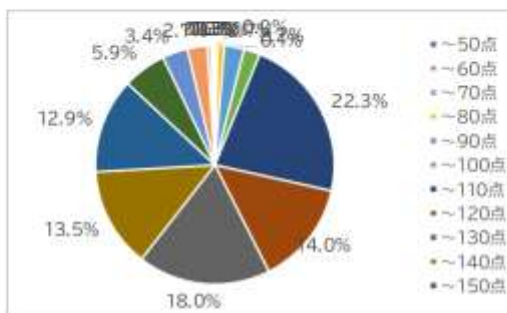
また、地域連携活動については、75%以上の事業所が実施しているという回答だった。

Q13.A型スコア <合計点>

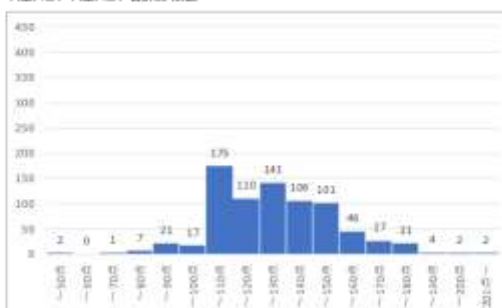
● ～110点の回答が22.3%で最も多く、110～150点の回答が全体の80.8%を占める

A型スコア A型スコア合計点 点数

回答	件数	構成比
～50点	2	0.3%
～60点	0	0.0%
～70点	1	0.1%
～80点	7	0.9%
～90点	21	2.7%
～100点	17	2.2%
～110点	175	22.3%
～120点	110	14.0%
～130点	141	18.0%
～140点	106	13.5%
～150点	101	12.9%
～160点	46	5.9%
～170点	27	3.4%
～180点	21	2.7%
～190点	4	0.5%
～200点	2	0.3%
201点～	2	0.3%
計	783	100.0%



A型スコア A型スコア合計点 点数

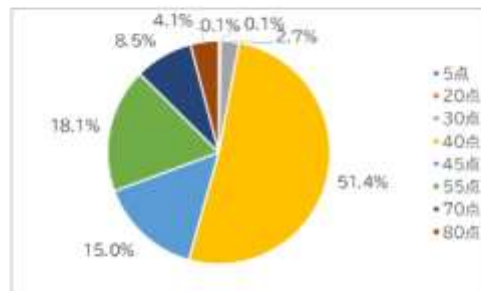


Q13.A型スコア 項目点 <Ⅰ平均労働時間、Ⅱ生産活動>

- 平均労働時間は、40点(4～4.5h/日)が約半数の51.4%、40～55点(4～6h/日)に全体の85%弱が集中している
- 生産活動は、5点(過去2年度連続 収支<賃金総額)が最も多く41.3%、次いで40点(過去2年度連続 収支>賃金総額)が39.9%となっており、二極化している

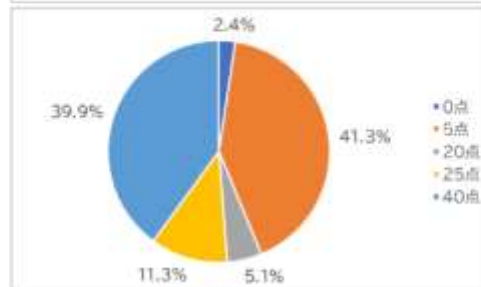
A型スコア(Ⅰ)平均労働時間 項目点 点数

回答	件数	構成比
5点	1	0.1%
20点	1	0.1%
30点	21	2.7%
40点	401	51.4%
45点	117	15.0%
55点	141	18.1%
70点	66	8.5%
80点	32	4.1%
計	780	100.0%



A型スコア(Ⅱ)生産活動 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	19	2.4%
5点	327	41.3%
20点	40	5.1%
25点	89	11.3%
40点	316	39.9%
計	791	100.0%

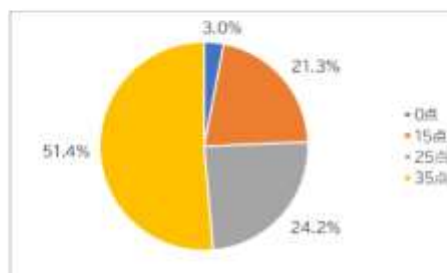


Q13.A型スコア 項目点 <Ⅲ多様な働き方、Ⅳ支援力向上>

- 多様な働き方では、35点(8以上)が51.4%と半数を占める
- 支援力向上では、15点(1～5)が40.5%で最も多く、次いで25点・30点がともに30%弱となっている

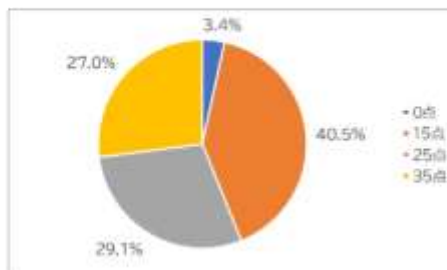
A型スコア(Ⅲ)多様な働き方 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	24	3.0%
15点	168	21.3%
25点	191	24.2%
35点	405	51.4%
計	788	100.0%



A型スコア(Ⅳ)支援力向上 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	27	3.4%
15点	319	40.5%
25点	229	29.1%
35点	213	27.0%
計	788	100.0%

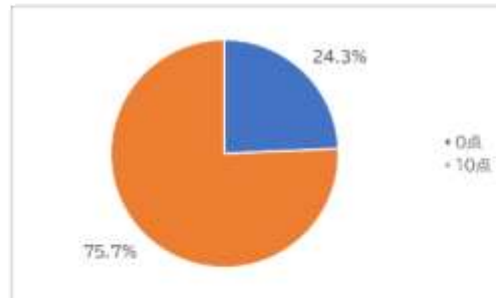


Q13.A型スコア 項目点 <V地域連携活動>

- 地域連携活動は、75%以上の事業所が10点となっている

A型スコア(V)地域連携活動 項目点 点数

回答	件数	構成比
0点	190	24.3%
10点	591	75.7%
計	781	100.0%



- ・ 利用者の平均工賃(月額) (就労継続支援 B 型のみ回答)
平均工賃は、1 万 5 千円未満が53.0%と半数を超え、3 万円以上の事業所は 10%弱であった。
報酬体系に関しては、約 6 割が平均工賃月額に応じた報酬体系を選択している。

Q14.利用者の平均工賃(月額)(就労継続支援B型のみ回答) R3年度実績

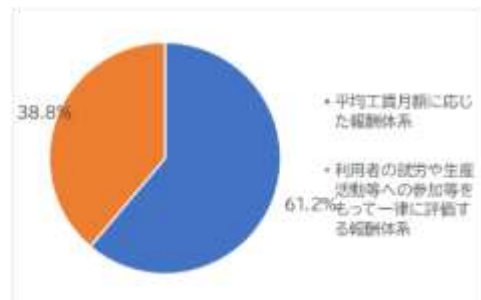
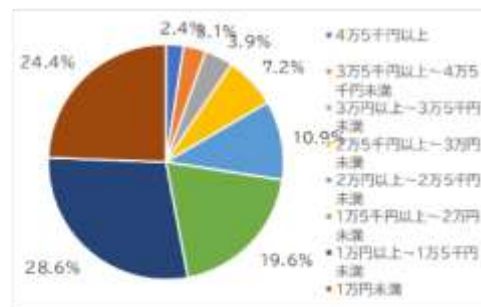
- 平均工賃は、1万5千円未満が53.0%と半数を超え、3万円以上は10%弱
- 報酬体系は、約6割が平均工賃月額に応じた報酬体系を選択している

Q14.利用者の平均工賃(月額)(就労継続支援B型のみ回答して下さい)

回答	件数	構成比
4万5千円以上	76	2.4%
3万5千円以上～4万5千円未満	96	3.1%
3万円以上～3万5千円未満	121	3.9%
2万5千円以上～3万円未満	223	7.2%
2万円以上～2万5千円未満	338	10.9%
1万5千円以上～2万円未満	609	19.6%
1万円以上～1万5千円未満	889	28.6%
1万円未満	760	24.4%
計	3,112	100.0%

選択している報酬体系

回答	件数	構成比
平均工賃月額に応じた報酬体系	1,878	61.2%
利用者の就労や生産活動等への参加等をもって一律に評価する報酬体系	1,192	38.8%
計	3,070	100.0%



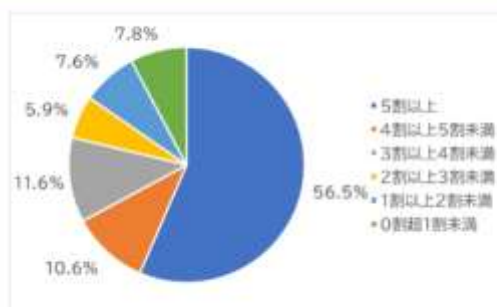
- ・ 就労定着率（就労移行支援のみ回答）

就労定着率は、5割以上が56.5%で半数以上の回答を占めたが、1割台にとどまっている事業所が7.8%(46件)あった。

Q15.就労定着率(就労移行支援のみ回答) R3年度実績

- 就労定着率は、5割以上が56.5%で半数以上の回答を占めたが、1割台にとどまっている事業所が7.8%(46件)あった

回答	件数	構成比
5割以上	335	56.5%
4割以上5割未満	63	10.6%
3割以上4割未満	69	11.6%
2割以上3割未満	35	5.9%
1割以上2割未満	45	7.6%
0割超1割未満	46	7.8%
計	593	100.0%

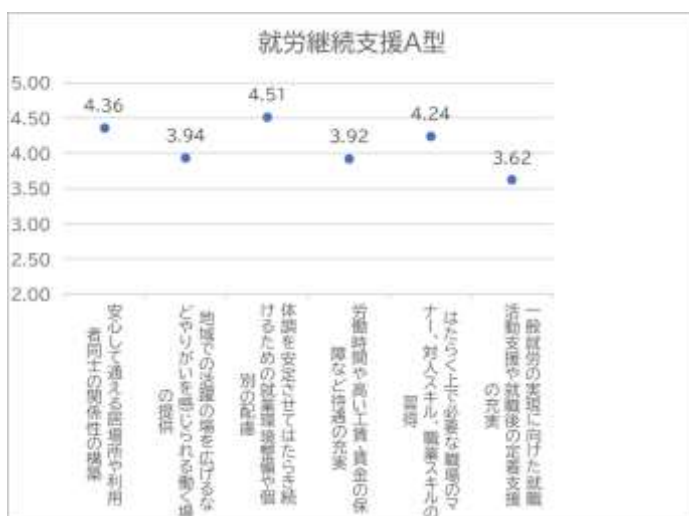
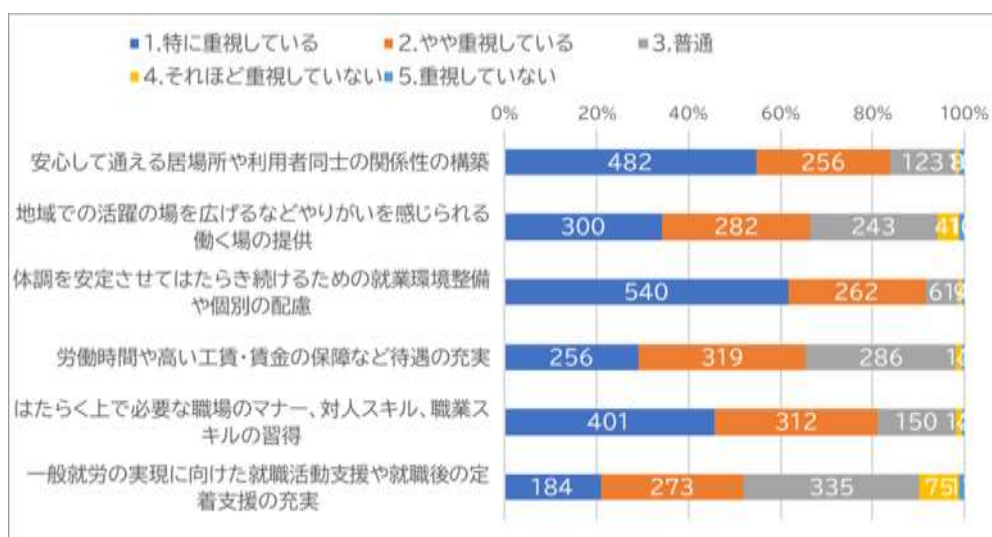


- ・ 利用者への支援方針として事業所として重視する事項

就労継続支援 A 型では、加重平均で見た場合「体調を安定させてはたらし続けるための就業環境整備や個別の配慮」4.51pt で最も高く、次いで「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が 4.36pt、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が 4.24pt となっており、利用者が職場で安心・安定してはたらし続けられるための支援が重視されていることがわかる。

Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労A>

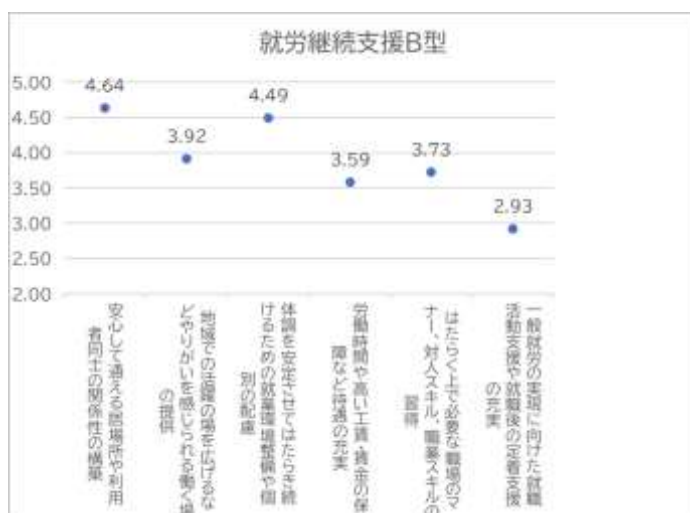
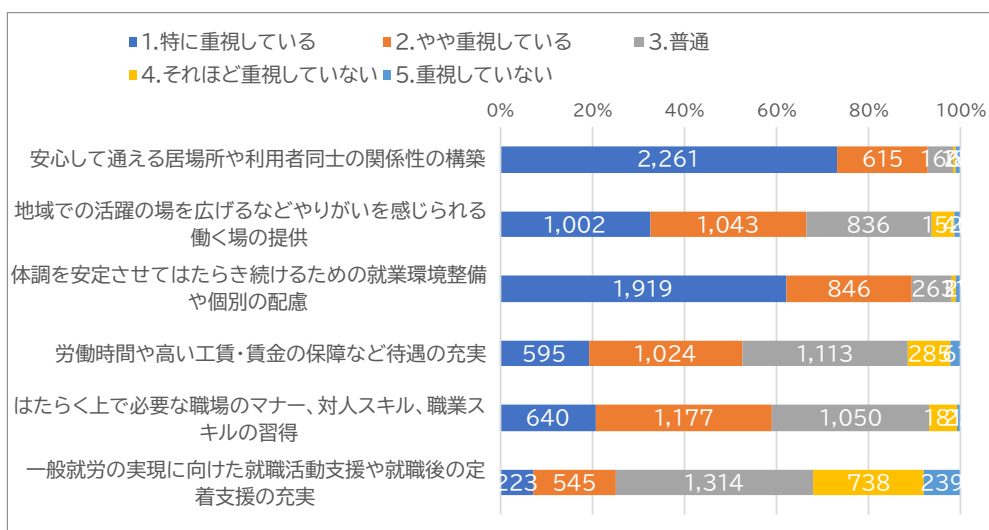
- 就労Aでは、「体調を安定させてはたらし続けるための就業環境整備や個別の配慮」が1.（特に重視している）と2.（やや重視している）の割合が91.6%で最も多く、次いで「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が84.0%、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が81.1%となっており、利用者が職場で安心・安定してはたらし続けられるための支援が重視されている
- 一方で、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」は3.（普通）以下の割合が50%弱となっており、それほど重視している事業所が多くないという結果となった



就労継続支援 B 型では、加重平均で見た場合「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」4.64pで最も高く、次いで「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」が 4.49pとこの 2 項目が特に高い。一方、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」2.93pと、就労 B では他の場所への就職に関する支援はあまり重視している事業所がないという結果となった。

Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労B>

- 就労Bでは、「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」が回答1. と2. の割合が93.1%、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」が89.7%と突出して高い
- 一方、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」は3.（普通）以下の割合が約75%となっており、就労Bでは他の場所への就職に関する支援はあまり重視している事業所がないという結果となった

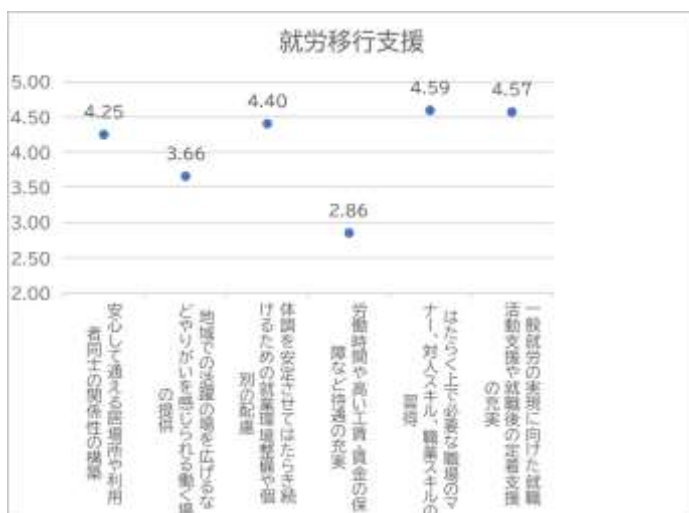
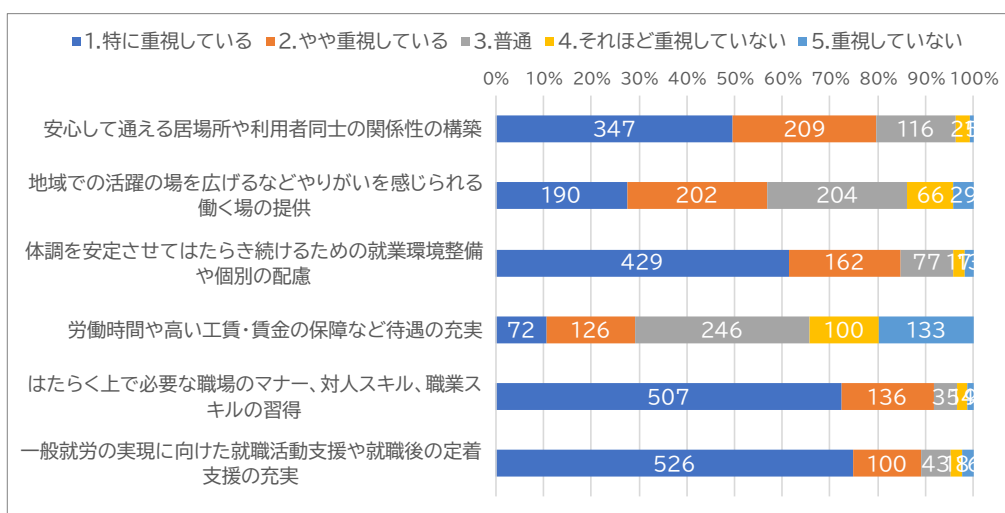


就労移行では、加重平均で見ると「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」が4.59p、「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」が4.57pと高く、やはり就職に向けた支援が特に重視されている。

そのほか、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」(4.4p)や「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」(4.25p)も高く、事業所内ではたらく環境整備についてもよく重視されている項目であることがわかる。

Q16.利用者への支援方針として事業所として重視する事項<就労移行>

- 就労移行では、「はたらく上で必要な職場のマナー、対人スキル、職業スキルの習得」の回答1.と2.の割合が91.7%で最も多く、次いで「一般就労の実現に向けた就職活動支援や就職後の定着支援の充実」が89.0%となっており、やはり就職に向けた支援が特に重視されている
- そのほか、「体調を安定させてはたらき続けるための就業環境整備や個別の配慮」(84.7%)や「安心して通える居場所や利用者同士の関係性の構築」(79.7%)も多く、事業所内ではたらく環境整備についてもよく重視されている項目であることがわかった



- ・ 個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか
希望の確認方法(複数回答)は面談が最も多く30.7%、次いで日常会話が27.3%となっており、面談の頻度では「半年に1回程度」が54.3%で最も多かった。半年という期間は制度上のモニタリングのタイミングであることが多いため、個別支援計画の更新とあわせ、希望を確認しているものと思われる。

Q17.個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか

- 希望の確認方法(MA)は面談が最も多く30.7%、次いで日常会話27.3%となっており、面談の頻度では「半年に1回程度」が54.3%で最も多かった(半年=モニタリング時期)

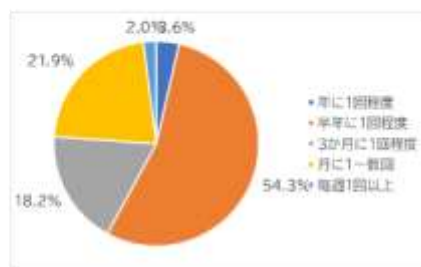
Q17.個別支援計画の策定やモニタリング時などに、どのように本人の希望を確認しているか当てはまるものを全て選択して下さい。

回答	件数	構成比
面談	4087	30.7%
日常会話	3636	27.3%
相談支援事業所からの情報提供	2891	21.7%
家族からの聞き取り	2491	18.7%
その他	204	1.5%
計	13,309	100.0%



→面談を選択された方のみ回答して下さい。頻度を選択して下さい。

回答	件数	構成比
年に1回程度	147	3.6%
半年に1回程度	2226	54.3%
3か月に1回程度	744	18.2%
月に1~数回	896	21.9%
毎週1回以上	83	2.0%
計	4,096	100.0%



- ・ 利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか

就労移行支援では、「ほとんどの利用者が変わる」と「半数程度は変わる」の合計が733件(74.9%)と多くなっている。就労継続支援 A 型及び B 型でも「半数程度は変わる」は4割程度あったが、「あまり変わることがない」も同様に4割程度ある結果となっている。

Q19.利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか

- 就労移行では「ほとんどの利用者が変わる」と「半数程度は変わる」の合計が74.9%と多くなっている。就労A・Bでも「半数程度は変わる」は4割程度あったが、「あまり変わることがない」も同様に4割程度ある結果となっている

Q19.利用者の希望について、貴事業所での支援を受けたことにより、利用開始当初と変わる割合はどの程度あるか回答して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ほとんどの利用者が変わる	733	17.2%	164	31.1%	121	14.1%	448	15.6%
半数程度は変わる	1,742	40.9%	231	43.8%	402	46.8%	1,109	38.6%
あまり変わることがない	1,686	39.6%	124	23.5%	323	37.6%	1,239	43.2%
変わることがほぼない	95	2.2%	8	1.5%	13	1.5%	74	2.6%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ 個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか

就労移行支援では、差異が生じてる割合が3割程度と他の2事業よりも10%程度多い。全体としては「あまり差異が生じることはない」が多く、70.3%と最も多かった。

Q20.個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか

- 就労移行では差異が生じてる割合が3割程度と他の2事業よりも10%程度多い。全体では「あまり差異が生じることはない」が70.3%と最も多かった

Q20.個別支援計画等の方針について、利用者の希望と事業所の見立てで差異が生じる割合はどの程度あるか回答して下さい。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
ほとんどの利用者と差異が生じる	102	2.4%	27	5.1%	19	2.2%	56	2.0%
半数程度は差異が生じる	870	20.4%	147	27.9%	169	19.7%	554	19.3%
あまり差異が生じることはない	2,990	70.3%	318	60.3%	620	72.2%	2,052	71.5%
差異が生じることはほぼない	294	6.9%	35	6.6%	51	5.9%	208	7.2%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

就労継続支援 A 型及び B 型の傾向はほぼ同じで「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が 7 割超程度だが、就労移行支援のみ同割合が 85%を超えており、支援の見直しを行っている事業所の割合が比較的多い傾向が見られる。

Q21.<利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

- 就労A・Bの傾向はほぼ同じだが、就労移行のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が85%を超えている

Q21.利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について
希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直すことが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	797	18.7%	168	31.9%	142	16.5%	487	17.0%
たまにある	2,586	60.8%	286	54.3%	502	58.4%	1,798	62.6%
あまりない	825	19.4%	68	12.9%	205	23.9%	552	19.2%
全くない	48	1.1%	5	0.9%	10	1.2%	33	1.1%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

就労継続支援 A 型及び B 型の傾向はほぼ同じで「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が 7 割超程度だが、就労移行支援のみ同割合が 85%を超えており、他機関協働により対応している事業所の割合が比較的多い傾向が見られる。

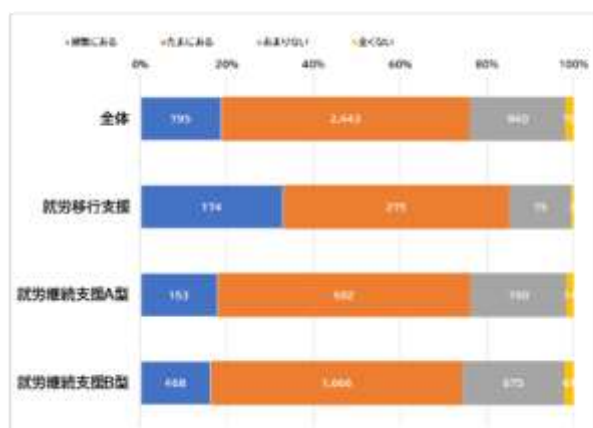
Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

- 就労A・Bの傾向はほぼ同じだが、就労移行のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が85%を超え、他機関協働により対応している事業所が多いことが伺える

希望に添えるよう、他機関・地域で連携を図って対応することが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	795	18.7%	174	33.0%	153	17.8%	468	16.3%
たまにある	2,443	57.4%	275	52.2%	502	58.4%	1,666	58.0%
あまりない	940	22.1%	75	14.2%	190	22.1%	675	23.5%
全くない	78	1.8%	3	0.6%	14	1.6%	61	2.1%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が86.2%あり、大部分が既存の支援の枠内で対応できている状況という回答だった。中でも、就労移行支援では92.1%と高く、既存の支援の枠組みで多くの希望に対し対応できているという結果となった。

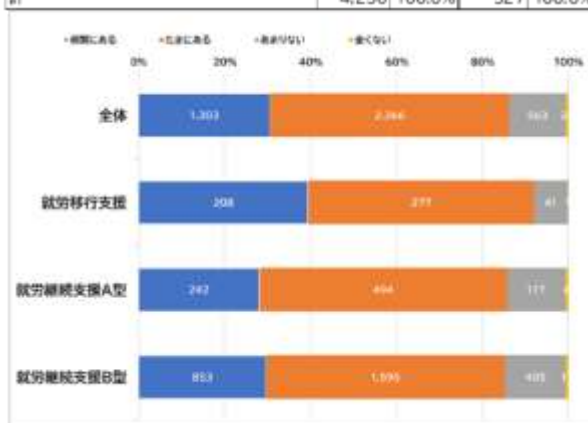
Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

- 全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が86.2%あり、大部分が既存の支援の支援の枠内で対応できている状況という回答だった
- 就労移行のみ9割弱でほとんどが対応できているという結果となった

希望に対し既存の支援の枠内で対応できることが、どのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	1,303	30.6%	208	39.5%	242	28.2%	853	29.7%
たまにある	2,366	55.6%	277	52.6%	494	57.5%	1,595	55.6%
あまりない	563	13.2%	41	7.8%	117	13.6%	405	14.1%
全くない	24	0.6%	1	0.2%	6	0.7%	17	0.6%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

全体では「頻繁にある」という回答は3.0%と少なく、「たまにある」が48.4%と最も多かった。一方、「あまりない」以下も合わせて48.7%と半数程度あり、事業所として対応できないと判断する場面はそれほど多くないということが推定できる。

Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

- 全体では「頻繁にある」という回答は3.0%と少なく、「たまにある」が48.4%と最も多かった。一方、「あまりない」以下も合わせて48.7%と半数程度あった

希望を聞いた上で、アセスメント等専門的見地から、対応はむずかしいと決定することがどのくらいあるか

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	126	3.0%	16	3.0%	25	2.9%	85	3.0%
たまにある	2,058	48.4%	265	50.3%	408	47.5%	1,385	48.3%
あまりない	1,962	46.1%	233	44.2%	407	47.4%	1,322	46.1%
全くない	110	2.6%	13	2.5%	19	2.2%	78	2.7%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答は25.3%でそれほど多くない一方、「全くない」が19.0%(809件)あり、希望が実現されなくても事業所を移るまで至っていないケースが多いと思われる。この中では、就労移行支援のみ「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答が3割弱と若干多い傾向が出ている。

Q21. <利用者の希望と事業所の見立てを踏まえた個別支援計画等の支援方針に、差異がある場合の対応について>

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

- 全体では「頻繁にある」「たまにある」を合わせた回答は25.3%でそれほど多くない一方、「全くない」が19.0%(809件)あり、希望が実現されなくても事業所を移るまで至っていないケースが多いと思われる。就労移行のみ3割弱と若干多い

希望に対応・実現できなかった場合、その利用者が他の事業所へ移るケースはどのくらいあるか

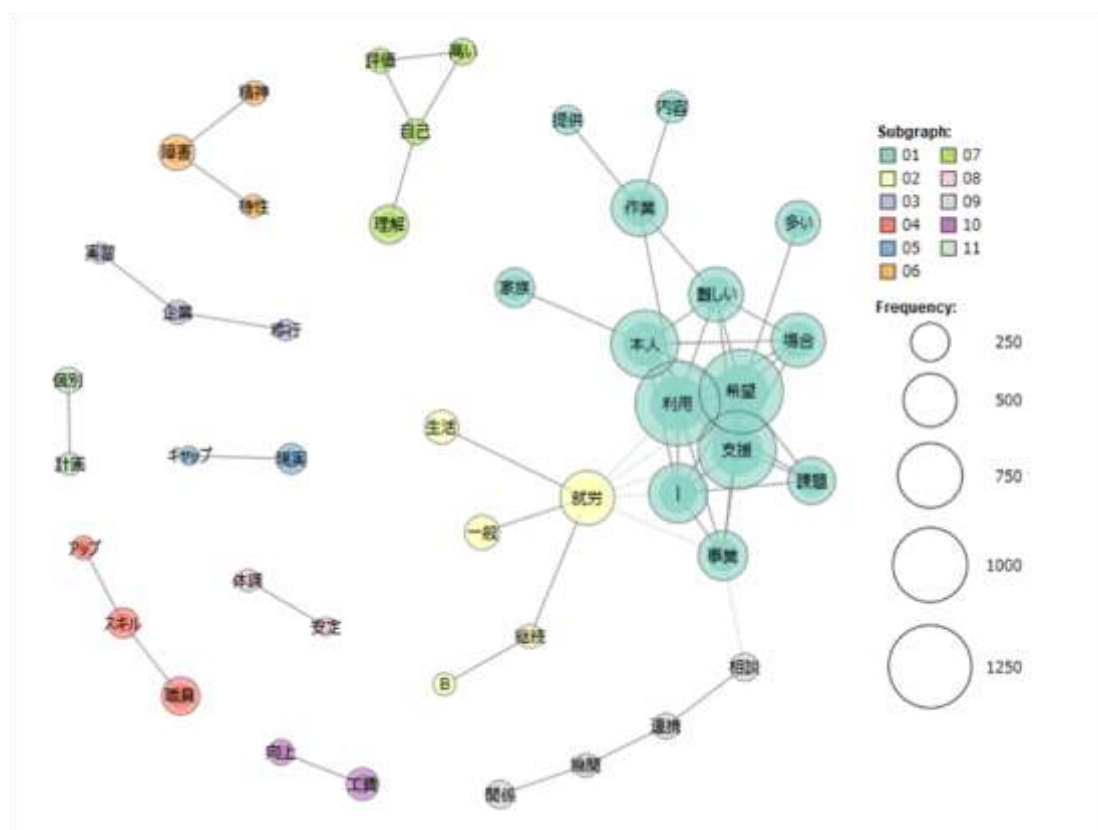
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
頻繁にある	18	0.4%	2	0.4%	3	0.3%	13	0.5%
たまにある	1,058	24.9%	155	29.4%	186	21.7%	717	25.0%
あまりない	2,371	55.7%	284	53.9%	490	57.0%	1,597	55.6%
全くない	809	19.0%	86	16.3%	180	21.0%	543	18.9%
計	4,256	100.0%	527	100.0%	859	100.0%	2,870	100.0%



- ・ 利用者の希望に応じた支援を実施する上での課題(自由回答)

回答数が 2,436 件と多大な数があるため、以下にはテキストマイニングによる集計結果を示した。円の大きいものでキーワードの数の多さを視覚的に示し、各ワードの関係性を線で示しているが、この中では、「本人」に関連し「支援」「希望」「利用」に、「作業」「内容」「提供」「課題」「難しい」などがつながり、その外延に「連携」「機関」などで事業所外への「相談」があるように見られる。そのほか、自己理解・評価と言ったワードや現実・ギャップ、体調・安定など本人自身の課題と思われるデータが分布している。

Q22.利用者の希望に応じた支援を実施する上での課題



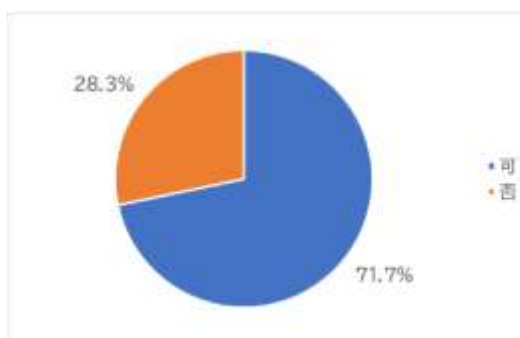
- ・ 「利用者向け調査」への協力可否
「利用者向け調査」への協力可否 71.7%の事業所が「可」と回答があった。この中から、次項の利用者調査への協力依頼をセグメント別は無作為抽出し 874 事業所へ送付した。

Q23. 「利用者向け調査」への協力可否

- 71.7%の事業所が「可」と回答
→ 利用者調査協力依頼先(送付数)：874事業所

Q23.今回調査終了後、無作為抽出で選ばれた利用者の方(1事業所当たり5名以内の予定)を対象に、利用者向け調査を予定しています。

回答	件数	構成比
可	3053	71.7%
否	1203	28.3%
計	4,256	100.0%



3.2.2 利用者調査

<調査仕様>

- 調査方法：【利用者調査票】紙面または Web アンケート方式
【利用者情報票】Web アンケート方式(対象利用者に関する属性
情報等を協力事業所に対し提供依頼)
- 調査対象(抽出方法)
 - ① 事業所調査において利用者調査への協力可否について「可」の回答だった
3,053 事業所のうち、事業種別+利用者の主な障害種別(身体障害、知的
障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病)でセグメント分け
 - ② 回答に協力いただく利用者を事業所が恣意的に指定できないよう、上記セ
グメント別に 1 事業所当たり 1~7 名の調査対象利用者を、事業所調査で
収集した利用者 ID から無作為抽出
- 連絡方法：【利用者調査票】上記対象者が利用する事業所 874 カ所を通じて
本人宛に依頼文等を配布(事業所より手渡しまたは
郵送)
【利用者情報票】上記利用者調査の依頼に合わせ、協力事業所に対
し情報提供を依頼
- 調査期間:2022/11/7(月)~2022/11/25(金)
- 配布数: 874 事業所 3,397 人
- 回収数(回収率):2,022 件(59.5%)
- 調査内容
【利用者調査票】
 - ◇ Q1~Q6:基本情報
 - ・ 事業所番号、利用者 ID、事業種別、年代、性別、居住状況
 - ◇ Q7~Q10:利用の経緯等について
 - ・ 直近の通所先、利用の経緯・理由、利用開始当初のウォンツ
 - ◇ Q11~Q15:現在の仕事等について
 - ・ 現在のウォンツ、現在の仕事・訓練、仕事に対する支援、支援に対す
る満足度、希望する支援
 - ◇ Q16~24:賃金・工賃、勤務時間について
 - ・ 1週当たりの労働日数、1日当たりの労働時間、調査前月の工賃・賃
金の額、障害年金の等級、労働時間に対する満足度、希望する労働
日数・時間、工賃・賃金に対する満足度、希望する工賃・賃金の額
 - ◇ Q25~27:一般就労に向けた支援について
 - ・ 一般就労に向けて受けている支援、支援に対する満足度、希望する
支援

- ✧ Q28～30:体調管理や人間関係などの支援について
 - ・ 体調管理や人間関係などに関して受けている支援、支援に対する満足度、希望する支援
- ✧ Q31～35:事業所での居場所や仲間づくりについて
 - ・ 現事業所は自分らしく過ごせる居場所だと思うか、事業所や同僚への信頼感、居場所づくり・仲間づくりに関して受けている支援、支援に対する満足度、希望する支援
- ✧ Q36～37:現在の事業所に対する印象について
 - ・ 事業所への相談の有無・頻度・対応、相談の希望、現在の事業所に通ってよかったと思うか・その理由、利用者自身の変化
- ✧ Q39～41:今後の希望について
 - ・ 就労に関する今後の希望・実現したい時期・実現したいこと、就労を通じてできるようになりたいこと、今後希望する暮らし
- ✧ Q41～42:アンケートの回答方法
 - ・ アンケートの回答方法、補助者、支援の度合い

◆ 調査結果

事業種別・年齢・性別

回答利用者の利用している事業種別は、就労継続支援 A 型・B 型がともに700件弱で40%弱ずつ、就労移行が400件強となった。

回答者の年齢は、全体と就労継続支援 A 型では 20～64 才に約9割が集中しているが、就労移行支援では 18～59 才に 98.8%、就労継続支援 B 型では 20～64 才が 85.0%で、65歳以上に 13.1%と、事業によりコアの年齢層が異なる結果となっている。

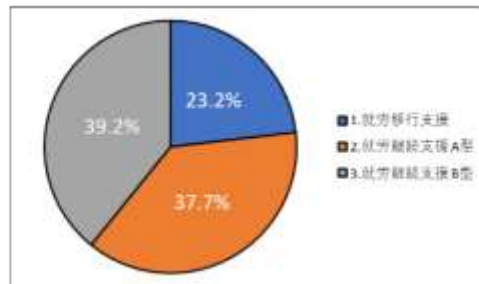
また、性別については、どの事業でも、男性が65%前後と多くなっている。

Q3. 事業種別

- 回答利用者の利用している事業種別は、就労A・Bがともに700件弱で40%弱ずつ、就労移行が400件強となった

Q3. 事業種別

回答	全体	
	件数	構成比
1.就労移行支援	408	23.2%
2.就労継続支援A型	664	37.7%
3.就労継続支援B型	690	39.2%
計	1,762	100.0%

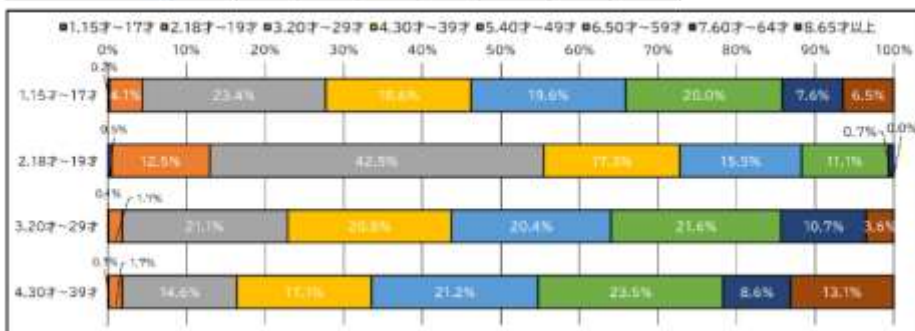


Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

- 回答者の年齢は、全体と就労Aでは20～64才に約9割が集中しているが、就労移行では18～59才に98.8%、就労Bでは20～64才が85.0%で65歳以上に13.1%と、事業によりコアの年齢層がちがう結果となっている

Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

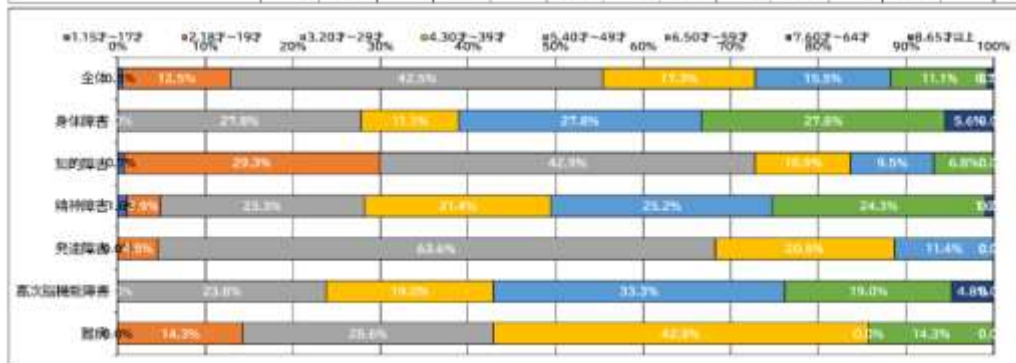
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.15才～17才	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
2.18才～19才	79	4.1%	54	12.5%	12	1.7%	13	1.7%
3.20才～29才	447	23.4%	184	42.5%	153	21.1%	110	14.6%
4.30才～39才	355	18.6%	75	17.3%	151	20.8%	129	17.1%
5.40才～49才	375	19.6%	67	15.5%	148	20.4%	160	21.2%
6.50才～59才	382	20.0%	48	11.1%	157	21.6%	177	23.5%
7.60才～64才	146	7.6%	3	0.7%	78	10.7%	65	8.6%
8.65才以上	125	6.5%	0	0.0%	26	3.6%	99	13.1%
計	1,913	100.0%	433	100.0%	726	100.0%	754	100.0%



Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)移行

Q4. あなたの年齢をおしえてください。(選択は1つ)

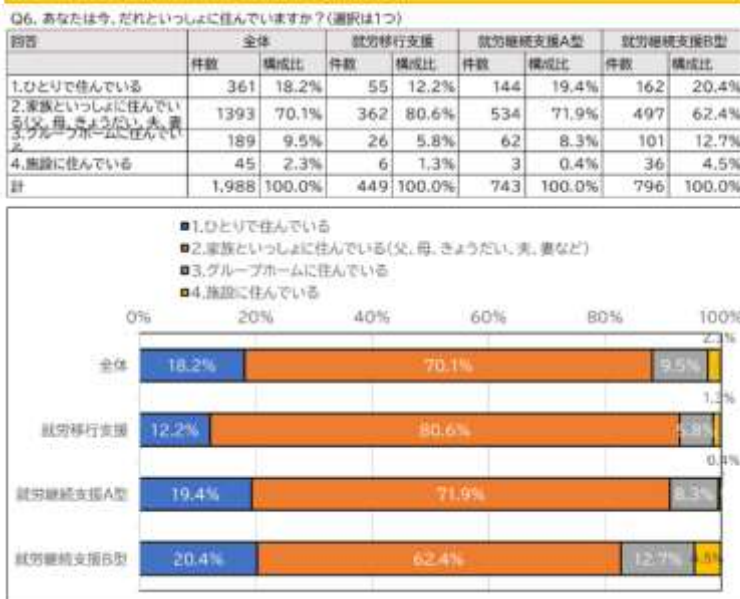
回答	全体		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		認知	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.15才～17才	2	0.5%	0	0.0%	1	0.7%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2.18才～19才	54	12.5%	0	0.0%	43	29.3%	4	3.9%	6	4.5%	0	0.0%	1	14.3%
3.20才～29才	184	42.5%	5	27.8%	63	42.9%	24	23.3%	84	63.6%	5	23.8%	2	28.6%
4.30才～39才	75	17.3%	2	11.1%	16	10.9%	22	21.4%	27	20.5%	4	19.0%	3	42.9%
5.40才～49才	67	15.5%	5	27.8%	14	9.5%	26	25.2%	15	11.4%	7	33.3%	0	0.0%
6.50才～59才	48	11.1%	5	27.8%	10	6.8%	25	24.3%	0	0.0%	4	19.0%	1	14.3%
7.60才～64才	3	0.7%	1	5.6%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
8.65才以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	433	100.0%	18	100.0%	147	100.0%	103	100.0%	132	100.0%	21	100.0%	7	100.0%



- あなたは今、だれといっしょに住んでいますか？
全体では家族と同居が70.1%で最も多く、次いでひとり暮らし(18.2%)だった。ひとり暮らしは就労継続支援 A 型・B 型で2割前後と多く、就労移行支援では約8割が家族同居だった。

Q6. あなたは今、だれといっしょに住んでいますか？(選択は1つ)

- 全体では家族と同居が70.1%で最も多く、次いでひとり暮らし(18.2%)だった。ひとり暮らしは就労A・Bで2割前後と多く、就労移行では約8割が家族同居だった。



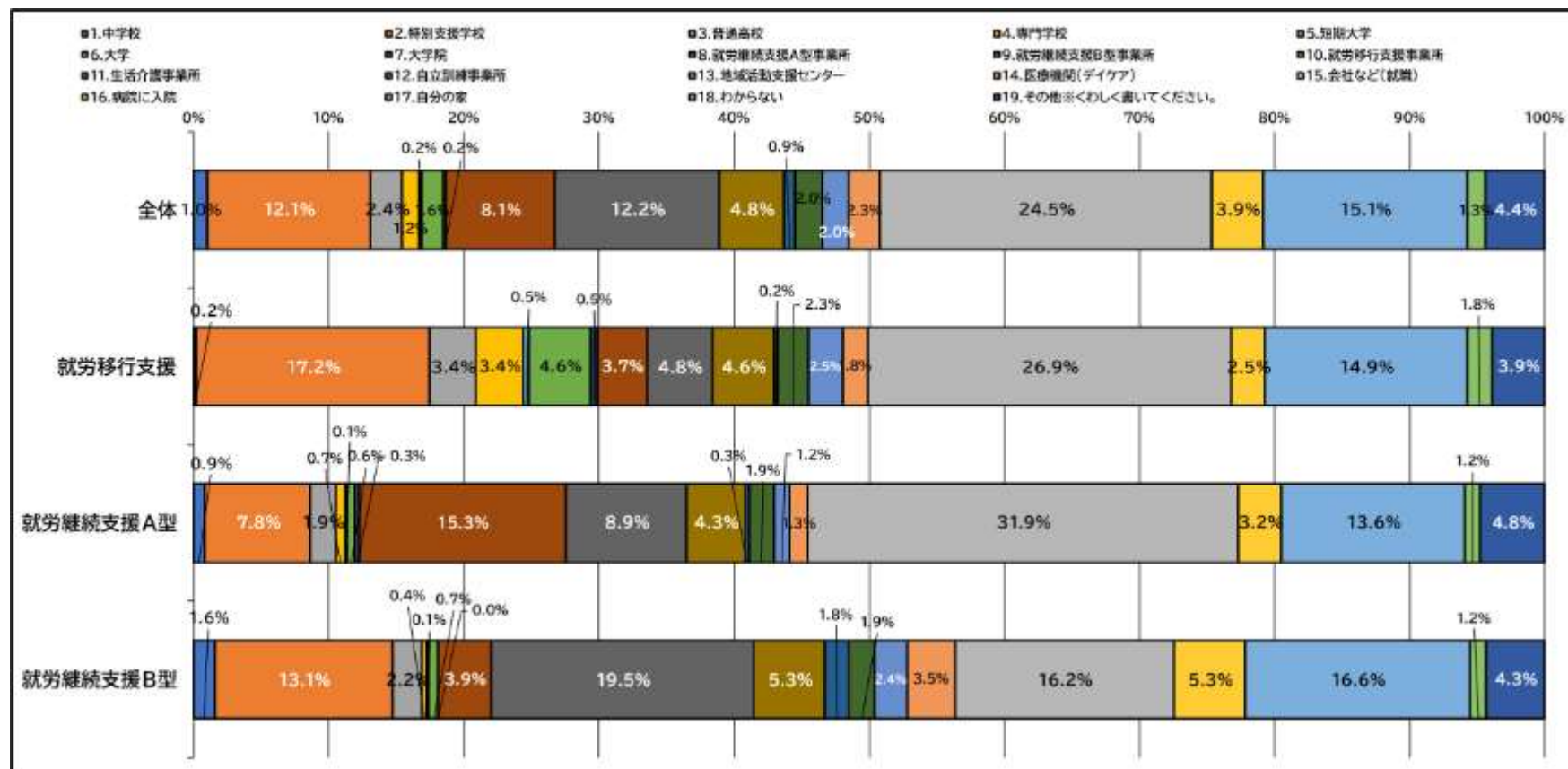
- ・ 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？

就労移行支援と就労継続支援 A 型で「会社など(就職)」が3割前後と多く、全体でも24.5%で最も多い。一方、就労継続支援 B 型では他の B 型事業所からという回答が19.5%と最も多かった。次いで自宅という答えが多いが、就労移行支援と就労継続支援 B 型では「特別支援学校」が15%前後あった。特に就労移行支援では、大学が4.6%、普通学校及び専門学校がともに3.4%と、特別支援学校以外の教育機関からの割合も一定程度あった。

Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？ (選択は1つ)

Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.中学校	19	1.0%	1	0.2%	6	0.9%	12	1.6%
2.特別支援学校	226	12.1%	75	17.2%	54	7.8%	97	13.1%
3.普通高校	44	2.4%	15	3.4%	13	1.9%	16	2.2%
4.専門学校	23	1.2%	15	3.4%	5	0.7%	3	0.4%
5.短期大学	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
6.大学	29	1.6%	20	4.6%	4	0.6%	5	0.7%
7.大学院	4	0.2%	2	0.5%	2	0.3%	0	0.0%
8.就労継続支援A型事業所	151	8.1%	16	3.7%	106	15.3%	29	3.9%
9.就労継続支援B型事業所	227	12.2%	21	4.8%	62	8.9%	144	19.5%
10.就労移行支援事業所	89	4.8%	20	4.6%	30	4.3%	39	5.3%
11.生活介護事業所	16	0.9%	1	0.2%	2	0.3%	13	1.8%
12.自立訓練事業所	37	2.0%	10	2.3%	13	1.9%	14	1.9%
13.地域活動支援センター	37	2.0%	11	2.5%	8	1.2%	18	2.4%
14.医療機関(デイケア)	43	2.3%	8	1.8%	9	1.3%	26	3.5%
15.会社など(就職)	458	24.5%	117	26.9%	221	31.9%	120	16.2%
16.病院に入院	72	3.9%	11	2.5%	22	3.2%	39	5.3%
17.自分の家	282	15.1%	65	14.9%	94	13.6%	123	16.6%
18.わからない	25	1.3%	8	1.8%	8	1.2%	9	1.2%
19.その他※くわしく書いてください。	82	4.4%	17	3.9%	33	4.8%	32	4.3%
計	1,868	100.0%	435	100.0%	693	100.0%	740	100.0%



- ・ 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？

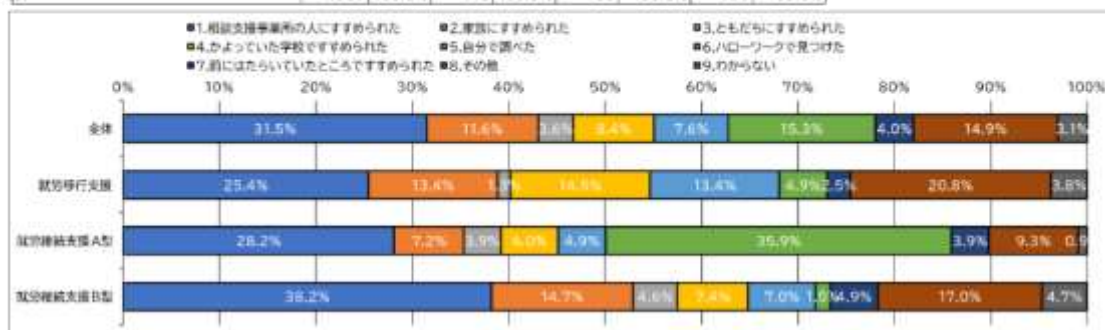
相談支援事業所からの紹介が全体では31.5%で最も多く、各事業でも多くなっている。
就労移行支援では学校、家族、自分で調べたという割合がいずれも14%前後で比較的多く、就労継続支援 A 型では、ハローワークで見つけた割合が最も多く35.9%だった。

Q8. 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？ (選択は1つ)

- 相談支援事業所からの紹介が全体では3割強、各事業でも多くなっている
- 就労移行では学校、家族、自分で調べたという割合が14%弱で比較的多い
- 就労Aでは、ハローワークで見つけた割合が最も多く35.9%だった

Q8. 今かよっている事業所はどのようにして知りましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.相談支援事業所の人にすすめられた	627	31.5%	114	25.4%	212	28.2%	301	38.2%
2.家族にすすめられた	230	11.6%	60	13.4%	54	7.2%	116	14.7%
3.ともだちにすすめられた	71	3.6%	6	1.3%	29	3.9%	36	4.6%
4.かよっていた学校ですすめられた	168	8.4%	65	14.5%	45	6.0%	58	7.4%
5.自分で調べた	152	7.6%	60	13.4%	37	4.9%	55	7.0%
6.ハローワークで見つけた	304	15.3%	22	4.9%	270	35.9%	12	1.5%
7.前にはたっていたところですすめられた	79	4.0%	11	2.5%	29	3.9%	39	4.9%
8.その他	297	14.9%	93	20.8%	70	9.3%	134	17.0%
9.わからない	61	3.1%	17	3.8%	7	0.9%	37	4.7%
計	1,989	100.0%	448	100.0%	753	100.0%	788	100.0%



- ・ 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？

全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%で、全事業でも最も多い回答だった。就労移行支援では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている。

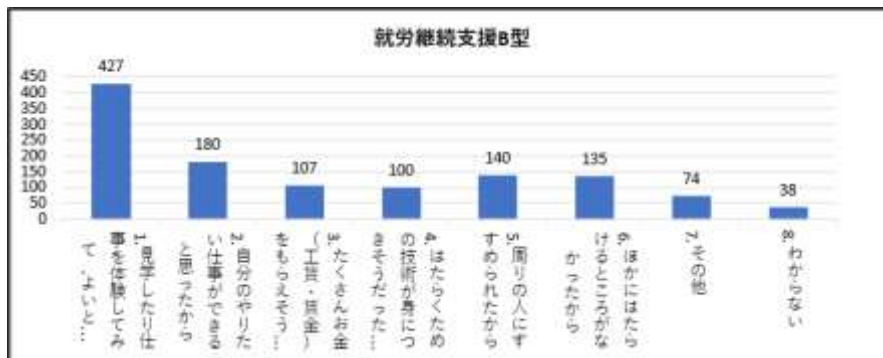
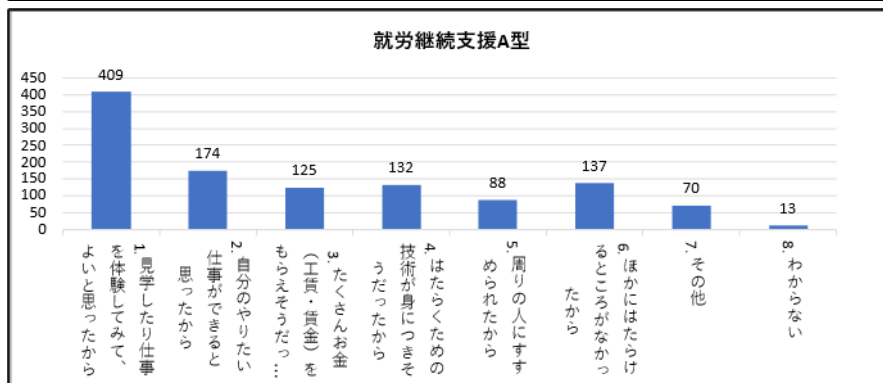
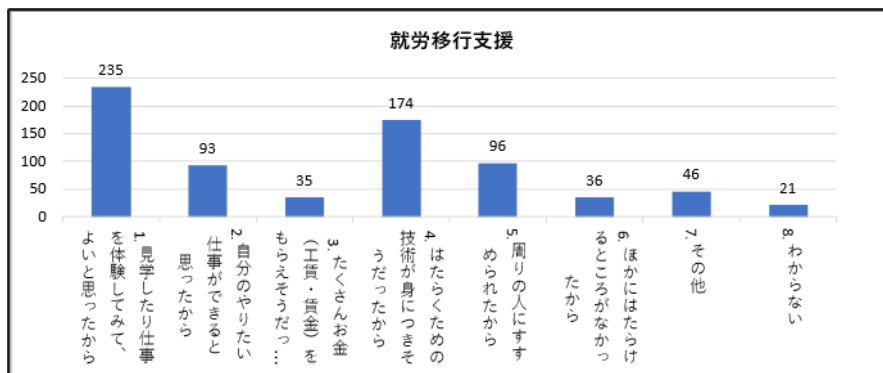
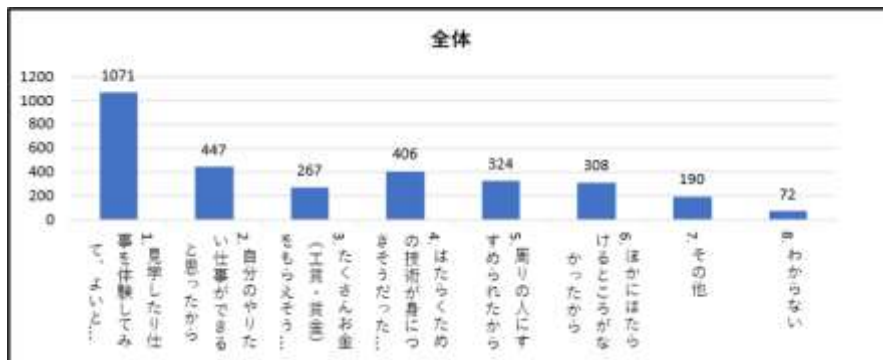
就労継続支援A型・B型では「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で、いずれの事業でも15%前後だった。

Q9. 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%、全事業でも最も多かった
- 就労移行では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている
- 就労A・Bでは「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で15%前後だった

Q9. 今かよっている事業所ではたらきたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから	1071	34.7%	235	31.9%	409	35.6%	427	35.6%
2.自分のやりたい仕事ができると思ったから	447	14.5%	93	12.6%	174	15.2%	180	15.0%
3.たくさんお金(工賃・賃金)をもらえそうだったから	267	8.7%	35	4.8%	125	10.9%	107	8.9%
4.はたらくための技術が身につくそうだったから	406	13.2%	174	23.6%	132	11.5%	100	8.3%
5.周りの人にすすめられたから	324	10.5%	96	13.0%	88	7.7%	140	11.7%
6.ほかにはたけるところがなかったから	308	10.0%	36	4.9%	137	11.9%	135	11.2%
7.その他	190	6.2%	46	6.3%	70	6.1%	74	6.2%
8.わからない	72	2.3%	21	2.9%	13	1.1%	38	3.2%
計	3,085	100.0%	736	100.0%	1,148	100.0%	1,201	100.0%



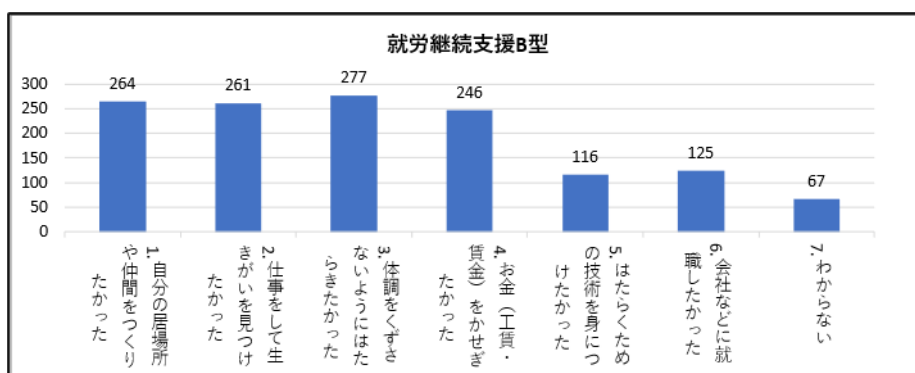
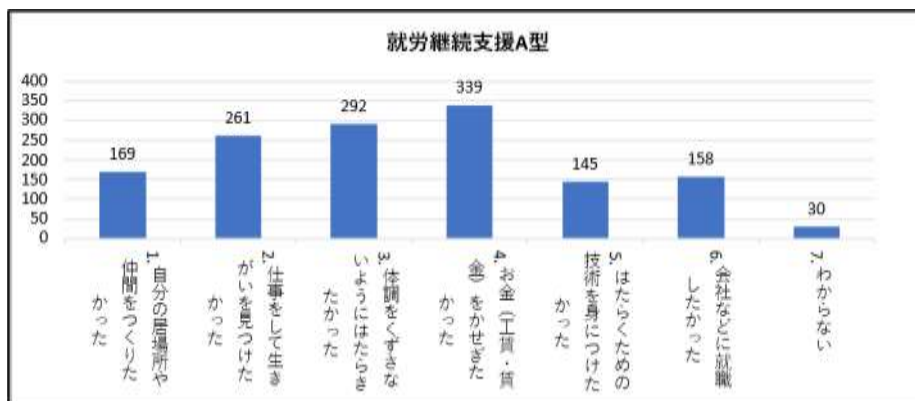
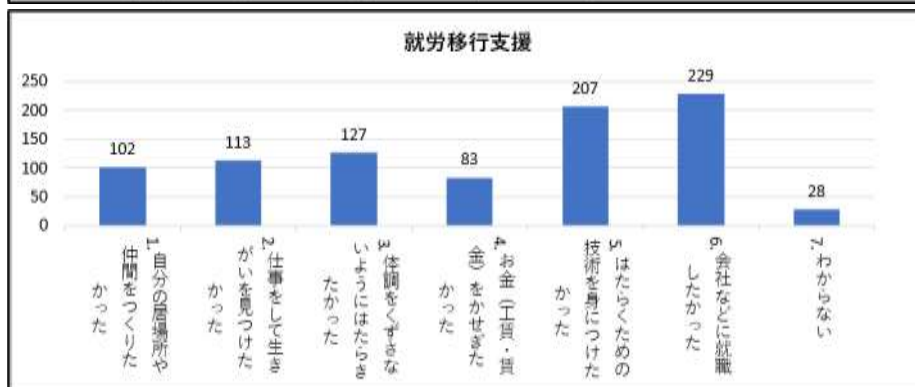
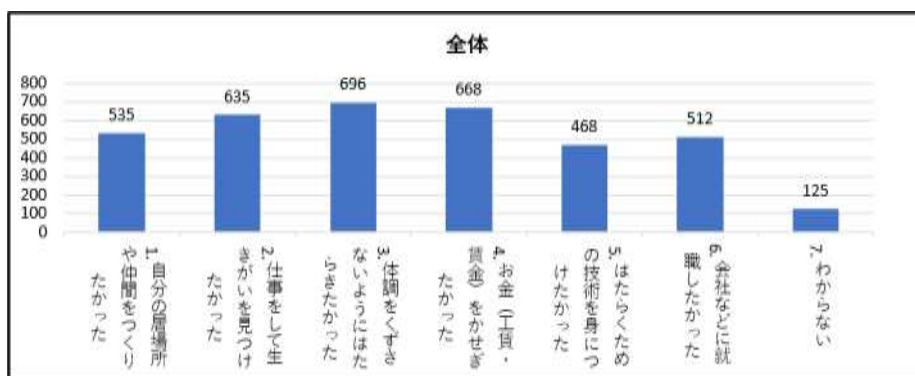
- ・ 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？
- ・ 利用開始当初の本人の希望については、全体では各選択肢おおむね13～18%で大きな差がなかった。就労移行支援では「6.会社などに就職したかった」が25.8%で最も多く、次いで「5.はたらくための技術を身につけたかった」が23.3%で、就労継続支援A型では「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」が24.3%で最も多く、次いで「3.体調をくずさないようにはたらきたかった(20.9%)」「2.仕事をして生きがいを見つけたかった(18.7%)」が多かった。就労継続支援B型では、「1.自分の居場所や仲間をつくりたかった」～「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」がすべて20%前後で大きな特徴は出なかった。

Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？(選択はいくつでも)

- 利用開始当初の本人の希望については、全体では各選択肢おおむね13～18%で大きな差がなかった
- 就労移行では「6.会社などに就職したかった」が25.8%で最も多く、次いで「5.はたらくための技術を身につけたかった」が23.3%だった
- 就労Aでは「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」が24.3%で最も多く、次いで「3.体調をくずさないようにはたらきたかった(20.9%)」「2.仕事をして生きがいを見つけたかった(18.7%)」が多かった
- 就労Bでは、1.～4.がすべて20%前後で大きな特徴は出なかった

Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたかった	535	14.7%	102	11.5%	169	12.1%	264	19.5%
2.仕事をして生きがいを見つけたかった	635	17.4%	113	12.7%	261	18.7%	261	19.2%
3.体調をくずさないようにはたらきたかった	696	19.1%	127	14.3%	292	20.9%	277	20.4%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった	668	18.4%	83	9.3%	339	24.3%	246	18.1%
5.はたらくための技術を身につけたかった	468	12.9%	207	23.3%	145	10.4%	116	8.6%
6.会社などに就職したかった	512	14.1%	229	25.8%	158	11.3%	125	9.2%
7.わからない	125	3.4%	28	3.1%	30	2.2%	67	4.9%
計	3,639	100.0%	889	100.0%	1,394	100.0%	1,356	100.0%



- ・ 今、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？

現在の本人の希望については、全体では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が28.3%で最も多く、次いで「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が19.8%だった。就労移行支援では「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が42.6%で突出して多かった。就労継続支援A型・B型では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が30%を超えて最も多く、次いで「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」が20%前後となっている。

Q11. 今、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

- 現在の本人の希望については、全体では「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が28.3%で最も多く、次いで「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が19.8%だった
- 就労移行支援では「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」が42.6%で突出して多かった
- 就労A・Bでは「3.体調をくずさないようにはたらきたい」が30%を超えて最も多く、次いで「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」が20%前後となっている

Q11. 今、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたい	188	10.4%	30	7.3%	42	6.3%	116	16.1%
2.仕事をして生きがいを見つけたい	215	11.9%	34	8.3%	79	11.8%	102	14.1%
3.体調をくずさないようにはたらきたい	510	28.3%	62	15.1%	228	34.0%	220	30.5%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	317	17.6%	40	9.7%	145	21.6%	132	18.3%
5.はたらくための技術を身につけたい	140	7.8%	54	13.1%	53	7.9%	33	4.6%
6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい	357	19.8%	175	42.6%	100	14.9%	82	11.4%
7.わからない	77	4.3%	16	3.9%	24	3.6%	37	5.1%
計	1,804	100.0%	411	100.0%	671	100.0%	722	100.0%



- あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？

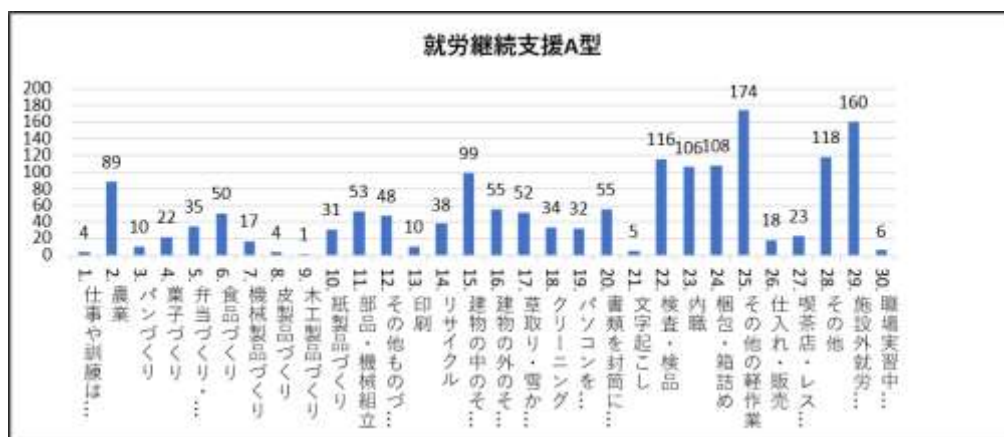
全事業で「その他の軽作業」が最も多いが、就労 A では「施設外就労」が 10.2%「検査・検品」「内職」「梱包・箱詰め」が7%前後が続く。就労移行では2位が「建物の中のそうじ」で 8.4%、就労 B では「内職」が 10.5%で2位となっている。

Q12. あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？ (選択はいくつでも)

- 全事業で「その他の軽作業」が最も多いが、就労 A では「施設外就労」が 10.2%「検査・検品」「内職」「梱包・箱詰め」が7%前後が続く。就労移行では2位が「建物の中のそうじ」で 8.4%、就労 B では「内職」が 10.5%で2位となっている。

Q12. あなたは、ふだん事業所でどんな仕事や訓練をしていますか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.仕事や訓練はしていない	33	0.8%	15	1.3%	4	0.3%	14	0.9%
2.農業	188	4.3%	36	3.2%	89	5.7%	63	3.9%
3.パンづくり	35	0.8%	8	0.7%	10	0.6%	17	1.0%
4.菓子づくり	59	1.4%	5	0.4%	22	1.4%	32	2.0%
5.弁当づくり・配達	63	1.5%	5	0.4%	35	2.2%	23	1.4%
6.食品づくり	87	2.0%	10	0.9%	50	3.2%	27	1.7%
7.機械製品づくり	32	0.7%	4	0.4%	17	1.1%	11	0.7%
8.皮製品づくり	13	0.3%	2	0.2%	4	0.3%	7	0.4%
9.木工製品づくり	18	0.4%	6	0.5%	1	0.1%	11	0.7%
10.紙製品づくり	114	2.6%	28	2.5%	31	2.0%	55	3.4%
11.部品・機械組立	167	3.9%	40	3.6%	53	3.4%	74	4.5%
12.その他ものづくり	168	3.9%	35	3.1%	48	3.1%	85	5.2%
13.印刷	31	0.7%	15	1.3%	10	0.6%	6	0.4%
14.リサイクル	103	2.4%	3	0.3%	38	2.4%	62	3.8%
15.建物の中のそうじ	281	6.5%	94	8.4%	99	6.3%	88	5.4%
16.建物の外のそうじ	149	3.4%	43	3.8%	55	3.5%	51	3.1%
17.草取り・雪かき・配達	181	4.2%	46	4.1%	52	3.3%	83	5.1%
18.クリーニング	87	2.0%	17	1.5%	34	2.2%	36	2.2%
19.パソコンを使った設計やプログラミングなど	140	3.2%	76	6.8%	32	2.0%	32	2.0%
20.書類を封筒に入れる・仕分け・発送	175	4.0%	60	5.4%	55	3.5%	60	3.7%
21.文字起こし	30	0.7%	17	1.5%	5	0.3%	8	0.5%
22.検査・検品	279	6.4%	63	5.6%	116	7.4%	100	6.1%
23.内職	344	7.9%	66	5.9%	106	6.7%	172	10.5%
24.梱包・箱詰め	232	5.4%	55	4.9%	108	6.9%	69	4.2%
25.その他の軽作業	517	11.9%	113	10.1%	174	11.1%	230	14.1%
26.仕入れ・販売	51	1.2%	15	1.3%	18	1.1%	18	1.1%
27.喫茶店・レストラン	54	1.2%	10	0.9%	23	1.5%	21	1.3%
28.その他	346	8.0%	124	11.1%	118	7.5%	104	6.4%
29.施設外就労(みんなで違う会社にはたらきに出かける)職種を記入して下さい。	297	6.9%	66	5.9%	160	10.2%	71	4.3%
30.職場実習中(就職などに向けて会社で仕事を試す)実習内容を記入して下さい。	55	1.3%	44	3.9%	6	0.4%	5	0.3%
計	4,329	100.0%	1,121	100.0%	1,573	100.0%	1,635	100.0%



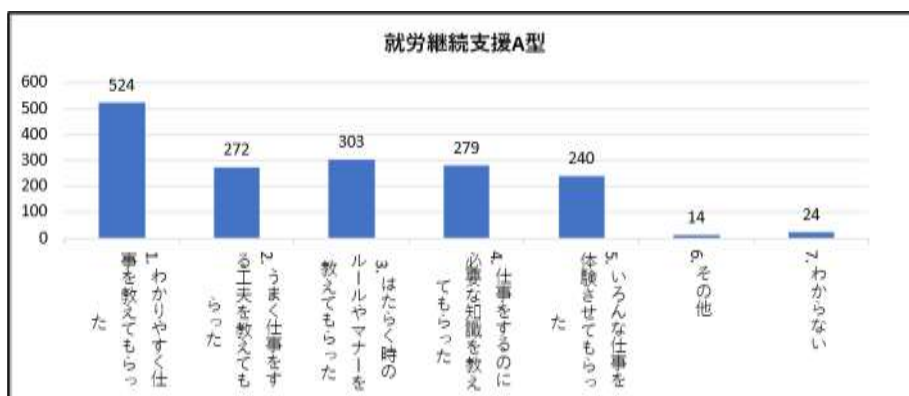
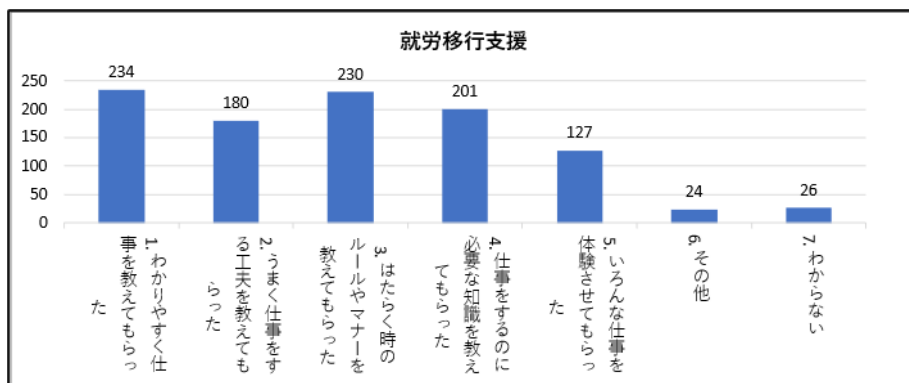
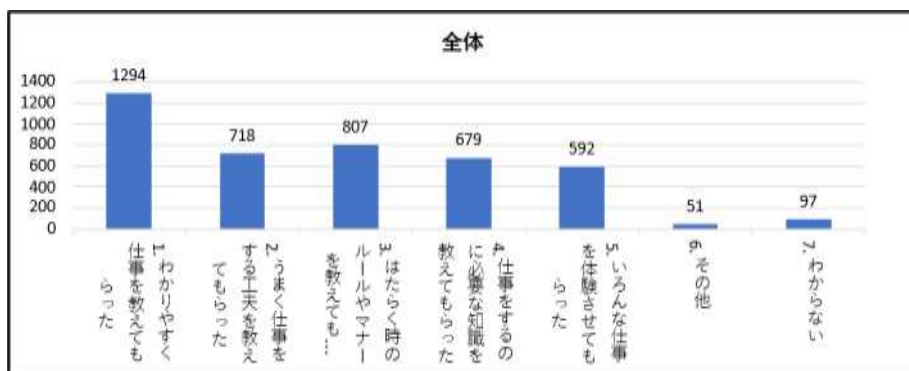
- ・ 仕事をはじめるときや、はじめる前に、スタッフさんからどんなことをしてもらいましたか？
全体では「1.わかりやすく仕事を教えてもらった」が30.5%で最も多く、以下「2.うまく仕事をする工夫を教えてもらった」～「4.仕事をするのに必要な知識を教えてもらった」が20%弱で並んでいる。
就労移行支援では「1.わかりやすく仕事を教えてもらった」が22.9%で最も多いが、「3.はたらく時のルールやマナーを教えてもらった」が22.5%、「4.仕事をするのに必要な知識を教えてもらった」が19.7%と同程度だった。就労継続支援A型では、ほぼ全体と同じ割合だった「1.わかりやすく仕事を教えてもらった」が31.6%、「2.うまく仕事をする工夫を教えてもらった」～「4.仕事をするのに必要な知識を教えてもらった」が20%弱で並んでいる。就労継続支援B型でも、「1.わかりやすく仕事を教えてもらった」が34.4%と最も多く、次いで「3.はたらく時のルールやマナーを教えてもらった」が17.6%となっている。

Q13. 仕事をはじめるときや、はじめる前に、スタッフさんからどんなことをしてもらいましたか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.わかりやすく仕事を教えてもらった」が約30%で最も多く、以下2.～4.が20%弱で並んでいる
- 就労移行では1.が22.9%で最も多いが、「3.はたらく時のルールやマナーを教えてもらった」が22.5%、「4.仕事をするのに必要な知識を教えてもらった」が19.7%と同程度だった。
- 就労Aではほぼ全体と同じ割合だった1.が31.6%、2.～4.が20%弱で並んでいる
- 就労Bでも1.が34.4%と最も多く、次いで3.が17.6%となっている

Q13. 仕事をはじめるときや、はじめる前に、スタッフさんからどんなことをしてもらいましたか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.わかりやすく仕事を教えてもらった	1294	30.5%	234	22.9%	524	31.6%	536	34.4%
2.うまく仕事をする工夫を教えてもらった	718	16.9%	180	17.6%	272	16.4%	266	17.1%
3.はたらく時のルールやマナーを教えてもらった	807	19.0%	230	22.5%	303	18.3%	274	17.6%
4.仕事をするのに必要な知識を教えてもらった	679	16.0%	201	19.7%	279	16.8%	199	12.8%
5.いろんな仕事を体験させてもらった	592	14.0%	127	12.4%	240	14.5%	225	14.4%
6.その他	51	1.2%	24	2.3%	14	0.8%	13	0.8%
7.わからない	97	2.3%	26	2.5%	24	1.4%	47	3.0%
計	4,238	100.0%	1,022	100.0%	1,656	100.0%	1,560	100.0%



- ・ 今の仕事や訓練には、どれぐらい満足していますか？

全体では、「1.とても満足している+2.満足している」(以下「満足率」という。)が62%で、「4.不満がある+5.とても不満がある」(以下「不満率」という。)は4.8%だった。

事業別では、就労継続支援 A 型の満足率が57.6%、不満率が6.5%と、他の2事業よりも若干不満の割合が多い。

加重平均で見ると、就労継続支援 B 型が3.94pで最も高く、全体では3.87pだった。

Q14. 今の仕事や訓練には、どれぐらい満足していますか？(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が62%で、4.+5.の「不満」は4.8%だった
- 事業別では、就労Aの1.+2.が57.6%、4.+5.が6.5%と、他の2事業よりも若干不満の割合が多い

Q14. 今の仕事や訓練には、どれぐらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	566	28.6%	130	29.3%	192	25.7%	244	31.0%
2.満足している	659	33.4%	166	37.4%	238	31.9%	255	32.4%
3.普通	594	30.1%	116	26.1%	252	33.8%	226	28.8%
4.不満がある	72	3.6%	12	2.7%	42	5.6%	18	2.3%
5.とても不満がある	24	1.2%	8	1.8%	7	0.9%	9	1.1%
6.わからない	61	3.1%	12	2.7%	15	2.0%	34	4.3%
計	1,976	100.0%	444	100.0%	746	100.0%	786	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q14仕事や訓練の満足度	3.87	3.92	3.77	3.94

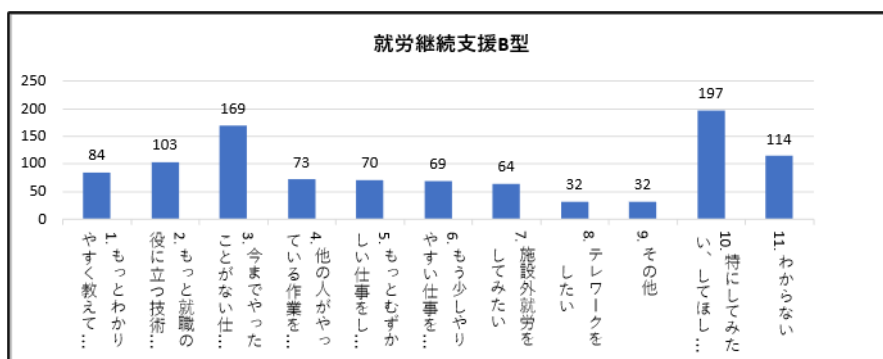
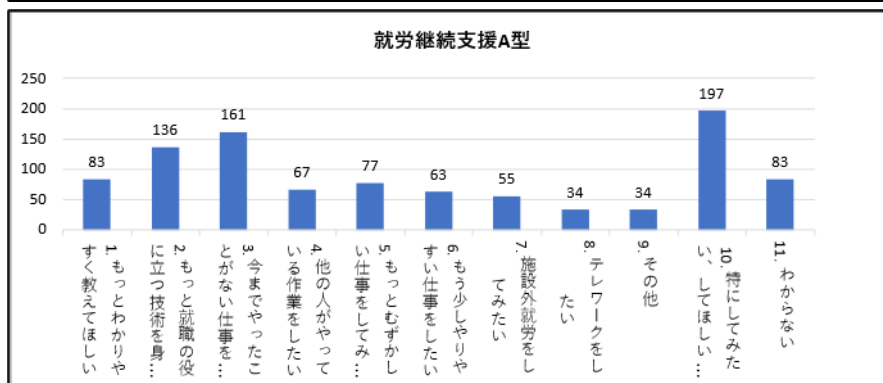
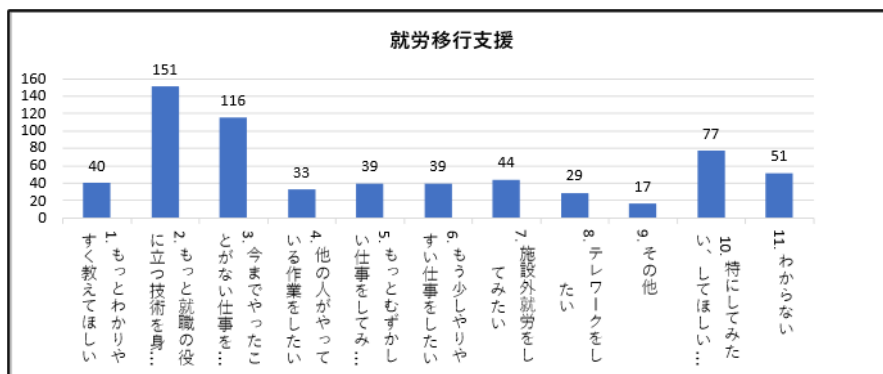
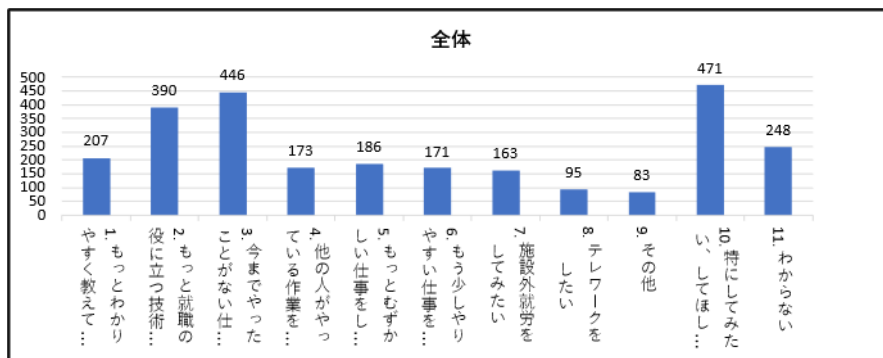
- ・ 仕事や訓練について、してみたい、してほしいと思うことはどんなことですか？
全体では「10.特にしてみたい、してほしいことはない」が17.9%で最も多く、就労継続支援A型・B型ではともに20%弱で多くなっている。
就労移行支援では「2.もっと就職の役に立つ技術を身につけたい」が23.7%で最も多く、次いで「3.今までやったことがない仕事をしてみたい」が18.2%となっている。
就労継続支援A型・B型では「3.今までやったことがない仕事をしてみたい」がともに16%強で2番目、「2.もっと就職の役に立つ技術を身につけたい」が次に続いている。

Q15. 仕事や訓練について、してみたい、してほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「10.特にしてみたい、してほしいことはない」が17.9%で最も多く、就労A・Bでは20%弱となっている
- 就労移行では「2.もっと就職の役に立つ技術を身につけたい」が23.7%で最も多く、次いで「3.今までやったことがない仕事をしてみたい」が18.2%となっている
- 就労A・Bでは「3.今までやったことがない仕事をしてみたい」が16%強で2番目、「2.もっと就職の役に立つ技術を身につけたい」が次に続いている

Q15. 仕事や訓練について、してみたい、してほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.もっとわかりやすく教えてほしい	207	7.9%	40	6.3%	83	8.4%	84	8.3%
2.もっと就職の役に立つ技術を身につけたい	390	14.8%	151	23.7%	136	13.7%	103	10.2%
3.今までやったことがない仕事をしてみたい	446	16.9%	116	18.2%	161	16.3%	169	16.8%
4.他の人がやっている作業をしたい	173	6.6%	33	5.2%	67	6.8%	73	7.2%
5.もっとむずかしい仕事をしてみたい	186	7.1%	39	6.1%	77	7.8%	70	7.0%
6.もう少しやりやすい仕事をしたい	171	6.5%	39	6.1%	63	6.4%	69	6.9%
7.施設外就労をしてみたい	163	6.2%	44	6.9%	55	5.6%	64	6.4%
8.テレワークをしたい	95	3.6%	29	4.6%	34	3.4%	32	3.2%
9.その他	83	3.2%	17	2.7%	34	3.4%	32	3.2%
10.特にしてみたい、してほしいことはない	471	17.9%	77	12.1%	197	19.9%	197	19.6%
11.わからない	248	9.4%	51	8.0%	83	8.4%	114	11.3%
計	2,633	100.0%	636	100.0%	990	100.0%	1,007	100.0%



- 先月は、1週間のうち何日ぐらい、はたらきましたか？
全項目で「5.週5日ぐらい」が最も多く、就労継続支援 A 型では約8割が 5.の回答だった。就労継続支援 B 型では 5.の割合が 57.1%と減り、「3.週3回ぐらい」「4.週4回ぐらい」が12～3%程度あった。

Q16. 先月は、1週間のうち何日ぐらい、はたらきましたか？ (選択は1つ)

- 全項目で「5.週5日ぐらい」が最も多く、就労Aでは約8割の回答だった
- 就労Bでは5.の割合が57.1%と減り、「3.週3回ぐらい」「4.週4回ぐらい」が12～3%程度あった

Q16. 先月は、1週間のうち何日ぐらい、はたらきましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.週1日ぐらい	40	2.1%	11	2.7%	6	0.8%	23	2.9%
2.週2日ぐらい	83	4.3%	18	4.4%	9	1.2%	56	7.1%
3.週3日ぐらい	134	6.9%	23	5.7%	18	2.4%	93	11.8%
4.週4日ぐらい	198	10.2%	33	8.1%	61	8.2%	104	13.2%
5.週5日ぐらい	1282	66.0%	251	61.7%	581	77.8%	450	57.1%
6.週6日ぐらい	121	6.2%	25	6.1%	57	7.6%	39	4.9%
7.わからない	84	4.3%	46	11.3%	15	2.0%	23	2.9%
計	1,942	100.0%	407	100.0%	747	100.0%	788	100.0%



- ・ 先月は、毎日何時間ぐらい、はたらいていましたか？

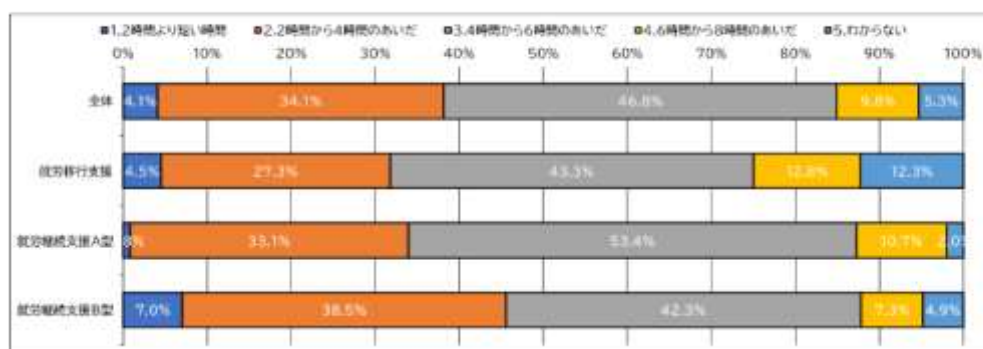
全項目で「3. 4時間から6時間のあいだ」が最も多く、就労継続支援 A 型では 53.4%と半数を超えている。就労継続支援 B 型では「3. 4時間から6時間のあいだ」と「2. 2時間から4時間のあいだ」が 40%前後でおおむね二分している。

Q17. 先月は、毎日何時間ぐらい、はたらいていましたか？(選択は1つ)

- 全項目で「3. 4時間から6時間のあいだ」が最も多く、就労Aでは53.4%と半数を超えている
- 就労Bでは3.と「2. 2時間から4時間のあいだ」が40%前後で近い

Q17. 先月は、毎日何時間ぐらい、はたらいていましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.2時間より短い時間	79	4.1%	18	4.5%	6	0.8%	55	7.0%
2.2時間から4時間のあいだ	657	34.1%	109	27.3%	247	33.1%	301	38.5%
3.4時間から6時間のあいだ	902	46.8%	173	43.3%	398	53.4%	331	42.3%
4.6時間から8時間のあいだ	188	9.8%	51	12.8%	80	10.7%	57	7.3%
5.わからない	102	5.3%	49	12.3%	15	2.0%	38	4.9%
計	1,928	100.0%	400	100.0%	746	100.0%	782	100.0%



- ・ 先月のお給料(工賃・賃金)の金額を教えてください。

就労移行支援では0が38.1%、1～20,000円が41%で全体の8割を占める。就労継続支援A型では60,001～100,000円の割合が約7割を占め、3事業の中でもやはり一番高い。就労継続支援B型では1～30,000円の割合が82.7%だが、0の割合も最も低かった。

Q18. 先月のお給料(工賃・賃金)の金額を教えてください。

- 就労移行では0が38.1%、1～20000円が41%で全体の8割を占める
- 就労Aでは60001～100000円の割合が約7割を占める
- 就労Bでは1～30000円の割合が82.7%だが、0の割合も最も低かった

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	145	8.6%	118	38.1%	16	2.4%	11	1.6%
1～10000	340	20.2%	78	25.2%	17	2.6%	245	34.7%
10001～20000	289	17.2%	49	15.8%	12	1.8%	228	32.3%
20001～30000	147	8.8%	28	9.0%	8	1.2%	111	15.7%
30001～40000	86	5.1%	18	5.8%	9	1.4%	59	8.4%
40001～50000	37	2.2%	3	1.0%	13	2.0%	21	3.0%
50001～60000	51	3.0%	4	1.3%	31	4.7%	16	2.3%
60001～70000	116	6.9%	0	0.0%	110	16.6%	6	0.8%
70001～80000	166	9.9%	0	0.0%	165	24.8%	1	0.1%
80001～90000	142	8.5%	2	0.6%	138	20.8%	2	0.3%
90001～100000	76	4.5%	4	1.3%	72	10.8%	0	0.0%
100001～110000	33	2.0%	0	0.0%	33	5.0%	0	0.0%
110001～120000	15	0.9%	1	0.3%	12	1.8%	2	0.3%
120001～130000	9	0.5%	0	0.0%	9	1.4%	0	0.0%
130001～140000	8	0.5%	0	0.0%	8	1.2%	0	0.0%
140001～150000	8	0.5%	2	0.6%	5	0.8%	1	0.1%
150001～160000	2	0.1%	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%
160001～170000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
170001～180000	2	0.1%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%
180001～190000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
190001～200000	1	0.1%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
200001～	7	0.4%	2	0.6%	3	0.5%	2	0.3%
計	1,680	100.0%	310	100.0%	664	100.0%	706	100.0%

- ・ 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。

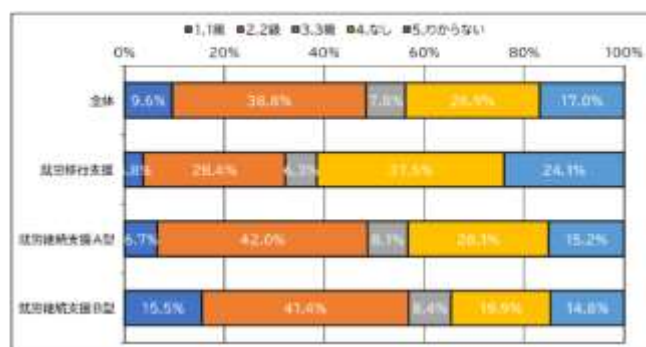
全体では「2級」が38.8%で最も多く、就労継続支援 A 型・B 型ではともに 40%を超えて多くなっている。一方で、就労移行支援では「なし」が37.5%最も多く、就労継続支援 B 型では「1.1級」も 15.5%となっている。

Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。(選択は1つ)

- 全体では「2.2級」が38.8%で最も多く、就労A・Bでは40%を超えて多くなっている。一方で就労移行では「3.なし」が37.5%最も多く、就労Bでは「1.1級」も15.5%となっている

Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.1級	173	9.6%	15	3.8%	46	6.7%	112	15.5%
2.2級	702	38.8%	112	28.4%	290	42.0%	300	41.4%
3.3級	142	7.8%	25	6.3%	56	8.1%	61	8.4%
4.なし	486	26.9%	148	37.5%	194	28.1%	144	19.9%
5.わからない	307	17.0%	95	24.1%	105	15.2%	107	14.8%
計	1,810	100.0%	395	100.0%	691	100.0%	724	100.0%



- ・ あなたがはたらく時間の長さに、どれくらい満足していますか？

全体では、満足率が49.8%でほぼ半数、不満率は7.1%だった。事業別では、就労継続支援A型の満足率が49.8%、不満率が10.3%と、他の2事業よりも若干不満の割合が多い。

加重平均で見ると、就労継続支援B型が3.73pで最も高く、全体では3.64pだった。

Q20. あなたがはたらく時間の長さに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が49.8%でほぼ半数、4.+5.の「不満」は7.1%だった
- 事業別では、就労Aの1.+2.が49.8%、4.+5.が10.3%と、他の2事業よりも若干不満の割合が多い

Q20. あなたがはたらく時間の長さに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	371	19.0%	67	16.3%	136	18.0%	168	21.3%
2.満足している	603	30.8%	110	26.7%	240	31.8%	253	32.0%
3.普通	744	38.0%	163	39.6%	289	38.3%	292	37.0%
4.不満がある	121	6.2%	23	5.6%	66	8.8%	32	4.1%
5.とても不満がある	18	0.9%	2	0.5%	11	1.5%	5	0.6%
6.わからない	99	5.1%	47	11.4%	12	1.6%	40	5.1%
計	1,956	100.0%	412	100.0%	754	100.0%	790	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q20仕事の長さへの満足度	3.64	3.59	3.57	3.73

- あなたは1週間のうち、何日ぐらいはたらきたいと思っていますか？
全項目で「5.週5日ぐらい」が最も多く、就労継続支援 A 型では 73.8%の回答だった。
就労継続支援 B 型では 5.の割合が 57.4%と他より少なく、次いで「4.週4回ぐらい」が 12.6%で、「1.週1回ぐらい」という回答についても 1.7%あり、他事業よりも特に多かった。

Q21. あなたは1週間のうち、何日ぐらいはたらきたいと思っていますか？(選択は1つ)

- 全項目で「5.週5日ぐらい」が最も多く、就労Aでは73.8%の回答だった
- 就労Bでは5.の割合が57.4%と他より少なく、次いで「4.週4回ぐらい」が12.6%だった。一方で「1.週1回ぐらい」が1.7%あった

Q21. あなたは1週間のうち、何日ぐらいはたらきたいと思っていますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.週1日ぐらい	16	0.8%	3	0.7%	0	0.0%	13	1.7%
2.週2日ぐらい	52	2.6%	6	1.4%	5	0.7%	41	5.2%
3.週3日ぐらい	115	5.8%	26	5.9%	15	2.0%	74	9.4%
4.週4日ぐらい	241	12.2%	56	12.8%	86	11.5%	99	12.6%
5.週5日ぐらい	1304	66.1%	299	68.4%	553	73.8%	452	57.4%
6.週6日ぐらい	161	8.2%	25	5.7%	69	9.2%	67	8.5%
7.わからない	84	4.3%	22	5.0%	21	2.8%	41	5.2%
計	1,973	100.0%	437	100.0%	749	100.0%	787	100.0%



- ・ あなたは1日何時間ぐらい、はたらきたいと思っていますか？

全体では「4時間から6時間のあいだ」が最も多く、就労継続支援 A 型では 50.7%と半数を超えている。就労移行支援では「6 時間から 8 時間のあいだ」が 44.3%で最も多く、他2つよりも長く働きたいという回答が多い。就労継続支援 B 型では「4時間から6時間のあいだ」が最も多く 43.1%、「2時間から4時間のあいだ」が 29.6%と2番目に多い。

Q22. あなたは1日何時間ぐらい、はたらきたいと思っていますか？(選択は1つ)

- 全体では「3.4時間から6時間のあいだ」が最も多く、就労Aでは50.7%と半数を超えている
- 就労移行では「4.6時間から8時間のあいだ」が44.3%で最も多く、他2つよりも長く働きたいという回答が多い
- 就労Bでは「2.2時間から4時間のあいだ」が29.6%と2番目に多い

Q22. あなたは1日何時間ぐらい、はたらきたいと思っていますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.2時間より短い時間	50	2.5%	5	1.1%	3	0.4%	42	5.3%
2.2時間から4時間のあいだ	402	20.4%	35	8.0%	133	17.8%	234	29.6%
3.4時間から6時間のあいだ	885	44.8%	165	37.8%	379	50.7%	341	43.1%
4.6時間から8時間のあいだ	518	26.2%	193	44.3%	204	27.3%	121	15.3%
5.わからない	119	6.0%	38	8.7%	28	3.7%	53	6.7%
計	1,974	100.0%	436	100.0%	747	100.0%	791	100.0%



- 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれぐらい満足していますか？
 全体では、満足率が37.5%と多少低めで、不満率は15.9%だった。
 事業別では、就労継続支援A型・B型の不満率が16～17%と高く、就労移行では「6.わからない」が34.6%と特徴的な結果が出ている。また、就労継続支援A型に関しては、満足率が42.6%と他2事業よりも高い。
 加重平均で見ると、全体では3.37pと、満足度を出した設問の中では最も低かった。

Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれぐらい満足していますか？(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が37.5%と多少低めで、4.+5.の「不満」は15.9%だった
- 事業別では、就労A・Bの4.+5.が16～17%と高く、就労移行では「6.わからない」が34.6%と特徴的な結果が出ている
- 就労Aは、1.+2.の割合が42.6%と他2事業よりも高い

Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれぐらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	294	15.3%	42	11.1%	116	15.4%	136	17.3%
2.満足している	426	22.2%	47	12.4%	205	27.2%	174	22.1%
3.普通	689	35.9%	110	29.0%	293	38.9%	286	36.4%
4.不満がある	230	12.0%	32	8.4%	96	12.7%	102	13.0%
5.とても不満がある	75	3.9%	17	4.5%	28	3.7%	30	3.8%
6.わからない	204	10.6%	131	34.6%	15	2.0%	58	7.4%
計	1,918	100.0%	379	100.0%	753	100.0%	786	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q23給料・工賃の満足度	3.37	3.26	3.39	3.39

- あなたは1か月いくらぐらいのお給料(工賃・賃金)をほしいと思いますか？

10万円以上の収入がほしいと思う回答の割合は、就労移行では53.5%、就労Aでは62.0%、就労Bでは13.7%となっている。就労Bでは1～30000円の割合が63.1%と多くの割合を占めた。

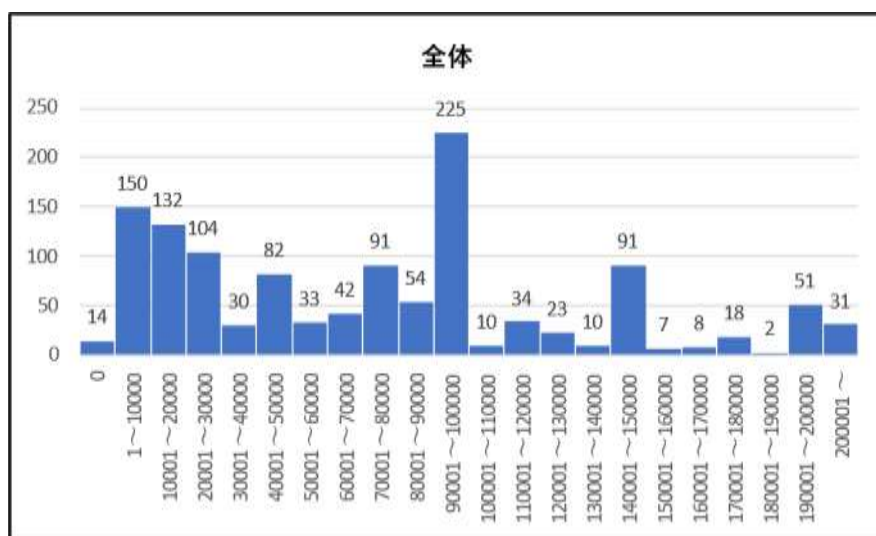
Q24. あなたは1か月いくらぐらいのお給料(工賃・賃金)をほしいと思いますか？(選択は1つ)

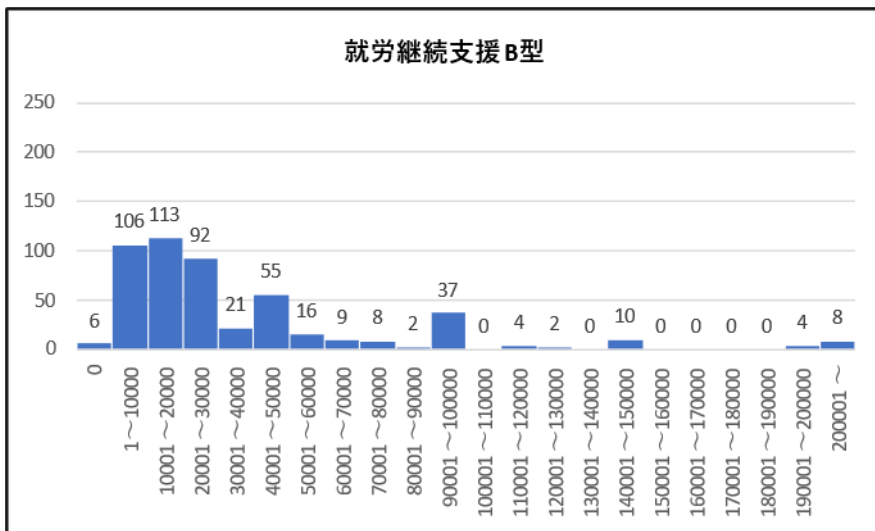
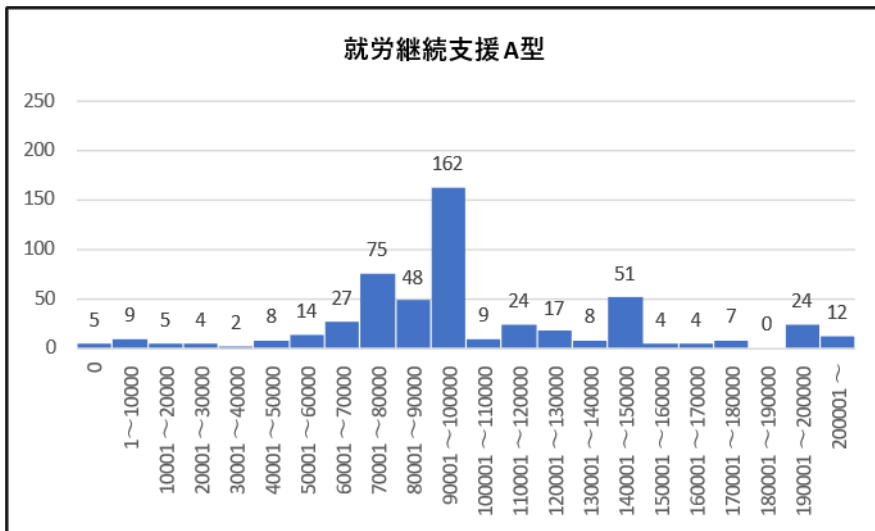
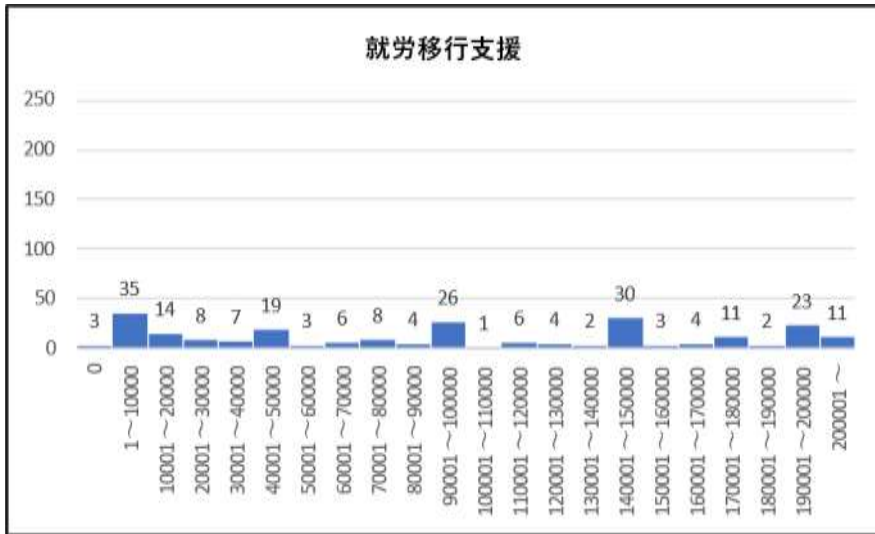
- 10万円以上の収入がほしいと思う回答の割合は、就労移行では53.5%、就労Aでは62.0%、就労Bでは13.7%となっている。就労Bでは1～30000円の割合が63.1%と多くの割合を占めた

Q24. あなたは1か月いくらぐらいのお給料(工賃・賃金)をほしいと思いますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.金額を入力(円)	1231	65.0%	230	55.7%	515	71.5%	486	63.9%
2.わからない	663	35.0%	183	44.3%	205	28.5%	275	36.1%
計	1,894	100.0%	413	100.0%	720	100.0%	761	100.0%

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	14	1.1%	3	1.3%	5	1.0%	6	1.2%
1～10000	150	12.1%	35	15.2%	9	1.7%	106	21.5%
10001～20000	132	10.6%	14	6.1%	5	1.0%	113	22.9%
20001～30000	104	8.4%	8	3.5%	4	0.8%	92	18.7%
30001～40000	30	2.4%	7	3.0%	2	0.4%	21	4.3%
40001～50000	82	6.6%	19	8.3%	8	1.5%	55	11.2%
50001～60000	33	2.7%	3	1.3%	14	2.7%	16	3.2%
60001～70000	42	3.4%	6	2.6%	27	5.2%	9	1.8%
70001～80000	91	7.3%	8	3.5%	75	14.5%	8	1.6%
80001～90000	54	4.3%	4	1.7%	48	9.2%	2	0.4%
90001～100000	225	18.1%	26	11.3%	162	31.2%	37	7.5%
100001～110000	10	0.8%	1	0.4%	9	1.7%	0	0.0%
110001～120000	34	2.7%	6	2.6%	24	4.6%	4	0.8%
120001～130000	23	1.9%	4	1.7%	17	3.3%	2	0.4%
130001～140000	10	0.8%	2	0.9%	8	1.5%	0	0.0%
140001～150000	91	7.3%	30	13.0%	51	9.8%	10	2.0%
150001～160000	7	0.6%	3	1.3%	4	0.8%	0	0.0%
160001～170000	8	0.6%	4	1.7%	4	0.8%	0	0.0%
170001～180000	18	1.4%	11	4.8%	7	1.3%	0	0.0%
180001～190000	2	0.2%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
190001～200000	51	4.1%	23	10.0%	24	4.6%	4	0.8%
200001～	31	2.5%	11	4.8%	12	2.3%	8	1.6%
計	1,242	100.0%	230	100.0%	519	100.0%	493	100.0%





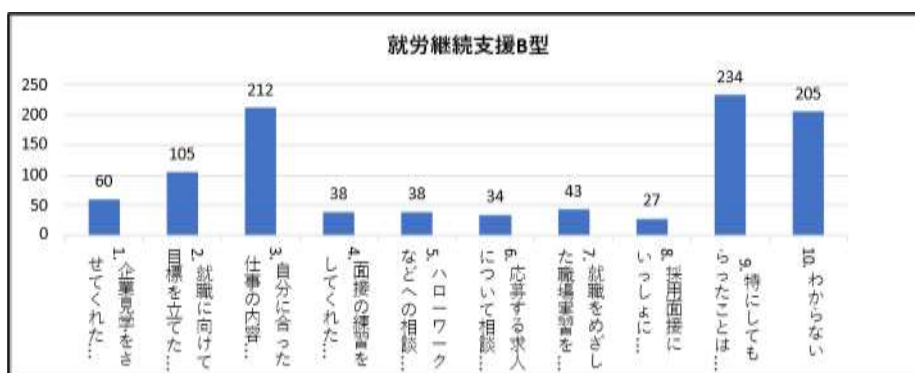
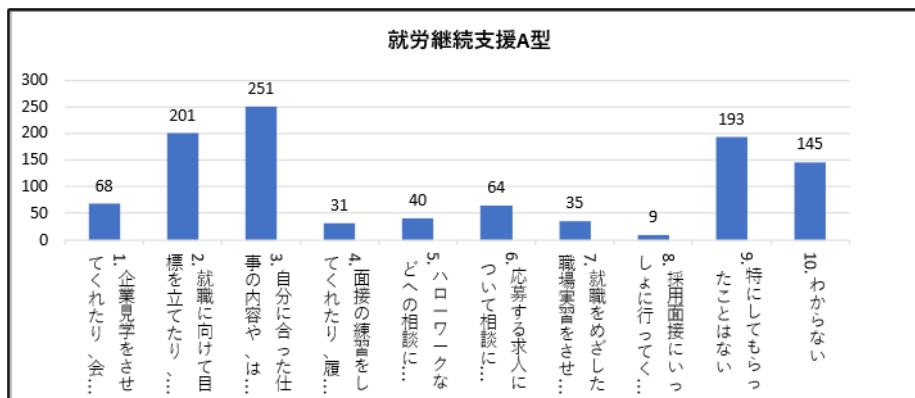
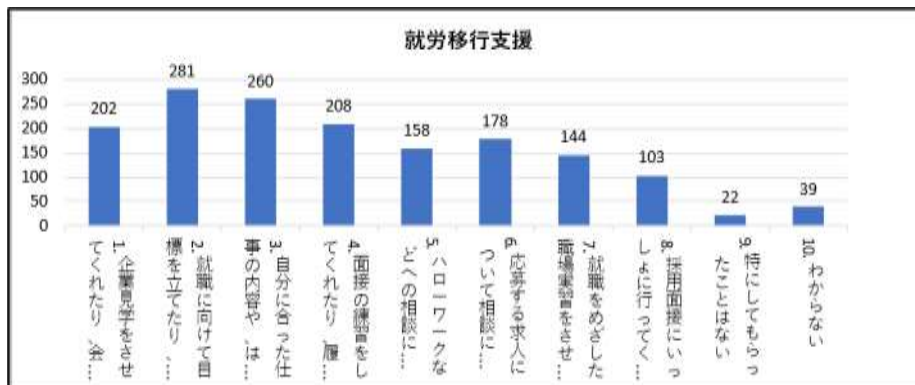
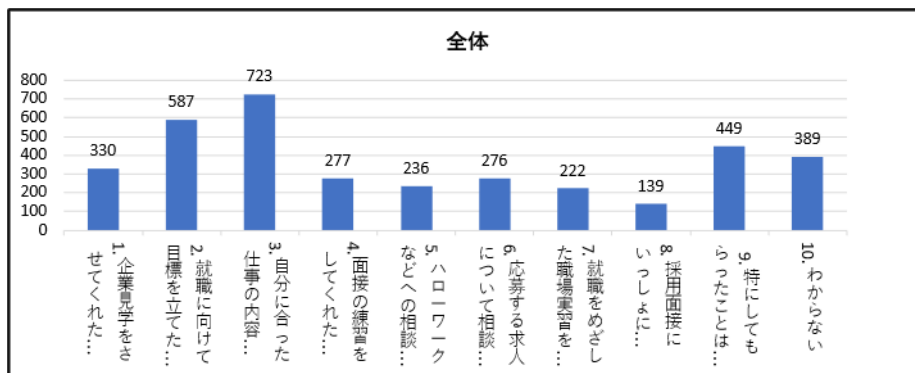
- ・ あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？
全体では「2.就職に向けて目標を立てたり、準備ができているかを確認してくれる」が16.2%で最も多く、就労Aでは19.4%となっている。就労継続支援A型では2.よりも「3.自分に合った仕事の内容や、はたらき方のことを聞いてくれる」が24.2%で最も多くなっている。
就労継続支援A型・B型では「9.特にしてもらったことはない」も多く、特に就労Bでは23.5%と最も多くなっている。

Q25. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

- 全体では「2.就職に向けて目標を立てたり、準備ができているかを確認してくれる」が16.2%で最も多く、就労Aでは19.4%となっている
- 就労Aでは2.よりも「3.自分に合った仕事の内容や、はたらき方のことを聞いてくれる」が24.2%で最も多くなっている
- 就労A・Bでは「9.特にしてもらったことはない」も多く、特に就労Bでは23.5%と最も多くなっている

Q25. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.企業見学をさせてくれたり、会社などに就職した人の話を聞かせてくれる	330	9.1%	202	12.7%	68	6.6%	60	6.0%
2.就職に向けて目標を立てたり、準備ができているかを確認してくれる	587	16.2%	281	17.6%	201	19.4%	105	10.5%
3.自分に合った仕事の内容や、はたらき方のことを聞いてくれる	723	19.9%	260	16.3%	251	24.2%	212	21.3%
4.面接の練習をしてくれたり、履歴書を書くのを手伝ってくれる	277	7.6%	208	13.0%	31	3.0%	38	3.8%
5.ハローワークなどへの相談にいっしょに行ってくれる	236	6.5%	158	9.9%	40	3.9%	38	3.8%
6.応募する求人について相談にのってくれる	276	7.6%	178	11.2%	64	6.2%	34	3.4%
7.就職をめざした職場実習をさせてくれる	222	6.1%	144	9.0%	35	3.4%	43	4.3%
8.採用面接にいっしょに行ってくれる	139	3.8%	103	6.5%	9	0.9%	27	2.7%
9.特にしてもらったことはない	449	12.4%	22	1.4%	193	18.6%	234	23.5%
10.わからない	389	10.7%	39	2.4%	145	14.0%	205	20.6%
計	3,628	100.0%	1,595	100.0%	1,037	100.0%	996	100.0%



- ・ あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？

全体では、満足率が41.4%、不満率は4.9%だった。事業別では、就労移行支援の満足率が69.5%と特に高い反面、就労継続支援A型・B型は40%弱で半数を切っている。また、就労継続支援B型では、「6.わからない」が43.7%と半数弱が回答している。

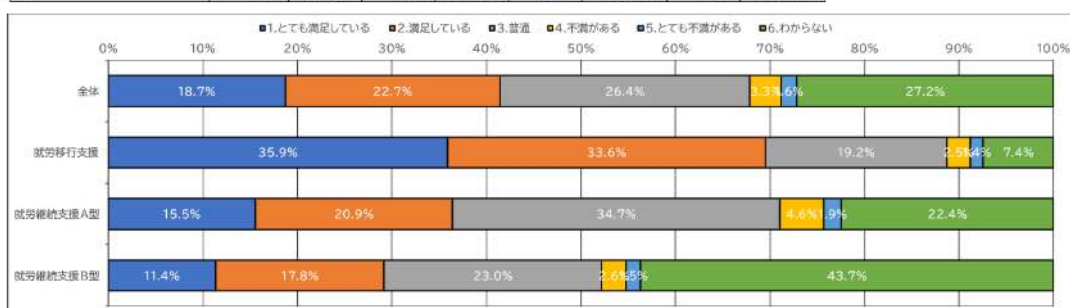
加重平均で見ると、就労移行支援が4.08pで特に高く、就労継続支援A型では3.56pと低い。全体では3.74pだった。

Q26. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が41.4%、4.+5.の「不満」は4.9%だった
- 事業別では、就労移行の1.+2.が69.5%と特に高い反面、A・Bは40%弱となっている
- 就労Bでは、「6.わからない」が43.7%と半数弱が回答している

Q26. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	350	18.7%	159	35.9%	108	15.5%	83	11.4%
2.満足している	424	22.7%	149	33.6%	145	20.9%	130	17.8%
3.普通	494	26.4%	85	19.2%	241	34.7%	168	23.0%
4.不満がある	62	3.3%	11	2.5%	32	4.6%	19	2.6%
5.とても不満がある	30	1.6%	6	1.4%	13	1.9%	11	1.5%
6.わからない	508	27.2%	33	7.4%	156	22.4%	319	43.7%
計	1,868	100.0%	443	100.0%	695	100.0%	730	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q26スタッフへの満足度	3.74	4.08	3.56	3.62

- ・ あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？

全体では「4.自分に合った仕事があるか、教えてほしい」が19.6%と最も多くなっているが、全選択肢のおおむね10%を超えている。就労移行支援では「3.就職をめざすための目標や、自分が今どのくらい準備ができているか、教えてほしい」が21.1%と最も多く、4.及び「5.就職活動と一緒に手伝ってほしい」という回答も20%前後と多い。

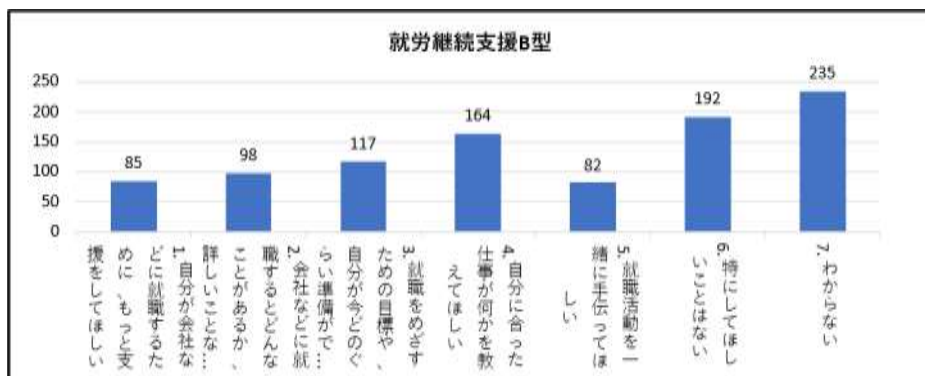
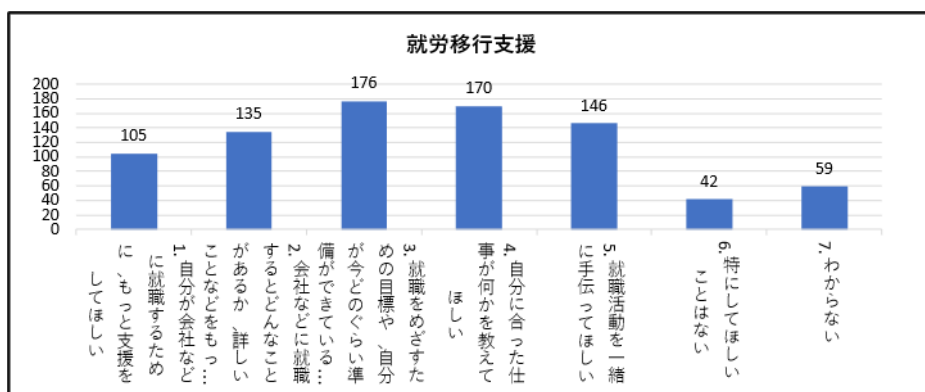
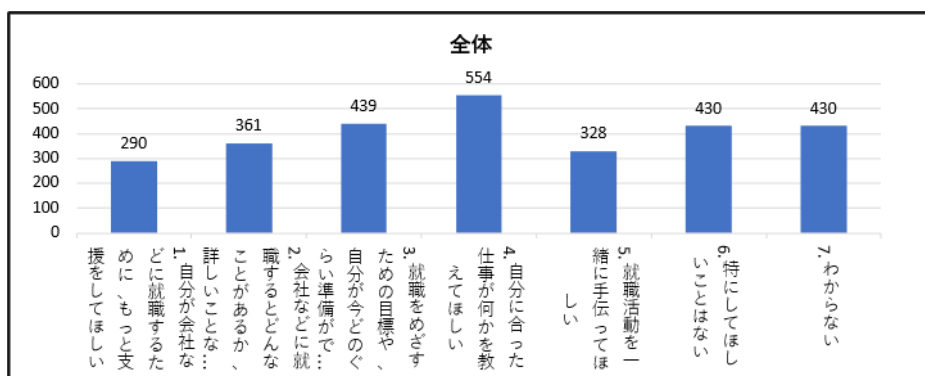
また、就労継続支援A型・B型では「6.特にしてほしいことはない」が20%前後あり、特に就労Bでは19.7%と多くなっている。

Q27. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「4.自分に合った仕事があるか、教えてほしい」が19.6%と最も多くなっているが、全選択肢のおおむね10%を超えている
- 就労移行では「3.就職をめざすための目標や、自分が今どのくらい準備ができているか、教えてほしい」が21.1%と最も多く、4.及び「5.就職活動と一緒に手伝ってほしい」という回答も20%前後と多い
- 就労A・Bでは「6.特にしてほしいことはない」が20%前後あり、特に就労Bでは19.7%と多くなっている

Q27. あなたが会社などへの就職をめざすために、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分が会社などに就職するために、もっと支援をしてほしい	290	10.2%	105	12.6%	100	9.7%	85	8.7%
2.会社などに就職するとどんなことがあるか、詳しいことなどをもっと教えてほしい	361	12.7%	135	16.2%	128	12.5%	98	10.1%
3.就職をめざすための目標や、自分が今どのくらい準備ができているか、教えてほしい	439	15.5%	176	21.1%	146	14.2%	117	12.0%
4.自分に合った仕事があるか、教えてほしい	554	19.6%	170	20.4%	220	21.4%	164	16.9%
5.就職活動と一緒に手伝ってほしい	328	11.6%	146	17.5%	100	9.7%	82	8.4%
6.特にしてほしいことはない	430	15.2%	42	5.0%	196	19.1%	192	19.7%
7.わからない	430	15.2%	59	7.1%	136	13.3%	235	24.2%
計	2,832	100.0%	833	100.0%	1,026	100.0%	973	100.0%



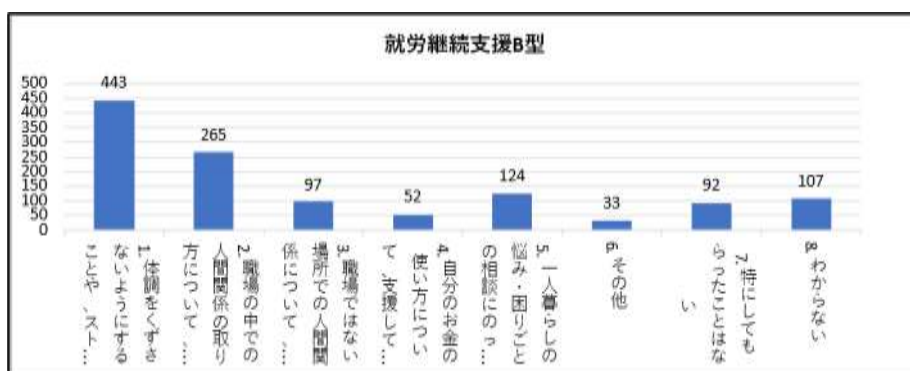
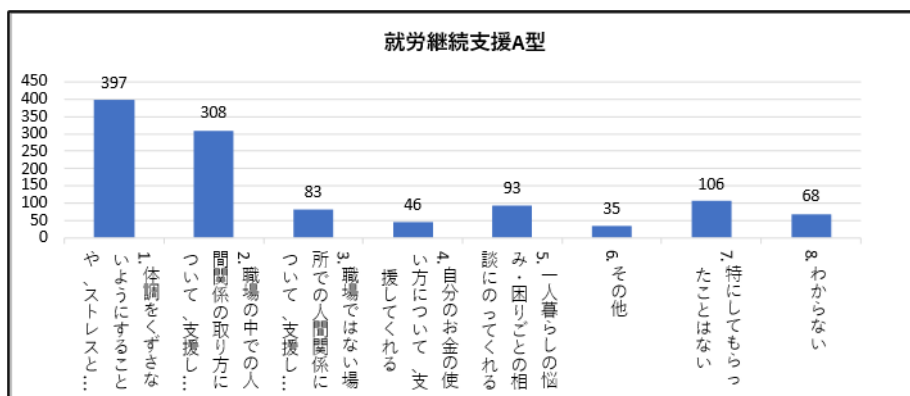
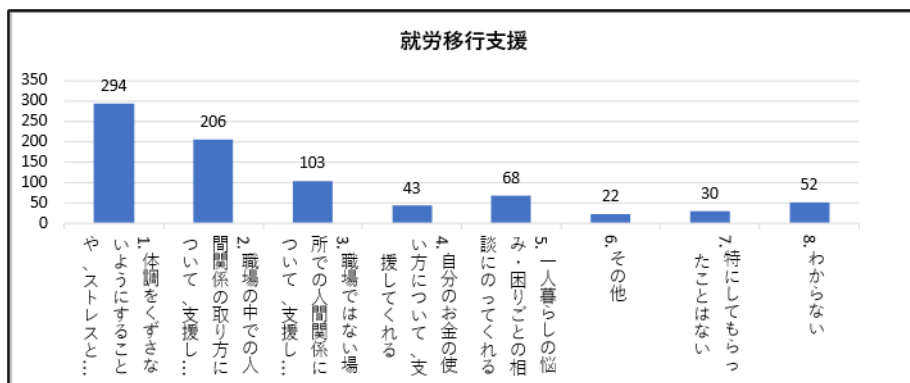
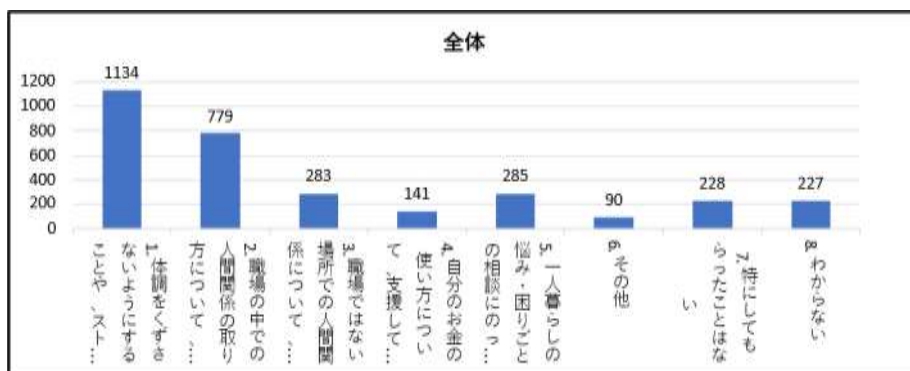
- あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？
全体では「1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方について支援してくれる」が35.8%で最も多く、次いで「2.職場の中での人間関係の取り方について、支援してくれる」が24.6%で続いており、全事業ほぼ同じような割合となっている。

Q28. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方について支援してくれる」が35.8%で最も多く、次いで「2.職場の中での人間関係の取り方について、支援してくれる」が24.6%で続いており、全事業ほぼ同じような割合となっている

Q28. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方について支援してくれる	1134	35.8%	294	35.9%	397	34.9%	443	36.5%
2.職場の中での人間関係の取り方について、支援してくれる	779	24.6%	206	25.2%	308	27.1%	265	21.8%
3.職場ではない場所での人間関係について、支援してくれる	283	8.9%	103	12.6%	83	7.3%	97	8.0%
4.自分のお金の使い方について、支援してくれる	141	4.5%	43	5.3%	46	4.0%	52	4.3%
5.一人暮らしの悩み・困りごとの相談にのってくれる	285	9.0%	68	8.3%	93	8.2%	124	10.2%
6.その他	90	2.8%	22	2.7%	35	3.1%	33	2.7%
7.特にしてもらったことはない	228	7.2%	30	3.7%	106	9.3%	92	7.6%
8.わからない	227	7.2%	52	6.4%	68	6.0%	107	8.8%
計	3,167	100.0%	818	100.0%	1,136	100.0%	1,213	100.0%



- ・ あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？

全体では、満足率が58.4%、不満率は5%だった。事業別では、就労移行支援の満足率が66.5%と高く、不満率は3.6%と少なくなっている。

就労継続支援A型では、不満率が7.9%と他2つよりも若干高くなっている。

加重平均で見ると、就労移行支援が4.01pで最も高く、全体では3.85pだった。

Q29. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が58.4%、4.+5.の「不満」は5%だった
- 事業別では、就労移行の1.+2.が66.5%と高く、4.+5.は3.6%と少なくなっている
- 就労Aでは、4.+5.が7.9%と他2つよりも若干高くなっている

Q29. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんがしてくれることに、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	528	26.8%	141	31.9%	173	23.4%	214	27.2%
2.満足している	622	31.6%	153	34.6%	223	30.2%	246	31.3%
3.普通	579	29.4%	98	22.2%	250	33.8%	231	29.4%
4.不満がある	71	3.6%	9	2.0%	44	6.0%	18	2.3%
5.とても不満がある	28	1.4%	7	1.6%	14	1.9%	7	0.9%
6.わからない	139	7.1%	34	7.7%	35	4.7%	70	8.9%
計	1,967	100.0%	442	100.0%	739	100.0%	786	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q29体調管理・人間関係の満足度	3.85	4.01	3.71	3.90

- ・ あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？

全体では「1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方についてもっと支援してほしい」が23.0%、「2.職場の中での人間関係の取り方について、もっと支援してほしい」が16.6%となっている。

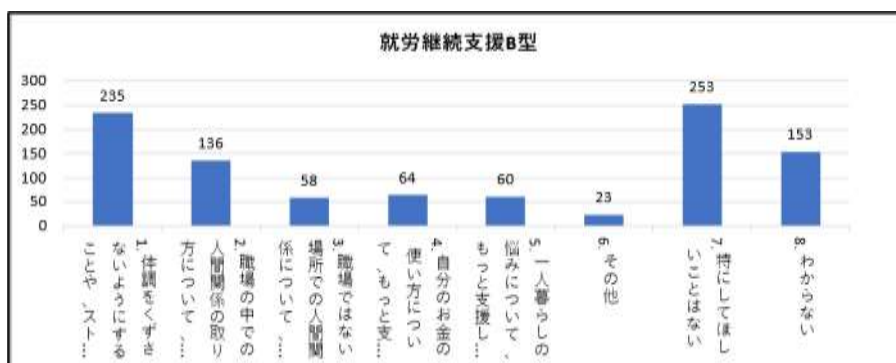
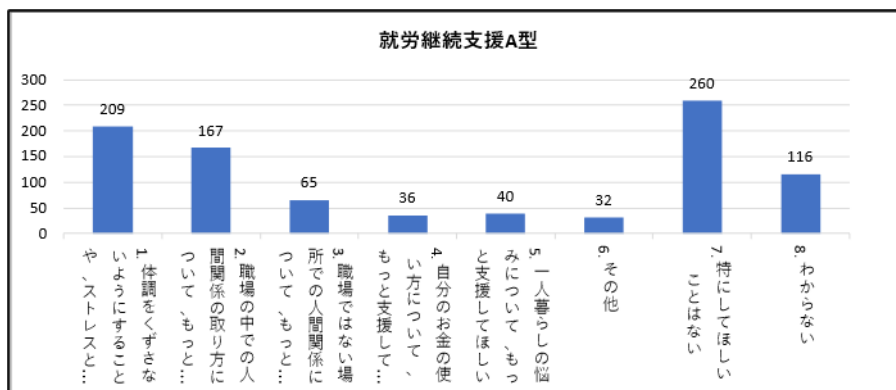
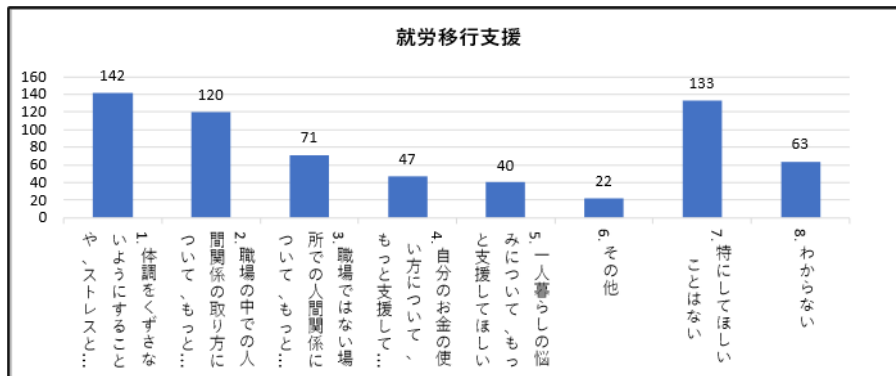
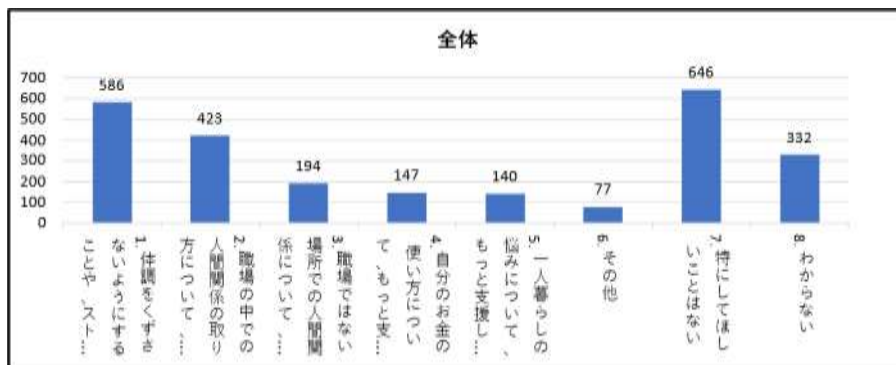
また、就労継続支援 A 型・B 型では「7.特にしてほしいことはない」が25%以上あり、特に就労継続支援 A 型では28.1%と最も多くなっている。

Q30. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？（選択はいくつでも）

- 全体では「1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方についてもっと支援してほしい」が23.0%、「2.職場の中での人間関係の取り方について、もっと支援してほしい」が16.6%となっている
- 就労A・Bでは「7.特にしてほしいことはない」が25%以上あり、特に就労Aでは28.1%と最も多くなっている

Q30. あなたの体調や人間関係などについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？（選択はいくつでも）

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.体調をくずさないようにすることや、ストレスとの付き合い方についてもっと支援してほしい	586	23.0%	142	22.3%	209	22.6%	235	23.9%
2.職場の中での人間関係の取り方について、もっと支援してほしい	423	16.6%	120	18.8%	167	18.1%	136	13.8%
3.職場ではない場所での人間関係について、もっと支援してほしい	194	7.6%	71	11.1%	65	7.0%	58	5.9%
4.自分のお金の使い方について、もっと支援してほしい	147	5.8%	47	7.4%	36	3.9%	64	6.5%
5.一人暮らしの悩みについて、もっと支援してほしい	140	5.5%	40	6.3%	40	4.3%	60	6.1%
6.その他	77	3.0%	22	3.4%	32	3.5%	23	2.3%
7.特にしてほしいことはない	646	25.4%	133	20.8%	260	28.1%	253	25.8%
8.わからない	332	13.0%	63	9.9%	116	12.5%	153	15.6%
計	2,545	100.0%	638	100.0%	925	100.0%	982	100.0%



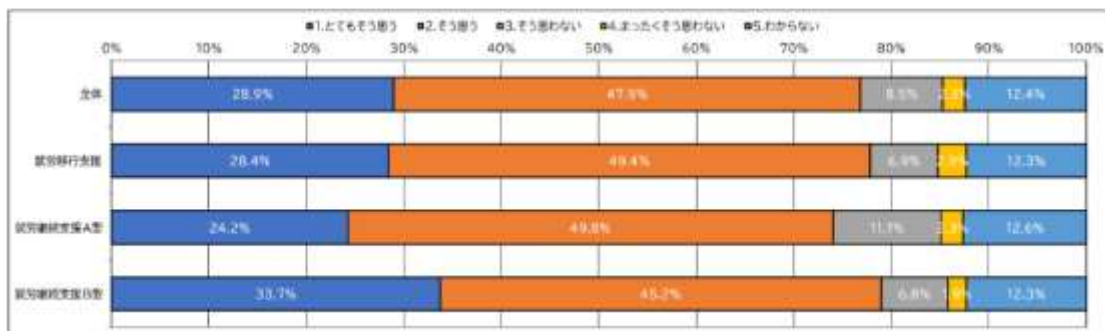
- ・ 今かよっている事業所は、自分らしく過ごせるところ(自分の居場所)だと思いますか？
全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が76.8%、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は10.8%だった。
事業別では、就労継続支援B型の1.+2.が78.9%と若干多く、3.+4.は就労継続支援A型が13.4%で多くなっている。

Q31. 今かよっている事業所は、自分らしく過ごせるところ(自分の居場所)だと思いますか？(選択は1つ)

- 全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が76.8%、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は10.8%だった
- 事業別では、就労Bの1.+2.が78.9%と若干多く、3.+4.は就労Aが13.4%で多くなっている

Q31. 今かよっている事業所は、自分らしく過ごせるところ(自分の居場所)だと思いますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とてもそう思う	574	28.9%	127	28.4%	181	24.2%	266	33.7%
2.そう思う	950	47.9%	221	49.4%	372	49.8%	357	45.2%
3.そう思わない	168	8.5%	31	6.9%	83	11.1%	54	6.8%
4.まったくそう思わない	45	2.3%	13	2.9%	17	2.3%	15	1.9%
5.わからない	246	12.4%	55	12.3%	94	12.6%	97	12.3%
計	1,983	100.0%	447	100.0%	747	100.0%	789	100.0%



○ 加重平均

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q31居場所と思うか？	3.18	3.18	3.10	3.26

- ・ 今かよっている事業所の仲間やともだちは、信頼できる人たちだと思いますか？
全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が69.5%、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は11.9%だった。
事業別では、就労継続支援B型の1.+2.が70.4%と若干多くなっている。

Q32. 今かよっている事業所の仲間やともだちは、信頼できる人たちだと思いますか？(選択は1つ)

- 全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が69.5%、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は11.9%だった
- 事業別では、就労Bの1.+2.が70.4%と若干多くなっている

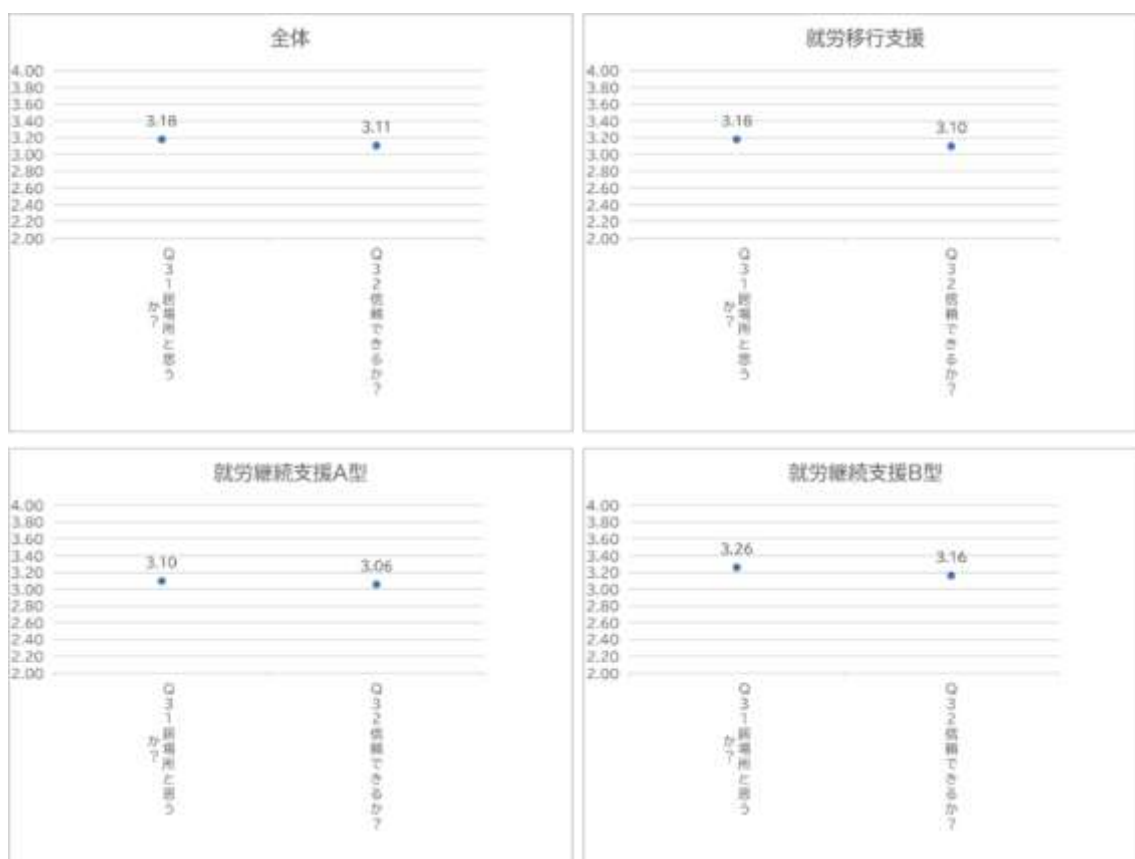
Q32. 今かよっている事業所の仲間やともだちは、信頼できる人たちだと思いますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とてもそう思う	466	23.5%	108	24.3%	155	20.7%	203	25.7%
2.そう思う	911	46.0%	210	47.3%	348	46.6%	353	44.7%
3.そう思わない	180	9.1%	42	9.5%	77	10.3%	61	7.7%
4.まったくそう思わない	55	2.8%	14	3.2%	21	2.8%	20	2.5%
5.わからない	369	18.6%	70	15.8%	146	19.5%	153	19.4%
計	1,981	100.0%	444	100.0%	747	100.0%	790	100.0%



○ 加重平均

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q32信頼できるか？	3.11	3.10	3.06	3.16



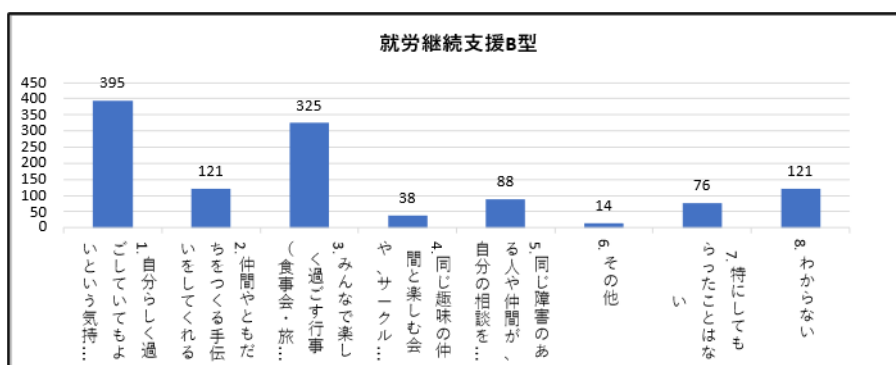
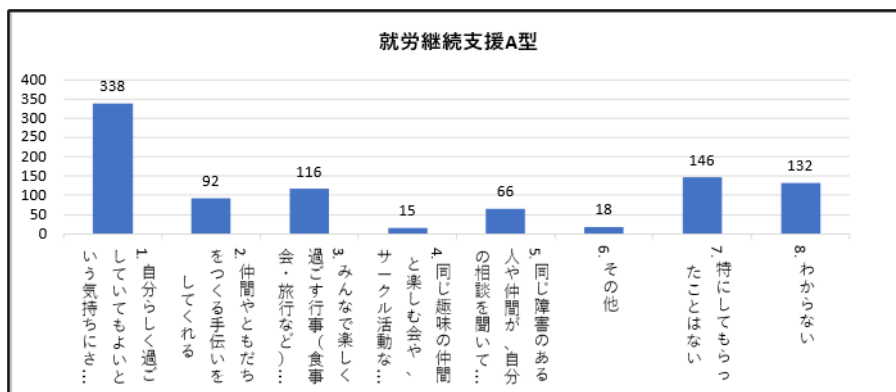
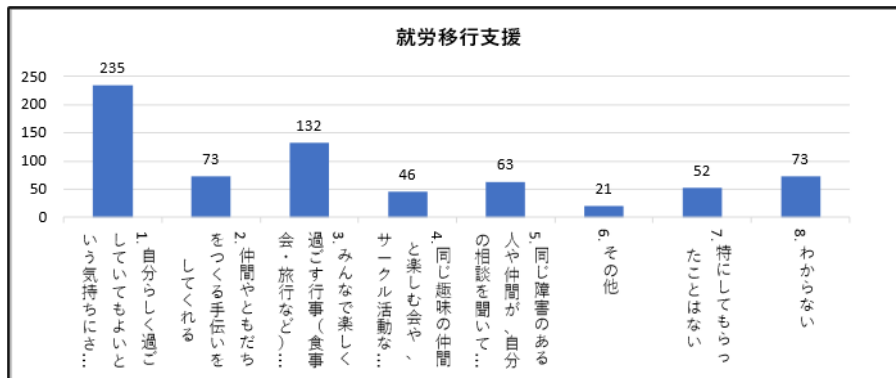
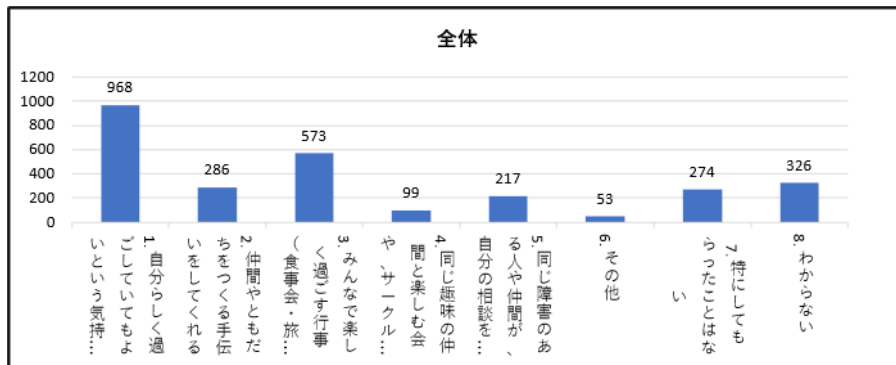
- ・ 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？
全体では「1.自分らしく過ごしていてもよいという気持ちにさせてくれる」が34.6%で最も多く、次いで「3.みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてくれる」が20.5%となっている。
就労継続支援 A 型では「9.特にしてもらったことはない」が15.8%と2番目に多く、就労継続支援 B 型では「3.みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてくれる」が27.6%で2番目に多く、他2つよりも比較的多くなっている。

Q33. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.自分らしく過ごしていてもよいという気持ちにさせてくれる」が34.6%で最も多く、次いで「3.みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてくれる」が20.5%となっている
- 就労Aでは「9.特にしてもらったことはない」が15.8%と2番目に多く、就労Bでは「3.みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてくれる」が27.6%で2番目に多く、他2つよりも比較的多くなっている

Q33. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんはどんなことをしてくれますか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分らしく過ごしていてもよいという気持ちにさせてくれる	968	34.6%	235	33.8%	338	36.6%	395	33.5%
2.仲間やともだちをつくる手伝いをしてくれる	286	10.2%	73	10.5%	92	10.0%	121	10.3%
3.みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてくれる	573	20.5%	132	19.0%	116	12.6%	325	27.6%
4.同じ趣味の仲間と楽しむ会や、サークル活動などを手伝ってくれる	99	3.5%	46	6.6%	15	1.6%	38	3.2%
5.同じ障害のある人や仲間が、自分の相談を聞いてくれる(ピアサポート)	217	7.8%	63	9.1%	66	7.2%	88	7.5%
6.その他	53	1.9%	21	3.0%	18	2.0%	14	1.2%
7.特にしてもらったことはない	274	9.8%	52	7.5%	146	15.8%	76	6.5%
8.わからない	326	11.7%	73	10.5%	132	14.3%	121	10.3%
計	2,796	100.0%	695	100.0%	923	100.0%	1,178	100.0%



- ・ 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんがしてくれることに、どれぐらい満足していますか。

全体では、満足率が53.1%、不満率は4.0%だった。事業別では、就労継続支援A型の1.+2.が48.9%と他2つより少なくなっている。

就労継続支援B型では、不満率が2.8%で他2つよりも少なくなっている。

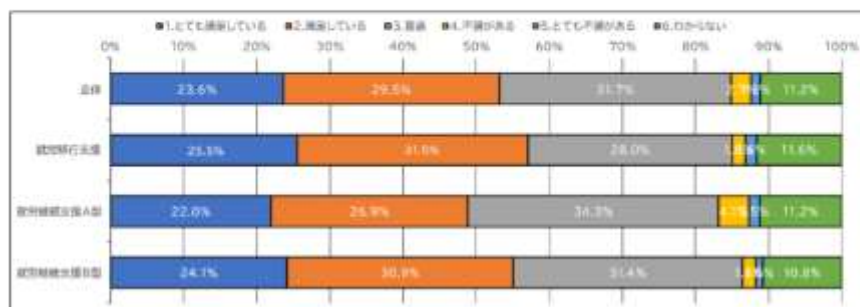
加重平均で見ると、就労移行支援が3.88pで最も高く、全体では3.80pだった。

Q34. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんがしてくれることに、どれぐらい満足していますか。(選択は1つ)

- 全体では、1.+2.の「満足」の合計が53.1%、4.+5.の「不満」は4.0%だった
- 事業別では、就労Aの1.+2.が48.9%と他2つより少なくなっている
- 就労Bでは、4.+5.が2.8%で他2つよりも少なくなっている

Q34. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんがしてくれることに、どれぐらい満足していますか。(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	470	23.6%	114	25.5%	164	22.0%	192	24.1%
2.満足している	588	29.5%	141	31.5%	201	26.9%	246	30.9%
3.普通	631	31.7%	125	28.0%	256	34.3%	250	31.4%
4.不満がある	53	2.7%	8	1.8%	31	4.1%	14	1.8%
5.とても不満がある	26	1.3%	7	1.6%	11	1.5%	8	1.0%
6.わからない	222	11.2%	52	11.6%	84	11.2%	86	10.8%
計	1,990	100.0%	447	100.0%	747	100.0%	796	100.0%



○ 加重平均による満足度

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q34居場所の満足度	3.80	3.88	3.72	3.85

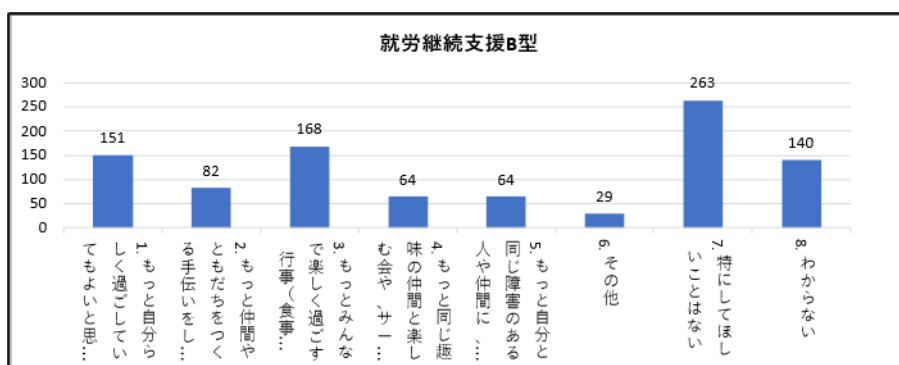
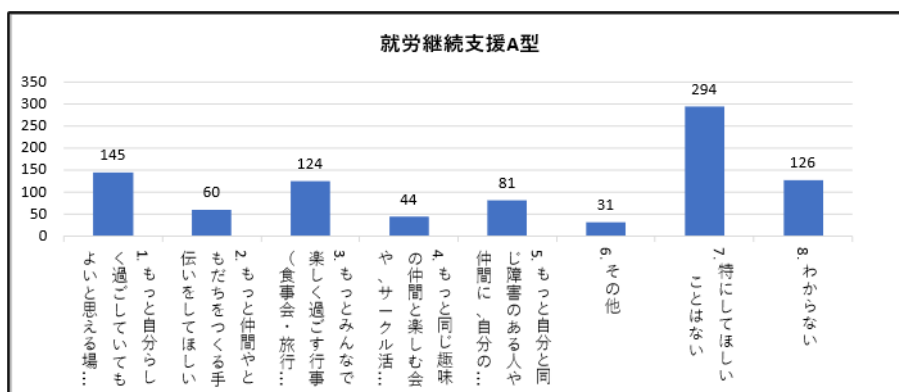
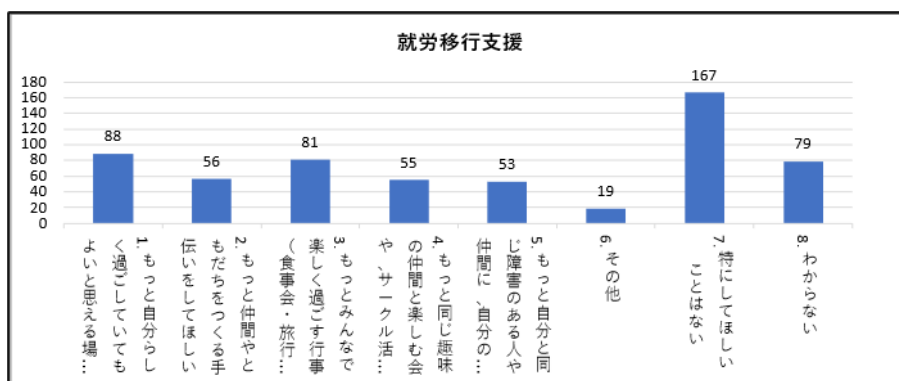
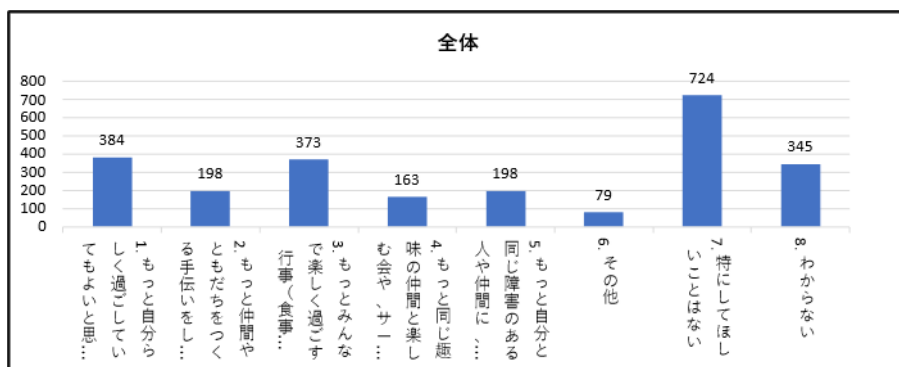
- ・ 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？
全事業とも「7.特にしてほしいことはない」が30%前後で最も多く、「1.もっと自分らしく過ごしていてもよいと思える場所にしてほしい」「3.もっとみんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてほしい」が15%前後で次に多くなっている。。

Q35. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

- 全事業とも「7.特にしてほしいことはない」が30%前後で最も多く、「1.もっと自分らしく過ごしていてもよいと思える場所にしてほしい」「3.もっとみんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてほしい」が15%前後で次に多くなっている

Q35. 居場所や仲間づくりについて、スタッフさんにしてほしいと思うことはどんなことですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.もっと自分らしく過ごしていてもよいと思える場所にしてほしい	384	15.6%	88	14.7%	145	16.0%	151	15.7%
2.もっと仲間やともだちをつくる手伝いをしてほしい	198	8.0%	56	9.4%	60	6.6%	82	8.5%
3.もっとみんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)をしてほしい	373	15.1%	81	13.5%	124	13.7%	168	17.5%
4.もっと同じ趣味の仲間と楽しむ会や、サークル活動などを手伝ってほしい	163	6.6%	55	9.2%	44	4.9%	64	6.7%
5.もっと自分と同じ障害のある人や仲間に、自分の相談をしたい(ピアサポート)	198	8.0%	53	8.9%	81	9.0%	64	6.7%
6.その他	79	3.2%	19	3.2%	31	3.4%	29	3.0%
7.特にしてほしいことはない	724	29.4%	167	27.9%	294	32.5%	263	27.4%
8.わからない	345	14.0%	79	13.2%	126	13.9%	140	14.6%
計	2,464	100.0%	598	100.0%	905	100.0%	961	100.0%



- ・ 今かよっている事業所で、自分のはたらき方や手伝ってもらいたいことを相談することがありますか？

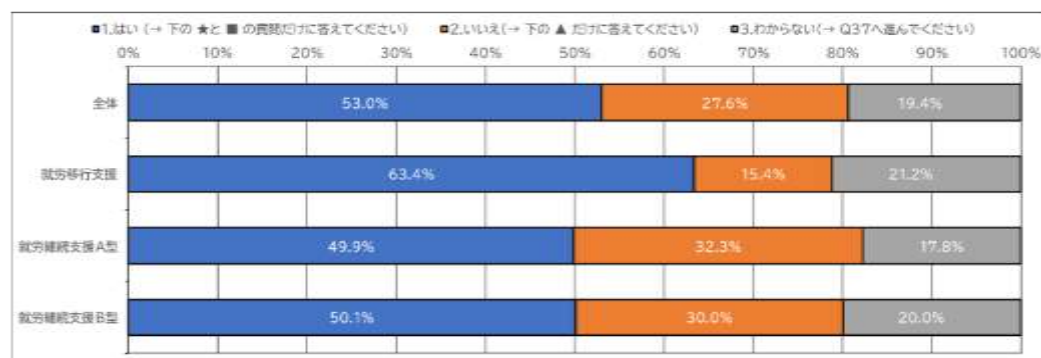
全体では「1.はい」が53.0%、事業別では就労移行支援が63.4%と最も多く、就労継続支援A型・B型ではどちらもおよそ50%となっている。

Q36. 今かよっている事業所で、自分のはたらき方や手伝ってもらいたいことを相談することがありますか？(選択は1つ)

- 全体では「1.はい」が53.0%、事業別では就労移行が63.4%と最も多く、就労A・Bではおよそ50%となっている

Q36. 今かよっている事業所で、自分のはたらき方や手伝ってもらいたいことを相談することがありますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.はい(→ 下の ★と ■ の質問だけに答えてください)	1031	53.0%	275	63.4%	370	49.9%	386	50.1%
2.いいえ(→ 下の ▲ だけに答えてください)	538	27.6%	67	15.4%	240	32.3%	231	30.0%
3.わからない(→ Q37へ進んでください)	378	19.4%	92	21.2%	132	17.8%	154	20.0%
計	1,947	100.0%	434	100.0%	742	100.0%	771	100.0%



- ・ 自分がしてほしいことを事業所のスタッフさんに聞いてもらうことは、どれぐらいありますか？

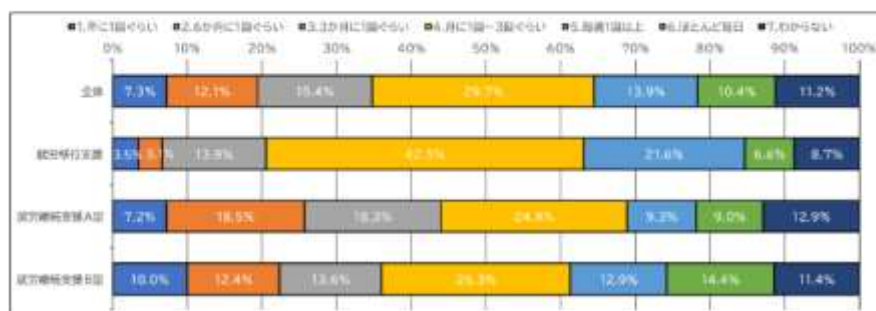
全体では「月に1回～3回ぐらい」が29.7%と最も多く、就労移行支援では42.5%と他の2つよりも特に多い。就労継続支援A型では「6か月に1回ぐらい」「3か月に1回ぐらい」がともに20%弱あった。

★自分がしてほしいことを事業所のスタッフさんに聞いてもらうことは、どれぐらいありますか？(選択は1つ)

- 全体では「4.月に1回～3回ぐらい」が29.7%と最も多く、就労移行では42.5%と他の2つよりも特に多い
- 就労Aでは「2.6か月に1回ぐらい」「3.3か月に1回ぐらい」がともに20%弱あった

★自分がしてほしいことを事業所のスタッフさんに聞いてもらうことは、どれぐらいありますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.年に1回ぐらい	79	7.3%	10	3.5%	28	7.2%	41	10.0%
2.6か月に1回ぐらい	132	12.1%	9	3.1%	72	18.5%	51	12.4%
3.3か月に1回ぐらい	167	15.4%	40	13.9%	71	18.3%	56	13.6%
4.月に1回～3回ぐらい	323	29.7%	122	42.5%	97	24.9%	104	25.3%
5.毎週1回以上	151	13.9%	62	21.6%	36	9.3%	53	12.9%
6.ほとんど毎日	113	10.4%	19	6.6%	35	9.0%	59	14.4%
7.わからない	122	11.2%	25	8.7%	50	12.9%	47	11.4%
計	1,087	100.0%	287	100.0%	389	100.0%	411	100.0%



- ・ スタッフさんに自分がしてほしいことなどを話したとき、自分がしてほしいことにきちんと応えてくれていると感じますか？

全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が 85.3%と多くなっており、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は 6.0%だった。

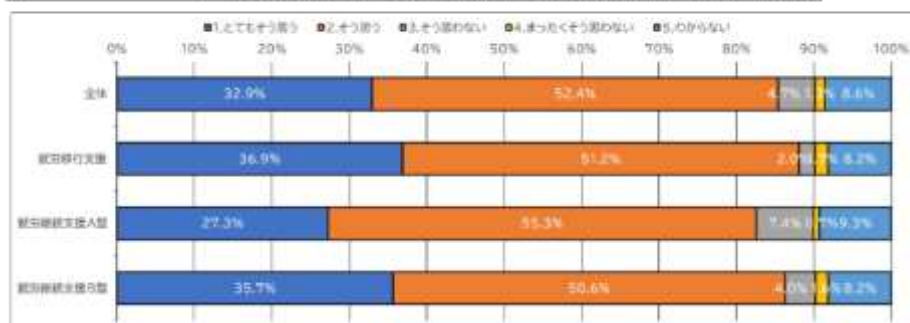
事業別では、就労移行支援の 1.+2.が 88.1%と若干多くなっており、就労継続支援 A 型では「4.まったくそう思わない」が 3 件(0.7%)のみと、とても少なかった。

■スタッフさんに自分がしてほしいことなどを話したとき、自分がしてほしいことにきちんと応えてくれていると感じますか？(選択は1つ)

- 全体では、「1.とてもそう思う」+「2.そう思う」の合計が85.3%と多くなっており、「3.そう思わない」+「4.まったくそう思わない」の合計は6.0%だった
- 事業別では、就労移行の1.+2.が88.1%と若干多くなっており、就労Aでは4.が0.7%ととても少なかった

■スタッフさんに自分がしてほしいことなどを話したとき、自分がしてほしいことにきちんと応えてくれていると感じますか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とてもそう思う	372	32.9%	108	36.9%	111	27.3%	153	35.7%
2.そう思う	592	52.4%	150	51.2%	225	55.3%	217	50.6%
3.そう思わない	53	4.7%	6	2.0%	30	7.4%	17	4.0%
4.まったくそう思わない	15	1.3%	5	1.7%	3	0.7%	7	1.6%
5.わからない	97	8.6%	24	8.2%	38	9.3%	35	8.2%
計	1,129	100.0%	293	100.0%	407	100.0%	429	100.0%



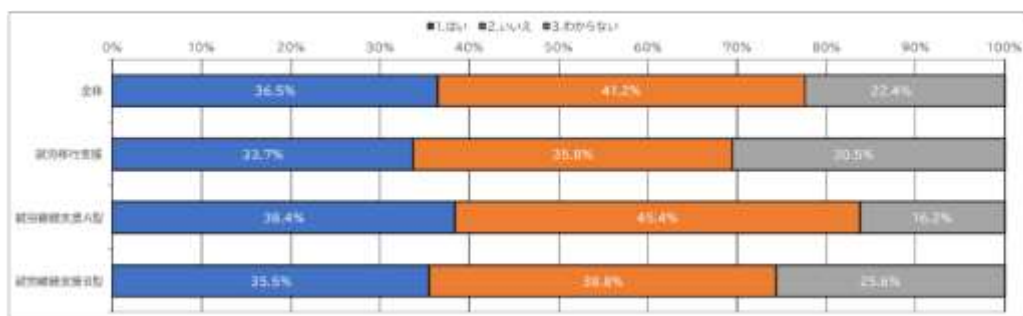
- ・ 自分がしてほしいことや相談を聞いてもらう時間を取ってほしいと思いますか？
全体では「1.はい」が36.5%、「2.いいえ」が41.2%となっているが、就労移行支援では「3.わからない」が30.5%で1～3.ほぼ同数だった。

▲自分がしてほしいことや相談を聞いてもらう時間を取ってほしいと思いますか？(選択は1つ)

- 全体では「1.はい」が36.5%、「2.いいえ」が41.2%となっているが、就労移行では「3.わからない」が30.5%で1～3.ほぼ同数だった。

▲自分がしてほしいことや相談を聞いてもらう時間を取ってほしいと思いますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.はい	233	36.5%	32	33.7%	104	38.4%	97	35.5%
2.いいえ	263	41.2%	34	35.8%	123	45.4%	106	38.8%
3.わからない	143	22.4%	29	30.5%	44	16.2%	70	25.6%
計	639	100.0%	95	100.0%	271	100.0%	273	100.0%



- ・ 今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？

全項目「1.はい」が87%前後と大部分を占めた。「2.いいえ」は就労移行支援では2.2%（7件）と少数だった。

「はい」と回答した理由については、全体では「2.支援してくれるスタッフさんが信頼できる・好きだから」が20.7%で最も多く、次いで「1.自分の居場所があったり、仲間やともだちがいるから」が17.5%で、事業所の良好な人間関係により、本人が通ってよかったと思えている状況が推察される

事業別では、就労移行支援で「7.はたらくための技術を身につけられるから」「8.会社などに就職ができそうだから」の割合が他の2つよりも多くなっている。

Q37. 今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？（選択は1つ）

- 全項目「1.はい」が87%前後と大部分を占めた。「2.いいえ」は就労移行では2.2%（7件）と少数だった

Q37. 今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？（選択は1つ）

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.はい（→ 下の ◆ の箇所だけに答えてください）	1641	87.7%	361	87.4%	612	86.6%	668	88.8%
2.いいえ（→ 下の ▼ の箇所だけに答えてください）	59	3.2%	9	2.2%	30	4.2%	20	2.7%
3.わからない（→ Q38へ進んでください）	172	9.2%	43	10.4%	65	9.2%	64	8.5%
計	1,872	100.0%	413	100.0%	707	100.0%	752	100.0%

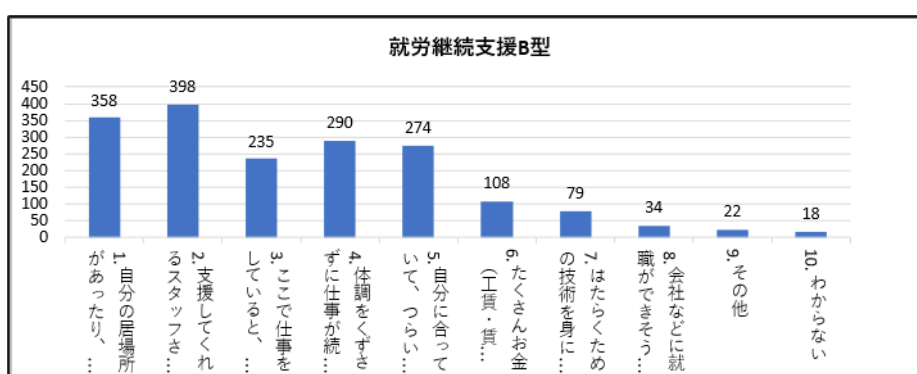
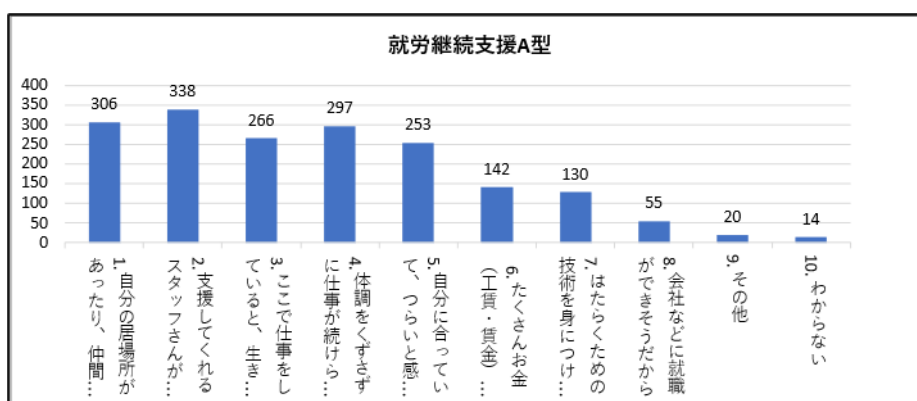
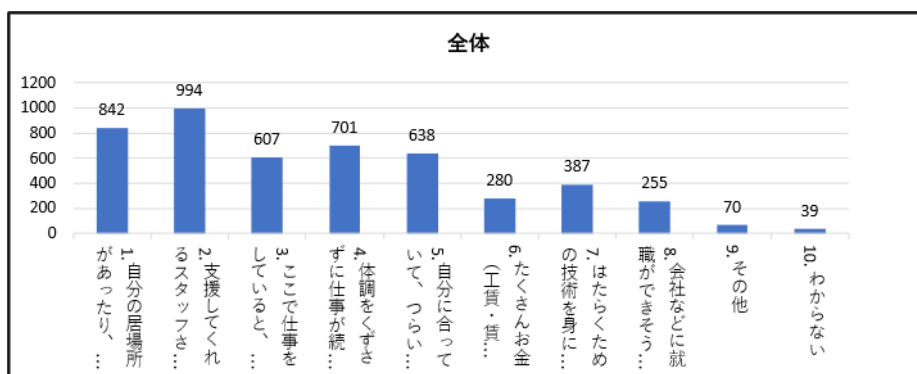


◆「はい」と答えた理由は何ですか？（選択はいくつでも）

- 全体では「2.支援してくれるスタッフさんが信頼できる・好きだから」が20.7%で最も多く、次いで「1.自分の居場所があったり、仲間やともだちがいるから」が17.5%で、事業所の良好な人間関係により、本人が通ってよかったと思えている状況が推察される
- 事業別では、就労移行で「7.はたらくための技術を身につけられるから」「8.会社などに就職ができそうだから」の割合が他の2つよりも多くなっている

◆「はい」と答えた理由は何ですか？（選択はいくつでも）

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所があったり、仲間やともだちがいるから	842	17.5%	178	15.1%	306	16.8%	358	19.7%
2.支援してくれるスタッフさんが信頼できる・好きだから	994	20.7%	258	21.9%	338	18.6%	398	21.9%
3.ここで仕事をしていると、生きがい・やりがいを感じるから	607	12.6%	106	9.0%	266	14.6%	235	12.9%
4.体調をくずさずに仕事が続けられるから	701	14.6%	114	9.7%	297	16.3%	290	16.0%
5.自分に合っていて、つらいと感じずにできる仕事だから	638	13.3%	111	9.4%	253	13.9%	274	15.1%
6.たくさんお金（工資・賃金）をかせげるから	280	5.8%	30	2.6%	142	7.8%	108	5.9%
7.はたらくための技術を身につけられるから	387	8.0%	178	15.1%	130	7.1%	79	4.4%
8.会社などに就職ができそうだから	255	5.3%	166	14.1%	55	3.0%	34	1.9%
9.その他	70	1.5%	28	2.4%	20	1.1%	22	1.2%
10.わからない	39	0.8%	7	0.6%	14	0.8%	18	1.0%
計	4,813	100.0%	1,176	100.0%	1,821	100.0%	1,816	100.0%



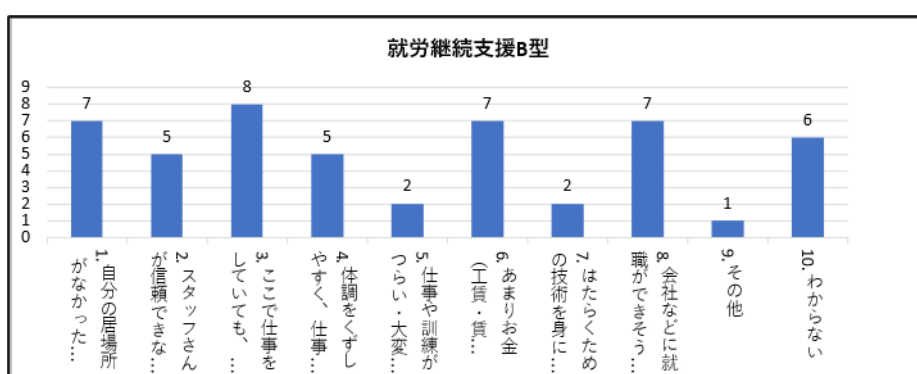
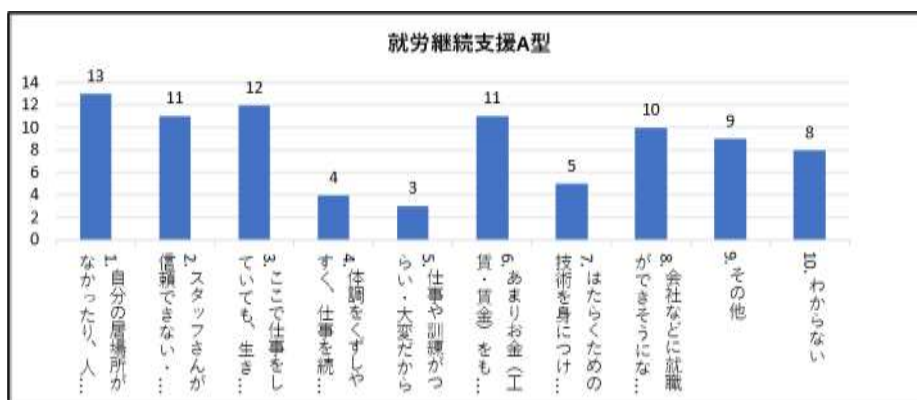
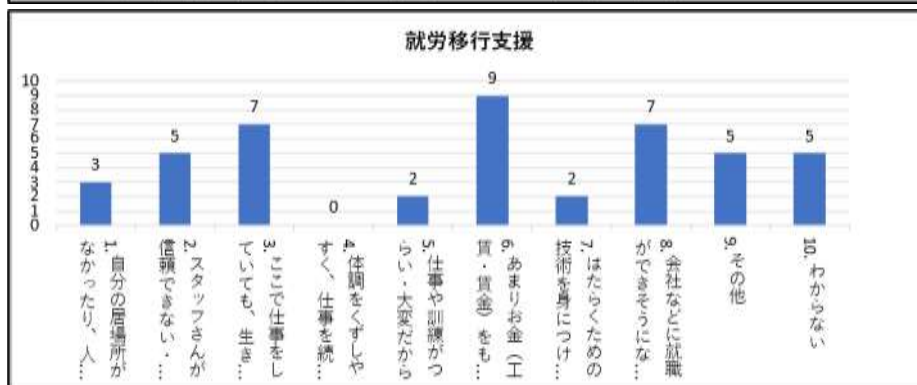
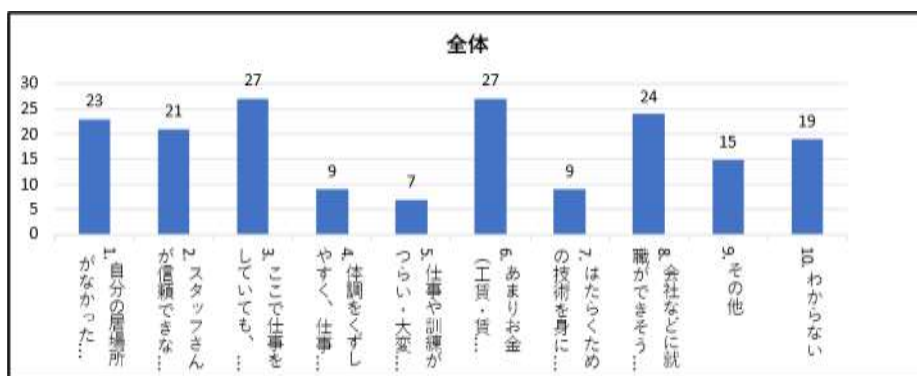
「いいえ」と回答した理由については、全体では「6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから(14.9%)」「3.ここで仕事をしていても、生きがい・やりがいを感じられないから(14.9%)」という仕事の対価に関することが多く、次いで「1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから」「2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから」といった人間関係によるものが続いている。

▼「いいえ」と答えた理由は何ですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから(14.9%)」「3.ここで仕事をしていても、生きがい・やりがいを感じられないから(14.9%)」という仕事の対価に関することが多く、次いで「1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから」「2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから」といった人間関係によるものが続いている

▼「いいえ」と答えた理由は何ですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	23	12.7%	3	6.7%	13	15.1%	7	14.0%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	21	11.6%	5	11.1%	11	12.8%	5	10.0%
3.ここで仕事をしていても、生きがい・やりがいを感じられないから	27	14.9%	7	15.6%	12	14.0%	8	16.0%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしいから	9	5.0%	0	0.0%	4	4.7%	5	10.0%
5.仕事や訓練がつらい・大変だから	7	3.9%	2	4.4%	3	3.5%	2	4.0%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	27	14.9%	9	20.0%	11	12.8%	7	14.0%
7.はたらくための技術を身につけられないから	9	5.0%	2	4.4%	5	5.8%	2	4.0%
8.会社などに就職ができそうにないから	24	13.3%	7	15.6%	10	11.6%	7	14.0%
9.その他	15	8.3%	5	11.1%	9	10.5%	1	2.0%
10.わからない	19	10.5%	5	11.1%	8	9.3%	6	12.0%
計	181	100.0%	45	100.0%	86	100.0%	50	100.0%



- ・ 今かよっている事業所にくるようになって、自分のことで変わったと思うことや、できるようになったことを教えてください。

全体では「3.気持ちが明るくなったり、楽しいと思うことが前より増えた」が12.0%で最も多く、次いで「1.ともだちや仲間ができた・増えた」が11.3%あった。同傾向は就労継続支援B型で他の2つよりも多く出ている。

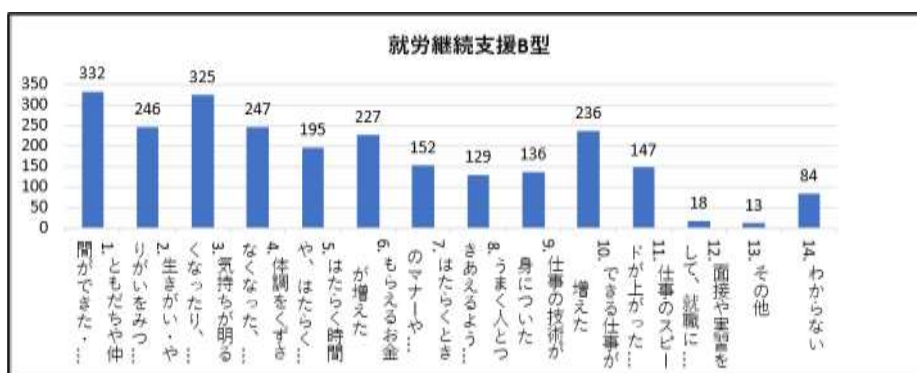
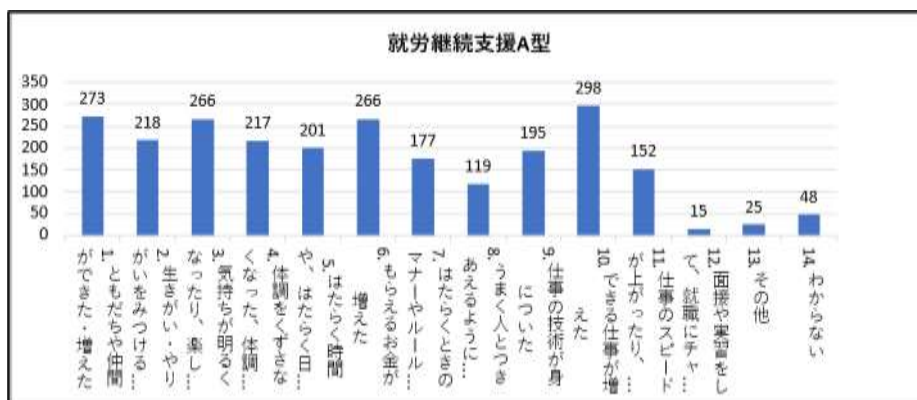
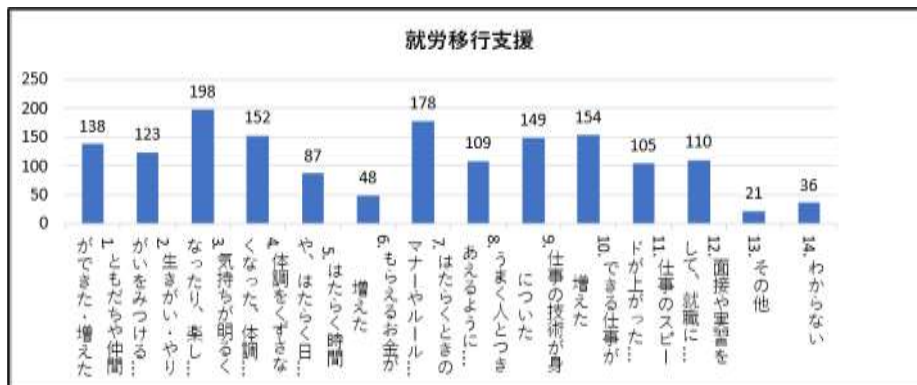
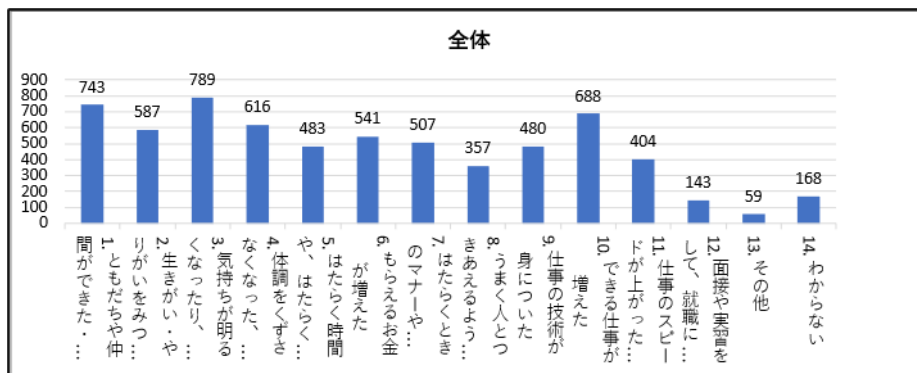
一方、就労継続支援A型では「10.できる仕事が増えた(12.1%)」や「6.もらえるお金が増えた(10.8%)」なども多かった。

Q38. 今かよっている事業所にくるようになって、自分のことで変わったと思うことや、できるようになったことを教えてください。

- 全体では「3.気持ちが明るくなったり、楽しいと思うことが前より増えた」が12.0%で最も多く、次いで「1.ともだちや仲間ができた・増えた」が11.3%あった。同傾向は就労Bで他の2つよりも多く出ている
- 一方、就労Aでは「10.できる仕事が増えた(12.1%)」や「6.もらえるお金が増えた(10.8%)」なども多かった

Q38. 今かよっている事業所にくるようになって、自分のことで変わったと思うことや、できるようになったことを教えてください。(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.ともだちや仲間ができた・増えた	743	11.3%	138	8.6%	273	11.1%	332	13.3%
2.生きがい・やりがいを見つけることができた	587	8.9%	123	7.6%	218	8.8%	246	9.9%
3.気持ちが明るくなったり、楽しいと思うことが前より増えた	789	12.0%	198	12.3%	266	10.8%	325	13.1%
4.体調をくずさなくなった、体調がよくなった	616	9.4%	152	9.5%	217	8.8%	247	9.9%
5.はたらく時間や、はたらく日数が増えた	483	7.4%	87	5.4%	201	8.1%	195	7.8%
6.もらえるお金が増えた	541	8.2%	48	3.0%	266	10.8%	227	9.1%
7.はたらくときのマナーやルールが身についた	507	7.7%	178	11.1%	177	7.2%	152	6.1%
8.うまく人とつきあえるようになった	357	5.4%	109	6.8%	119	4.8%	129	5.2%
9.仕事の技術が身についた	480	7.3%	149	9.3%	195	7.9%	136	5.5%
10.できる仕事が増えた	688	10.5%	154	9.6%	298	12.1%	236	9.5%
11.仕事のスピードが上がったり、まちがいが少なくなった	404	6.2%	105	6.5%	152	6.2%	147	5.9%
12.面接や実習をして、就職にチャレンジするようになった	143	2.2%	110	6.8%	15	0.6%	18	0.7%
13.その他	59	0.9%	21	1.3%	25	1.0%	13	0.5%
14.わからない	168	2.6%	36	2.2%	48	1.9%	84	3.4%
計	6,565	100.0%	1,608	100.0%	2,470	100.0%	2,487	100.0%



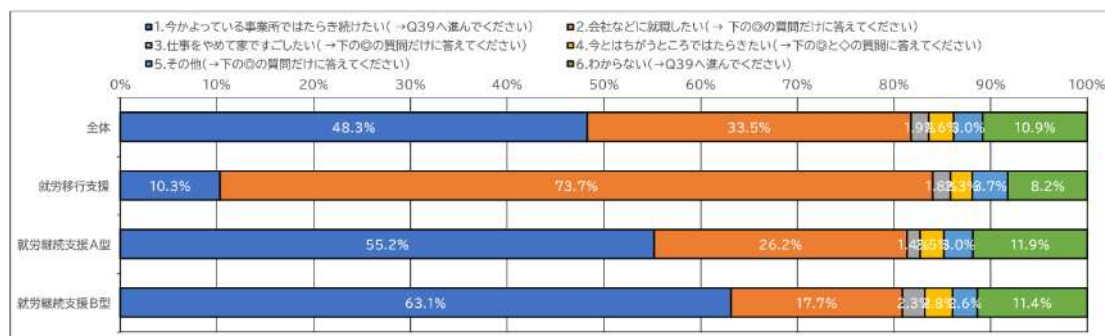
- あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？
全体では「1.今かよっている事業所ではたらき続けたい」が最も多く、就労継続支援 A 型・B 型では6割前後の回答があった。一方、就労移行支援では「2.会社などに就職したい」が73.7%と回答の大半を占めた。
- それは、いつごろまでにしたいことですか？
全体では、2年以内という回答の合計が7割程度を占めたが、2年の利用期間の目安がある就労移行では87.4%となっている。一方、就労継続支援 A 型・B 型では2年以内は半数程度で、「2年より先でよい」や「わからない」という回答も4割程度あった。
- それはどの障害福祉サービスですか？
「4.今とはちがうところではたらきたい」と答えた人の移行希望先としては、「就労移行→就労移行」「就労 A→就労 A」「就労 B→就労 B」と、同サービスの他事業所へ移りたいという回答が全事業でそれぞれ最も多かった。

Q39. あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？(選択は1つ)

- 全体では「1.今かよっている事業所ではたらき続けたい」が最も多く、就労A・Bでは6割前後の回答があった。一方、就労移行では「2.会社などに就職したい」が73.7%と回答のほとんどを占めた

Q39. あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.今かよっている事業所ではたらき続けたい(→Q39へ進んでください)	938	48.3%	45	10.3%	405	55.2%	488	63.1%
2.会社などに就職したい(→下の◎の質問だけに答えてください)	651	33.5%	322	73.7%	192	26.2%	137	17.7%
3.仕事をやめて家ですごしたい(→下の◎の質問だけに答えてください)	36	1.9%	8	1.8%	10	1.4%	18	2.3%
4.今とはちがうところではたらきたい(→下の◎と◇の質問に答えてください)	50	2.6%	10	2.3%	18	2.5%	22	2.8%
5.その他(→下の◎の質問だけに答えてください)	58	3.0%	16	3.7%	22	3.0%	20	2.6%
6.わからない(→Q39へ進んでください)	211	10.9%	36	8.2%	87	11.9%	88	11.4%
計	1,944	100.0%	437	100.0%	734	100.0%	773	100.0%

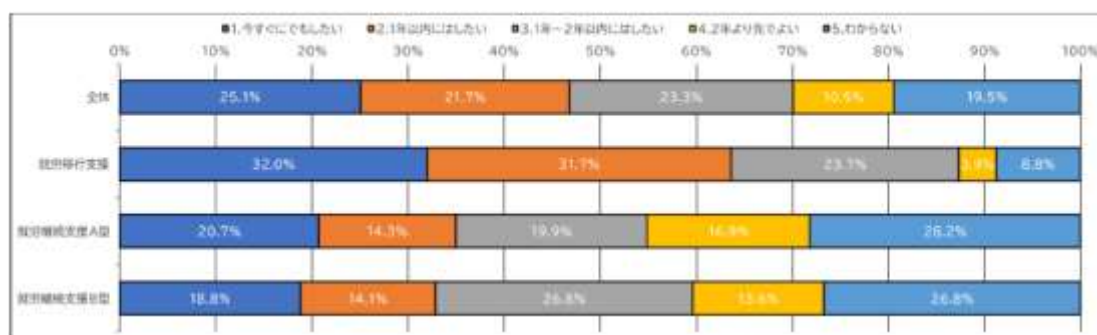


◎それは、いつごろまでにしたいことですか？（選択は1つ）

- 全体では、2年以内という回答の合計が7割程度を占めたが、2年の利用期間の目安がある就労移行では87.4%となっている。一方、就労A・Bでは2年以内は半数程度で、「2年より先でよい」や「わからない」という回答も4割程度あった

◎それは、いつごろまでにしたいことですか？（選択は1つ） ※ Q39で2.～5.の回答をした人のみ

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.今すぐにでもしたい	211	25.1%	116	32.0%	55	20.7%	40	18.8%
2.1年以内にはしたい	183	21.7%	115	31.7%	38	14.3%	30	14.1%
3.1年～2年以内にはしたい	196	23.3%	86	23.7%	53	19.9%	57	26.8%
4.2年より先でよい	88	10.5%	14	3.9%	45	16.9%	29	13.6%
5.わからない	164	19.5%	32	8.8%	75	28.2%	57	26.8%
計	842	100.0%	363	100.0%	266	100.0%	213	100.0%



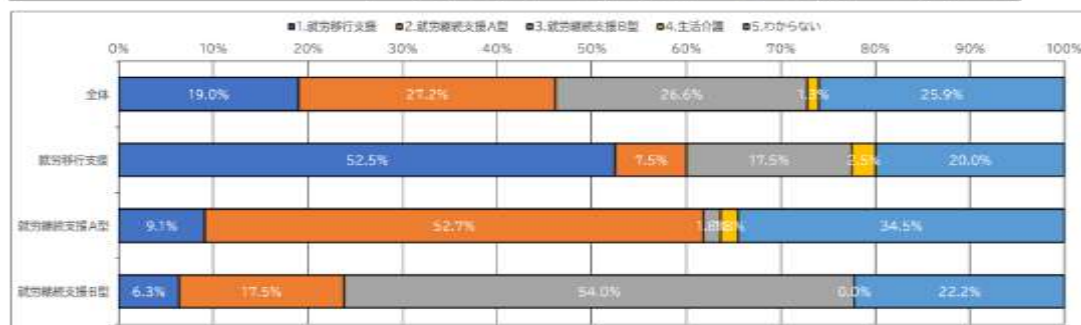
◇それはどの障害福祉サービスですか？（選択は1つ）

- Q39で「4.今とはちがうところではたらきたい」と答えた人の移行希望先としては、「就労移行→就労移行」「就労A→就労A」「就労B→就労B」と、同サービスの他事業所へ移りたいという回答が全事業でそれぞれ最も多かった

◇それはどの障害福祉サービスですか？（選択は1つ）

※ Q39で4.の回答をした人のみ

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.就労移行支援	30	19.0%	21	52.5%	5	9.1%	4	6.3%
2.就労継続支援A型	43	27.2%	3	7.5%	29	52.7%	11	17.5%
3.就労継続支援B型	42	26.6%	7	17.5%	1	1.8%	34	54.0%
4.生活介護	2	1.3%	1	2.5%	1	1.8%	0	0.0%
5.わからない	41	25.9%	8	20.0%	19	34.5%	14	22.2%
計	158	100.0%	40	100.0%	55	100.0%	63	100.0%



- ・ あなたは、はたらくことについてどんなことができるようになりたいですか？

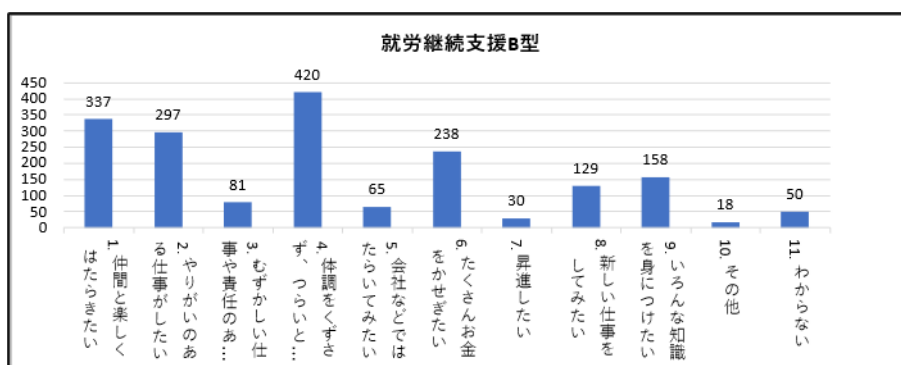
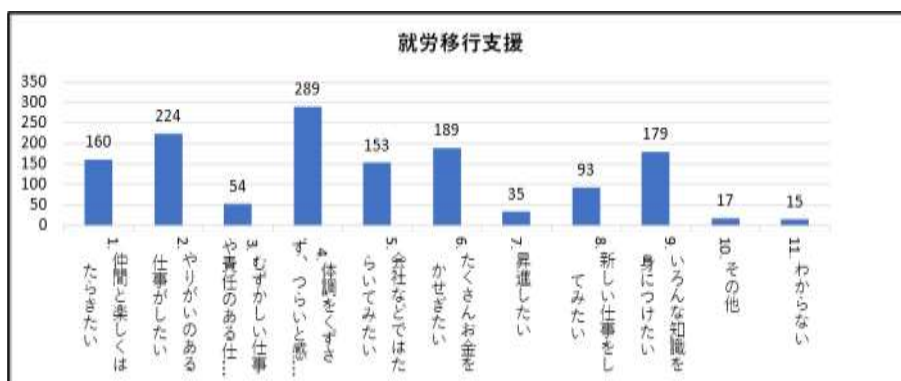
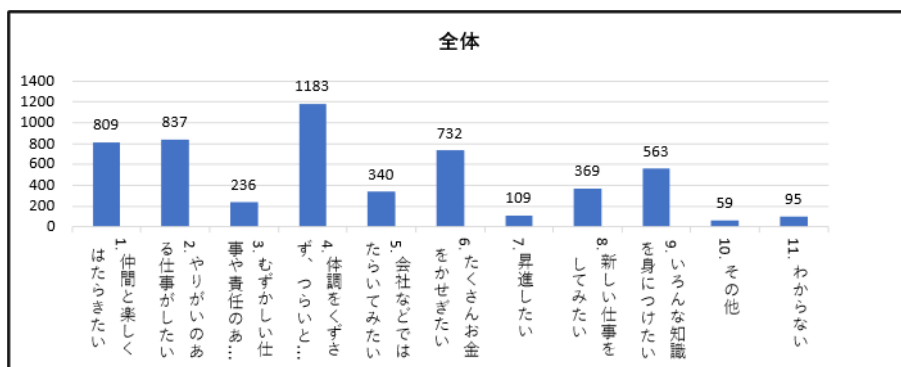
全項目で「4.体調をくずさず、つらいと感じずに続けられる仕事がしたい」が20%強で最も多かった。次いで「2.やりがいのある仕事がしたい」「6.たくさんお金をかせぎたい」が15%前後で続いているが、就労継続支援B型では「1.仲間と楽しくはたらきたい」が18.5%と2番目に多かった。

Q40. あなたは、はたらくことについてどんなことができるようになりたいですか？(選択はいくつでも)

- 全項目で「4.体調をくずさず、つらいと感じずに続けられる仕事がしたい」が20%強で最も多かった。次いで「2.やりがいのある仕事がしたい」「6.たくさんお金をかせぎたい」が15%前後で続いているが、就労Bでは「1.仲間と楽しくはたらきたい」が18.5%と2番目に多かった

Q40. あなたは、はたらくことについてどんなことができるようになりたいですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.仲間と楽しくはたらきたい	809	15.2%	160	11.4%	312	14.9%	337	18.5%
2.やりがいのある仕事がしたい	837	15.7%	224	15.9%	316	15.0%	297	16.3%
3.むずかしい仕事や責任のある仕事をしたい	236	4.4%	54	3.8%	101	4.8%	81	4.4%
4.体調をくずさず、つらいと感じずに続けられる仕事がしたい	1183	22.2%	289	20.5%	474	22.6%	420	23.0%
5.会社などではたらいてみたい	340	6.4%	153	10.9%	122	5.8%	65	3.6%
6.たくさんお金をかせぎたい	732	13.7%	189	13.4%	305	14.5%	238	13.1%
7.昇進したい	109	2.0%	35	2.5%	44	2.1%	30	1.6%
8.新しい仕事をしてみたい	369	6.9%	93	6.6%	147	7.0%	129	7.1%
9.いろんな知識を身につけたい	563	10.6%	179	12.7%	226	10.8%	158	8.7%
10.その他	59	1.1%	17	1.2%	24	1.1%	18	1.0%
11.わからない	95	1.8%	15	1.1%	30	1.4%	50	2.7%
計	5,332	100.0%	1,408	100.0%	2,101	100.0%	1,823	100.0%



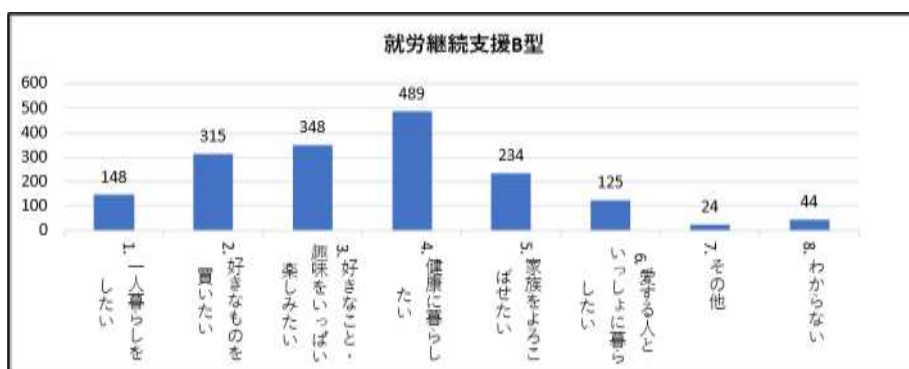
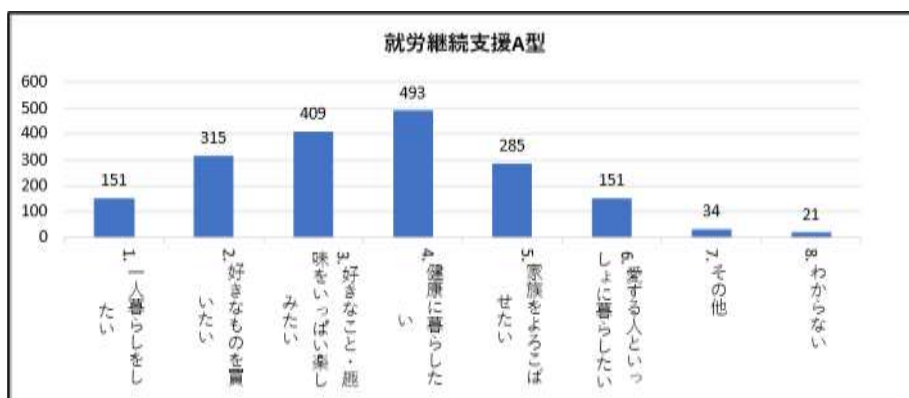
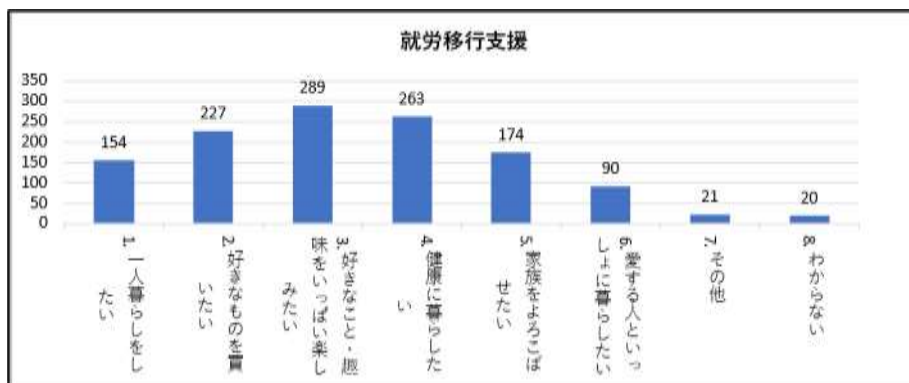
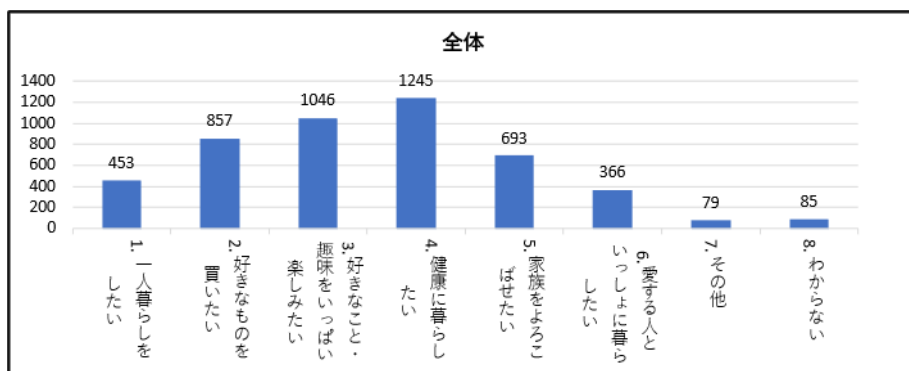
- ・ あなたは、はたらきながら、どんなふうに暮らしたいですか？
 全体的に「4.健康に暮らしたい」が20～30%程度で最も多く、次いで「3.好きなこと・趣味をいっぱい楽しみたい」「2.好きなものを買いたい」も多く、収入を得ることで楽しんで暮らしたいという希望が多いことが見て取れる。
 また、「5.家族をよろこばせたい」という回答も比較的多くあり、本人の家族に対する想いや愛情を推察することができる。

Q41. あなたは、はたらきながら、どんなふうに暮らしたいですか？(選択はいくつでも)

- 全体的に「4.健康に暮らしたい」が20～30%程度で最も多く、次いで「3.好きなこと・趣味をいっぱい楽しみたい」「2.好きなものを買いたい」も多く、収入を得ることで楽しんで暮らしたいという希望が多いことが見て取れる
- また、「5.家族をよろこばせたい」という回答も比較的多くあり、本人の家族に対する想いや愛情を推察することができる

Q41. あなたは、はたらきながら、どんなふうに暮らしたいですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.一人暮らしをしたい	453	9.4%	154	12.4%	151	8.1%	148	8.6%
2.好きなものを買いたい	857	17.8%	227	18.3%	315	16.9%	315	18.2%
3.好きなこと・趣味をいっぱい楽しみたい	1046	21.7%	289	23.3%	409	22.0%	348	20.2%
4.健康に暮らしたい	1245	25.8%	263	21.2%	493	26.5%	489	28.3%
5.家族をよろこばせたい	693	14.4%	174	14.1%	285	15.3%	234	13.5%
6.愛する人といっしょに暮らしたい	366	7.6%	90	7.3%	151	8.1%	125	7.2%
7.その他	79	1.6%	21	1.7%	34	1.8%	24	1.4%
8.わからない	85	1.8%	20	1.6%	21	1.1%	44	2.5%
計	4,824	100.0%	1,238	100.0%	1,859	100.0%	1,727	100.0%



- このアンケートをどのように答えましたか？
全体では、すべて一人で答えた割合は 62.3%だったが、就労移行支援と就労継続支援 A 型では7割前後で、比較的障害程度が重い方が多い就労継続支援 B 型が 49.9%と半数程度だった。
- 誰に手伝ってもらいましたか？
全項目で事業所のスタッフに手伝ってもらった回答が多く、就労継続支援 B 型では家族という回答が 24.4%で他の2つよりも多かった。
- どのくらい手伝ってもらいましたか？
「1.ほぼすべて」手伝ってもらった割合は、就労継続支援 B 型で 39.7%と特に高く、就労移行支援・就労継続支援 A 型では「4.ほんの少し」が4割前後と、ほぼ一人で回答した割合が多くなっている。

Q42. このアンケートをどのように答えましたか？(選択は1つ)

- 全体では、すべて一人で答えた割合は62.3%だったが、就労移行と就労Aでは7割前後で、比較的障害程度が重い方が多い就労Bが49.9%と半数程度だった

Q42. このアンケートをどのように答えましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.すべて自分一人で答えた(→下の質問には答えなくてよいです)	1225	62.3%	301	68.6%	531	71.7%	393	49.9%
2.手伝ってもらって答えた(→下の2つの質問に答えてください)	742	37.7%	138	31.4%	210	28.3%	394	50.1%
計	1,967	100.0%	439	100.0%	741	100.0%	787	100.0%



誰に手伝ってもらいましたか？(選択は1つ)

- 全項目で事業所のスタッフに手伝ってもらった回答が多く、就労Bでは家族という回答が24.4%で他の2つよりも多かった

誰に手伝ってもらいましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.事業所のスタッフさん	556	72.7%	114	78.1%	153	68.9%	289	72.8%
2.家族	172	22.5%	25	17.1%	50	22.5%	97	24.4%
3.とんどち	4	0.5%	1	0.7%	3	1.4%	0	0.0%
4.その他	33	4.3%	6	4.1%	16	7.2%	11	2.8%
計	765	100.0%	146	100.0%	222	100.0%	397	100.0%

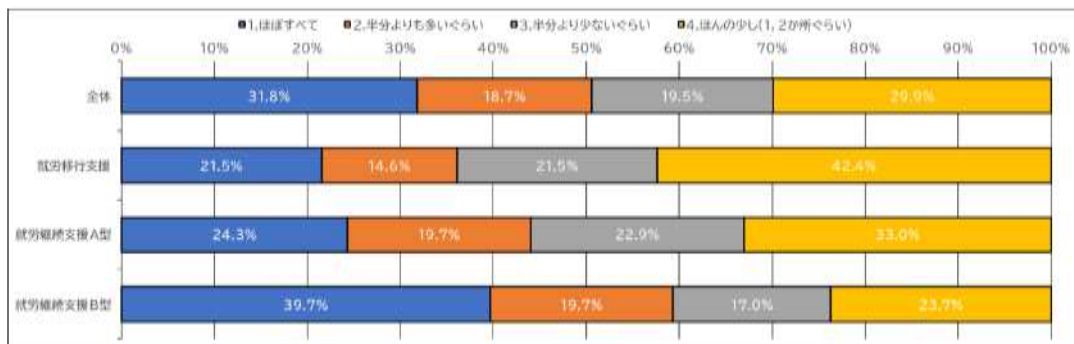


どのくらい手伝ってもらいましたか？(選択は1つ)

- 「1.ほぼすべて」手伝ってもらった割合は、就労Bで39.7%と特に高く、就労移行・就労Aでは「4.ほんの少し(1, 2か所くらい)」が4割前後と、ほぼ一人で回答した割合が多くなっている

どのくらい手伝ってもらいましたか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.ほぼすべて	243	31.8%	31	21.5%	53	24.3%	159	39.7%
2.半分よりも多いくらい	143	18.7%	21	14.6%	43	19.7%	79	19.7%
3.半分より少ないくらい	149	19.5%	31	21.5%	50	22.9%	68	17.0%
4.ほんの少し(1, 2か所くらい)	228	29.9%	61	42.4%	72	33.0%	95	23.7%
計	763	100.0%	144	100.0%	218	100.0%	401	100.0%



3.2.3 クロス分析

【分析の視点】

前項までの各種調査から、以下の視点をもってクロス分析を実施した。

- I. 利用者「ニーズ」と「ウォンツ」とのギャップ
 - ◆ ギャップが生じている場合の利用者満足度
 - ◆ 利用者は「ウォンツ」をきちんと表出したり相談できているか
- II. 利用者ウォンツの変化
 - ◆ 事業種別、障害種別、年代別の利用者ウォンツの変化(利用開始当初→現在)
 - ◆ ウォンツの実現に向けた事業所の対応
- III. 利用者本人は事業所に対しどのような支援を求めているのか
 - ◆ 本人の希望に対して実施されている支援の具体的な内容
 - ◆ 本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度
 - ◆ 一般就労への希望に対する支援の状況
 - ◆ 工賃(賃金)向上への希望に対する支援の状況
 - ◆ 総合満足度が低い事業所の傾向

なお、本章においては各調査について以下の略称を用いて表記しており、設問番号は各調査における番号となっている。(調査票については巻末の参考資料を参照のこと)

- 「#1 事業所調査」：3.2.1 事業所調査
 - 「#2 事業所調査」：3.2.2 利用者調査の際に、合わせて各事業所へ対象利用者に関する属性情報等の提供を依頼した調査
 - 「#2 利用者調査」：3.2.2 利用者調査
- ※ 次ページ以降掲載しているグラフ等は、考察の内容を理解しやすくする目的で前章までのグラフ等を一部再掲している。

○ 使用文言の定義【再掲】

利用者の「ニーズ」と「ウォンツ」という文言については、便宜的に以下のとおり区別して分析を行っている。

- 「ニーズ」：個別支援計画の作成時等のタイミングで事業所が利用者本人から聞き取った、利用者本人の希望を実現するために必要であると事業所側が認識していること
- 「ウォンツ」：利用者本人が希望していること

I.利用者「ニーズ」と「ウォンツ」とのギャップ

◆ 利用者「ニーズ」と「ウォンツ」の一致度と利用者満足度

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 事業所調査Q8 ……現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか(1年以内)＝「ニーズ」
- ② #2 利用者調査Q11 ……本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ③ ②に対応する支援についての満足度

➤ ①「ニーズ」＝②「ウォンツ」の利用者に関して、満足度③を集計分析

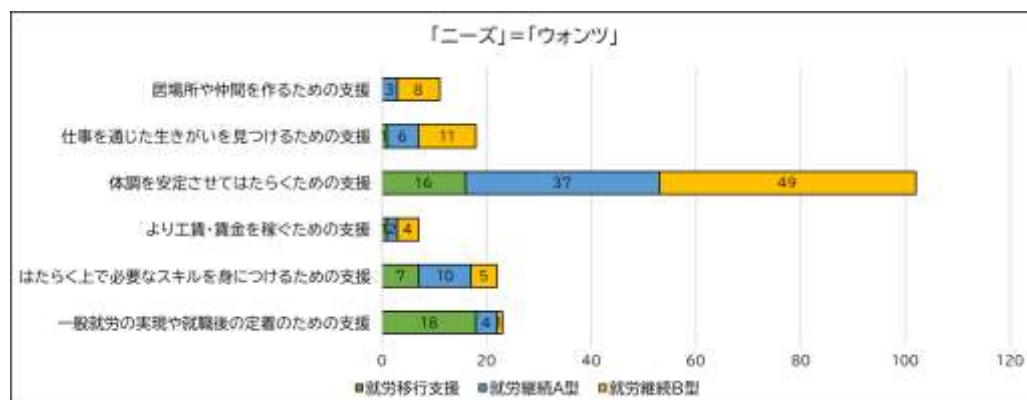
まずはじめに、利用者「ニーズ」と「ウォンツ」の一致度を見る。#2 事業所調査において回答があった利用者ケース全数722件のうち、利用者「ニーズ」と「ウォンツ」が一致していた件数が183件だった。

このうち、最も高かったのは「体調を安定させてはたらくための支援」の場合で55.7%と半数以上を占めた。

これらの「ウォンツ」に対する事業所からの支援に関する満足度が次ページの表となるが、全体で6割以上が満足しているという結果が出ている。

◆「ニーズ」＝「ウォンツ」の事業種別回答分布

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内):「ニーズ」	就労移行支援		就労継続A型		就労継続B型		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
居場所や仲間を作るための支援	0	0.0%	3	4.8%	8	10.3%	11	6.0%
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	1	2.3%	6	9.7%	11	14.1%	18	9.8%
体調を安定させてはたらくための支援	16	37.2%	37	59.7%	49	62.8%	102	55.7%
より工賃・賃金を稼ぐための支援	1	2.3%	2	3.2%	4	5.1%	7	3.8%
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	7	16.3%	10	16.1%	5	6.4%	22	12.0%
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	18	41.9%	4	6.5%	1	1.3%	23	12.6%
総計	43	100.0%	62	100.0%	78	100.0%	183	100.0%



事業種別	現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内)＝「ニーズ」	1.とても満足している	2.満足している	3.普通	4.不満がある	5.とても不満がある	6.わからない	無回答	合計
就労移行支援	はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	3	3	1					7
	より工賃・賃金を稼ぐための支援		1						1
	一般就労の実現や就職後の定着のための支援	9	4	5					18
	仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	1							1
	体調を安定させてはたらくための支援	6	3	5	1		1		16
就労移行支援 集計		19	11	11	1	0	1	0	43
就労継続A型	はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	3	5	2					10
	より工賃・賃金を稼ぐための支援	1		1					2
	一般就労の実現や就職後の定着のための支援		1	1	2				4
	居場所や仲間を作るための支援	1	1	1					3
	仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	2		4					6
	体調を安定させてはたらくための支援	8	12	12	3			2	37
就労継続A型 集計		15	19	21	5	0	0	2	62
就労継続B型	はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	4		1					5
	より工賃・賃金を稼ぐための支援			1	3				4
	一般就労の実現や就職後の定着のための支援		1						1
	居場所や仲間を作るための支援	3	2	3					8
	仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	3	3	5					11
	体調を安定させてはたらくための支援	12	22	11	2		2		49
就労継続B型 集計		22	28	21	5	0	2	0	78
総計		56	58	53	11	0	3	2	183
割合		30.6%	31.7%	29.0%	6.0%	0.0%	1.6%	1.1%	100.0%

◆ ギャップが生じている場合の利用者満足度

【クロス分析】（＃1:第1回調査 ＃2:第2回調査）

- ① 第2 事業所調査Q8 ……現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか(1年以内)＝「ニーズ」
- ② 第2 利用者調査Q11 ……本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ③ ②に対応する支援についての満足度

➤ ①「ニーズ」≠②「ウォンツ」の利用者に関して、満足度③を集計分析

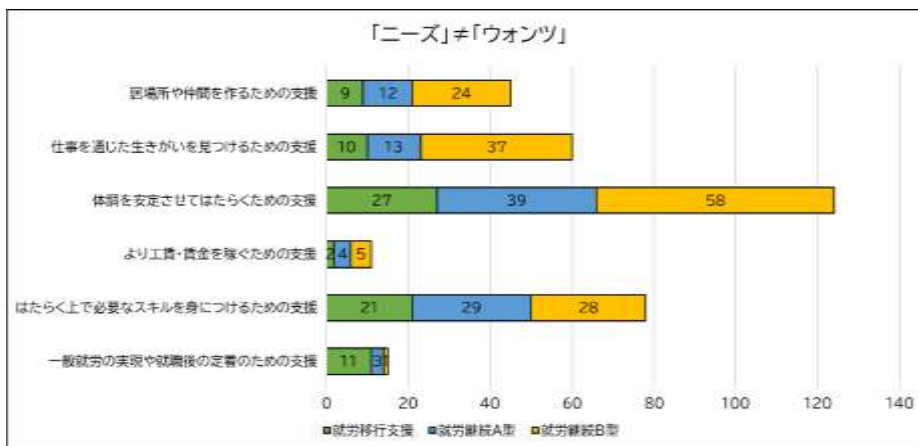
次に、「ニーズ」と「ウォンツ」にギャップが生じているケースについて分析する。

最もギャップが生じているケースは、ニーズが「体調を安定させてはたらくための支援」の場合で、利用者本人は「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」や「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」と思っているが、支援者側から見ると、まだ就労準備性などの面も含め、まずは体調を整えてから次のステップへ、という見立てになっていることがあると推察される。このことは、ヒアリング調査でも同様の傾向や事例が聞かれた。

一方、ウォンツに対応する支援に対する満足度は、それほど低い結果は出でらず、事業所が考えるニーズは別にあったとしても、希望する支援については一定程度行われているものと推察される。

◆「ニーズ」≠「ウォンツ」の事業種別回答分布

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内):「ニーズ」	就労移行支援		就労継続A型		就労継続B型		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
居場所や仲間を作るための支援	9	11.3%	12	12.0%	24	15.7%	45	13.5%
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	10	12.5%	13	13.0%	37	24.2%	60	18.0%
体調を安定させてはたらくための支援	27	33.8%	39	39.0%	58	37.9%	124	37.2%
より工賃・賃金を稼ぐための支援	2	2.5%	4	4.0%	5	3.3%	11	3.3%
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	21	26.3%	29	29.0%	28	18.3%	78	23.4%
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	11	13.8%	3	3.0%	1	0.7%	15	4.5%
総計	80	100.0%	100	100.0%	153	100.0%	333	100.0%



ギャップが生じている場合(①≠②)の、ウォンツに対応する支援への満足度

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内):「ニーズ」	本人が「現在」実現したいこと:「ウォンツ」	1.とても満足している	2.満足している	3.普通	4.不満がある	5.とても不満がある	6.わからない	無回答	統計
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい	3	1	1	1		1		7
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい	2	1	1			1		5
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい	5	8	5	1		1		20
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい	4	5	5			3	1	14
	5. はたらくための技術を身につけたい	4	10	10	3		4		28
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい								4
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援 集計		14	25	22	5		11	1	78
より工賃・賃金を稼ぐための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい		1	1					2
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい			1					1
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい					1	1		2
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい			1	1				2
	5. はたらくための技術を身につけたい	1	1	1				1	4
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい								1
より工賃・賃金を稼ぐための支援 集計		1	2	4	1	1	1	1	11
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい			1					1
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい			2					2
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい								6
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい	4	2	1	2				9
	5. はたらくための技術を身につけたい	2	1						3
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい	6	3	4	2				15
一般就労の実現や就職後の定着のための支援 集計		12	6	5	4				27
居場所や仲間を作るための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい	3	6	8	3			1	20
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい	1	1	6	2		1		11
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい			1					1
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい	2	1	1					4
	5. はたらくための技術を身につけたい	2	1						3
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい	2	1		1	1			5
居場所や仲間を作るための支援 集計		9	9	18	6	1	1	2	45
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい	4	2	2			1		9
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい	3	9	7	1		1	1	22
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい	2	2		6				10
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい	2	2						4
	5. はたらくための技術を身につけたい	2	2	2			1	1	8
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい						3		3
	7. わからない								3
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援 集計		16	18	11	7	1	6	1	60
体調を安定させてはたらくための支援	1. 自分の居場所や仲間をつくりたい	6	4	5					15
	2. 仕事をして生きがいを見つけたい	7	2	7				4	20
	3. 体調をくずさないようにはたらかせたい	4	10	11	5				30
	4. お金(工賃・賃金)をかせぎたい	4	6	1	1		2		14
	5. はたらくための技術を身につけたい	6	4						10
	6. 会社などへの就職をめざしてはたらかせたい	9	7	7	2	3	6		34
	7. わからない								10
体調を安定させてはたらくための支援 集計		31	27	31	8	4	19	4	124
総計		74	81	90	29	7	38	9	333

◆ 利用者は「ウォンツ」をきちんと表出したり相談できているか

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

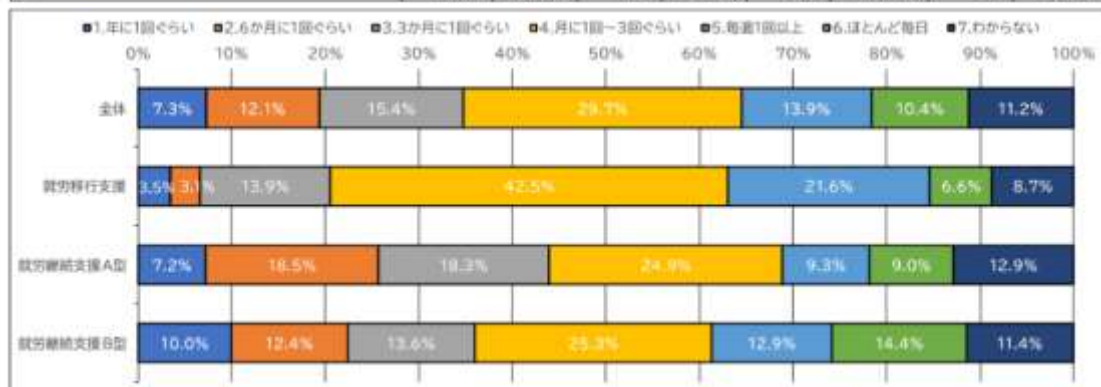
- ① #2 利用者調査Q36 …★事業所への相談の頻度、■相談に応じてくれていると感じるか
- ② #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ③ ②に対応する支援についての満足度

➤ 相談の頻度による満足度のちがいを集計分析

3事業とも「月に1～3回」が最も件数が多いが、満足度の高い割合(1.+2.)は多いわけではなく、就労移行では「3か月に1回ぐらい」、就労継続支援A型では「毎週1回以上」、就労Bでは「ほとんど毎日」が、それぞれ満足度 1.+2.の割合が最も高かった。

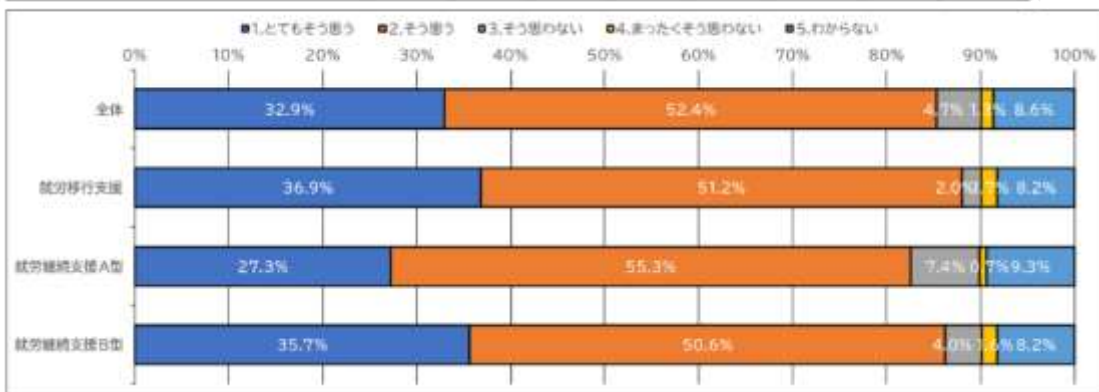
★自分がしてほしいことを事業所のスタッフさんに聞いてもらうことは、どれぐらいありますか？（選択は1つ）

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.年に1回ぐらい	79	7.3%	10	3.5%	28	7.2%	41	10.0%
2.6か月に1回ぐらい	132	12.1%	9	3.1%	72	18.5%	51	12.4%
3.3か月に1回ぐらい	167	15.4%	40	13.9%	71	18.3%	56	13.6%
4.月に1回～3回ぐらい	323	29.7%	122	42.5%	97	24.9%	104	25.3%
5.毎週1回以上	151	13.9%	62	21.6%	36	9.3%	53	12.9%
6.ほとんど毎日	113	10.4%	19	6.6%	35	9.0%	59	14.4%
7.わからない	122	11.2%	25	8.7%	50	12.9%	47	11.4%
計	1,087	100.0%	287	100.0%	389	100.0%	411	100.0%



■スタッフさんに自分がしてほしいことなどを話したとき、自分がしてほしいことにきちんと応えてくれていると感じますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても思う	372	32.9%	108	36.9%	111	27.3%	153	35.7%
2.そう思う	592	52.4%	150	51.2%	225	55.3%	217	50.6%
3.そう思わない	53	4.7%	6	2.0%	30	7.4%	17	4.0%
4.まったくそう思わない	15	1.3%	5	1.7%	3	0.7%	7	1.6%
5.わからない	97	8.6%	24	8.2%	38	9.3%	35	8.2%
計	1,129	100.0%	293	100.0%	407	100.0%	429	100.0%



「事業所への相談の頻度」×「本人のウオツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について 事業所別→事業内縦集計 満足度→事業内縦集計	1.年に1回ぐらい		2.6か月に1回ぐらい		3.3か月に1回ぐらい		4.月に1回～3回ぐらい		5.毎週1回以上		6.ほとんど毎日		7.わからない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	8	3.3%	7	2.9%	35	14.5%	106	44.0%	55	22.8%	16	6.6%	14	5.8%	241	100.0%
1.とても満足している	6	75.0%	3	42.9%	14	40.0%	41	38.7%	19	34.5%	10	62.5%	1	7.1%	94	39.0%
2.満足している	2	25.0%	2	28.6%	15	42.9%	35	33.0%	21	38.2%	3	18.8%	5	35.7%	83	34.4%
3.普通		0.0%		0.0%	5	14.3%	19	17.9%	10	18.2%	2	12.5%	5	35.7%	41	17.0%
4.不満がある		0.0%		0.0%	1	2.9%	4	3.8%	2	3.6%		0.0%	1	7.1%	8	3.3%
5.とても不満がある		0.0%	1	14.3%		0.0%	1	0.9%	1	1.8%		0.0%	1	7.1%	4	1.7%
6.わからない		0.0%		0.0%		0.0%	6	5.7%	2	3.6%	1	6.3%	1	7.1%	11	4.6%
就労A	24	7.3%	63	19.3%	65	19.9%	85	26.0%	27	8.3%	32	9.8%	31	9.5%	327	100.0%
1.とても満足している	6	25.0%	17	27.0%	15	23.1%	25	29.4%	8	29.6%	10	31.3%	8	25.8%	89	27.2%
2.満足している	5	20.8%	19	30.2%	22	33.8%	14	16.5%	11	40.7%	8	25.0%	8	25.8%	87	26.6%
3.普通	8	33.3%	19	30.2%	15	23.1%	33	38.8%	7	25.9%	11	34.4%	8	25.8%	101	30.9%
4.不満がある	3	12.5%	5	7.9%	8	12.3%	6	7.1%	1	3.7%	1	3.1%	1	3.2%	25	7.6%
5.とても不満がある		0.0%	1	1.6%		0.0%	4	4.7%		0.0%		0.0%		0.0%	5	1.5%
6.わからない	2	8.3%	2	3.2%	5	7.7%	3	3.5%		0.0%	2	6.3%	6	19.4%	20	6.1%
就労B	31	9.6%	43	13.3%	40	12.4%	84	26.0%	46	14.2%	49	15.2%	30	9.3%	323	100.0%
1.とても満足している	14	45.2%	8	18.6%	12	30.0%	26	31.0%	21	45.7%	22	44.9%	10	33.3%	113	35.0%
2.満足している	4	12.9%	15	34.9%	11	27.5%	26	31.0%	11	23.9%	13	26.5%	6	20.0%	86	26.6%
3.普通	5	16.1%	15	34.9%	10	25.0%	18	21.4%	9	19.6%	9	18.4%	10	33.3%	76	23.5%
4.不満がある	2	6.5%	3	7.0%	5	12.5%	5	6.0%	3	6.5%		0.0%	2	6.7%	20	6.2%
5.とても不満がある	1	3.2%		0.0%	2	5.0%	4	4.8%		0.0%	2	4.1%		0.0%	9	2.8%
6.わからない	5	16.1%	2	4.7%		0.0%	5	6.0%	2	4.3%	3	6.1%	2	6.7%	19	5.9%
総計	63	7.1%	113	12.7%	140	15.7%	275	30.9%	128	14.4%	97	10.9%	75	8.4%	891	100.0%

Ⅱ.利用者ウォンツの変化

- ◆ 事業種別、障害種別、年代別の利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在)
【クロス分析】(＃1:第1回調査 ＃2:第2回調査)
- ① ＃1 ケース票Q6 …ご本人は「利用開始当初」、貴事業所に通うことで、どんなことを「最も」実現したいと思っていましたか
 - ② ＃1 ケース票Q7 …ご本人は「現在」、貴事業所に通うことで、どんなことを「最も」実現したいと思っていますか
- ①≠② (ウォンツに変化あり)のデータを抽出し、事業別、障害別、年代別で分析

就労移行支援、就労継続支援 A 型では「一般就労を実現する」への変化が最も多く、当初は「体調の安定」「就労スキルの獲得」「工賃(賃金)を稼ぐ」という希望から、それが整って「一般就労の実現」へという流れが見られる。

一方で、「賃金を稼ぐ」「一般就労の実現」という当初の希望から「体調の安定」への変化も多く、利用開始後に体調を崩したり不安定になり、希望が変化したという可能性が推察される。

就労継続支援 B 型では、当初の希望では「居場所・仲間をつくる」が突出して多いが、そこから「生きがい」や「体調の安定」への変化が多くなっている。

年代別では、30歳代までは総じて「スキル獲得」から「一般就労の実現」が特に多く、20歳未満では「体調の安定」「工賃(賃金)を稼ぐ」から「スキル獲得」という就労経験を積むことへの希望も多く見られた。40 歳代以上になると、極端に「体調の安定」への変化が多くなっており、60歳以上では「工賃(賃金)を稼ぐ」からの変化が半数以上を占めている。(これは当初→現在という切り口のため、経過年数にもよると思われる)

60歳以上になると「居場所・仲間をつくる」から「生きがいを見つける」への変化も多くなっていた。

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在)【事業種別】

当初 \ 現在	自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
就労移行支援	47	2.9%	110	6.9%	246	15.3%	64	4.0%	221	13.8%	915	57.1%	1,603	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			20	18.2%	22	20.0%	7	6.4%	32	29.1%	29	26.4%	110	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	2	2.5%			13	16.5%	6	7.6%	21	26.6%	37	46.8%	79	100.0%
体調を安定させてはたらく	9	2.3%	31	8.1%			19	4.9%	89	23.2%	236	61.5%	384	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	1	1.7%	3	5.2%	18	31.0%			5	8.6%	31	53.4%	58	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	13	1.7%	35	4.7%	97	13.0%	18	2.4%			582	78.1%	745	100.0%
一般就労を実現する	22	9.7%	21	9.3%	96	42.3%	14	6.2%	74	32.6%			227	100.0%
就労継続A型	286	6.0%	511	10.7%	1,094	22.8%	908	18.9%	685	14.3%	1,312	27.4%	4,796	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			118	23.2%	125	24.6%	97	19.1%	100	19.7%	68	13.4%	508	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	47	9.8%			159	33.1%	93	19.3%	101	21.0%	81	16.8%	481	100.0%
体調を安定させてはたらく	74	6.7%	147	13.3%			335	30.2%	180	16.2%	372	33.6%	1,108	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	84	7.2%	131	11.2%	393	33.5%			164	14.0%	400	34.1%	1,172	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	51	5.7%	66	7.4%	166	18.7%	216	24.3%			391	43.9%	890	100.0%
一般就労を実現する	30	4.7%	49	7.7%	251	39.4%	167	26.2%	140	22.0%			637	100.0%
就労継続B型	1,904	10.7%	3,401	19.2%	4,956	27.9%	3,382	19.1%	2,209	12.4%	1,899	10.7%	17,751	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			1,528	31.7%	1,671	34.7%	854	17.7%	597	12.4%	170	3.5%	4,820	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	531	20.7%			965	37.6%	611	23.8%	334	13.0%	124	4.8%	2,565	100.0%
体調を安定させてはたらく	532	17.0%	724	23.1%			803	25.6%	510	16.3%	566	18.1%	3,135	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	368	15.7%	433	18.5%	904	38.7%			310	13.3%	323	13.8%	2,338	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	270	10.1%	454	17.0%	603	22.6%	621	23.3%			716	26.9%	2,664	100.0%
一般就労を実現する	203	9.1%	262	11.8%	813	36.5%	493	22.1%	458	20.5%			2,229	100.0%
総計	2,237	9.3%	4,022	16.7%	6,296	26.1%	4,354	18.0%	3,115	12.9%	4,126	17.1%	24,150	100.0%

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在) 【年代別:20 歳未満～50 歳未満】

当初 \ 現在	自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20歳未満	56	7.6%	114	15.4%	101	13.6%	104	14.1%	149	20.1%	216	29.2%	740	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			66	34.9%	32	16.9%	30	15.9%	50	26.5%	11	5.8%	189	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	14	18.4%			15	19.7%	21	27.6%	21	27.6%	5	6.6%	76	100.0%
体調を安定させてはたらく	8	10.7%	10	13.3%			17	22.7%	25	33.3%	15	20.0%	75	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	7	9.7%	8	11.1%	15	20.8%			22	30.6%	20	27.8%	72	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	18	6.9%	25	9.5%	25	9.5%	29	11.1%			165	63.0%	262	100.0%
一般就労を実現する	9	13.6%	5	7.6%	14	21.2%	7	10.6%	31	47.0%			66	100.0%
20歳以上～30歳未満	450	7.8%	854	14.8%	1,015	17.6%	1,003	17.4%	1,101	19.1%	1,328	23.1%	5,751	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			426	31.0%	320	23.3%	232	16.9%	303	22.1%	92	6.7%	1,373	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	113	17.7%			129	20.2%	158	24.8%	164	25.7%	74	11.6%	638	100.0%
体調を安定させてはたらく	79	9.4%	126	14.9%			165	19.5%	211	25.0%	263	31.2%	844	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	75	11.8%	75	11.8%	130	20.5%			156	24.6%	198	31.2%	634	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	127	8.1%	178	11.4%	237	15.1%	322	20.6%			701	44.8%	1,565	100.0%
一般就労を実現する	56	8.0%	49	7.0%	199	28.6%	126	18.1%	267	38.3%			697	100.0%
30歳以上～40歳未満	388	7.7%	776	15.4%	1,099	21.8%	885	17.6%	791	15.7%	1,094	21.7%	5,033	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			334	30.1%	306	27.6%	212	19.1%	178	16.1%	78	7.0%	1,108	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	105	19.2%			144	26.4%	123	22.5%	114	20.9%	60	11.0%	546	100.0%
体調を安定させてはたらく	103	10.2%	147	14.5%			202	19.9%	199	19.6%	363	35.8%	1,014	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	60	9.3%	97	15.0%	188	29.1%			117	18.1%	185	28.6%	647	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	78	7.7%	127	12.5%	201	19.8%	200	19.7%			408	40.2%	1,014	100.0%
一般就労を実現する	42	6.0%	71	10.1%	260	36.9%	148	21.0%	183	26.0%			704	100.0%
40歳以上～50歳未満	470	9.1%	839	16.2%	1,353	26.2%	980	19.0%	638	12.3%	888	17.2%	5,168	100.0%
自分の居場所や仲間を作る			316	28.8%	400	36.4%	201	18.3%	129	11.7%	52	4.7%	1,098	100.0%
仕事を通じた生きがいを見つける	109	17.9%			216	35.5%	144	23.7%	78	12.8%	61	10.0%	608	100.0%
体調を安定させてはたらく	142	12.1%	210	17.9%			296	25.2%	212	18.1%	313	26.7%	1,173	100.0%
工賃・賃金を稼ぐ	91	12.2%	126	16.9%	240	32.2%			97	13.0%	192	25.7%	746	100.0%
はたらく上で必要なスキルを身につける	67	8.6%	108	13.8%	172	22.0%	164	21.0%			270	34.6%	781	100.0%
一般就労を実現する	61	8.0%	79	10.4%	325	42.7%	175	23.0%	122	16.0%			762	100.0%

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在) 【年代別:50 歳以上～65 歳以上】

当初	現在		自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
50歳以上～60歳未満	482	10.4%	787	17.0%	1,507	32.6%	904	19.6%	397	8.6%	539	11.7%	4,616	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			286	30.1%	393	41.4%	178	18.7%	64	6.7%	29	3.1%	950	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	115	18.0%			278	43.6%	154	24.1%	55	8.6%	36	5.6%	638	100.0%		
体調を安定させてはたらく	168	16.6%	222	22.0%			309	30.6%	121	12.0%	191	18.9%	1,011	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	114	13.7%	123	14.8%	378	45.5%			74	8.9%	141	17.0%	830	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	27	5.2%	76	14.7%	168	32.6%	103	20.0%			142	27.5%	516	100.0%		
一般就労を実現する	58	8.6%	80	11.9%	290	43.2%	160	23.8%	83	12.4%			671	100.0%		
60歳以上～65歳未満	193	12.4%	333	21.4%	617	39.6%	289	18.5%	66	4.2%	61	3.9%	1,559	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			106	30.2%	174	49.6%	57	16.2%	10	2.8%	4	1.1%	351	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	49	17.1%			151	52.8%	60	21.0%	20	7.0%	6	2.1%	286	100.0%		
体調を安定させてはたらく	56	18.1%	107	34.6%			106	34.3%	15	4.9%	25	8.1%	309	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	55	16.3%	71	21.1%	181	53.7%			14	4.2%	16	4.7%	337	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	14	12.5%	22	19.6%	41	36.6%	25	22.3%			10	8.9%	112	100.0%		
一般就労を実現する	19	11.6%	27	16.5%	70	42.7%	41	25.0%	7	4.3%			164	100.0%		
65歳以上	212	14.4%	351	23.9%	666	45.3%	205	13.9%	22	1.5%	14	1.0%	1,470	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			149	35.8%	212	51.0%	52	12.5%	2	0.5%	1	0.2%	416	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	79	22.8%			207	59.8%	53	15.3%	7	2.0%		0.0%	346	100.0%		
体調を安定させてはたらく	61	27.0%	86	38.1%			65	28.8%	6	2.7%	8	3.5%	226	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	55	17.0%	70	21.6%	191	59.0%			5	1.5%	3	0.9%	324	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	7	9.0%	23	29.5%	31	39.7%	15	19.2%			2	2.6%	78	100.0%		
一般就労を実現する	10	12.5%	23	28.8%	25	31.3%	20	25.0%	2	2.5%			80	100.0%		
無回答	3	42.9%	2	28.6%		0.0%	2	28.6%		0.0%		0.0%	7	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			2	50.0%		0.0%	2	50.0%		0.0%		0.0%	4	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	2	100.0%				0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	2	100.0%		
体調を安定させてはたらく	1	100.0%		0.0%				0.0%		0.0%		0.0%	1	100.0%		
総計	2,254	9.3%	4,056	16.7%	6,358	26.1%	4,372	18.0%	3,164	13.0%	4,140	17.0%	24,344	100.0%		

◆ ウォンツの実現に向けた事業所の対応

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

① #2 事業所調査Q21・・・利用者の希望と事業所の支援方針に差異がある場合
「希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直す頻度」

② #2 利用者調査Q11・・・本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」

③ ②に対応する支援についての満足度

➤ 利用者のウォンツに対し、どの程度の頻度で支援の内容等の見直しを実施している事業所が満足度が高いかを見る

「支援の見直し」に関しては、3事業とも「たまにある」が6割前後で最も多いが、満足度で見ると満足度高(1.+2.)の割合は「頻繁にある」が最も高く、以下頻度に応じて割合が下がっていく。（「全くない」除く）特に、就労移行支援では「頻繁にある」場合の満足度が 1.+2.=71.6%と、より柔軟に支援が見直されることへの満足度が高かった。

「希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直す頻度」×
「本人のウォンツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について ・事業種別→横集計 ・満足度→事業内縦集計	頻繁にある		たまにある		あまりない		全くない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	88	22.6%	228	58.5%	71	18.2%	3	0.8%	390	100.0%
1.とても満足している	34	38.6%	65	28.5%	23	32.4%	1	33.3%	123	31.5%
2.満足している	29	33.0%	69	30.3%	23	32.4%	1	33.3%	122	31.3%
3.普通	15	17.0%	62	27.2%	12	16.9%		0.0%	89	22.8%
4.不満がある	2	2.3%	8	3.5%	2	2.8%		0.0%	12	3.1%
5.とても不満がある		0.0%	4	1.8%	3	4.2%		0.0%	7	1.8%
6.わからない	8	9.1%	20	8.8%	8	11.3%	1	33.3%	37	9.5%
就労A	112	17.8%	397	63.0%	120	19.0%	1	0.2%	630	100.0%
1.とても満足している	23	20.5%	92	23.2%	25	20.8%		0.0%	140	22.2%
2.満足している	42	37.5%	97	24.4%	29	24.2%	1	100.0%	169	26.8%
3.普通	26	23.2%	139	35.0%	41	34.2%		0.0%	206	32.7%
4.不満がある	11	9.8%	30	7.6%	8	6.7%		0.0%	49	7.8%
5.とても不満がある	1	0.9%	9	2.3%	2	1.7%		0.0%	12	1.9%
6.わからない	9	8.0%	30	7.6%	15	12.5%		0.0%	54	8.6%
就労B	112	16.0%	455	64.8%	127	18.1%	8	1.1%	702	100.0%
1.とても満足している	34	30.4%	114	25.1%	30	23.6%	4	50.0%	182	25.9%
2.満足している	24	21.4%	116	25.5%	34	26.8%	2	25.0%	176	25.1%
3.普通	31	27.7%	136	29.9%	35	27.6%	2	25.0%	204	29.1%
4.不満がある	10	8.9%	28	6.2%	9	7.1%		0.0%	47	6.7%
5.とても不満がある		0.0%	9	2.0%	2	1.6%		0.0%	11	1.6%
6.わからない	13	11.6%	52	11.4%	17	13.4%		0.0%	82	11.7%
総計	312	18.1%	1,080	62.7%	318	18.5%	12	0.7%	1,722	100.0%

Ⅲ.利用者本人は事業所に対しどのような支援を求めているのか

- ◆ 本人の希望に対して実施されている支援の具体的な内容
【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）
 - ① #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
 - ② #2 事業所調査 …①に対応する「特に重点を置いて実施している支援」
 - ③ #2 利用者調査 …①に対応する支援についての満足度
- ①でウォンツの回答があった方に対し、事業所が実施している支援内容を集計＋参考までに③より「1.とても満足している」「2.満足している」の回答＝「満足度高」の方を抽出集計
※「2.仕事をして生きがいを見つけない」「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」の2セグメントについては、
具体的支援内容の設問を設定していないため集計していない
- ◆ 本人が期待する支援の内容と満足度
 - 各セグメントごとに、本人が事業所に期待する支援と、現状の支援に対する満足度を集計分析

全般的な傾向として、セグメント全体と満足度が高い利用者の回答を比較したが、どのセグメントでも満足度の高い利用者が受けている支援に大きな差や傾向というものは見られなかった。

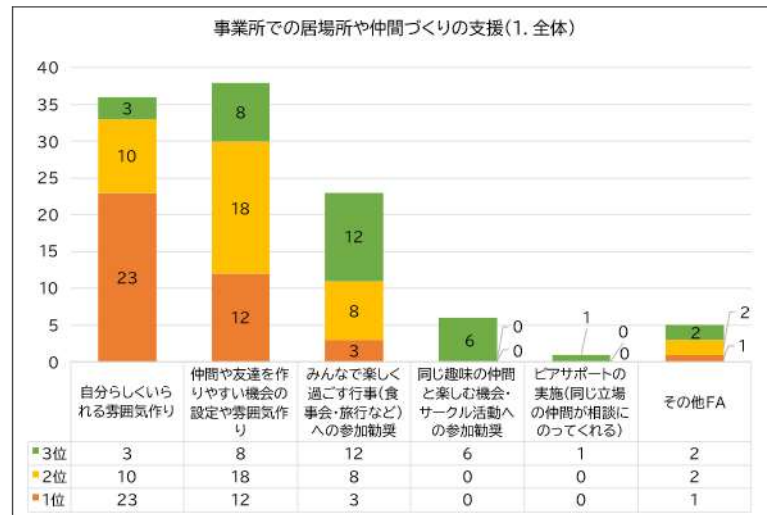
「1.自分の居場所や仲間をつくりたい」方に対しては、「自分らしくいられる雰囲気づくり」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、利用者ウォンツの順位に対応している。行事等への利用者ウォンツも高いが、事業所として認識していてもコロナ禍によりなかなか実施が叶わない事情があるとの声があった。(ヒアリング調査より)

「3.体調をくずさないようにはたらかしたい」方に対しては、「体調管理やストレスとの付き合い方」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、こちらも利用者ウォンツに対応した結果となっている。

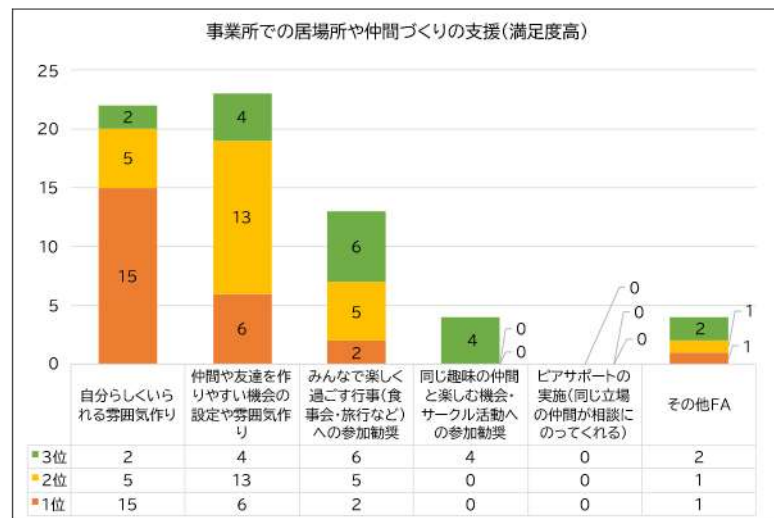
「5.はたらくための技術を身につけたい」方に対しては、「分かりやすく仕事を教える」に重点を置くところが多く、利用者ウォンツで多かった「もっと就職の役に立つ技術」や「やったことがない仕事」よりも一歩前の段階の部分を重視している傾向が見られた。

「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」方に対しては、「本人に合った仕事内容・はたらかし方の確認」が重点支援の1位とした事業所が最も多く、利用者ウォンツの順位に対応している。利用者ウォンツでは「就職活動を一緒に手伝ってほしい」という回答も20%前後あったが、重点支援の3位までには関連する項目は入ってこなかった。

■ 「1.自分の居場所や仲間をつくりたい」方に対する支援内容

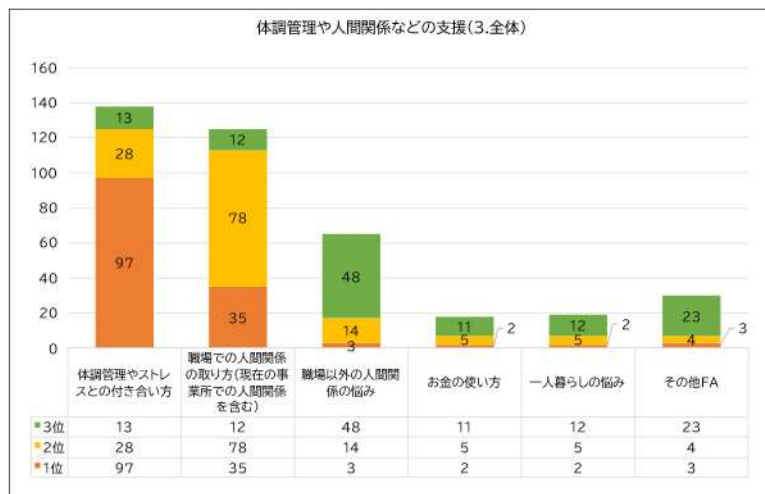


事業所での居場所や仲間づくりの支援	1位	2位	3位
自分らしくいられる雰囲気作り	23	10	3
仲間や友達を作りやすい機会の設定や雰囲気作り	12	18	8
みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)への参加勧奨	3	8	12
同じ趣味の仲間と楽しむ機会・サークル活動への参加勧奨	0	0	6
ピアサポートの実施(同じ立場の仲間が相談にのってくれる)	0	0	1
その他FA	1	2	2
無回答	4	5	11

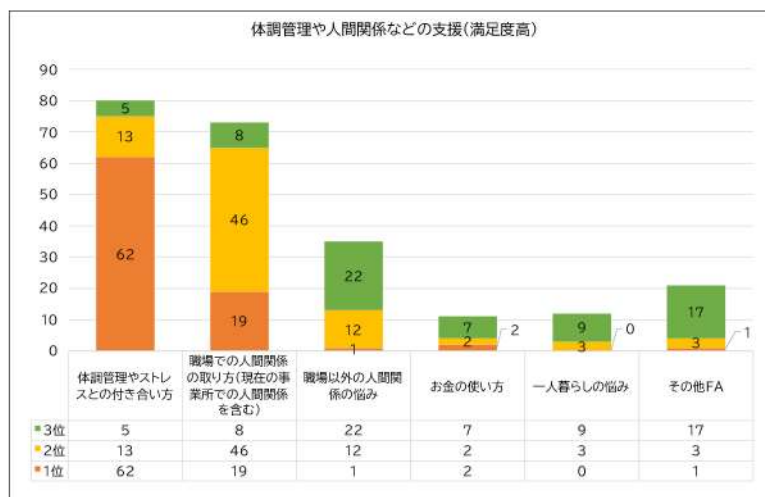


事業所での居場所や仲間づくりの支援	1位	2位	3位
自分らしくいられる雰囲気作り	15	5	2
仲間や友達を作りやすい機会の設定や雰囲気作り	6	13	4
みんなで楽しく過ごす行事(食事会・旅行など)への参加勧奨	2	5	6
同じ趣味の仲間と楽しむ機会・サークル活動への参加勧奨	0	0	4
ピアサポートの実施(同じ立場の仲間が相談にのってくれる)	0	0	0
その他FA	1	1	2
無回答	2	2	8
合計	26	26	26

■ 「3.体調をくずさないようにはたらきたい」方に対する支援内容

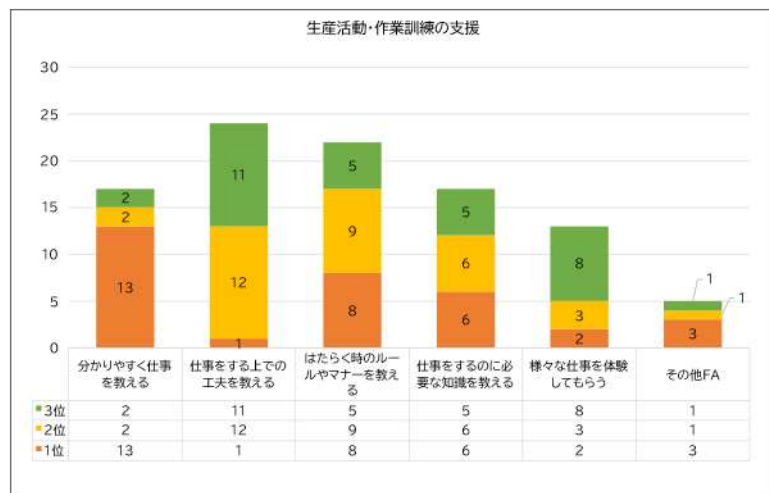


体調管理や人間関係などの支援	1位	2位	3位
体調管理やストレスとの付き合い方	97	28	13
職場での人間関係の取り方(現在の事業所での人間関係を含む)	35	78	12
職場以外の人間関係の悩み	3	14	48
お金の使い方	2	5	11
一人暮らしの悩み	2	5	12
その他FA	3	4	23
無回答	2	10	25
	144	144	144

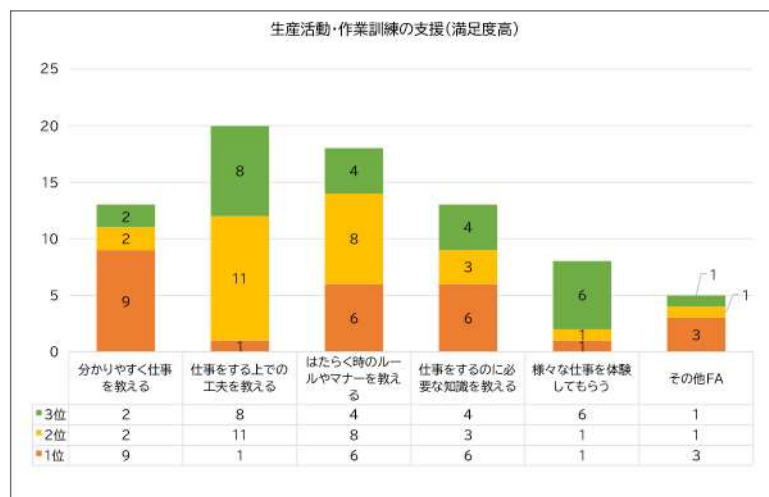


体調管理や人間関係などの支援	1位	2位	3位
体調管理やストレスとの付き合い方	62	13	5
職場での人間関係の取り方(現在の事業所での人間関係を含む)	19	46	8
職場以外の人間関係の悩み	1	12	22
お金の使い方	2	2	7
一人暮らしの悩み	0	3	9
その他FA	1	3	17
無回答	0	6	17
	85	85	85

■ 「5.はたらくための技術を身につけたい」方に対する支援内容

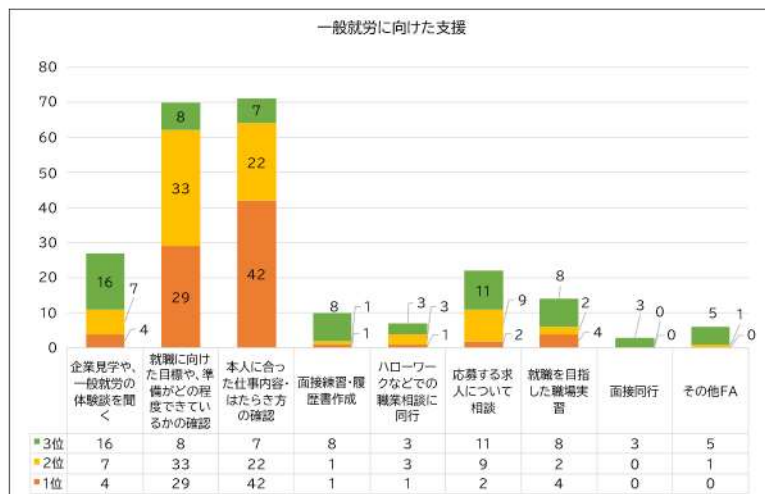


生産活動・作業訓練の支援	1位	2位	3位
分かりやすく仕事を教える	13	2	2
仕事をする上での工夫を教える	1	12	11
はたらく時のルールやマナーを教える	8	9	5
仕事をするのに必要な知識を教える	6	6	5
様々な仕事を体験してもらう	2	3	8
その他FA	3	1	1
無回答	4	4	5
	37	37	37



生産活動・作業訓練の支援	1位	2位	3位
分かりやすく仕事を教える	9	2	2
仕事をする上での工夫を教える	1	11	8
はたらく時のルールやマナーを教える	6	8	4
仕事をするのに必要な知識を教える	6	3	4
様々な仕事を体験してもらう	1	1	6
その他FA	3	1	1
無回答	3	3	4
	29	29	29

■ 「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」方に対する支援内容



一般就労に向けた支援	1位	2位	3位
企業見学や、一般就労の体験談を聞く	4	7	16
就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	29	33	8
本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	42	22	7
面接練習・履歴書作成	1	1	8
ハローワークなどでの職業相談に同行	1	3	3
応募する求人について相談	2	9	11
就職を目指した職場実習	4	2	8
面接同行	0	0	3
その他FA	0	1	5
無回答	15	20	29
合計	98	98	98



一般就労に向けた支援	1位	2位	3位
企業見学や、一般就労の体験談を聞く	3	4	9
就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	12	20	3
本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	23	10	3
面接練習・履歴書作成	0	1	6
ハローワークなどでの職業相談に同行	1	0	1
応募する求人について相談	1	6	7
就職を目指した職場実習	4	1	5
面接同行	0	0	3
その他FA	0	1	3
無回答	6	7	10
合計	50	50	50

◆ 本人の希望と事業所の認識が一致していない場合の、その希望に対する支援についての満足度 (①≠②)

【クロス分析】 (#1:第1回調査 #2:第2回調査)

- ① #2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」
- ② #1 ケース票Q7 …事業所が認識している本人の現在のウォンツ
- ③ #2利用者Q11に対応する支援についての満足度

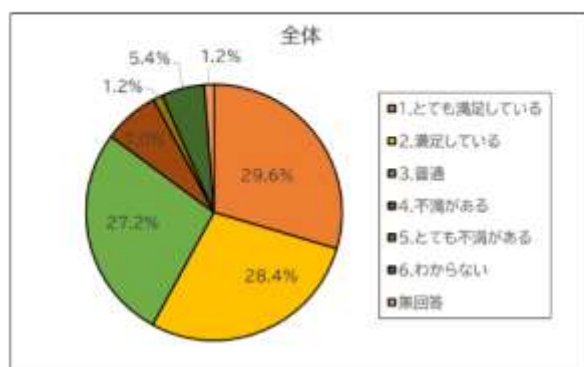
➤ ①≠②の利用者に関して、満足度③を集計分析

全体では、「1.とても満足している」「2.満足している」の合計が48.5%で、3事業のうち就労移行支援が1.+2.=53.0%と最も高かったが、①=②よりも20.3ポイント低い。

「6.わからない」の回答が全体で11.3%と、①=②よりも5%程度高くなっている。特に就労移行支援では、6.の回答が①=②では0%だったのに対し、①≠②では13.0%あった。

この結果から、本人自身がウォンツを認識していないケースも多少あるが、事業所の認識と本人の希望にギャップがある場合には、全体的に見て利用者満足度が低くなる傾向が見て取れる。

◆ 本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①=②)

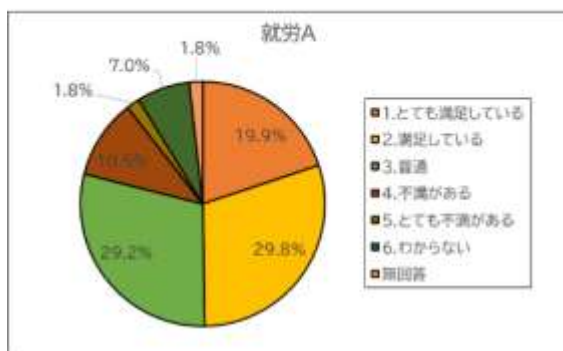


全体	件数	割合
1.とても満足している	147	29.6%
2.満足している	141	28.4%
3.普通	135	27.2%
4.不満がある	35	7.0%
5.とても不満がある	6	1.2%
6.わからない	27	5.4%
無回答	6	1.2%
合計	497	100.0%



就労移行	件数	割合
1.とても満足している	54	41.2%
2.満足している	42	32.1%
3.普通	29	22.1%
4.不満がある	1	0.8%
5.とても不満がある	2	1.5%
6.わからない	0	0.0%
無回答	3	2.3%
合計	131	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①=②)

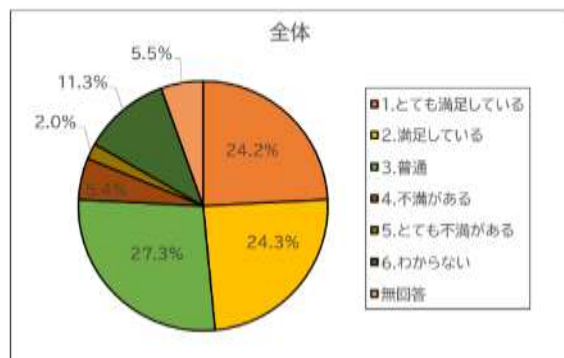


就労A	件数	割合
1.とても満足している	34	19.9%
2.満足している	51	29.8%
3.普通	50	29.2%
4.不満がある	18	10.5%
5.とても不満がある	3	1.8%
6.わからない	12	7.0%
無回答	3	1.8%
合計	171	100.0%

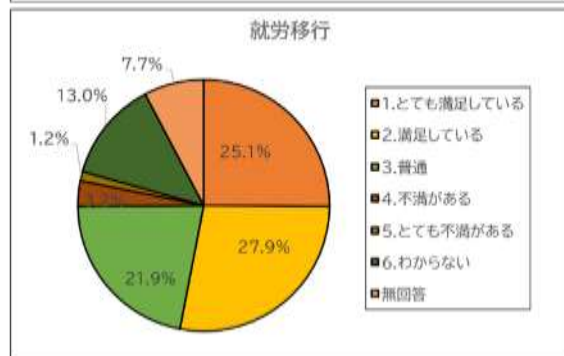


就労B	件数	割合
1.とても満足している	59	30.3%
2.満足している	48	24.6%
3.普通	56	28.7%
4.不満がある	16	8.2%
5.とても不満がある	1	0.5%
6.わからない	15	7.7%
無回答	0	0.0%
合計	195	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)

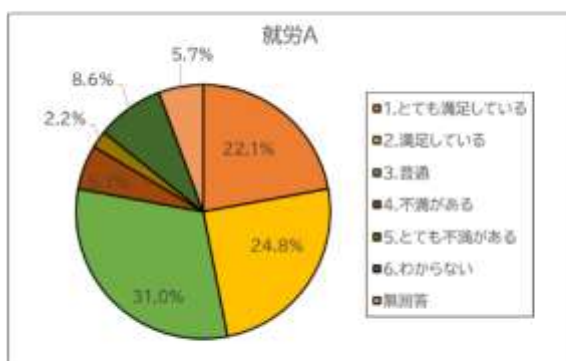


項目	件数	割合
1.とても満足している	261	24.2%
2.満足している	262	24.3%
3.普通	295	27.3%
4.不満がある	58	5.4%
5.とても不満がある	22	2.0%
6.わからない	122	11.3%
無回答	59	5.5%
合計	1,079	100.0%

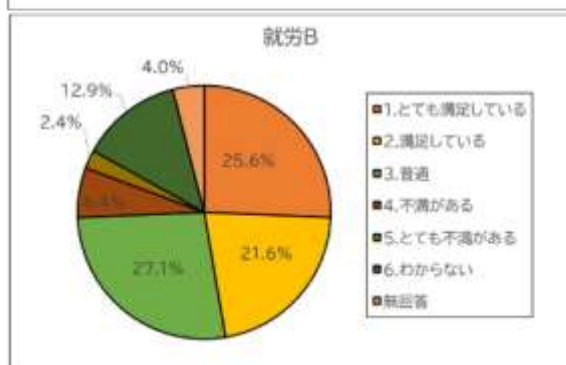


就労移行	件数	割合
1.とても満足している	62	25.1%
2.満足している	69	27.9%
3.普通	54	21.9%
4.不満がある	8	3.2%
5.とても不満がある	3	1.2%
6.わからない	32	13.0%
無回答	19	7.7%
合計	247	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)



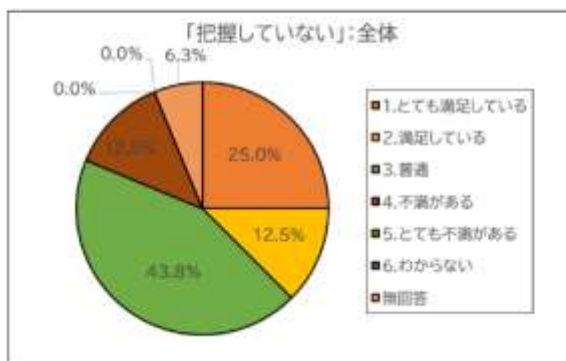
就労A	件数	割合
1.とても満足している	90	22.1%
2.満足している	101	24.8%
3.普通	126	31.0%
4.不満がある	23	5.7%
5.とても不満がある	9	2.2%
6.わからない	35	8.6%
無回答	23	5.7%
合計	407	100.0%



就労B	件数	割合
1.とても満足している	109	25.6%
2.満足している	92	21.6%
3.普通	115	27.1%
4.不満がある	27	6.4%
5.とても不満がある	10	2.4%
6.わからない	55	12.9%
無回答	17	4.0%
合計	425	100.0%

◆本人の希望の把握と提供されている支援に対する満足度(①≠②)

(参考)利用者ウォンツを「把握していない」事業所における満足度回答



項目	件数	割合
1.とても満足している	4	25.0%
2.満足している	2	12.5%
3.普通	7	43.8%
4.不満がある	2	12.5%
5.とても不満がある	0	0.0%
6.わからない	0	0.0%
無回答	1	6.3%
合計	16	100.0%

◆ 一般就労への希望に対する支援の状況（現在）

【クロス分析】（＃1:第1回調査 ＃2:第2回調査）

- ① 第2 利用者調査Q11 ……本人が「現在」実現したいこと
「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」
- ② 第2利用者調査Q25 ……「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」(MA)
- ③ 第2 利用者調査Q26 ……②の支援に対する満足度

➤ ①の回答に対し、事業別×障害別で②・③を集計分析

障害別の構成比としては、3事業とも発達障害が最も多く、2番目は就労移行支援では知的障害(29.7%)、就労継続支援 A 型は精神障害(24.0%)、就労継続支援 B 型は高次脳機能障害(同 22.0%)という結果だった。

実施されている支援(利用者調査側の回答)としては、利用者ウオッチでも最も多かった「就職に向けた目標設定や準備ができてきているかの確認」が最も多く、企業見学、面接練習、応募する求人についての相談なども多く実施されている。

満足度に関しては、就労移行では当然高い満足度だが、就労継続支援 A 型では母数は少ないが知的障害で「不満がある」という回答が多くあり、他2事業と比べ不満の数が若干多い。

利用者調査Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？ 「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」(事業種別内構成比)

回答	全体		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難聴		不聴	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	175	100.0%	2	1.1%	52	29.7%	36	20.6%	67	38.3%	11	6.3%	4	2.3%	3	1.7%
就労A	100	100.0%	10	10.0%	14	14.0%	24	24.0%	30	30.0%	10	10.0%	11	11.0%	1	1.0%
就労B	82	100.0%	5	6.1%	14	17.1%	14	17.1%	18	22.0%	18	22.0%	10	12.2%	3	3.7%
合計	357	100.0%	17	4.8%	80	22.4%	74	20.7%	115	32.2%	39	10.9%	25	7.0%	7	2.0%

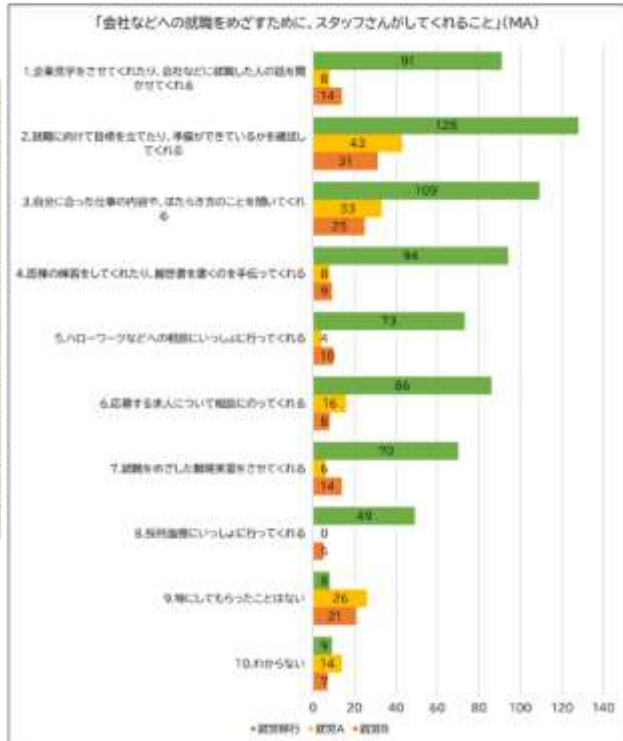


- ① 利用者調査Q11「6.会社などへの就職をめざしてはたらきたい」×
② 利用者調査Q25「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」

② 利用者調査Q25

「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」(MA)

	就労移行	就労A	就労B	総計
1.企業見学をさせてくれたり、会社などに就職した人の話を聞かせる	91	8	14	113
2.就職に向けて目標を立てたり、準備ができているかを確認してくれる	128	43	31	202
3.自分に合った仕事の内容や、はたらき方のことを聞いてくれる	109	33	25	167
4.面接の練習をしてくれたり、履歴書を書くのを手伝ってくれる	94	8	9	111
5.ハローワークなどへの相談にいっしょに行ってくれる	73	4	10	87
6.応募する求人について相談のしてくれる	86	16	8	110
7.就職をめざした職場実習をさせてくれる	70	6	14	90
8.採用面接にいっしょに行ってくれる	49	0	5	54
9.特にしてもらったことはない	8	26	21	55
10.わからない	9	14	7	30
総計	717	158	144	1,019



- ② 利用者調査Q25「会社などへの就職をめざすために、スタッフさんがしてくれること」
× ③ #2 利用者調査Q26 ②の支援に対する満足度

③ #2 利用者調査Q26 ②の支援に対する満足度

※ 構成比について ・事業種別別→職業別 ・満足度→事業内職業別	身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難病		不詳		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	2	1.2%	50	29.2%	35	20.5%	66	38.6%	11	6.4%	4	2.3%	3	1.8%	171	100.0%
1.とても満足している		0.0%	19	38.0%	13	37.1%	22	33.3%	3	27.3%	2	50.0%	1	33.3%	60	35.1%
2.満足している		0.0%	12	24.0%	14	40.0%	32	48.5%	5	45.5%	2	50.0%	1	33.3%	66	38.6%
3.普通	1	50.0%	15	30.0%	4	11.4%	10	15.2%	3	27.3%		0.0%	1	33.3%	34	19.9%
4.不満がある		0.0%	1	2.0%	1	2.9%	1	1.5%		0.0%		0.0%		0.0%	3	1.8%
5.とても不満がある		0.0%	1	2.0%	2	5.7%	1	1.5%		0.0%		0.0%		0.0%	4	2.3%
6.わからない	1	50.0%	2	4.0%	1	2.9%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	4	2.3%
就労A	10	10.2%	13	13.3%	24	24.5%	30	30.6%	9	9.2%	11	11.2%	1	1.0%	98	100.0%
1.とても満足している		0.0%	1	7.7%	3	12.5%	4	13.3%	3	33.3%	2	18.2%		0.0%	13	13.3%
2.満足している	1	10.0%	1	7.7%	6	25.0%	6	20.0%	2	22.2%	3	27.3%		0.0%	19	19.4%
3.普通	7	70.0%	3	23.1%	8	33.3%	13	43.3%	3	33.3%	1	9.1%		0.0%	35	35.7%
4.不満がある	1	10.0%	6	46.2%	2	8.3%	2	6.7%	1	11.1%	1	9.1%		0.0%	13	13.3%
5.とても不満がある		0.0%		0.0%	1	4.2%	1	3.3%		0.0%	2	18.2%	1	100.0%	5	5.1%
6.わからない	1	10.0%	2	15.4%	4	16.7%	4	13.3%		0.0%	2	18.2%		0.0%	13	13.3%
就労B	5	6.2%	13	16.0%	14	17.3%	18	22.2%	18	22.2%	10	12.3%	3	3.7%	81	100.0%
1.とても満足している		0.0%	4	30.8%	2	14.3%	5	27.8%	1	5.6%	5	50.0%	1	33.3%	18	22.2%
2.満足している	1	20.0%	3	23.1%	4	28.6%	4	22.2%	4	22.2%	3	30.0%		0.0%	19	23.5%
3.普通	1	20.0%	2	15.4%	5	35.7%	5	27.8%	7	38.9%	2	20.0%	2	66.7%	24	29.6%
4.不満がある	1	20.0%		0.0%	1	7.1%		0.0%	2	11.1%		0.0%		0.0%	4	4.9%
5.とても不満がある	1	20.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1	5.6%		0.0%		0.0%	2	2.5%
6.わからない	1	20.0%	4	30.8%	2	14.3%	4	22.2%	3	16.7%		0.0%		0.0%	14	17.3%
総計	17	4.9%	76	21.7%	73	20.9%	114	32.6%	38	10.9%	25	7.1%	7	9.6%	350	100.0%

◆ 一般就労への希望に対する支援の状況（今後）

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

- ① #2 利用者調査Q39 …あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？
「2.会社などに就職したい」
 - ② #2利用者調査Q39◎ …それは、いつごろまでにしたいことですか？
 - ✓ 「1. 今すぐにでもしたい」 + 「2. 1年以内にはしたい」
 - ✓ 「3. 1年～2年以内にはしたい」
 - ③ #2 事業所調査Q8 …現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか = 「ニーズ」
 - ✓ 1年以内
 - ✓ 1年～2年以内
 - ④ #2 事業所調査Q4 …「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援」
- ③について、現在(1年以内)→今後(1年～2年以内)のニーズの変化を見る
- ①の回答につき、②と③の同期間内の「ニーズ」と④をクロスし事業別で集計

現在(1 年以内)→今後(1 年～2 年以内)のニーズに変化のあった項目を見ていくと、就労移行支援では「体調を安定させてはたらくための支援」や「はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援」から、「一般就労の実現や就職後の定着のための支援」への変化の数が多く、事業の性質がわかりやすく結果に表れている。

就労継続支援 A 型では「はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援」から、「一般就労の実現や就職後の定着のための支援」への変化の数が多く、A 型から一般就労へのステップアップをイメージしているような回答が見えた。一方で、今後(1 年～2 年以内)においても変化なく「体調を安定させてはたらくための支援」を必要と考える回答も多く、こちらは少し長いスパンで体調面を考慮しながら、A 型事業所で継続してはたらいっていくイメージの回答が一定数あったのではないかという推測が立ち、こちらも就労継続支援 A 型の事業特性が垣間見える結果となっている。(参考事例:ヒアリング調査p.147～149)

就労継続支援 B 型では、現在は「体調を安定させてはたらくための支援」を必要と考える回答が特に多いが、そこからの今後のニーズについては満遍なくバラけており、特徴的な傾向は見られなかった。

#2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ 現在<1年以内> → 今後<1年～2年以内> の変化

Q8 現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえて、どのような支援が最も必要と考えるか
<1年以内> × <1年～2年以内>

1年以内ニーズ	1年～2年以内ニーズ	居場所や仲間を作るための支援	仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	体調を安定させてはたらくための支援	より工資・賃金を稼ぐための支援	はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	一般就労の実現や就職後の定着のための支援	総計
就労移行支援								
居場所や仲間を作るための支援			1	4		1		6
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援						3	3	6
体調を安定させてはたらくための支援			1	7		14	10	32
より工資・賃金を稼ぐための支援						1	1	2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			2	1		4	13	20
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		1	3	6		1	18	29
就労移行支援 集計		1	7	18		24	45	95
就労継続A型								
居場所や仲間を作るための支援			1					1
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1	1		2	2	6
体調を安定させてはたらくための支援			4	10	1	6	3	24
より工資・賃金を稼ぐための支援						1	2	3
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援				1	1	5	14	21
一般就労の実現や就職後の定着のための支援							4	4
就労継続A型 集計			6	12	2	14	25	59
就労継続B型								
居場所や仲間を作るための支援		2				2	1	5
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1		1			2
体調を安定させてはたらくための支援		2	5	4	3	7	2	23
より工資・賃金を稼ぐための支援				1	1			2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			1	1	1	3	2	8
一般就労の実現や就職後の定着のための支援							2	2
就労継続B型 集計		4	7	6	6	12	7	42
総計		5	20	36	8	50	77	196

#2 利用者調査Q39◎「1. 今すぐにでもしたい」+「2. 1年以内にはしたい」 × #2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ<1年以内> × #2 事業所調査Q4 「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援 1位」

Q39. あなたは今後どのようなところではたらかたいですか？

「2.会社などに就職したい」

「1. 今すぐにでもしたい」+「2. 1年以内にはしたい」

1年以内ニーズ	重点を置いて実施している支援1位	企業見学や、一般就労の体験を促す	就労に向けた目標や、準備などの相談や支援	本人に合った仕事内容・はたらく方法の検討	面接練習・履歴書作成	ハローワークなどでの職業相談に同行	応募する求人について相談	就職を目指した職場実習	面接同行	合計
就労移行支援										
居場所や仲間を作るための支援			2							2
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援			6	10	3	1				20
より工資・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			3	3	1			2		9
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		4	3	10		1	2	5		25
就労移行支援 集計		4	14	24	4	2	2	7		57
就労継続A型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援				2						2
体調を安定させてはたらくための支援		1	3	4			1			9
より工資・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			1	4	1		2			8
一般就労の実現や就職後の定着のための支援			1				1			2
就労継続A型 集計		1	5	11	1		4			22
就労継続B型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援			2	2						4
より工資・賃金を稼ぐための支援				1						1
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援				1						1
一般就労の実現や就職後の定着のための支援				1						1
就労継続B型 集計			2	5						7
総計		5	21	40	5	2	6	7	0	86

#2 利用者調査Q39◎「3. 1年～2年以内にはしたい」

× #2 事業所調査Q8 事業所が考えるニーズ<1年～2年以内>

× #2 事業所調査Q4「一般就労に向け特に重点を置いて実施している支援 1位」

Q39. あなたは今後どのようなところではたらきたいですか？

「2.会社などに就職したい」

「3. 1年～2年以内にはしたい」

1年～2年以内ニーズ	重点を置いて実施している支援1位	企業見学や、一般就労の体験談を聞く	就職に向けた目標や、準備がどの程度できているかの確認	本人に合った仕事内容・はたらき方の確認	面接練習・履歴書作成	ハローワークなどでの職業相談に同行	応募する求人について相談	就職を目指した職場実習	面接同行	合計
就労移行支援										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援			1	1						2
体調を安定させてはたらくための支援			1	1	1					3
より工資・賃金を稼ぐための支援										0
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	1	1	2	1						5
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		4	3					1		8
就労移行支援 集計	1	7	7	2				1		18
就労継続A型										
居場所や仲間を作るための支援										0
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援			1							1
より工資・賃金を稼ぐための支援										
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援		2	2							4
一般就労の実現や就職後の定着のための支援		3	6							9
就労継続A型 集計		5	9							14
就労継続B型										
居場所や仲間を作るための支援								1		1
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援										0
体調を安定させてはたらくための支援										0
より工資・賃金を稼ぐための支援		1	1							2
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援			2							2
一般就労の実現や就職後の定着のための支援			2							2
就労継続B型 集計		1	5					1		7
総計	1	13	21	2	0	0	0	2	0	39

◆ 工賃(賃金)向上への希望に対する支援の状況

【クロス分析】(＃1:第1回調査 ＃2:第2回調査)

① 第2 利用者調査Q11 …本人が「現在」実現したいこと
「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」

② 第2利用者調査Q23 …毎月の工賃(賃金)への満足度

③ 第2利用者調査Q19 …障害年金の等級

④ 第2利用者調査Q18 …先月の工賃(賃金)の額

⑤ 第2利用者調査Q24 …希望工賃(賃金)の額

➤ ①を選択した方について②で現状の満足度、及び③×(⑤－④)のクロスで
年金受給状況別に希望工賃(賃金)の額と現在の工賃(賃金)の差を見る

現状の工賃(賃金)への満足度では、就労継続支援 A 型で満足度高(1.+2.)の割合が4割強となっている。3 事業とも「普通」の回答が最も多いが、就労継続支援 B 型では不満(4.+5.)の割合が3 割を超えている。工賃を稼ぎたい利用者に関しては、就労継続支援 B 型の工賃では不満という結果はある程度想定できるものではある。

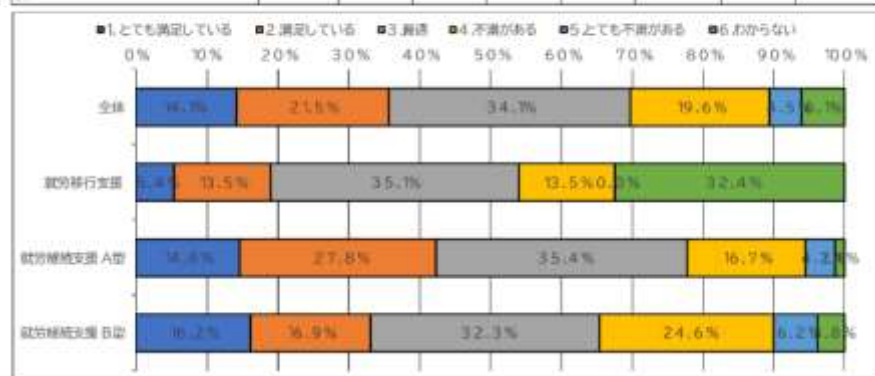
希望工賃(賃金)と現状の工賃(賃金)との差が生じている回答では、障害年金 2 級の受給者が特に多く、そのうち1～29,999 円の範囲に25.3%の回答があった。特に、就労継続支援 A 型の年金 2 級という回答が最も多かった。

就労継続支援 A 型では現行賃金が50,000～100,000 円の割合が8 割を超えているため、この層に上記の額を足した 80,000～130,000 円程度+障害基礎年金 2 級:7 万円程度=15～20 万円/月程度の生活水準を希望している方が多いと推計することができる。

第2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれくらい満足していますか？

Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

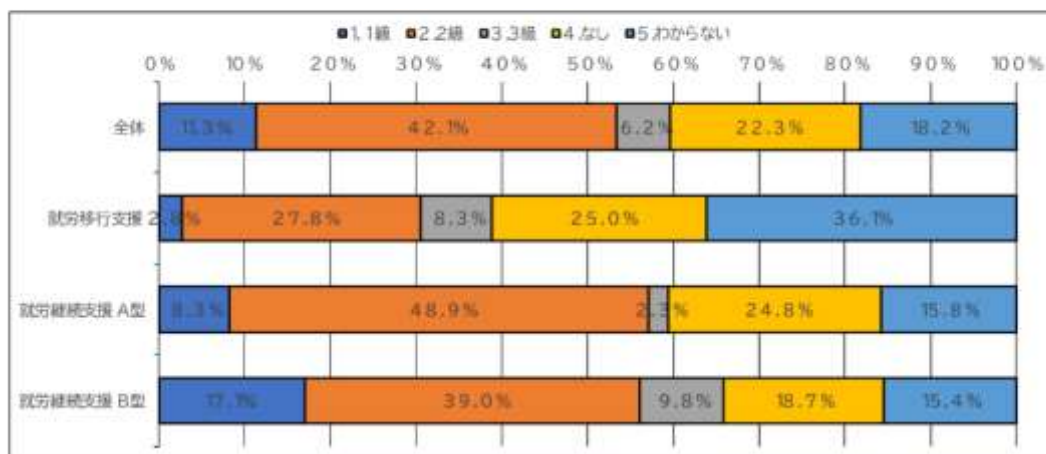
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	44	14.1%	2	5.4%	21	14.6%	21	16.2%
2.満足している	67	21.5%	5	13.5%	40	27.8%	22	16.9%
3.普通	106	34.1%	13	35.1%	51	35.4%	42	32.3%
4.不満がある	61	19.6%	5	13.5%	24	16.7%	32	24.6%
5.とても不満がある	14	4.5%	0	0.0%	6	4.2%	8	6.2%
6.わからない	19	6.1%	12	32.4%	2	1.4%	5	3.8%
計	311	100.0%	37	100.0%	144	100.0%	130	100.0%



#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。

Q19. 障害年金をもらっている場合、その等級を教えてください。(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.1級	33	11.3%	1	2.8%	11	8.3%	21	17.1%
2.2級	123	42.1%	10	27.8%	65	48.9%	48	39.0%
3.3級	18	6.2%	3	8.3%	3	2.3%	12	9.8%
4.なし	65	22.3%	9	25.0%	33	24.8%	23	18.7%
5.わからない	53	18.2%	13	36.1%	21	15.8%	19	15.4%
計	292	100.0%	36	100.0%	133	100.0%	123	100.0%



#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q18. 先月のお給料(工賃・賃金)の金額を教えてください。

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	13	4.9%	8	29.6%	4	3.1%	1	0.9%
1~10000	36	13.6%	3	11.1%	6	4.7%	27	24.3%
10001~20000	48	18.1%	4	14.8%	0	0.0%	44	39.6%
20001~30000	22	8.3%	5	18.5%	1	0.8%	16	14.4%
30001~40000	19	7.2%	4	14.8%	3	2.4%	12	10.8%
40001~50000	7	2.6%	1	3.7%	1	0.8%	5	4.5%
50001~60000	9	3.4%	0	0.0%	6	4.7%	3	2.7%
60001~70000	21	7.9%	0	0.0%	20	15.7%	1	0.9%
70001~80000	26	9.8%	0	0.0%	26	20.5%	0	0.0%
80001~90000	39	14.7%	1	3.7%	37	29.1%	1	0.9%
90001~100000	15	5.7%	1	3.7%	14	11.0%	0	0.0%
100001~110000	4	1.5%	0	0.0%	4	3.1%	0	0.0%
110001~120000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
120001~130000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
130001~140000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
140001~150000	3	1.1%	0	0.0%	2	1.6%	1	0.9%
150001~160000	1	0.4%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
160001~170000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
170001~180000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
180001~190000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
190001~200000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
200001~	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	265	100.0%	27	100.0%	127	100.0%	111	100.0%

#2 利用者調査 Q11 :「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」 ×
Q24. あなたは1か月いくらぐらいのお給料(工賃・賃金)をほしいと思いますか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
0	4	1.7%	0	0.0%	2	1.9%	2	2.0%
1~10000	15	6.5%	2	7.1%	3	2.9%	10	9.9%
10001~20000	23	9.9%	1	3.6%	0	0.0%	22	21.8%
20001~30000	18	7.8%	1	3.6%	0	0.0%	17	16.8%
30001~40000	9	3.9%	1	3.6%	1	1.0%	7	6.9%
40001~50000	26	11.2%	7	25.0%	0	0.0%	19	18.8%
50001~60000	6	2.6%	0	0.0%	3	2.9%	3	3.0%
60001~70000	10	4.3%	1	3.6%	6	5.8%	3	3.0%
70001~80000	18	7.8%	0	0.0%	17	16.5%	1	1.0%
80001~90000	11	4.7%	0	0.0%	9	8.7%	2	2.0%
90001~100000	43	18.5%	7	25.0%	28	27.2%	8	7.9%
100001~110000	2	0.9%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%
110001~120000	10	4.3%	1	3.6%	8	7.8%	1	1.0%
120001~130000	4	1.7%	0	0.0%	3	2.9%	1	1.0%
130001~140000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
140001~150000	11	4.7%	0	0.0%	9	8.7%	2	2.0%
150001~160000	1	0.4%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
160001~170000	1	0.4%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
170001~180000	4	1.7%	2	7.1%	2	1.9%	0	0.0%
180001~190000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
190001~200000	7	3.0%	2	7.1%	4	3.9%	1	1.0%
200001~	9	3.9%	3	10.7%	4	3.9%	2	2.0%
計	232	100.0%	28	100.0%	103	100.0%	101	100.0%

<Q24. 希望工賃(賃金)> - <Q18.先月の工賃(賃金)>

※ Q24またはQ18が無回答の場合は回答を除外

<希望工賃> - <先月工賃>	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
障害年金1級	22	12.4%	0	0.0%	7	8.6%	15	20.0%
1円~9,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
10,000円~29,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
30,000円~49,999円	3	1.7%		0.0%	2	2.5%	1	1.3%
50,000円~99,999円	2	1.1%		0.0%	1	1.2%	1	1.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金2級	79	44.4%	8	36.4%	43	53.1%	28	37.3%
1円~9,999円	22	12.4%	1	4.5%	8	9.9%	13	17.3%
10,000円~29,999円	23	12.9%	2	9.1%	13	16.0%	8	10.7%
30,000円~49,999円	15	8.4%	1	4.5%	9	11.1%	5	6.7%
50,000円~99,999円	12	6.7%	2	9.1%	10	12.3%		0.0%
100,000円以上	7	3.9%	2	9.1%	3	3.7%	2	2.7%
障害年金3級	11	6.2%	2	9.1%	1	1.2%	8	10.7%
1円~9,999円	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
10,000円~29,999円	3	1.7%	1	4.5%		0.0%	2	2.7%
50,000円~99,999円	6	3.4%	1	4.5%	1	1.2%	4	5.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金受給なし	37	20.8%	5	22.7%	17	21.0%	15	20.0%
1円~9,999円	3	1.7%		0.0%	1	1.2%	2	2.7%
10,000円~29,999円	12	6.7%	1	4.5%	7	8.6%	4	5.3%
30,000円~49,999円	10	5.6%		0.0%	3	3.7%	7	9.3%
50,000円~99,999円	8	4.5%	2	9.1%	4	4.9%	2	2.7%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
障害年金受給わからない	29	16.3%	7	31.8%	13	16.0%	9	12.0%
1円~9,999円	5	2.8%	1	4.5%	4	4.9%		0.0%
10,000円~29,999円	10	5.6%	1	4.5%	3	3.7%	6	8.0%
30,000円~49,999円	4	2.2%	1	4.5%	1	1.2%	2	2.7%
50,000円~99,999円	6	3.4%	2	9.1%	3	3.7%	1	1.3%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
総計	178	100.0%	22	100.0%	81	100.0%	75	100.0%

◆ 総合満足度が低い事業所の傾向

【クロス分析】（#1:第1回調査 #2:第2回調査）

① #2 利用者調査Q37 …今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？
「いいえ」⇨「総合満足度が低い」として回答を抽出

② #2利用者調査Q37 ▼ …「いいえ」と答えた理由は何ですか？(MA)

➤ ②の回答を、事業種別×障害種別で②・③を集計分析

就労移行支援では精神障害、発達障害が同数で最も多く、就労継続支援 A 型では身体障害、就労継続支援 B 型では知的障害が最も多かった。

その理由については、就労移行では「あまり工賃がもらえない」や「就職ができそうにない」が多く、就労継続支援 A 型では「居場所がない、人間関係がうまくいかない」「生きがい・やりがいを感じられない」、就労継続支援 B 型では「生きがい・やりがいを感じられない」、「就職ができそうにない」が多い回答だった。

総合満足度が低い事業所の傾向

※ 構成比について ・ 事業種別→横集計 ・ 満足度→事業内縦集計	身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		難病		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	0	0.0%	6	17.6%	14	41.2%	14	41.2%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	11.8%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	0	0.0%	2	33.3%	2	14.3%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	17.6%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	0	0.0%	2	33.3%	3	21.4%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	23.5%
7.はたらくための技術を身につけられないから	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.9%
8.会社などに就職ができそうにないから	0	0.0%	2	33.3%	2	14.3%	3	21.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	20.6%
9.その他	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.8%
10.わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労A	33	51.6%	17	26.6%	5	7.8%	8	12.5%	1	1.6%	0	0.0%	64	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	3	9.1%	5	29.4%	1	20.0%	1	12.5%	1	100.0%	0	0.0%	11	17.2%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	3	9.1%	3	17.6%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	5	15.2%	2	11.8%	1	20.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	15.6%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	1	3.0%	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	5	15.2%	3	17.6%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	9	14.1%
7.はたらくための技術を身につけられないから	2	6.1%	0	0.0%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.3%
8.会社などに就職ができそうにないから	5	15.2%	1	5.9%	1	20.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
9.その他	5	15.2%	2	11.8%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	12.5%
10.わからない	2	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.1%
就労B	13	31.0%	19	45.2%	2	4.8%	0	0.0%	7	16.7%	1	2.4%	42	100.0%
1.自分の居場所がなかったり、人間関係がうまくいかないから	1	7.7%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	11.9%
2.スタッフさんが信頼できない・好きでないから	1	7.7%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	5	11.9%
3.ここで仕事をしても、生きがい・やりがいを感じられないから	5	38.5%	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	8	19.0%
4.体調をくずしやすく、仕事を続けていくのがむずかしそうだから	1	7.7%	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	5	11.9%
5.仕事や訓練がづらい・大変だから	1	7.7%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%
6.あまりお金(工賃・賃金)をもらえないから	2	15.4%	2	10.5%	1	50.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	6	14.3%
7.はたらくための技術を身につけられないから	0	0.0%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	4.8%
8.会社などに就職ができそうにないから	2	15.4%	4	21.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	7	16.7%
9.その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10.わからない	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	2	4.8%
総計	46	32.9%	42	30.0%	21	15.0%	22	15.7%	8	5.7%	1	0.7%	140	100.0%

3.3 ヒアリング調査結果

<調査仕様>

➤ 調査目的:

各調査の集計結果から、利用者本人の「ウオンツ」と事業所が見立てる「ニーズ」の一致度が高く、かつそれに対する支援が適切に行われている(と思われる)ため、利用者からの評価や満足度が高い事業所を抽出し、支援の実際・実態をヒアリングすることで、就労系事業所における望ましい支援のあり方の考察につなげる。

➤ 調査方法

◇ 12 セグメント：事業別 3 種(移行・A・B)×障害種別 4 種(身体・知的・精神・発達他)から、候補となる事業所+利用者を 15 名選定

◇ オンライン会議方式で実施

➤ 調査時期:令和5年1月 12 日～令和5年2月2日

【調査結果(利用者)】

○ 就労移行支援事業所

障害種別	精神障害
年齢層	40才～49才

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		通所し始めて1年と少し
利用までの経緯	直近どこにいたか	この事業所利用前は自宅にいた。就職していた経験あり。
	知った経緯	いくつかの事業所を見学して、1日1時間からでもよいというところに惹かれた。
	利用の決め手(どこがよかった?)	自分は睡眠障害がひどかったため、体調に合わせて通えるところがよかった。
事業所の印象	就業環境	決められたプログラムは1h/日だけで、あとは自習となっている。
	居心地	広々として開放感があり、利用者間の間隔なども適切で、非常に居心地がいい。
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	自習時間は、資格試験の勉強。最近ITパスポートの勉強をして取得し、現在は簿記の勉強をしている。
	1日何時間ぐらい働いてる?	10-15時の4hで任意参加のプログラムがそのうち1h
	週何日勤務?	5日/週
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	はじめはまず体調を整えるところからだったが、夏ぐらいにMOSの資格試験を終えて、だんだん体調が整ってきたのを実感してきたので、就職に向けた相談・活動を始めた。
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	元々PCが得意だったので変わっていない
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	特に問題はない
	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	実は就職活動に区切りがついて、来週から仕事が決まった。インフラ系の会社で紹介はハローワークの合同面接会で、面接の練習などもしてもらってから声を掛けてもらった。求職のときは、PCスキルをそれなりにきちんとしたレベルで求められる仕事を探していた
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	1人に1人の担当スタッフがついてくれて、もう1人キャリアコンサルタントの人にもサポートしてもらえた。スタッフさんには受けた案件の仕事量の調整や相談をすることができた。
	いつでも相談可? 定期相談ある?	都度の相談もあったが、それ以外に月に1回定期的に総合的なことを聞いてもらえる機会があった
サポート	(2の自分の希望について)助けてもらえている?	面接練習などは、就職活動が進むタイミングに合わせてスタッフさんと相談しながら随時やってもらうことができた
	どんなことを助けてもらっているか	最初の半年は生活リズムづくりだったが、半年たったぐらいから仕事に復帰するための合同面接会への参加や、面接技法、身だしなみ、履歴書の中身チェックなど、様々なサポートをもらった
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	自習の素材はとても充実していて文句ないが、もう少し障害特性に合わせた参考書みたいなものがあったら、もう少し面接などに踏み出しやすくなるかも。しかしその分、人でまかなえているので問題はないと思う

障害種別	知的障害
年齢層	20才～29才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		3年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	車関係の会社で洗車のお仕事をしていた
	知った経緯	ナカボツからの紹介→体験してみても他も1件紹介してもらったが、こちらに決めた
	利用の決め手(どこがよかった?)	野菜の収穫など、やってみたいと思った。作業が楽しそうだった
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	野菜の収穫、ハウスの石拾い、草刈り、トイレ清掃
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	楽しい 体を動かす仕事が好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	9時から15時
	週何日勤務?	5日/週(木、日が休み)
	わからないことがあったときはどうする?	近くにいるスタッフさんに聞く:すぐ教えてくれる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	昔は農作業に興味がなかった やってみたいこと:洗濯物をたたむ、清掃、請負の会社に行く →やってみたいこともあるが今の仕事をがんばりたい
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	他の仕事も見えてみたいと言ってみたことがある →見学させてもらったこともある
	将来の夢、暮らし方	ひとり暮らししたい:現在実家→独立して暮らしたい できれば今年中に就職したい→清掃業務:2週間に1回トイレ掃除(車メーカーの農林事務所)のお手伝いをして練習してる
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	すぐに相談に乗ってもらえる
	いつでも相談可?定期相談ある?	3か月に1回面談あり
サポート	どんなことを助けてもらっているか	野菜の収穫のやり方を教えてもらっている ほうれん草の切り方など(根元から切るなど) 草刈りが苦手:機械を使ってきれいに刈るのがむずかしい →うまくいかなかったらスタッフさんに相談して自分でやり直す
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	覚えていない

障害種別	発達障害
年齢層	18才～19才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		1年10カ月
利用までの経緯	直近どこにいたか	高校→アルバイトしようとしたが面接で落ちた
	知った経緯	母から進められて
事業所の印象	居心地	雰囲気がいい
現在の希望	今がんばっていること、目標にしていること	つくったり、組み立てたり
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	部品パックの中の検査、清掃業務
	1日何時間ぐらい働いてる？	9-16時 朝礼～実習
	週何日勤務？	5日/週 月～金
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事？ 今やりたい仕事は？	今の仕事が合っていると思う
	前と今でやりたい仕事は変わった？/なぜ変わった？	変わってない
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	特にない 今の仕事でいい
	将来の夢、暮らし方	一般就労したい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	信頼できる人に相談する
	いつでも相談可？定期相談ある？	そんなに相談することがない
サポート	どんなことを助けてもらっているか	ハローワークの求人票を見ること

障害種別	身体障害
年齢層	50才～59才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2014～ 基礎コースにいた→文字起こしコースに移った 2021.4～ 応用コース
利用までの経緯	直近どこにいたか	基礎コース→速記コース→B型→鍼灸あんまマッサージ(地元)
	知った経緯	区福祉センター:視覚障害重たくなってきたときに体操教室、折り紙教室に通っていたら ボランティアの人が教えてくれた
事業所の印象	スタッフさん	普通の社会とつながってくれる存在
	就業環境	できないというところから 繰り返し教えてくれた 正確さやこれでいいんだというところを絞って こうしたら良いと指導してくれる
	居心地	ほどよい距離感がある
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	30歳で視覚障害があった→盲学校行って資格取得 →体力的にむずかしくなってくる+今はマッサージのところでPCスキルが求められるから訓練している
	1日何時間ぐらい働いてる？	地元 のマッサージ 高齢者マッサージに 1万円/回 月5回 視覚障害の神社 治療所 5000円
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事？ 今やりたい仕事は？	マッサージ 技術的には働いていける だけではダメなので PC:お客さん対応
	前と今でやりたい仕事は変わった？/なぜ変わった？	視覚障害があってもみんな楽しくやっているんだとわかった 全盲の方が多かった その中で普通に仕事してるのが どういふ距離感、社会との関わりしてるのか 自分の立ち位置がわかった ガイドヘルパー、ヘルパー利用への気持ちの壁がなくなった 見えないことを見えるふりしなくていい (自分自身の)足元がしっかりする
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる？ →それをスタッフさんに言える？	言えばすぐにやらせてもらえる
	将来の夢、暮らし方	もっと上の年代の方がいるが、情報共有していきたい 80代の人などに伝えていきたい 地元で還元していきたい 若い人だけじゃなく
賃金・工賃	増やしたいのは時間？日数？→スタッフ さんに言える？	もう少し多くマッサージの仕事ができれば
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可？定期相談ある？	電話でもいいし、メールなどでもできる 3か月に一度定期面談
サポート	どんなことを助けてもらっているか	文字が見えない こういう風にすれば見える PCに映して見える 表など 目盛りなど読み取りむずかしい ものを工夫できるように ノウハウがいっぱいある PC検定のデータなどもあるので助かる
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	最初面接にきたとき、スタッフさんが点字をすぐに名刺に打ってくれた 自分の方に降りてきてくれる ハードル
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	うわさ がまわっていくこと 不満などがあって受け止めてもらったときに親身になって心配してくれるが、自分としてはもう一歩がんばるところだと思っても、そこで無理はしなくてもいいと言われてしまう。 コロナがあったあと、2wだけじゃなく、3か月くらい待機させられてしまった

障害種別	身体障害
年齢層	40才～49才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2022.4.20～
利用までの経緯	直近どこにいたか	IT系の一般企業
	知った経緯	5-6年前にこういう場所があると聞いていた 1回見学にきて、いずれ来ようかなと思っていた：進行性の障害のため、いずれ来るようになるかもと思っていた
	利用の決め手(どこがよかった?)	前職は早期退職59歳で もう少しはたらきたいと思った 延長が降りないと思った 速記コース(テープ起こし)なら 70ぐらいまで努められると聞いた ExcelやWordはできていた マクロなどはできないが 表計算はOK
事業所の印象	スタッフさん	みなさん気持ちの良い先生
	就業環境	カリキュラムがつくりこまれている 音声ソフトが充実してきて 変遷も知っていて 工夫されている 速記コースに関して
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	テープ起こしの仕事に向けた訓練 今は音声聞きながらではなく、漢字2000文字を暗記
	1日何時間ぐらい働いてる?	2h:10-12時、13-15時
	週何日勤務?	4日/週 うち週2リモート勤務:文字を打っている画面を共有して実施
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	このままテープ起こし
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	数年前に来たときはコロナがなかった:入るときコロナで仕事の量も減った 時間も短縮(事業所の時間も) =出来高の仕事だと 給料少なくなってしまう
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	コロナで仕事減った:障害者が働きづらい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可? 定期相談ある?	気軽にできる 特に困っていることはない
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	2hしかないないのでそこまで困ったことない 健康診断をしてもらえるのはよかった 自己負担なし
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	事業所に関しては特になし。他の場所では生活訓練やってるが、ここは目的がはっきりしている=PCの技術をつける目的 =利用者

○ 就労継続支援 A 型事業所

障害種別	発達障害
年齢層	20才～29才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		5年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	特別支援から
	知った経緯	職場体験 2～3か所
	利用の決め手(どこがよかった?)	パソコンが好きだった、雰囲気がよかった VRアプリ開発、プログラムづくり、動画編集
事業所の印象	就業環境	1人1人ブースで分かれていて良い
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	VRアプリ開発、プログラムづくり、動画編集
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	10～15時 病気があるのでこれぐらいでよい
	週何日勤務?	5日 ふつうにできている
	わからないことがあったときはどうする?	4人のスタッフに誰にでも気軽に聞くことができる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事?今やりたい仕事は?	はじめから 小学生5年生～PCさわっている
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	プライベートな時間でもプログラミングとかをやるようになった 入ってからいろんな技術を身につけられた
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	とりあえず今のままいきたい
	将来の夢、暮らし方	このままやっていきたい
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	満足
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	特に今のままでいい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	いつでも聞いてもらえる
	いつでも相談可?定期相談ある?	定期相談はない
	面談?日常会話?モニタリング時?	日常会話でOK、その他モニタリング時半年に一度
サポート	どんなことを助けてもらっているか	家族で引越する際の相談はしたことある
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	心に余裕をもってやらせてもらえる
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	自分は自主性が少ないので、言ってもらえると助かる
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	とくになし

障害種別	知的障害
年齢層	30才～39才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		6年目
利用までの経緯	直近どこにいたか	I市:しいたけ栽培、新聞折り、調理補助→給料安かった B型 E市の会社でも就労経験あり
	知った経緯	相談支援の人に紹介 クリーニングも紹介された:シーツ折り作業
	利用の決め手(どこがよかった?)	家から近い
事業所の印象	スタッフさん	みんなやさしい 苦手な人もいる
	就業環境	利用者7人、仲がいい
	仲間の有無	人間関係
	居心地	最初はイヤだなと思ったが、働いているうちに良くなった
現在の希望	今がんばっていること、目標にしていること	今は合ってる と思ってる ここで身につけたことを 活かしてはたらきたい
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	除雪、シール貼り、トイレ掃除、大根洗い、収穫、草取り
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	体を動かす仕事が好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:00-15:30
	週何日勤務?	5回/週
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	除雪など今までの仕事を続けてたい
希望	将来の夢、暮らし方	一般就労:体を動かす、シール貼り、農作業 電車に乗って
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	相談支援の人にする
	面談?日常会話?モニタリング時?	相談支援事業所のモニタリング時
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	相談できる人がいる 信頼できる人がいる 今の人がとてもいい
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	1人でもかえこむことがある ストレスがかえるくせがあった
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	除雪とか今後も継続してやらせてほしい 今までどおりの仕事をさせてほしい

障害種別	精神障害
年齢層	30才～39才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2年半ぐらい
利用までの経緯	直近どこにいたか	自宅でひきこもっていた
	知った経緯	高校卒業からブラブラしてた OTの資格取った25～29ぐらい OTではたらいっていた→やめてしまった→ハローワーク
	利用の決め手(どこがよかった?)	説明会とかは他も見したが、見学したのは職員と利用者の間に笑顔がすごくあった(自然な感じ) 所長のNさんが終始笑顔だった
事業所の印象	スタッフさん	所長の人徳がある
	仲間の有無	基本的に他の方と話したりすることは少ない 利用者間で教えあったりはできている
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	PC 名刺、請求書のチェック 他の方は 市内のお菓子
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	ブラインドタッチできる
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:45-15:00
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事?今やりたい仕事は?	元々PCに詳しくった 自作できる
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	今ぐらいがちょうどいい
希望	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	OTの再就職は10社受けたが落ちてしまった(うつはダメ)
	将来の夢、暮らし方	一般就労はブランクが 既往歴がある人は取ってもらえない
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	大満足 OTのときデいに実習行ったことあったが、デいでは作業してもらえない:お給料もらえない
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	休まないで通いたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	仕事に関することはすぐに聞いてくれる 両親の容態が安定しなくて 父の手術 は主治医の方に、プライベート
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	当然厳しいこと(出勤率悪いなど)を理由があって怒ってくれる 理不尽な怒られ方をしない、きちんと説明してくれる
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	薬の調整
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	睡眠剤が残ってつらいことがある 仮眠ができる環境があれば 雑談はできる

○ 就労継続支援 B 型事業所

障害種別	知的障害
年齢層	50才～59才
性別	女

▶ 利用者向け

Ⅰ 現在通っている事業所について		回答
利用年数		27年
利用までの経緯	直近どこにいたか	自立訓練施設
	知った経緯	市役所の職員さん
	利用の決め手(どこがよかった?)	ここ以外紹介されなかった
事業所の印象	スタッフさん	職員1人
	就業環境	利用者4人
	仲間の有無	みんな仲が良い
	居心地	よい
現在の希望	今ががんばっていること、目標にしていること	特にない
仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	地元のレストランでレジ、調理。(このレストランは自治体が障害者の働く場所として建てた場所)
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好き、楽しくやれている
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:30～15:00 (4月から夏季 9:30～16:30)
	週何日勤務?	週5～6日勤務 火曜日定休日で土日もはたらいている
	わからないことがあったときはどうする?	今はわからないことがあまりない すぐ近くに職員さんがいてくれる
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	入ったときからレストランの担当だった これからも同じでいい
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	レジが早く打てるようになってきた (経験年数:20年)
	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	特にやりたいという仕事は言ったことがない:レジ打ちは職員さんからやってみないかと言われてはじめて
希望	将来の夢、暮らし方	ひとり暮らしを続ける
	賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足? もう少しほしい:女性なので、服などもう少しいろいろ買いたい
	増やしたいのは時間?日数?→スタッフさんに言える?	時間:レストランは20時まで営業しているので、時間を伸ばしたい
Ⅲ 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	職員さん、看護師さん
	いつでも相談可?定期相談ある?	いつでも可能
サポート	どんなことを助けてもらっているか	今はほとんど助けは必要ない
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	クレームを言ってくるお客さんが来たときに職員さんが対応してくれた(いつもそばにいて見てくれている)
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	特になし
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	特になし

障害種別	精神障害
年齢層	40才～49才
性別	男

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		まだ半年
利用までの経緯	直近どこにいたか	一流企業にいた(某有名出版社):12～3年勤務
	知った経緯	うつ アルコール依存症 合併で入院3回 デイケア→アルコール抜けなかった →うつがひどくなって2回目のデイケアのあとまた8か月半入院 体がついていけないから 一般就労は無理だということになった
事業所の印象	就業環境	結構ビリビリしてる
	仲間の有無	送迎の車内で少し話す人がいるぐらい
現在の希望	今ががんばっていること、目標にしていること	与えられた仕事はしっかりやって ミスのないように
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	プラモデルの袋詰め リベット:金属の部品にワッシャーをかませる仕事
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	好きな仕事が見つかったら、優先的にやらせてもらえる
	1日何時間ぐらい働いてる?	10:00-15:30
	週何日勤務?	週3回 週2回病院
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	とにかく退院したかった。コロナで支援が進まない中、たまたま見学体験できる日があって決めた
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	あまり規模が大きいところで、単調な作業があると思うので、やっていきたい
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	担当者会議のときに言ったらやらせてもらえる
	将来の夢、暮らし方	4月で1年なので、2/6に相談員の人がA型の資料をもってきてくれる
賃金・工賃	今の月額ぐらいで満足?	工賃安いのでA型に行きたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	まだ入って半年なのでいない
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	好きな仕事を優先してやらせてもらえるところ
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	相談しづらい 常に逼迫してる状態 ビリビリしている 伝染する みんながビクビクしているように感じる

障害種別	精神障害
年齢層	18才～19才
性別	男

● 利用者向け

2 現在通っている事業所について		回答
利用年数		2年～2年半
3 利用までの経緯	直近どこにいたか	GHに住んでいた。その前は児童養護施設にいた。高校でサッカーをやっていたがケガで行けなくなってしまった 親からの虐待があった→児相に→入所親とLINE交換してしまい、その後お金を要求されたり夜中にも連絡が来たりしたことで、精神的に病んでしまった 児相を出たあと今の法人のアパートを借りることができ、今は親と離れた 事業所の一番上の人にとっても感謝している
	知った経緯	相談支援に勧められた ここだけ
4	利用の決め手(どこがよかった?)	家賃安かった、見学した、おしゃれな部屋でよかった 16歳のひとり暮らししたときからの縁
	事業所の印象	スタッフさん 居心地
		朝ヘルパー利用 起きるの苦手 話しやすい
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	20日～ ポスティング作業 チラシ配り プラモデルの検品 会社の倉庫に行つて施設外就労 駄菓子屋さん みかん
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	体を動かすことが好き
	1日何時間ぐらい働いてる?	10:00-15:30
	週何日勤務?	月～金 たまに土曜(10:00-14:30)
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事? 今やりたい仕事は?	最初は、簡単だろうと思っていたが、やってみたらむずかしかった
	前と今でやりたい仕事は変わった?/なぜ変わった?	前にラーメン屋ではたらいていた、はじめはそっちがよかった→体壊して入院→今の仕事:今はこれぐらいが良い
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	普通の仕事やってみる?という
	今後やってみたい仕事、身につけたいと思っていること	美容師になりたい:学校行かないといけない
	将来の夢、暮らし方	虐待経験などから以前はいつかやり返してやろうと思っていた→人に体験を話すことで自分自身が変わった ひとり暮らしなので、土日ヒマ 児童養護施設を自分でやりたい夢がある:自分は施設の闇(施設内虐待)などがあつた→なくしたいから自分でつくりたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	事業所の一番上の人:親のような存在 +スタッフさん誰でも相談できる
	いつでも相談可?定期相談ある?	いつでも大丈夫
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	お金の使い方を管理してもらえる:1日の使用額、課金をやめようなど
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	お金の使い方
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	もう少し厳しくしてもらってもいい 甘えちゃうので

障害種別	高次脳機能障害
年齢層	65才以上
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		6-7年
利用までの経緯	直近どこにいたか	同法人の生活介護事業所で4年仕事していた
	知った経緯	くも膜下出血で倒れた56歳→努めてた会社をやめて生活介護事業所へ→今のところへ紹介
事業所の印象	就業環境	仕事しやすい 自分のペースで仕事できる
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	ネット通販食品の袋詰め
	1日何時間ぐらい働いてる？	10-15時 4h
	週何日勤務？	月～金
利用開始当初→現在	当初からやりたかった仕事？ 今やりたい仕事は？	もう年なので与えられた仕事をするだけ
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	いつでも相談可？定期相談ある？	いつでも大丈夫
	いつでも相談可？定期相談ある？	いつでも大丈夫
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	自分のペースで仕事をさせてもらえること
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	特になし
障害種別	発達障害	
年齢層	40才～49才	
性別	男	

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		10年
利用までの経緯	知った経緯	市の就労支援センターで
	利用の決め手(どこがよかった？)	当時は仕事を辞めていた時期。コピー機などが動いていたけれど比較的静かな職場だったから
事業所の印象	就業環境	自分に合っている
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	そのときの仕事の締め切りによるが、色々変わる PC入力、発送前準備 封筒に入れる前に書類作成
	仕事について(楽しい？好き/苦手？)	好き 単純な作業が得意
	1日何時間ぐらい働いてる？	13:00～16:00
	週何日勤務？	3回/週
	わからないことがあったときはどうする？	入力をしていて、読めないのがあったりしたら聞く
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる？ →それをスタッフさんに言える？	体調に合わせて作業を変えてもらえる
	将来の夢、暮らし方	本を読みたい 噛み合わせが悪く肩がいつも緊張するので治したい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいるか/誰にするか	すぐに相談できる環境がある
	いつでも相談可？定期相談ある？	月1度は面談あるが、それ以外にも
	面談？日常会話？モニタリング時？	生活記録表をつけている→それを見せて立ち話
サポート	今まで助けてもらって一番うれしい/うれしかったこと	自分のためにいつも時間を使ってもらっている マイナスなことを言われない あえて抑えてもらえていると思う
潜在的希望	スタッフさんに一番助けてほしいこと	今のままで 最近足がかゆかったり、口内炎
	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかなか叶わないこと	特になし

障害種別	精神障害
年齢層	60才～64才
性別	女

● 利用者向け

1 現在通っている事業所について		回答
利用年数		3年
利用までの経緯	直近どこにいたか	同法人のB型事業所
	知った経緯	B型事業所の仕事が合わなかった
事業所の印象	スタッフさん	やさしい
2 仕事・訓練について		回答
普段している仕事・訓練	作業種	キッチン 袋入れ
	仕事について(楽しい?好き/苦手?)	楽しい
	1日何時間ぐらい働いてる?	9:30～15:30
	週何日勤務?	週5日
希望	やりたい仕事をやらせてもらえる? →それをスタッフさんに言える?	スポンジ型抜き、検査
	今後やってみたい仕事、身につけたいと 思っていること	10本まとめて梱包できるようになりたい(今の作業より難しい作業)
	将来の夢、暮らし方	編み物をしてみたい
3 事業所・スタッフさんからのサポートについて		回答
悩み・相談	悩みや困ったことを相談できる人はいる か/誰にするか	スタッフさん、通院先の医師
	面談?日常会話?モニタリング時?	仕事のこと以外にも家族のことなど相談できる ひとり暮らしで困ったことなど
サポート	どんなことを助けてもらっているか	テープの貼り方うまくいかないとき、わかりやすく教えてもらえる
	今まで助けてもらって一番うれしい/うれ しかったこと	仕事を覚えるまで大変だった 横についてもらって教えてくれた
潜在的希望	(言いづらいが)本当はしてほしいこと/なかな か叶わないこと	特にない

【調査結果(事業所)】

○ 就労移行支援事業所

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労移行支援
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
	基礎情報	定員、登録者数、利用者/日
		定員20名18名登録。常時15人程度通所。
		平均的な利用時間
		移行ではめずらしいかもしれないが、10～15時までフルで通所されている方が半数以上いる。
	全体的な支援方針、法人の特徴	週1回1hからでもOKとしているが、居心地のいい、やさしい空間になっているのか、フルで通われる方が多い。事業所内で孤独にならないということが大事と考え、1人1人に細かい声掛けを行うようにしている。1人1人に合わせた個別支援計画を立てている
	特徴的な取り組み	スタッフ同士でオンラインチャットでリアルタイムに情報共有できるようになっている。スタッフ6名/日が各ブースで支援しながらPCでリアルタイムに情報共有できる。元々大阪で始まった法人で、大阪に7事業所、鶴見、関内、名古屋に事業所がある。社内に研修チームがあり、新人ときから支援に関する研修なども充実している
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	まずご希望を聞いて、いっしょに動く、やってみようと言う。できなかったときに、また一緒に考える。失敗をすることでご自身の現在地を把握することができる。移行支援は就職するための予備校という表現をしている。失敗をいくらでもできるところが移行支援(の良さ)であると考えている。
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	ご希望にできる限り近い内容を提案させてもらい、希望と提案をすり合わせていく作業を行っている
4	その他	回答
	その他	・回答支援者:6名を1人で担当+定着支援利用者1名 ・定着支援の状況...気分の波が激しく人のことが気になる、不安が怒りとして出てしまう方、瞬間湯沸かし器 ご自身のセルフケアなどを学んでもらって就職してもらった(頭に血が上ったときにお気に入りの髪アクセサリーをさわるなど。)どうしてもむずかしいときはチャットや電話、来所してもらおうようにしている。 ・事業所として最も大事にしていること...居場所としての機能。ここに来たときぐらい笑おうよ、といえるような場に。 ・利用者アンケートについて...それほどむずかしい設問もなく、多すぎる感じもしなかった。

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労移行支援
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	定員6名/6名 事業所＝移行+B 法人では放デイ、GHもある 週5勤務が多い
	平均的な利用時間	9-15時 5h
	全体的な支援方針、法人の特徴	農業に関する仕事を探すが基礎体力をつけるなど、体力的に万全にして支援→指示に対する動きなど特性、足りないところなどを見る
	特徴的な取り組み	外勤などはBといっしょに行くこともある 就労移行で農業はめずらしい Bと移行でハウスごとに利用者の合う仕事を提供
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	農業がいいが、自分で通うなどできないとむずかしく、安定した仕事というのが少ない → うちで体力をつけてもらい、色々なところに就職できるように
	卒業後の進路	清掃、水産加工 介護、福祉：清掃、介護補助
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	こちらが無理だなどと思っても、実習先などを見つけてやってもらう スタッフから言われるよりも企業などから言われた方がいい場合も多い。しっかりダメなところを言ってもらようにしている(できれば少し厳し目にとお願いしておくこともある) 企業側も言いつらいということはあると思うが、言ってもらった方が本人のためになるというので言ってもらようにしている → 利用者さんと一緒に振り返って納得感を得てもらう
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	うちは基本的に農業なので、PCの仕事をやってみたいとかはある → 事業所はこだけでない提案することもある(できれば叶えてあげたいと思っているが) 基本的には相談支援事業所に伝えて、探してもらったりする
4 その他		回答
	その他	田んぼの中にある事業所なので環境が良いのだと思う。入ってくる方はほぼ農作業希望 体動かしたい方が多く来る(障害程度は軽め) 紹介は支援学校や相談事業所から 10~20代が多い あまり途中で退所などはない(ほぼ2年で就職等する)

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労移行支援
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名 移行+定着 登録18名 精神・発達
	平均的な利用時間	9-16時、その他特性に合わせて 在宅の人をいた(国の指針)
	全体的な支援方針、法人の特徴	施設外就労＝実践訓練をメインに 座学は少なくし、ここでも工賃2~3万はかせげようように仕事を提供 回答支援者：ジョブコーチ 実践訓練の中で得られる利用者の特性や情報を就労先に伝える
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	一番多いのは就労支援機関からの情報提供 引き合い：企業等からの直電、卒業生の企業、福岡の工場からも
	卒業後の進路	愛知：自動車メーカー、製造業 製造系が8割 +事務
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	一番早いのは、実習に行ってみてもらう→相手の会社の評価を可視化 たまに職業センター使う プロフィールシートは送る 本人との信頼関係が必要
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	周辺情報 実践訓練を希望されない人にはちがうところへという話はする まだ準備性が整っていない方、安定していない方などは移行でいいのかとなるが、Bに追いやるのではなく1週間ぐらいアセスメントをとってから判断する・Bと移行の使い分け 外部機関：医者、ナカボツなどと連携することもある 自社の相談支援事業所と連携：よく動いてくれる
4 その他		回答
	その他	相談支援事業所が多忙でいっぱい：この報酬体系ではむずかしいとのこと →お願いしづらい。 定着支援：向こう3年の実績で出すので 増えていかない 表面上だけ見ていると普通だが障害のある大学生の利用相談が多くなっている 大学の方も就職支援に困っている→支援者さえいれば良い会社に就職できる うちはそういう人を雇ってもいいと言っている企業を多く知っているため、某大学と連携して進めていこうということになった

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労移行支援
障害種別	身体障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	移行30 B30 移行70 B40 視覚障害 特化 白杖訓練等が多いが、高度な音声PCを用いた事業所は 他県からも
	全体的な支援方針、法人の特徴	視覚障害+就労で40年以上前から 健常者と同等に仕事できるように 1人1人の状況に合わせて対応:同じ視覚障害でも人により視野も見え方もちがう 年齢も幅広い:アセスメントをしっかりと実施している 移行:コース4つ・音声PC導入している 利用契約書類は口頭読み上げ、電子データ、媒体でも準備している
	特徴的な取り組み	リモート:福岡、仙台、神奈川、埼玉、千葉 コロナ:緊急事態宣言出てから 運営規程も変えて
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	見えないことで不利益ないように 全盲の職員も7名いる
	卒業後の進路	一般就労(職種:事務)が多い
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	すり合わせ:アセスメント時 進路、モチベーションの差はある:3か月モニタリング:再評価+フィードバック 評価シートある:標準の進み具合の指標 検定試験なども活用:顕著に出る 本人も自覚できる これまで経験がある人→正社員、月給、一流じゃないという方→本人の気持ちを 大事に したいということを最大限尊重 本人に寄り添う
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	視覚障害に対応している機関は多くないので顔が見える まだ身の回りのことできない人→自立訓練 Bでも知的に高い人→他のBを紹介したり 終了までに次の進路を 相談支援:所在自治体によって温度差ある モニタリングが電話だけのところもある 相談支援が就職先見つけてきてくれる場合もある
4 その他		回答
	その他	視覚障害者は数が少ないので、相談支援、ナカボツでもわからないことが多い

○ 就労継続支援 A 型事業所

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続A型
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答	
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名/19名 週5くる 精神障害、発達障害が主
	平均的な利用時間	4～5h/日
	全体的な支援方針、法人の特徴	利用者さんが実施可能なことしかさせない。 利用者さんができないことは(事業所側が)環境で埋められるという考え 既存の仕事はほとんどない→新しい仕事ばかり 請負もあるが、マネタイズしやすいため自社で研究・開発が主力:コンテンツ事業が主
	特徴的な取り組み	IT事業に特化 例)メガネメーカーの集中力を測るメガネ:コラボしてYouTubeであげている 利用者のうち6名ぐらいがリモート勤務
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	前年度3名一般就労 対応し得る技能:遠い目標はたてないようにする 働き方が多様化している
	卒業後の進路	商社、不動産など
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答	
	対応方法	自己分析+体験してもらう→お互いの情報量が少ないときギャップは起こる 一緒にSWOT分析などもする。一緒に情報を集めて本人と共有 会社全体で利益が出ればよい(1つ1つの事業・取り組みすべてが黒字じゃなくて良い) 自律した問題解決ができるようになってもらいたい
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答	
	対応方法	できる限りカスタマイズして提供し続けるようにしている (自分のところだけじゃなく)就労事業所全体でカバーできればよいと思っている
4 その他	回答	
	その他	1人1人にコストがかかるので14～15名でやってきた 相談体制としてはそれほど充実しているわけではないと思ってきた 利用者さん同士で教えあったりしている メタバースも取り組んでいる:自然言語モデル→プロンプトエンジニアリングができるように

法人格	NPO法人
事業種別	就労継続A型
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答	
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	15名 登録7名 週5日
	平均的な利用時間	4名:AMのみ 3名:9-15:30
	全体的な支援方針、法人の特徴	農福連携 加工製造、直売所での販売 作業を切り出して 仕事というチャンネルが居場所である 適正にあった場所に配置できる
	一般就労に向けた支援	事業所としては積極的に一般就労を探しているわけではない:本人が見つけてきたりすれば、ハローワーク同行や履歴書書き、面接練習などしている 卒業者はだいたい一般就労にむすびついてはいる
	卒業後の進路	精神:刑務所の事務
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答	
	対応方法	ギャップを明らかにしていく まずはやってみさせてフィードバック 相談支援と協議 日中活動の事業所が踏み込める領域がどこまでかということは考える
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答	
	対応方法	合わなければ自然と離れていくもの 人に合わせて工程を組み替えることもある、一連の流れだったものを切り分けることもある

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続A型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
	基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名/30名 毎日 精神8割 知的・身体
		平均的な利用時間	4h15m
		全体的な支援方針、法人の特徴	Aなので、一般就労に向けて 出勤率8割をキープできるようにという意識 :利用者にも意識してもらう ずっといてもいいけど、その先を
		特徴的な取り組み	居心地いいと言ってもらうのはいいが、一般就労に向かってほしい
	一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	ハローワークにもそういう求人出してる ハローワークに行く手前の話はする
		卒業後の進路	今年3名ぐらい
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
		対応方法	相談支援、ハローワークがついていけば連絡を取って、方向性の確認+ 第三者に入ってもら 出勤率が低い人:紙に打ち出して見てもらって(厳しいけど、現実を受け止めてもらう)
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
		対応方法	ほとんどの方がPCやりたくてきてる 向いてない方、座り仕事がつらそうな方 →無理にここにいつづける必要はない
4	その他		回答
		その他	箱詰めを単発 ハローワークとの連携多い:担当者が熱心:面談時間を取ってくれる 障 害者就労 函館:就労Aが結構つぶれている。AをやめてBにするとところもある

○ 就労継続支援 B 型事業所

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	知的障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	H7～入所→訪問寮でひとり暮らし 自活訓練 3年→村営住宅 GHの世話人の確保がむずかしい B12 生活介護30 11名B 30 12名毎日365日 交代制 2万～ 3.5万以上
	平均的な利用時間	4h(冬)～6h(夏)
	全体的な支援方針、法人の特徴	その人の生活の保障 生活を守る 障害特性にあわせた 工夫をしている 月給制:A～C:働く場所、能力により差→年2回評価表で点数化してランク決め
	特徴的な取り組み	宿泊施設でのベッドメイク業務 元理事長が民間あがり、工賃高くする目標
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	地域にほとんど仕事がない:自分たちで職場をつくらうという考えで仕事を増やしてきた
	卒業後の進路	近隣自治体の役場庁舎の清掃(過去1人だけ1本釣りだった)
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	本人とよく話す、家族交えて話す:本人の意向が大事 相談支援事業所にも入ってもらうこともある
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	少ないが、希望が変わっていく人もいる(途中で飽きてきてちがう仕事したいなど)。まれなケースだが他市の事業所に移る方もいた
4 その他		回答
	その他	近隣自治体の相談支援(元は同一法人だった事業所)を8割方の人が利用している

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続B型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1 事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫		回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名/28名 毎日20名 午前午後で分けて 精神がほとんど 知的4名 法人内の他B型があり、そちらは知的メイン
	平均的な利用時間	2～3h:AMの人 1日通しの人もいる 9-15:30
	全体的な支援方針、法人の特徴	利用者に合わせて 終了時間だけ合わせて、開始は人それぞれ 利用者に寄りそう 法人:事業所多い(GH、相談支援持ってる)、生活介護も今後開設したい
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	今のところ 1名ぐらいしか定着していない いったとしても戻ってきてしまったりする人多い 大体はうちにずっといる 他に行き所がなくてうちに来る人が多い
2 本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について		回答
	対応方法	ギャップある人多い 利用者さん同士でも比較あってしまうことも多い →まずはやってみてもらう→失敗しても 本人が納得することが大事 施設外就労に連れていく:連れていけるタイミングで行って体験してもらって挫折して帰ってきたらフィードバックして また行けるといいね、と声掛け
3 本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について		回答
	対応方法	持っているプログラムが多い(みかん収穫 便利屋 広告出して 個人宅の草刈り など) 法人内に営業担当いる:営業したい利用者さん(以前営業職だった人など) 法人で持っている仕事の幅が広い どこの事業所でもダメだった人がくることも

法人格	社会福祉法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	高次脳機能障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	定員20名 登録26名 ほぼみんな20 知的・発達、高次脳4名
	平均的な利用時間	10-12 13-15
	全体的な支援方針、法人の特徴	理念:はたらくを支援 個々に合った作業
	特徴的な取り組み	シール貼り、袋詰め 室外:施設外就労 清掃 共同受注を行っている法人が仕事をあっせんしてくれる
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	やってみてむずかしいときは、その人のできることをしてもらい、自信につながるように支援
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	ほとんどない 利用が長い方が多い 最長10年いる人も 年齢層:20代~70歳代
4	その他	回答
	その他	相談支援のモニタリングでの聞き取り(3か月に一度):こちらでは聞けない情報を聞き取ってもらう(事前に打合せすることもある)

法人格	NPO法人
事業種別	就労継続B型
障害種別	発達障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	40名 主従 49名 2~3名卒業予定 年間4~5名
	平均的な利用時間	MAX 9:30~17:00 フルタイム4割 半日週3 午前午後1回ずつ報告
	全体的な支援方針、法人の特徴	発達障害に特化:2006~ 就労Bなかった 大学を出た発達障害の人が生きにくい:就職ない→PCやってもらったら 地域作業所→地活→就労B 体使う仕事:シュレッダー、納品手伝い、ピッキング PC1人1台:データ入力、印刷機:発送業務、帳合い、封筒、アンケート入力
	特徴的な取り組み	発達障害に特化:1人1つの仕事ならできる人:横の関わり一切なし:仕事の明確化: 個別で社会性の支援(できる人にはしない、必要な人に必要なことのみ) 相談=検品のタイミングで実施 平均工賃45000円 時給550円が一番多い ボーナス月 ADHD:集中できる時間を申告してもらっている
一般就労に向けた支援	方針、取り組み方	目標
	卒業後の進路	市(PC入力、発送)、都道府県(PCセットアップ、企業の社員に配る、クリーニング) 特例子会社(事務系)にOBいる そこに7人ずついる ナカボツ、市の就労支援課 が紹介してくれる→まずはスタッフが行って、相手方を見て判断(持ち出しでやってる)→実習(面接は敷居が高い)してから
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	Bに来る人は就労したい人→はじめは就労したいという言葉はまだ本心じゃない=誤学習 だと思っている (周りから言われるから「就労したい」という人が多い) まずは個別支援計画もそれに合わせるが、日々の仕事を見ていった中で出てきた課題→フィードバックして 本人が納得するように 就労ということから一歩引いて考えてもらう 担当者制→情報共有の工夫:日報(PC)を共有フォルダで共有、毎日スタッフミーティング 月1回自法人のB型(就労の一段階踏みたい人用)と1日ずつ 書面+議題つくって意見交換会
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	結構外に出ていく機会が多い 医療同行もする 計画相談といっしょに 日中は当事業所、生活は他事業所みたいに役割分担
4	その他	回答
	その他	自法人GH 立ち上げスタッフが重度のGH支援員だった 昔のGHの委員会 NPO法人つくって進めた 高機能の人が困っているのを見て当事業所を設立 体験型のGHをつくった→はたらいで年金+6万ぐらいを目標 生の仕事で自己実現」がスローガン:現実の社会との接点により自己実現を体感してもらう→どんな自分というものが良いのか、本人が感じられるように 教材ではなくて実際の受注でつくる→ここにいる自分がいい、就職する自分がいい など、どれでも良い

法人格	株式会社・有限会社・合同会社
事業種別	就労継続B型
障害種別	精神障害

● 事業所向け

1	事業所の全体的な支援方針と個々の利用者に対する配慮・対応の工夫	回答
基礎情報	定員、登録者数、利用者/日	20名 19名 ほぼ全員 精神・知的・身体
	全体的な支援方針、法人の特徴	本人に寄り添って 望む 自立に向けた 人生トータル
	特徴的な取り組み	それぞれに合ったやり方、生き方
	一般就労に向けた支援	卒業後の進路 支援員に自社雇用したケースがある 一般就労もある
2	本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応について	回答
	対応方法	プライドを気づけないように 現実を感じてもらう 実際にやってもらう : 体験してもらう
3	本人の希望が既存の取組で対応できない場合の取組について	回答
	対応方法	なるべく(自社で)つくる 相談支援との連携を意識 その人の将来を考えてやっている
4	その他	回答
	提供している作業	PCの仕事 スポンジ 梱包 自動車メーカーのウレタン部品の加工

● ヒアリング調査まとめ

【特徴的な取り組み・印象に残った発言等】

○ 就労移行支援

発言者	障害種別	概 要
利用者 A	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>1日1時間からでもよい</u>というところに惹かれた。 ・ <u>1人に1人の担当スタッフ+キャリアコンサルタント</u>の人にもサポートしてもらえた。 ・ 合同面接会への参加や、面接技法、身だしなみ、履歴書の中身チェックなど、様々なサポートあり。面接練習は、就職活動が進むタイミングに合わせてスタッフさんと相談しながら随時実施
利用者 B	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ やってみたいこともあるが今の仕事をがんばりたい ・ 他の仕事も見てみたいと言ってみたことがある→見学させてもらったこともある ・ ひとり暮らししたい:現在実家→<u>独立して暮らしたい</u>
利用者 C	身体障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害があってもみんな楽しくやっているんだなとわかった ・ 見えないことを見えるふりしなくてよいという気持ちになった ・ はたらくことで(自分自身の)足元がしっかりする ・ 親身になって心配してくれるが、自分としてはもう一歩がんばるところだと思っけていても、そこで<u>無理はしなくてもいいと言われてしまう</u>
利用者 D	身体障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援は所在自治体によって温度差ある ・ モニタリングが電話だけのところもある ・ 相談支援が就職先見つけてきてくれる場合もある
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>事業所内で孤独にならないということが大事</u>と考え、1人1人に細かい声掛けを行うようにしている。 ・ 1人1人に合わせた個別支援計画を立てている ・ (ギャップがあるときは)<u>まずご希望を聞いて、いっしょに動く、やってみようと言う。できなかったときに、また一緒に考える。</u> ・ 失敗をすることでご自身の現在地を把握することができる。 ・ <u>失敗をいくらでもできるところが移行支援(の良さ)</u>と考えている
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>就労移行で農業はめずらしい</u>→B と移行でハウスごとに利用者の合う仕事を提供している ・ 卒後の進路:清掃、水産加工、介護、福祉:清掃、介護補助→農業がいいが、自分で通うなどできないとむずかしく、安定した仕事というのが少ないため、<u>うちで体力をつけ、色々なところに就職できるように支援している</u>
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外就労=<u>実践訓練を重視</u>している ・ 座学は少なくし、ここでも工賃 2~3 万はかせげるように仕事を提供する ・ 実践訓練の中で得られる利用者の特性や情報を就労先に伝える ・ まだ準備性が整ってない方、安定していない方などは移行でいいのかとなるが、<u>すぐに B 型にということではなく1週間ぐらいアセスメントをとってから判断する</u>(B 型と移行の使い分け) ・ <u>相談支援事業所が多忙でいっぱい</u>この報酬体系ではむずかしいとのこと(お願いしづらい。)
支援者 D		<ul style="list-style-type: none"> ・ 健常者と同等に仕事ができるように支援している ・ <u>1人1人の状況に合わせて対応</u>:同じ障害でも人によりちがう。年齢層も幅広いため<u>アセスメントをしっかりと実施</u>している ・ コースは4種類で、音声読み上げ PC 等を導入している ・ (一般就労しても)障害があることで不利益でないように訓練 ・ 就労経験がある人で正社員、月給、一流じゃないという方→<u>本人の気持ちを大事に、したいということを最大限尊重し本人に寄り添う</u>

○ 就労継続支援 A 型

発言者	障害種別	概 要
利用者 A	発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半年に一度のモニタリング以外の定期相談はない(随時相談している) ・ 心に余裕をもってやらせてもらえる ・ 自分は自主性が少ないので、言ってもらえると助かる
利用者 B	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はイヤだなと思ったが、働いているうちに良くなった ・ ストレスがかえるくせがあつたが相談できる人がいる・信頼できる人がいる(今の人がとてもいい) ・ <u>相談ごとには相談支援の人にする(モニタリング時)</u>
利用者 C	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労はブランクがあつたり既往歴がある人は取ってもらえない ・ 厳しいこと(出勤率悪いなど)を理由をもって怒ってくれる ・ <u>理不尽な怒られ方をしない、きちんと説明してくれる</u>
利用者 D	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>企業に面接など活動はしていたが、見学したとき作業の体験させてもらって合うと思った。職場の雰囲気がよかった</u> ・ ストレスがない。気軽に話しかけられる ・ わからないことをすぐに来てくれる的確に指示をくれる ・ <u>他の利用者と関わりが少ない。あいさつ程度しかないので、世間話でもできればと思っている。事業所の方針があるのはわかるが、本当はそういう気持ちがある(理解はしている)</u>
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般就労に向けて出勤率 8 割をキープできるように:利用者にも意識してもらうようにしている ・ 相談支援、ハローワークがついていれば連絡を取って、方向性の確認+第三者に入ってもらう ・ 出勤率が低い人:紙に打ち出して本人にも見ってもらう(厳しいが、現実を受け止めてもらう) ・ PC 作業が主なので、向いてない方、座り仕事がつらそうな方は無理にここに居続ける必要はないと考えている ・ <u>ハローワークとの連携多い:担当者が熱心:面談時間を取ってくれる</u>
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者さんが実施可能なことしかさせない。利用者さんができないことは(事業所側が)環境で埋められるという考えている ・ (ギャップがあるときは)自己分析+体験してもらう→お互いの情報量が少ないときギャップは起こる。一緒に SWOT 分析などもする ・ 会社全体で利益が出ればよい(1つ1つの事業・取り組みすべてが黒字じゃなくて良い)
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>親亡き後の支援</u>をどうするか ・ 積極的に一般就労を探しているわけではない:本人が見つけてきたりすれば、ハローワーク同行や履歴書書き、面接練習などはしている ・ ギャップを明らかにしていく。まずはやってみさせてフィードバック ・ <u>日中活動の事業所が踏み込める領域がどこまでか</u>ということは考える

○ 就労継続支援 B 型

発言者	障害種別	概 要
利用者 A	知的障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にやりたいという仕事は言ったことがない:レジ打ちは職員さんからやってみないかと言われてはじめて ・ クレームを言うてくるお客さんが来たときに職員さんが対応してくれた(いつもそばにいて見てくれている)
利用者 B	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前にラーメン屋ではたらいていた、はじめはそちらがよかった→体を壊して入院→今の仕事へ。今はこれぐらいが良い ・ 虐待経験などから以前はいつかやり返してやろうと思っていた→<u>人に体験を話すことで自分自身が変わった</u> ・ 児童養護施設を自分でやりたい夢がある:自分は施設の闇(施設内虐待)などがあつた→なくしたいから自分で施設をつくりたい ・ お金の使い方を管理してもらえる:1日の使用額、課金をやめようなど
利用者 C	精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ (やりたい仕事)担当者会議のときに言ったらやらせてもらえる ・ 一流企業にいた。工賃が安いので A 型に行きたい ・ まだ入って半年なので相談する人はいない ・ 相談しづらい。常に逼迫してる状態でピリピリしている
支援者 A		<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ信頼関係の構築途中の方に対しては、距離感を近からず遠からずにして ・ 就業時間は利用者ごとにちがう:終了時間だけ合わせて、開始はそれぞれにして ・ ギャップある人は多い。まずはやってみてもらう→失敗しても<u>本人が納得することが大事</u> ・ 施設外就労に連れていけるタイミングで行って体験してもらう→挫折して帰ってきたらフィードバックしたまに行けるといいね、と声掛けする ・ 法人内に営業担当がいるため<u>法人で持っている仕事の幅が広い</u> ・ どこの事業所でもダメだった人がくることも多い
支援者 B		<ul style="list-style-type: none"> ・ (ギャップがあるときは)やってみてむずかしいときは、その人のできることをしてもらい、自信につながるように支援 ・ 相談支援のモニタリングでの聞き取り(3か月に一度)に、こちらでは聞けない情報を聞き取ってもらう(事前に打合せすることもある)
支援者 C		<ul style="list-style-type: none"> ・ ご本人が今の働き方が最も合っていると話しており、事業所としてはこういう形がまさに理想だと思っている ・ <u>自分がありたい姿になることが目標になったらいい</u>:就労できない自分に落ち込まなくていい:<u>一般就労がゴールとは思っていない</u> ・ 発達障害に特化:地域作業所→地活→就労 B 型へ変遷 ・ 平均工賃45000円:時給550円が一番多い:ボーナス有 ・ ADHD の方には自分が集中できる時間を申告してもらっている ・ はじめは就労したいという言葉はまだ本心じゃない=誤学習 だと思っている (周りから言われるから「就労したい」という人が多い) ・ まずは個別支援計画もそれに合わせるが、日々の仕事を見ていった中で出てきた課題→フィードバックして 本人が納得するように ・ 就労ということから一歩引いて考えてもらう ・ 結構外に出ていく機会が多い 医療同行もする 計画相談といっしょに ・ 「生の仕事で自己実現」がスローガン:<u>現実の社会との接点により自己実現を体感してもらう</u>→どんな自分というものが良いのか、本人が感じられるように
支援者 D		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入った当初はおとなしかった方→ニコニコしてただけ 発語も少なかった→いつの間にかとてもよく話すようになった ・ その人の生活を守る:地域にほとんど仕事がない:自分たちで職場をつくらうという考えで仕事を増やしてきた→障害特性にあわせた工夫 ・ 月給制:A~C ランク:働く場所、能力により差→年2回評価表で点数化してランク決め

○ ヒアリング調査総括

- 事業種別で特に差があるということはなく、特に「本人の希望と事業所の見立てにギャップがある場合の対応」については、
 - ・ まず希望を聞き、いっしょに動く
 - ・ ギャップを明らかにしていく。まずはやってみさせてフィードバックをする
 - ・ できなかったときは、その人ができる範囲のことをしてもらい、自信につながるように支援する
 - ・ たとえ失敗したとしても、その結果や過程に本人が「納得」することが大事といった、本人の希望や自己決定のプロセスを尊重・重視した支援を、どの事業所も行っていることがわかった。
- 一方で、就労という日中活動の事業所が踏み込める(関わるべき)領域がどこまでかということに悩む声もあった。
- その点、うまく相談支援事業所やハローワーク、施設外就労先の企業などと連携し、第三者の力を借りて利用者の認識の修正やギャップの解消を図るなど、多機関協働を意識して行っているところが多いという印象があった。

4 分析・考察

ここまで、各種アンケート調査並びにヒアリング調査を実施してきた。主要な結果を改めて分析し、それらから見えてきたことを考察する。

4.1 利用者の実態

本研究事業では、就労系障害福祉サービスの利用者に関して、利用者本人が就労系障害福祉サービス事業所に通うことで実現したいこと：「ウォンツ」に重きを置き、その「ウォンツ」に対しどのような支援が行われており、それにより利用者の事業所に対する「満足度」がどう変化するかという点に着目して、調査・分析を進めてきた。

ここからは、さらに深く分析・考察を進めるにあたり、まずは現在の事業所を選択した経緯から整理する。

● 現在の事業所への利用経緯

<p.46 再掲>

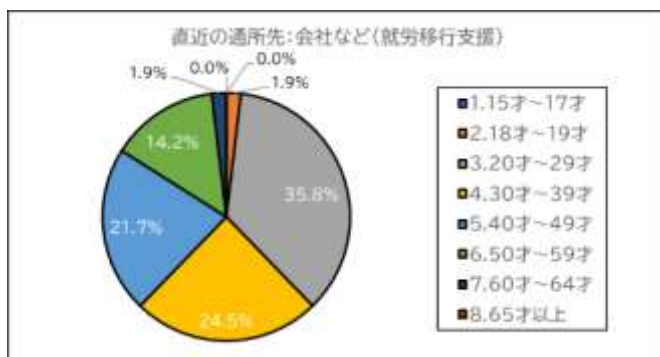
Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？ (選択は1つ)

Q7. 今の事業所ではたらくすぐ前に、かよっていた場所はどこですか？(選択は1つ)

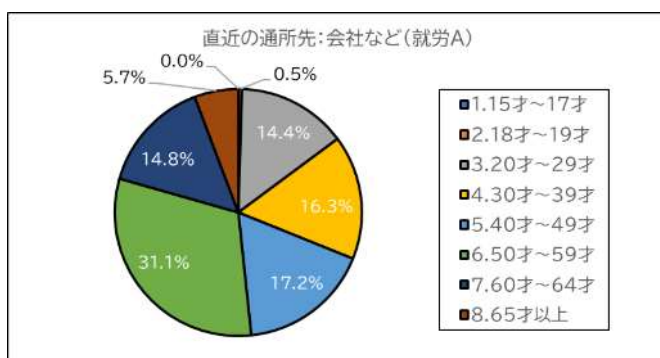
回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.中学校	19	1.0%	1	0.2%	6	0.9%	12	1.6%
2.特別支援学校	226	12.1%	75	17.2%	54	7.8%	97	13.1%
3.普通高校	44	2.4%	15	3.4%	13	1.9%	16	2.2%
4.専門学校	23	1.2%	15	3.4%	5	0.7%	3	0.4%
5.短期大学	4	0.2%	2	0.5%	1	0.1%	1	0.1%
6.大学	29	1.6%	20	4.6%	4	0.6%	5	0.7%
7.大学院	4	0.2%	2	0.5%	2	0.3%	0	0.0%
8.就労継続支援A型事業所	151	8.1%	16	3.7%	106	15.3%	29	3.9%
9.就労継続支援B型事業所	227	12.2%	21	4.8%	62	8.9%	144	19.5%
10.就労移行支援事業所	89	4.8%	20	4.6%	30	4.3%	39	5.3%
11.生活介護事業所	16	0.9%	1	0.2%	2	0.3%	13	1.8%
12.自立訓練事業所	37	2.0%	10	2.3%	13	1.9%	14	1.9%
13.地域活動支援センター	37	2.0%	11	2.5%	8	1.2%	18	2.4%
14.医療機関(デイケア)	43	2.3%	8	1.8%	9	1.3%	26	3.5%
15.会社など(就職)	458	24.5%	117	26.9%	221	31.9%	120	16.2%
16.病院に入院	72	3.9%	11	2.5%	22	3.2%	39	5.3%
17.自分の家	282	15.1%	65	14.9%	94	13.6%	123	16.6%
18.わからない	25	1.3%	8	1.8%	8	1.2%	9	1.2%
19.その他※くわしく書いてください。	82	4.4%	17	3.9%	33	4.8%	32	4.3%
計	1,868	100.0%	435	100.0%	693	100.0%	740	100.0%

- 就労移行支援と就労継続支援 A 型で「会社など(就職)」が3割前後と多く、全体でも 24.5%で最も多い。就労継続支援 A 型・B型では他のA型・B型から移動してきたという回答も比較的多い。
- 次いで自宅という答えが多いが、就労移行支援と就労継続支援 B 型では「特別支援学校」が15%前後あった。

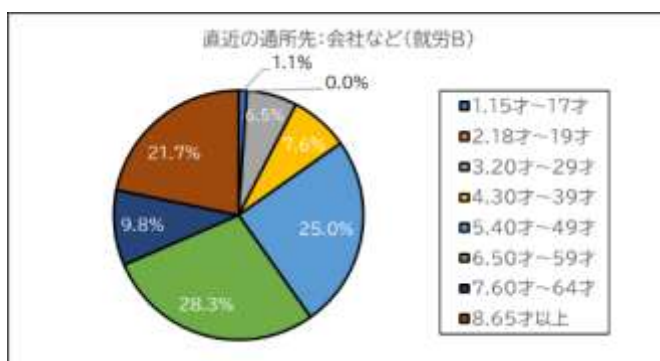
最も多い回答のあった、会社などの就職から障害福祉サービス事業所への移動について、事業種別ごとに年齢層でクロス分析を行った。



項目	件数	割合
1.15才～17才	0	0.0%
2.18才～19才	2	1.9%
3.20才～29才	38	35.8%
4.30才～39才	26	24.5%
5.40才～49才	23	21.7%
6.50才～59才	15	14.2%
7.60才～64才	2	1.9%
8.65才以上	0	0.0%
計	106	100.0%



項目	件数	割合
1.15才～17才	0	0.0%
2.18才～19才	1	0.5%
3.20才～29才	30	14.4%
4.30才～39才	34	16.3%
5.40才～49才	36	17.2%
6.50才～59才	65	31.1%
7.60才～64才	31	14.8%
8.65才以上	12	5.7%
計	209	100.0%



項目	件数	割合
1.15才～17才	1	1.1%
2.18才～19才	0	0.0%
3.20才～29才	6	6.5%
4.30才～39才	7	7.6%
5.40才～49才	23	25.0%
6.50才～59才	26	28.3%
7.60才～64才	9	9.8%
8.65才以上	20	21.7%
計	92	100.0%

- 就労移行支援では 20 才～59 才までに9割以上が集中しているが、20～29 才という就職10年以内と思われる回答が 38 名(35.8%)と最も多かった。
- 就労継続支援 A 型では、50才～59才が 31.1%で最も多く、20～59 才に 78.9%の回答が集まった。
- 就労継続支援 B 型では、40～59 才に 53.3%、そのほかは65才以上が 21.7%と多かった
- 3事業とも、一般的には働き盛りと言われる年代からの回答が多く、障害があることで何らかの理由によりやむを得ず会社等を退職し、障害福祉サービス事業所へと移動してきたという可能性が伺える

<p.49 再掲>

Q9. 今かよっている事業所ではたらかせたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

- 全体では「1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから」が34.7%、全事業所でも最も多かった
- 就労移行では「4.はたらくための技術が身につくそうだったから」が23.6%で2位になっており、1.と2.で半数以上の割合を占めている
- 就労A・Bでは「2.自分のやりたい仕事ができると思ったから」が2位で15%前後だった

Q9. 今かよっている事業所ではたらかせたいと思ったのはどんな理由ですか？(選択はいくつでも)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.見学したり仕事を体験してみて、よいと思ったから	1071	34.7%	235	31.9%	409	35.6%	427	35.6%
2.自分のやりたい仕事ができると思ったから	447	14.5%	93	12.6%	174	15.2%	180	15.0%
3.たくさんお金(工賃・賃金)をもらえそうだったから	267	8.7%	35	4.8%	125	10.9%	107	8.9%
4.はたらくための技術が身につくそうだったから	406	13.2%	174	23.6%	132	11.5%	100	8.3%
5.周りの人にすすめられたから	324	10.5%	96	13.0%	88	7.7%	140	11.7%
6.ほかにはたらくところがなかったから	308	10.0%	36	4.9%	137	11.9%	135	11.2%
7.その他	190	6.2%	46	6.3%	70	6.1%	74	6.2%
8.わからない	72	2.3%	21	2.9%	13	1.1%	38	3.2%
計	3,085	100.0%	736	100.0%	1,148	100.0%	1,201	100.0%

- ヒアリング等でも、まず何か所か見学・実習を行い、事業所の雰囲気を見たり、やっている仕事を見たりして自分に合っているかを見てから利用を決めたというケースが多かった。
- 「ここではたらかせたい」という積極的なベクトルとは別に、仕事の「やっていけそうか」ということも判断基準の一つになっているとの声もあった。

<p.51 再掲>

Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？（選択はいくつでも）

- 利用開始当初の本人の希望については、全体では各選択肢おおむね13～18%で大きな差がなかった
- 就労移行では「6.会社などに就職したかった」が25.8%で最も多く、次いで「5.はたらくための技術を身につけたかった」が23.3%だった
- 就労Aでは「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった」が24.3%で最も多く、次いで「3.体調をくずさないようにはたらきたかった(20.9%)」「2.仕事をして生きがいを見つけたかった(18.7%)」が多かった
- 就労Bでは、1.～4.がすべて20%前後で大きな特徴は出なかった

Q10. 今かよっている事業所に「かよいはじめた頃」、ここでどんなことをしたいと思っていましたか？

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたかった	535	14.7%	102	11.5%	169	12.1%	264	19.5%
2.仕事をして生きがいを見つけたかった	635	17.4%	113	12.7%	261	18.7%	261	19.2%
3.体調をくずさないようにはたらきたかった	696	19.1%	127	14.3%	292	20.9%	277	20.4%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたかった	668	18.4%	83	9.3%	339	24.3%	246	18.1%
5.はたらくための技術を身につけたかった	468	12.9%	207	23.3%	145	10.4%	116	8.6%
6.会社などに就職したかった	512	14.1%	229	25.8%	158	11.3%	125	9.2%
7.わからない	125	3.4%	28	3.1%	30	2.2%	67	4.9%
計	3,639	100.0%	889	100.0%	1,394	100.0%	1,356	100.0%

- 利用開始当初の希望では、各事業種別ごとの特徴が出ており、就労移行支援では就職のために必要なこと、就労継続支援 A 型では一定程度の収入がほしい、体調を崩さずはたらきたいという回答が目立った。
- 就労継続支援 B 型では、居場所や生きがいといった回答が多いのも特徴的だった。

4.2 事業所の考える「ニーズ」と利用者本人の「ウォンツ」

次に、利用し始めてからの利用者の心の動きと、それらを受け止める事業所の対応等について実態を考察していく。

ここであらためて本書で使用している利用者の「ニーズ」と「ウォンツ」という文言についての区分を以下に記載する。

- 「ニーズ」：個別支援計画の作成時等のタイミングで事業所が利用者本人から聞き取った、利用者本人の希望を実現するために必要であると事業所側が認識していること
- 「ウォンツ」：利用者本人が希望していること

● 利用者「ウォンツ」の変化

<p.53 再掲>

Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

- 現在の本人の希望については、全体では「3.体調をくずさないようにはたらかしたい」が28.3%で最も多く、次いで「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」が19.8%だった
- 就労移行では「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」が42.6%で突出して多かった
- 就労A・Bでは「3.体調をくずさないようにはたらかしたい」が30%を超えて最も多く、次いで「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」が20%前後となっている

Q11. 今は、ここでどんなことを「一番やりたい」と思っていますか？(選択は1つ)

項目	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.自分の居場所や仲間をつくりたい	188	10.4%	30	7.3%	42	6.3%	116	16.1%
2.仕事をして生きがいを見つめたい	215	11.9%	34	8.3%	79	11.8%	102	14.1%
3.体調をくずさないようにはたらかしたい	510	28.3%	62	15.1%	228	34.0%	220	30.5%
4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	317	17.6%	40	9.7%	145	21.6%	132	18.3%
5.はたらくための知識を身につけたい	140	7.8%	54	13.1%	53	7.9%	33	4.6%
6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい	357	19.8%	175	42.6%	100	14.9%	82	11.4%
7.おからない	77	4.3%	16	3.9%	24	3.6%	37	5.1%
計	1,804	100.0%	411	100.0%	671	100.0%	722	100.0%



<p.114 再掲>

利用者ウォンツの変化(利用開始当初 → 現在)【事業種別】

当初	現在		自分の居場所や仲間を作る		仕事を通じた生きがいを見つける		体調を安定させてはたらく		工賃・賃金を稼ぐ		はたらく上で必要なスキルを身につける		一般就労を実現する		総計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
就労移行支援	47	2.9%	110	6.9%	246	15.3%	64	4.0%	221	13.8%	915	57.1%	1,603	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			20	18.2%	22	20.0%	7	6.4%	32	29.1%	29	26.4%	110	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	2	2.5%			13	16.5%	6	7.6%	21	26.6%	37	46.8%	79	100.0%		
体調を安定させてはたらく	9	2.3%	31	8.1%			19	4.9%	89	23.2%	236	61.5%	384	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	1	1.7%	3	5.2%	18	31.0%			5	8.6%	31	53.4%	58	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	13	1.7%	35	4.7%	97	13.0%	18	2.4%			582	78.1%	745	100.0%		
一般就労を実現する	22	9.7%	21	9.3%	96	42.3%	14	6.2%	74	32.6%			227	100.0%		
就労継続A型	286	6.0%	511	10.7%	1,094	22.8%	908	18.9%	685	14.3%	1,312	27.4%	4,796	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			118	23.2%	125	24.6%	97	19.1%	100	19.7%	68	13.4%	508	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	47	9.8%			159	33.1%	93	19.3%	101	21.0%	81	16.8%	481	100.0%		
体調を安定させてはたらく	74	6.7%	147	13.3%			335	30.2%	180	16.2%	372	33.6%	1,108	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	84	7.2%	131	11.2%	393	33.5%			164	14.0%	400	34.1%	1,172	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	51	5.7%	66	7.4%	166	18.7%	216	24.3%			391	43.9%	890	100.0%		
一般就労を実現する	30	4.7%	49	7.7%	251	39.4%	167	26.2%	140	22.0%			637	100.0%		
就労継続B型	1,904	10.7%	3,401	19.2%	4,956	27.9%	3,382	19.1%	2,209	12.4%	1,899	10.7%	17,751	100.0%		
自分の居場所や仲間を作る			1,528	31.7%	1,671	34.7%	854	17.7%	597	12.4%	170	3.5%	4,820	100.0%		
仕事を通じた生きがいを見つける	531	20.7%			965	37.6%	611	23.8%	334	13.0%	124	4.8%	2,565	100.0%		
体調を安定させてはたらく	532	17.0%	724	23.1%			803	25.6%	510	16.3%	566	18.1%	3,135	100.0%		
工賃・賃金を稼ぐ	368	15.7%	433	18.5%	904	38.7%			310	13.3%	323	13.8%	2,338	100.0%		
はたらく上で必要なスキルを身につける	270	10.1%	454	17.0%	603	22.6%	621	23.3%			716	26.9%	2,664	100.0%		
一般就労を実現する	203	9.1%	262	11.8%	813	36.5%	493	22.1%	458	20.5%			2,229	100.0%		
総計	2,237	9.3%	4,022	16.7%	6,296	26.1%	4,354	18.0%	3,115	12.9%	4,126	17.1%	24,150	100.0%		

- 利用者の現在のウォンツでは、就労継続支援 A 型・B 型で「体調をくずさないように
はたらかたい」が工賃・賃金の項目よりも多く、体調と相談しながら就業している方
が多いという印象があった。
- 就労移行支援、就労継続支援 A 型では「一般就労を実現する」への変化が最も多く、
当初は「体調の安定」「就労スキルの獲得」「工賃(賃金)を稼ぐ」という希望から、それ
が整って「一般就労の実現」へという流れが見られる。
- 一方で、「賃金を稼ぐ」「一般就労の実現」という当初の希望から「体調の安定」への変
化も多く、利用開始後に体調を崩すなどして就業が不安定になり、希望が変化したと
いう可能性が推察される。
- 就労継続支援 B 型では、当初の希望では「居場所・仲間をつくる」が突出して多い
が、そこから「生きがい」や「体調の安定」への変化が多くなっている。

● 事業所の考える「ニーズ」と利用者本人の「ウォンツ」のギャップ

次に、事業所が本人にとって今必要だと考えること＝「ニーズ」と、利用者本人がしたい
こと＝「ウォンツ」のギャップが出ている場合の、利用者の満足度について整理する。

<p.110 再掲>

◆「ニーズ」≠「ウォンツ」の事業種別回答分布

現状の本人の希望や個別支援計画を踏 まえてどのような支援が最も必要と考 えるか(1年以内)：「ニーズ」	就労移行支援		就労継続A型		就労継続B型		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
居場所や仲間を作るための支援	9	11.3%	12	12.0%	24	15.7%	45	13.5%
仕事を通じた生きがいを見つけるための 支援	10	12.5%	13	13.0%	37	24.2%	60	18.0%
体調を安定させてはたらくための支援	27	33.8%	39	39.0%	58	37.9%	124	37.2%
より工賃・賃金を稼ぐための支援	2	2.5%	4	4.0%	5	3.3%	11	3.3%
はたらく上で必要なスキルを身につける ための支援	21	26.3%	29	29.0%	28	18.3%	78	23.4%
一般就労の実現や就職後の定着のための 支援	11	13.8%	3	3.0%	1	0.7%	15	4.5%
総計	80	100.0%	100	100.0%	153	100.0%	333	100.0%

ギャップが生じている場合(①≠②)の、ウォンツに対応する支援への満足度

現状の本人の希望や個別支援計画を踏まえてどのような支援が最も必要と考えるか(1年以内)＝「ニーズ」	本人が「現在」実現したいこと＝「ウォンツ」	1.とても満足している	2.満足している	3.普通	4.不満がある	5.とても不満がある	6.わからない	無回答	総計
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	3	1	1	1		1		7
	2.仕事をして生きがいを見つけた	2	1	1			1		5
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	5	8	5	1				20
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい		5	5			3	1	14
	5.はたらくための技術を身につけたい	4	10	10	3		1		28
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい						4		4
	7.わからない								
はたらく上で必要なスキルを身につけるための支援 集計		14	25	22	5		11	1	78
より工賃・賃金を稼ぐための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい		1	1					2
	2.仕事をして生きがいを見つけた			1					1
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい		1	1		1	1		2
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	1	1	1	1			1	2
	5.はたらくための技術を身につけたい								4
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい	1	2	4	1	1	1	1	11
より工賃・賃金を稼ぐための支援 集計		1	2	4	1	1	1	1	11
一般就労の実現や就職後の定着のための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい			2					2
	2.仕事をして生きがいを見つけた			1					1
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	4	2						6
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい		1	2					3
	5.はたらくための技術を身につけたい	2	1						3
一般就労の実現や就職後の定着のための支援 集計		6	3	4	2				15
居場所や仲間を作るための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	3		3				1	7
	2.仕事をして生きがいを見つけた	3	6	8	3				21
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	1	1	6	2		1		11
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい			1					1
	5.はたらくための技術を身につけたい	2	1	1	1				5
居場所や仲間を作るための支援 集計		9	8	18	6	1	1	2	45
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	4	2	2			1		9
	2.仕事をして生きがいを見つけた	5	9	7	1		1	1	24
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	3	3		6				12
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	2	2						4
	5.はたらくための技術を身につけたい	2	2	2		1	1		8
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい						3		3
	7.わからない								
仕事を通じた生きがいを見つけるための支援 集計		16	18	11	7	1	6	1	60
体調を安定させてはたらくための支援	1.自分の居場所や仲間をつくりたい	6	4	5		1			16
	2.仕事をして生きがいを見つけた	7	2	7			1	4	21
	3.体調をくずさないようにはたらかしたい	4	10	11	5				30
	4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい	5	4	1	1		2		13
	5.はたらくための技術を身につけたい	9	7	7	2	3	6		34
	6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい						10		10
	7.わからない								
体調を安定させてはたらくための支援 集計		31	27	31	8	4	19	4	124
総計		77	83	90	29	7	38	9	333

- 最もギャップが生じているケースは、ニーズが「体調を安定させてはたらくための支援」の場合で、利用者本人は「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」や「6.会社などへの就職をめざしてはたらかしたい」と思っている、支援者側から見ると、まだ就労準備性などの面も含め、まずは体調を整えてから次のステップへ、という見立てになっていることがあると推察される。
- このことは、ヒアリング調査でも同様の事例が聞かれた。利用開始から日が浅く信頼関係の構築途中ということで、利用者側からも内心まだ疑心暗鬼の声があったが、事業所としては、家族の意向なども汲み取りながら慎重に関係性を積み上げ、短期・中長期で目標を段階的に設定しているとのことだった。
- 上記のケースでは、本人よりも配偶者から生活のために早く再就職をという話があるらしく、本人自身が思うだけでなく、周囲の影響からもこのようなギャップが生じることもあることがわかった。
- 一方、ウォンツに対応する支援に対する満足度は、それほど低い結果は出でらず、事業所が考えるニーズは別にあったとしても、希望する支援については一定程度行われているものと推察される。
- このことは、ヒアリング調査p.153の事業所のように、多少利用者の力量等が足りないためにできないことがあった場合でも、それは事業者側の工夫・環境設定で埋めるという考えや、p.152の事業所のように、モニタリング時の評価やフィードバックの仕組みを整え、最大限本人のウォンツをしっかりと確認・把握し、個々人の段階に合った支援を提供しようとしている事業所があるということからも感じ取ることができた。

こうした事業所の認識と本人の希望にギャップがある場合には、全体的に見て利用者満足度が低くなる傾向がある(p.123 参照)。利用者がその支援に対して納得し、自己決定することは非常に重要であり、その点で利用者の満足度というのはその納得感を測る重要な指標となると考える。

次の章では、満足度に関する各設問から、利用者の希望を最大限実現できるよう、どの程度の頻度で相談を受け、支援の内容等の見直しを実施している事業所の利用者満足度が高いかなど、どういった支援が実施されることにより利用者の満足度が向上するのか整理する。

4.3 利用者が受けている支援と満足度の関係性

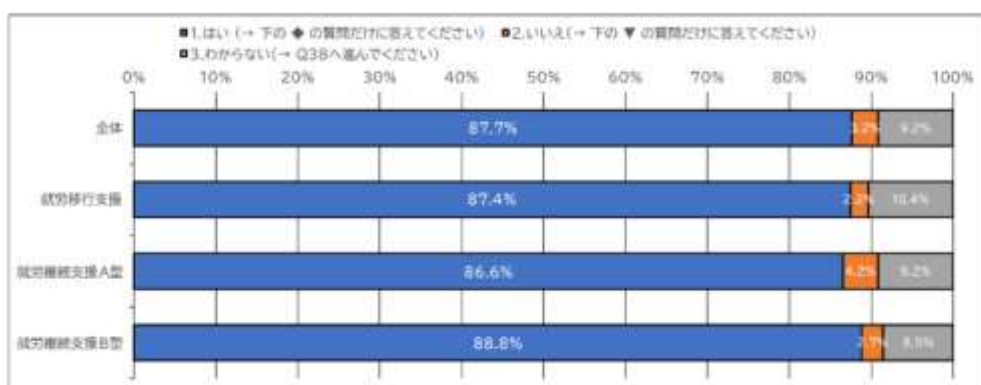
- 利用者の総合満足度とその要因について

<p.93 再掲>

【利用者調査 Q37:今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？】

Q37. 今かよっている事業所にきてよかったと思いますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.はい(→下の◆の質問だけに答えてください)	1641	87.7%	361	87.4%	612	86.6%	668	88.8%
2.いいえ(→下の▼の質問だけに答えてください)	59	3.2%	9	2.2%	30	4.2%	20	2.7%
3.わからない(→Q38へ進んでください)	172	9.2%	43	10.4%	65	9.2%	64	8.5%
計	1,872	100.0%	413	100.0%	707	100.0%	752	100.0%



事業別に利用者の総合満足度を確認すると、就労移行支援 87.7%、就労継続支援 A 型 86.9%、就労継続支援 B 型 88.8%と、いずれも非常に高い満足度を示している。

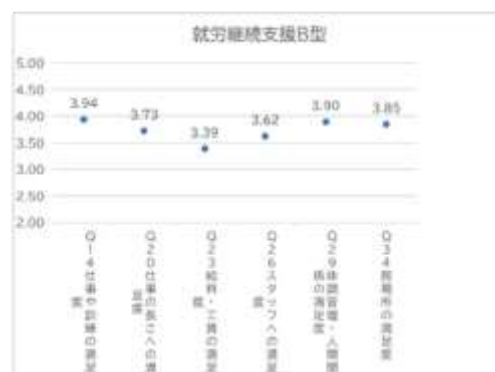
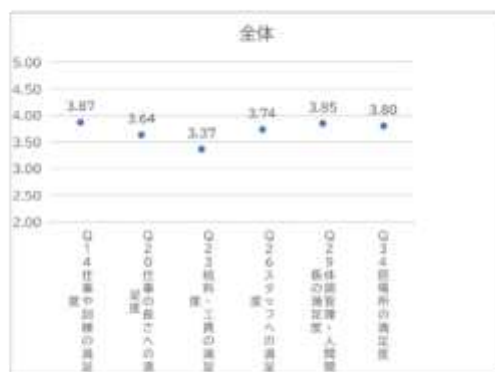
何故、このように高い満足度を示しているのか、個別の満足度を確認する。個別の満足度は 5 件法で調査しており、この加重平均点(最高 5 点、最低 1 点)を比較する。

【項目別満足度：加重平均点】

	全体	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
Q14仕事や訓練の満足度	3.87	3.92	3.77	3.94
Q20仕事の長さへの満足度	3.64	3.59	3.57	3.73
Q23給料・工賃の満足度	3.37	3.26	3.39	3.39
Q26スタッフへの満足度	3.74	4.08	3.56	3.62
Q29体調管理・人間関係の満足度	3.85	4.01	3.71	3.90
Q34居場所の満足度	3.80	3.88	3.72	3.85

- 就労移行支援では、「Q26 就職を目指す支援」が 4.08pt と最も高く、次いで「Q29 体調管理や人間関係調整」4.01pt となっている。
- 就労継続支援 A 型では、「Q14 今の仕事や訓練」が 3.77pt と最も高く、次いで「Q34 居場所」3.72pt、「Q29 体調管理や人間関係調整」3.71pt となっている。
- 就労継続支援 B 型では「Q14 今の仕事や訓練」が 3.94pt と最も高く、次いで「Q29 体調管理や人間関係調整」3.90pt「Q34 居場所」3.85pt、となっている。
- 就労継続支援 A 型及び B 型は順位が少し異なるものの、上位 3 つは同項目となっている。いずれも「Q29 体調管理や人間関係調整」が共通して高い項目となっており、主要業務である就労継続支援 A・B 型の「Q14 今の仕事や訓練」、及び就労移行支援の「Q26 就職を目指す支援」に加えて、安定して通所できるための副次的要素も重要な支援項目になっている様子が伺える。

満足度 加重平均



次に、前章で見たように「ウォンツ」に対する支援は一定程度行われていると仮定した場合に、次は事業所への相談回数・頻度により利用者の満足度は変化するものか、整理する。

<p.112 再掲>

「事業所への相談の頻度」×「本人のウォンツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について 事業種別→横集計 満足度→事業内縦集計	1.年に1回くらい		2.6か月に1回くらい		3.3か月に1回くらい		4.月に1回～3回くらい		5.毎週1回以上		6.ほとんど毎日		7.わからない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	8	3.3%	7	2.9%	35	14.5%	106	44.0%	55	22.8%	16	6.6%	14	5.8%	241	100.0%
1.とても満足している	6	75.0%	3	42.9%	14	40.0%	41	38.7%	19	34.5%	10	62.5%	1	7.1%	94	39.0%
2.満足している	2	25.0%	2	28.6%	15	42.9%	35	33.0%	21	38.2%	3	18.8%	5	35.7%	83	34.4%
3.普通		0.0%		0.0%	5	14.3%	19	17.9%	10	18.2%	2	12.5%	5	35.7%	41	17.0%
4.不満がある		0.0%		0.0%	1	2.9%	4	3.8%	2	3.6%		0.0%	1	7.1%	8	3.3%
5.とても不満がある		0.0%	1	14.3%		0.0%	1	0.9%	1	1.8%		0.0%	1	7.1%	4	1.7%
6.わからない		0.0%	1	14.3%		0.0%	6	5.7%	2	3.6%	1	6.3%	1	7.1%	11	4.6%
就労A	24	7.3%	63	19.3%	65	19.9%	85	26.0%	27	8.3%	32	9.8%	31	9.5%	327	100.0%
1.とても満足している	6	25.0%	17	27.0%	15	23.1%	25	29.4%	8	29.6%	10	31.3%	8	25.8%	89	27.2%
2.満足している	5	20.8%	19	30.2%	22	33.8%	14	16.5%	11	40.7%	8	25.0%	8	25.8%	87	26.6%
3.普通	8	33.3%	19	30.2%	15	23.1%	33	38.8%	7	25.9%	11	34.4%	8	25.8%	101	30.9%
4.不満がある	3	12.5%	5	7.9%	8	12.3%	6	7.1%	1	3.7%	1	3.1%	1	3.2%	25	7.6%
5.とても不満がある		0.0%	1	1.6%		0.0%	4	4.7%		0.0%		0.0%		0.0%	5	1.5%
6.わからない	2	8.3%	2	3.2%	5	7.7%	3	3.5%		0.0%	2	6.3%	6	19.4%	20	6.1%
就労B	31	9.6%	43	13.3%	40	12.4%	84	26.0%	46	14.2%	49	15.2%	30	9.3%	323	100.0%
1.とても満足している	14	45.2%	8	18.6%	12	30.0%	26	31.0%	21	45.7%	22	44.9%	10	33.3%	113	35.0%
2.満足している	4	12.9%	15	34.9%	11	27.5%	26	31.0%	11	23.9%	13	26.5%	6	20.0%	86	26.6%
3.普通	5	16.1%	15	34.9%	10	25.0%	18	21.4%	9	19.6%	9	18.4%	10	33.3%	76	23.5%
4.不満がある	2	6.5%	3	7.0%	5	12.5%	5	6.0%	3	6.5%		0.0%	2	6.7%	20	6.2%
5.とても不満がある	1	3.2%		0.0%	2	5.0%	4	4.8%		0.0%	2	4.1%		0.0%	9	2.8%
6.わからない	5	16.1%	2	4.7%		0.0%	5	6.0%	2	4.3%	3	6.1%	2	6.7%	19	5.9%
総計	63	7.1%	113	12.7%	140	15.7%	275	30.9%	128	14.4%	97	10.9%	75	8.4%	891	100.0%

<p.117 再掲>

「希望を最大限実現できるよう、支援の内容や方法を見直す頻度」×「本人のウォンツに対応する支援への満足度」

※ 構成比について 事業種別→横集計 満足度→事業内縦集計	頻繁にある		たまにある		あまりない		全くない		総計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
就労移行	88	22.6%	228	58.5%	71	18.2%	3	0.8%	390	100.0%
1.とても満足している	34	38.6%	65	28.5%	23	32.4%	1	33.3%	123	31.5%
2.満足している	29	33.0%	69	30.3%	23	32.4%	1	33.3%	122	31.3%
3.普通	15	17.0%	62	27.2%	12	16.9%		0.0%	89	22.8%
4.不満がある	2	2.3%	8	3.5%	2	2.8%		0.0%	12	3.1%
5.とても不満がある		0.0%	4	1.8%	3	4.2%		0.0%	7	1.8%
6.わからない	8	9.1%	20	8.8%	8	11.3%	1	33.3%	37	9.5%
就労A	112	17.8%	397	63.0%	120	19.0%	1	0.2%	630	100.0%
1.とても満足している	23	20.5%	92	23.2%	25	20.8%		0.0%	140	22.2%
2.満足している	42	37.5%	97	24.4%	29	24.2%	1	100.0%	169	26.8%
3.普通	26	23.2%	139	35.0%	41	34.2%		0.0%	206	32.7%
4.不満がある	11	9.8%	30	7.6%	8	6.7%		0.0%	49	7.8%
5.とても不満がある	1	0.9%	9	2.3%	2	1.7%		0.0%	12	1.9%
6.わからない	9	8.0%	30	7.6%	15	12.5%		0.0%	54	8.6%
就労B	112	16.0%	455	64.8%	127	18.1%	8	1.1%	702	100.0%
1.とても満足している	34	30.4%	114	25.1%	30	23.6%	4	50.0%	182	25.9%
2.満足している	24	21.4%	116	25.5%	34	26.8%	2	25.0%	176	25.1%
3.普通	31	27.7%	136	29.9%	35	27.6%	2	25.0%	204	29.1%
4.不満がある	10	8.9%	28	6.2%	9	7.1%		0.0%	47	6.7%
5.とても不満がある		0.0%	9	2.0%	2	1.6%		0.0%	11	1.6%
6.わからない	13	11.6%	52	11.4%	17	13.4%		0.0%	82	11.7%
総計	312	18.1%	1,080	62.7%	318	18.5%	12	0.7%	1,722	100.0%

- 「相談の頻度」については3事業とも「月に1～3回」が最も件数が多いが、満足率（1.+2.）が最も高いわけではなく、就労移行では「3か月に1回ぐらい」、就労継続支援 A 型では「毎週1回以上」、就労 B では「ほとんど毎日」が、それぞれ満足率が最も高かった。
- 「支援の見直し」に関しては、3事業とも「たまにある」が6割前後で最も多いが、満足度で見ると満足率は「頻繁にある」が最も高く、以下頻度に応じて割合が下がっていく。（「全くない」除く）特に、就労移行では「頻繁にある」場合の満足率が 71.6%と、より柔軟に支援が見直されることへの満足度が高かった。
- 就労移行支援において、相談の頻度による満足度の差がそれほど出ていない理由としては、面接練習やハローワーク同行など、面談以外の場面で事業所スタッフと就職に向けた対策等をじっくりと話す機会やコミュニケーションを取る場面が多く、それが柔軟な支援の見直しや満足度の相対的な高さにつながっている可能性があるものと推察する。（参考事例:p.150～152）
- ヒアリング調査で話を聞いた利用者満足度の高い事業所では、総じてニーズとウォンツのギャップが生じている場合には、本人からの表出を尊重しつつも、アセスメントや聞き取りからの見立てを踏まえ、利用者自身にそのギャップを認識してもらい、利用者自身が「納得感」を持って次のステップに進む、もしくは課題に対する新たな支援方法の提案・見直し等がされており、このような丁寧かつ柔軟な支援方針の重要性を示唆しているものとする。

● 工賃(賃金)向上への希望に対する支援の状況

最後に参考として、障害者が住み慣れた地域で自立して生活していくための重要なファクターである工賃・賃金に関して、各種調査から見てきた事項について整理し、本章のまとめとする。

<p.131～133 再掲>

#2 利用者調査 Q11:「4.お金(工賃・賃金)をかせぎたい」×
Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれくらい満足していますか？

Q23. 毎月もらっているお給料(賃金・工賃)に、どれくらい満足していますか？(選択は1つ)

回答	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1.とても満足している	44	14.1%	2	5.4%	21	14.6%	21	16.2%
2.満足している	67	21.5%	5	13.5%	40	27.8%	22	16.9%
3.普通	106	34.1%	13	35.1%	51	35.4%	42	32.3%
4.不満がある	61	19.6%	5	13.5%	24	16.7%	32	24.6%
5.とても不満がある	14	4.5%	0	0.0%	6	4.2%	8	6.2%
6.わからない	19	6.1%	12	32.4%	2	1.4%	5	3.8%
計	311	100.0%	37	100.0%	144	100.0%	130	100.0%



<Q24. 希望工賃(賃金)> - <Q18.先月の工賃(賃金)>

※ Q24またはQ18が無回答の場合は回答を除外

<希望工賃> - <先月工賃>	全体		就労移行支援		就労継続支援A型		就労継続支援B型	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
障害年金1級	22	12.4%	0	0.0%	7	8.6%	15	20.0%
1円～9,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
10,000円～29,999円	8	4.5%		0.0%	2	2.5%	6	8.0%
30,000円～49,999円	3	1.7%		0.0%	2	2.5%	1	1.3%
50,000円～99,999円	2	1.1%		0.0%	1	1.2%	1	1.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金2級	79	44.4%	8	36.4%	43	53.1%	28	37.3%
1円～9,999円	22	12.4%	1	4.5%	8	9.9%	13	17.3%
10,000円～29,999円	23	12.9%	2	9.1%	13	16.0%	8	10.7%
30,000円～49,999円	15	8.4%	1	4.5%	9	11.1%	5	6.7%
50,000円～99,999円	12	6.7%	2	9.1%	10	12.3%		0.0%
100,000円以上	7	3.9%	2	9.1%	3	3.7%	2	2.7%
障害年金3級	11	6.2%	2	9.1%	1	1.2%	8	10.7%
1円～9,999円	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
10,000円～29,999円	3	1.7%	1	4.5%		0.0%	2	2.7%
50,000円～99,999円	6	3.4%	1	4.5%	1	1.2%	4	5.3%
100,000円以上	1	0.6%		0.0%		0.0%	1	1.3%
障害年金受給なし	37	20.8%	5	22.7%	17	21.0%	15	20.0%
1円～9,999円	3	1.7%		0.0%	1	1.2%	2	2.7%
10,000円～29,999円	12	6.7%	1	4.5%	7	8.6%	4	5.3%
30,000円～49,999円	10	5.6%		0.0%	3	3.7%	7	9.3%
50,000円～99,999円	8	4.5%	2	9.1%	4	4.9%	2	2.7%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
障害年金受給わからない	29	16.3%	7	31.8%	13	16.0%	9	12.0%
1円～9,999円	5	2.8%	1	4.5%	4	4.9%		0.0%
10,000円～29,999円	10	5.6%	1	4.5%	3	3.7%	6	8.0%
30,000円～49,999円	4	2.2%	1	4.5%	1	1.2%	2	2.7%
50,000円～99,999円	6	3.4%	2	9.1%	3	3.7%	1	1.3%
100,000円以上	4	2.2%	2	9.1%	2	2.5%		0.0%
総計	178	100.0%	22	100.0%	81	100.0%	75	100.0%

- 現状の工賃(賃金)への満足度では、就労継続支援 A 型で満足度高(1.+2.)の割合が4割強となっている。3 事業とも「普通」の回答が最も多いが、就労継続支援 B 型では不満(4.+5.)の割合が 3 割を超えている。工賃を稼ぎたい利用者に関しては、就労継続支援 B 型の工賃では不満という結果はある程度想定できるものではある。
- 希望工賃(賃金)と現状の工賃(賃金)との差が生じている回答では、障害年金 2 級の受給者が特に多く、そのうち 1~29,999 円の範囲に25.3%の回答があった。特に、就労継続支援 A 型の年金 2 級という回答が最も多かった。
- 就労継続支援 A 型では現行賃金が 50,000~100,000 円の割合が 8 割を超えているため、この層に上記の額を足した 80,000~130,000 円程度+障害基礎年金 2 級:7 万円程度=15~20 万円/月程度の生活水準を希望している方が多いと推計することができる。

(参考資料)

「グループホーム生活の必要経費(例)」 全国手をつなぐ育成会連合会 提供資料

収 支		年金 2 級 + 継続 A 型の場合
障害基礎年金 2 級	70,171 円	令和 2 年・年金生活者支援給付金込み
家賃補助・賃金	86,887 円	うち、家賃補助 10,000 円 賃金は平成30年度実績
合計	157,058 円	
サービス利用自己負担	0 円	
食費 (GH・生活介護)	36,000 円	1 日 1,200 円 × 30 日
水光熱費・日用品費	15,000 円	500 円 × 30 日
家賃	50,000 円	GH 等家賃相当額
小遣い、余暇費、医療費	45,000 円	スマホ代、医療費をプラス
合計	146,000 円	
収入157,058円 - 支出146,000円 = プラス11,058円		

4.4 総括

本研究事業では、就労系障害福祉サービス事業所における支援の実態を明らかにするため、できる限り利用者本人の心の内や生の声を得ることができるよう、様々なアプローチ方法で各種調査を実施してきた。

こうしたアプローチの結果、悉皆調査による多数の回答や、様々な障害種別の利用者及びその支援者に直接ヒアリングを行う機会を得ることなどができ、本研究事業の目的に沿った一定の成果を得られたと考えている。

最後に、全体を通じ本研究事業で得られた知見等をまとめ、今後の検討材料について整理する。

■ 利用者「ウォンツ」の変化と求められる支援

- 利用者においては、利用開始当初と現在で「ウォンツ」が変化していくことは稀ではなく、事業所の支援や周囲との関わりにより、または本人自身の事由により変化するものであり、各事業所は利用者一人ひとり寄り添った柔軟な対応や支援が求められているという現状がある。

■ 「ニーズ」と「ウォンツ」のギャップについて

- そのような状況下において、事業所の考える「ニーズ」と利用者本人の「ウォンツ」に関してはどんな事業所でも少なからずギャップが生じることを前提としつつ、利用者の希望にできる限り寄り添った支援が、利用者満足度の高い事業所においては意識して行われていることが、ヒアリング調査などを通じ明らかとなった。
- 一方で、そういった「ニーズ」と「ウォンツ」のギャップが生じている場合には利用者満足度が低くなる傾向が見られる。必ずしも満足度を高めることだけが真に利用者のQOLの向上や課題解決に資することにはならないが、利用者がその支援に対して納得し、自己決定することは非常に重要であり、その点で利用者の満足度というのはその納得感を測る重要な指標となると考える。

■ 今後の方向性等について

- 相談頻度が高い・希望に沿った支援の見直し頻度が高い場合の満足度が高くなることなどと合わせて考えると、やはり支援の基本である利用者本人を中心とした丁寧な聞き取り、及びアセスメントの重要性というものが、あらためて認識されたところである。
- 本研究事業で実施した各種調査データは、膨大かつ詳細な情報が含まれており、今後も当該データを活用し、様々な角度や考え方で分析・考察することで、ギャップを埋めていくための望ましい支援プロセスや、各事業種別や障害種別における事業所が注力すべき支援のポイントなど、さらなる検討を行っていくことが望まれる。

5 成果の公表方法

本報告書を、弊社ウェブサイト(<https://insweb.jp/>)で一般公開する。

また、貴省ウェブサイトでも成果物一覧として公表するとともに、ご活用頂ける場面でのPDF 配布に協力する。